ナイトメア　Plastic Tree　ムック　カノン　The LEGENDARY SIX NINE　D'espairsRay

SHOXX

平成9年12月5日第三種郵便物認可 平成22年5月1日発行 第207号（毎月1回1日発行）

5月号 Vol.207
2010 月刊 980YEN

特別付録
ナイトメア
特大ポスター

Plastic Tree
ムック
カノン
The LEGENDARY SIX NINE
D'espairsRay
D
圭×宮脇×大佑×ジュンノ対談
ViViD

SHOXX Start 20th Anniversary

Nightmare

Special Front 20 Pages Edition

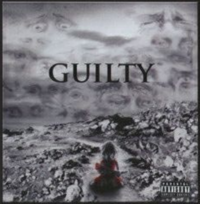
hudiel.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

UnsraW

2010.04.21 RELEASE

GUILTY



1. ZERO
2. ROSE OF SORROW
3. WITHERING BLOOD
4. GUILTY
5. SALIVA OF GOD
6. DAMNED

6songs/¥2,625-(tax-in)/S.D.R-212/限定2,000枚

ONEMANLIVE

TRACE OF GUILT

2010.04.19(MON)

高田馬場AREA

OPEN 18:30 / START 19:00 ADV ¥3,000 / DAY ¥3,500 (D別)

ローソンチケット (Lコード：75568)

www.unsraw.com

03.28 福岡DRUM Be-1 / 03.30 名古屋ell.FITS ALL / 03.31 大阪FANJ twice / 04.15 金沢AZ / 04.16 長野CLUB JUNK BOX / 04.27 shibuya O-EAST / 05.21 shibuya O-EAST

■TOTAL INFORMATION:《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 SPEED DISK WEB http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

爱杂志 www.aizazhi.com
蝴蝶网 hudie.com

INSTORE
4月 9日（金）ライカエジソン東京店
4月10日（土）自主盤倶楽部
4月17日（土）新宿 ZEALLINK
4月25日（日）渋谷 ZEALLINK
オフィシャルサイトで続々追加中！
御主人様専用
奇才楽団
Virgil
Future Link Japan
東京都新宿区新宿3-11-12
フューチャーリンクジャパン内「Virgil」係
蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

4th.single

-Desert-

4月7日
発売!!

Aタイプ ¥1,575
【限定 3000 枚】
1.Lunar Desert
(DVD) Lunar Desert

通常版 ¥1,26
1.Lunar Desert
2.abyss

単独演奏会
東名阪TOUR(ツアー)2010
～1周年ですよ、御主人様～

「1周年記念ですよ、御主人様～名古屋編～」
2010年5月8日(土) 名古屋 ell.SIZE
チケットぴあ (Pコード：342-826) ローソンチケット (Lコード：40140)

「1周年記念ですよ、御主人様～大阪編～」
2010年5月9日(日) 大阪 FANJ twice
チケットぴあ (Pコード：344-237) ローソンチケット (Lコード：53713)

「1周年記念ですよ、御主人様～東京編～」
2010年5月23日(日) 恵比寿 LIQUIDROOM
チケットぴあ (Pコード：344-246) ローソンチケット (Lコード：70412)

3rd.single =発売中=

- SENSE -

Aタイプ ¥1,575
【限定 3000 枚】
1.Lost Sense
(DVD) Lost Sense

通常版 ¥1,260
1.Lost Sense
2.CLEAR

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
Official Site : http://www.buglug.jp/
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

Dolly
PLAY

online only single 3/19 out.

配信限定 Single
PLAY

2010.3/19
全世界一斉配信スタート

爱杂志
www.aizazhi.com

♠ Dolly 5th Anniversary Oneman Tour

TourFinal 10/30(sat) 赤坂BLITZ

9/4 (sat) 浦和 ナルシス(FC限定)
9/10 (fri) 横浜 SUNPHONIX HALL
9/12 (sun) 名古屋 ell.FITSALL
9/14 (tue) 大阪 MUSE
9/16 (thu) 松山 SALONKITTY
9/18 (sat) 福岡 DRUM SON
9/19 (sun) 岡山 IMAGE
9/25 (sat) 仙台 JUNK BOX
9/26 (sun) 宇都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2
9/28 (tue) 新潟 JUNK BOX

[ticket]
9/10～9/28公演 adv.¥3,500
10/30赤坂BLITZ adv.¥4,000

[FC先行発売] 4/25～5/9 [一般発売] 6/27～

※チケット金額·販売スケジュールは9/4浦和ナルシス公演以外の詳細となります
※9/4浦和ナルシス公演詳細·その他公演詳細に関しましてはDolly Official Siteにてお知らせします

Dolly Official Site
http://www.dolly-web.com

Dolly Official MySpace
http://www.myspace.com/dolly-official

Pos-Pha Inc music airport

爱杂志
www.aizazhi.com

…2弾 Single　2010.06.09　～降り続く太古の雨音～

ANCIENT RAIN

…A】＜CD＞2曲収録　＜DVD＞「ANCIENT RAIN」MUSIC CLIP 収録　PSIM-30020　¥1,890 (tax in)　※限定 3,000枚
…B】＜CD＞3曲収録　撮り下ろしブックレット付き　PSIM-30021　¥1,890 (tax in)　※限定 3,000枚
…盤】＜CD＞3曲収録　PSIM-20018　¥1,575 (tax in)

【 LIVE SCHEDULE 】

04.08 名古屋 E.L.L
04.09 大阪 BIG CAT
04.10 岡山 IMAGE
04.12 鹿児島 CAPARVO HALL
04.13 福岡 DRUM Be-1
04.15 金沢 AZ
04.16 長野 CLUB JUNK BOX
04.17 新潟 CLUB JUNK BOX
04.19 郡山 #9
04.20 仙台 darwin
04.22 札幌 KRAPS HALL
04.27 Shibuya O-EAST
04.29 JCBホール

05.01 福岡 DRUM Be-1
05.03 大阪 BIG CAT
05.04 名古屋ボトムライン
05.08 仙台 darwin
05.10 Shibuya O-EAST
05.30 SHIBUYA-AX

06.03 大阪 MUSE
06.04 名古屋ボトムライン
06.16 金沢 AZ
06.18 仙台 darwin
06.19 新潟 LOTS

【 INSTORE EVENT 】

04.30 福岡SKULL ROSE
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、全購入者対象
Info : 092-714-0504

05.02 大阪I.D.PILOT DEAD ONE
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、全購入者対象
Info : 06-6226-5186

05.15 渋谷ZEAL LINK
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-5784-9666

05.16 自主盤倶楽部
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-3371-3651

05.23 Brand X
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-3980-6788

05.29 新宿ZEAL LINK
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-5379-7155

06.02 大阪I.D.PILOT DEAD ONE
※「ANCIENT RAIN」初回盤A・初回盤B、全購入者対象
Info : 06-6226-5186

06.05 名古屋HMV栄
※「Cursed Hurricane」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 052-243-6366

06.12 新宿ZEAL LINK
※「ANCIENT RAIN」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-5379-7155

06.17 HMV仙台一番町
※「Cursed Hurricane」&「ANCIENT RAIN」
両タイトル、初回盤A・初回盤B、同時購入者対象　Info : 022-213-0321

06.20 新潟RISKY DRUG STORE
※「Cursed Hurricane」&「ANCIENT RAIN」
両タイトル、初回盤A・初回盤B、同時購入者対象　Info : 025-241-9390

06.26 自主盤倶楽部
※「ANCIENT RAIN」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-3371-3651

06.27 渋谷ZEAL LINK
※「ANCIENT RAIN」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-5784-9666

07.03 Brand X
※「ANCIENT RAIN」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 03-3980-6788

08.06 札幌GURUGURU
※「Cursed Hurricane」&「ANCIENT RAIN」
両タイトル、初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 011-251-4100

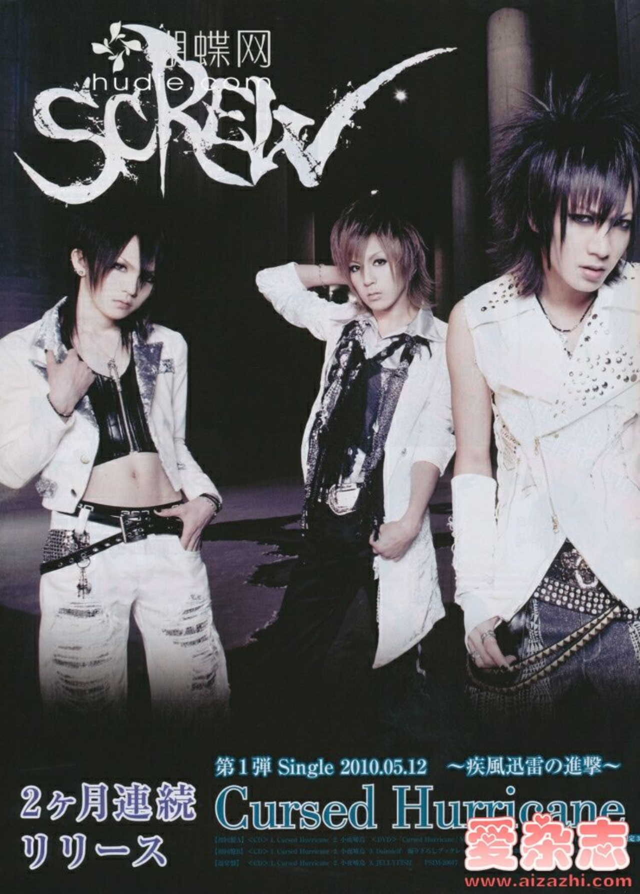
08.19 福岡SKULL ROSE
※「ANCIENT RAIN」初回盤A・初回盤B、同時購入者対象
Info : 092-741-0501

【 TOTAL INFORMATION 】
PS COMPANY Co.,Ltd.／Indie PSC.
〒160-0061 東京都新宿区水道3-11-9 2F　TEL : 03-5355-5822（平日12:00～18:00）
※ファンレターにはメンバー名を必ず明記の上お送り下さい。
また、お問合わせに関してはメールではなく直接お電話でお願いします。

【 Indie PSC. ON LINE SHOP 】
05.12発売「Cursed Hurricane」、初回盤A (¥1,890)・初回盤B (¥1,890)・通常盤 (¥1,575)の3タイプ同時購入で、サイン入り写真を3種類の中から1枚差し上げます。こちらの特典は無くなり次第終了となります。
詳しくは、OFFICIAL HP／OFFICIAL WEB SITEをご覧下さい。

【 OFFICIAL WEB SITE 】

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

Major 2nd Release
auncia Live DVD「Intro of HEART LINK」

4,200yen (tax in) POBE-3214

【収録曲】
1.KeyCase
2.-蜂-
3.maiden.
4.Wonderful Error
5.Biscuit
6.『picture』-DrumSolo-
7.アブダラ・ハシャマリ
8.恋物語
9.己影
-EN1-
10.花色
11.2 pieces of presents
12.pig telling
-EN2-
13.碧と瞳 白と君

M1-4.6-10.12.13 music by hikari
M5.11 music by yosuke
All words & arranged by auncia

2010.4.14 Release

「KeyCase」

Major 1st Single

1,575yen (tax.in) POCE-3267

【収録曲】
1.KeyCase 2.Biscuit 3.2 pieces of presents
販売元:UNIVERSAL MUSIC LLC

NOW ON SALE

auncia 4th anniversary
東名阪主催ツアー
support by Like an Edison

4.16(金)渋谷BOXX

■hikari生誕祭■★時をかけるじぃじ~ダイヤモンドは砕けない3~★

【OPEN/START】 16:30/17:00【ADV/DAY】3,000円/3,500円(D別)
【CAST】auncia / the Vambie. / SCAPEGOAT / GLACIER / PANIC☆ch / n'Dool / M
【TICKET】ライカエジソン東京店、ぴあ(Pコード:349-844)、ローソンチケット(Lコード:79837)
auncia物販、各バンド予約

4.1(木)高田馬場AREA

1st Maxi single
「花色.」
2006.9.27 Release
1,575yen(tax in) EGOC-10002

2nd Maxi single
「iys.」
2007.12.26 Release
1,500yen(tax in) HLCD-0001

1st mini album
「Rabiu.」
2007.3.14 Release
2,500yen(tax in) EGOC-10003

2nd mini album
「シロップ.」
2008.7.2 Release
2,100yen(tax in) SECD-1163

TOTAL INFORMATION
OFFICIAL WEB SITE : http://auncia.com

爱杂志
www.aizazhi.com

hudie.com

BugLug 恋愛タイプ YES NO CHART

START!

YES → NO →

どちらかというと几帳面な性格だ。

単純作業が苦にならない。

「人生楽しそう」と言われることがある。

現実逃避してしまうほうだ。

記憶力は良い方だ。

朝よりも夜の方が強い。

休日は、家でまったりしたい。

現状維持は大切だ。

考えるよりも先についい思ったことを口にしてしまう。

人付き合いがよく誘われると断れない。

一度決めたことは必ず実行する。

「見てはいけない」と言われると余計に見てしまう。

日帰り旅行でも前日から準備をする。

道に猫がいるのを見かけると話しかけてしまう。

どんなに忙しくても人に頼む前に自分で行動する。

自分のペースを乱されるのが嫌い。

恋愛自由タイプ

本能のおもむくままに恋愛を謳歌する自由奔放なあなたと相性ピッタリのメンバーは・・・

そんなあなたのLucky Songは、ズバリ!「Hu.Mor.Box」

恋愛直情タイプ

自分の気持ちをストレートに伝えられる裏表のないあなたと相性ピッタリのメンバーは・・・

そんなあなたのLucky Songは、ズバリ!「Y×Y×M×E」

恋愛孤高タイプ

感受性豊かで自分の世界をしっかり守るあなたと相性ピッタリのメンバーは…

そんなあなたのLucky Songは、ズバリ!「オオカミボウイ」

恋愛分析タイプ

石橋を叩いて渡る恋愛に慎重なあなたと相性ピッタリのメンバーは・・・

そんなあなたの L[illegible]

RESISTAR RECORDS Official Site : http://www.buglug.jp/

爱杂志 www.aizazhi.com

主催: CLUB CITTA'／企画: (株)音楽専科社／制作: CITTA'WORKS／総合問合わせ:クラブチッタ(044-246-8888)
オフィシャルHP: http://www.ongakusenkasha.co.jp/

蝴蝶网
hudie.com

AVE 2010

出演(アルファベット順)

SCREW(OPENING ACT)
Alice Nine
LM.C
ムック
Plastic Tree

期日: 2010年4月29日(祝)
時間: OPEN 16:00/START 17:00
場所: JCBホール
前売料金: アリーナスタンディング 5,500円(税込)/
バルコニー指定 5,500円(税込)
※ドリンク代別途500円入場時に必要になります。
電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:346-407)
ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:74819)
イープラス(e+) http://eplus.jp

th Anniversary
TIONS!

爱杂志
www.aizazhi.com

SHOXX 創刊20周年記念

SHOCK W

チケット残り僅か

hudie.com

迷っている時間は無い!!

4月29日

JCBホールにて賑々しく開催!!

● **お宝本販売!!**
物販コーナーでレアなバックナンバーや、絶版になった写真集、SHOXX FILEなどを、販売します。購入者特典あり。

● **SHOXX 思い出のフォトグラフィー**
20周年に掲載された莫大な写真の中からセレクトして展示。あの名場面、珍場面写真を展示します。

● **ワクワク抽選会**
何があたるかはお楽しみ。今から編集部スタッフが走り回って"なにかステキなもの"を集めています。

● **お土産付**
入場者全員に20周年の記念品をプレゼントいたします。他まだまだ、企画は盛りだくさん。

スペシャルVIP席を作りました!!

●SHOXX年間購読者及び携帯サイト「音楽せんか?」の会員を抽選で15組30名様をご招待。応募の詳細は年間購読者様は弊社から直接ハガキで、携帯サイト会員はメールで応募要項をご連絡させていただきます。

SHOXX START

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

CONTENTS

084 DELUHI デルヒ
085 THE KIDDIE キディー
154 ν[NEU] ニュー
156 イヴ×Ko-ki(ViViD) イヴ×コーキ(ヴィヴィッド)
160 TOON-FACTORY トゥーンファクトリー
090 BugLug バグラグ
092 DOG in The パラレルワールドオーケストラ ドッグ・インザパラレルワールドオーケストラ
098 9GOATS BLACK OUT ナインゴーツ・ブラックアウト
100 Dacco ダッコ
102 Around 30 アラウンドサーティー
104 イロクイ。
106 COUNTER CULTURE 2010 カウンターカルチャー
108 キャンセル
110 愛狂います。 アイクル
112 Virgil ヴァージル
114 SHOCK WAVEアポロ

116 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
平成維新 ヘイセイイシン
「東京指定」 トウキョウシテイ
ALiBi アリバイ
PIECElang ピースラング
VAJRA ヴァジュラ
R指定 アールシテイ
Arc アーク
ClearVeil クリアヴェール
SCAPEGOAT スケープゴート
130 エクスペクトラッシュ
ヴァルナ

147 ぼっくんの主張
141 アーティストBOX
148 Mission in ぼっくん
150 プレコン WORLD
127 ぼっくんの早耳情報
153 大島暁美のロックン-ロール日記

>> マークの説明 <<

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか？」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode 「メニューリスト」→「音楽／映画／芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」
>>EZweb 「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか？」
>>vodafone 「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか？」

Editorial in chief／Kuniaki "B" Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director／Noriaki Ishimatsu
(Keisyo Office)
Design Stuff／Yoichirou Fujii,
Maki(mam)Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi,
Iori Hayakawa(Bakery37.1),
Nakane (amulet label), Yukako Takayama,
Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.208は2010年4月21日(水)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版印刷／株式会社プロスト/
発行日／2010年5月1日
特別定価／980円 本体933円

爱杂志
www.aizazhi.com

SHOXX
2010
5月号
May Vol.207
Cover Model：ナイトメア
Photo：Susumu Miyawaki(PROGRESS-M)
Design：Noriaki Ishimatsu(Keisyo Office)

016 **ナイトメア**
Part 1：10周年を迎えて、それぞれの"今"
Part 2：思い出の一曲を

038 **The LEGENDARY SIX NINE**
ザ・レジェンダリー・シックス・ナイン
RUKA×HAKUEI対談

044 **EXTRA-TERRITORIAL 対談**
エクストラ・テリトリアル
圭×宮脇×大佑×ジュンノによる場外バトル！

050 **カノン（アンティック-珈琲店-）**
ソロ・プロジェクト始動!!

056 **Plastic Tree**
プラスティック トゥリー
"荷馬車"の辿り着いたツアー・ファイナル

058 **ムック**
NHKホール公演＆『えん5』詳報

062 **D**
ディー
7周年を彩る『7th Rose』完成

066 **D'espairsRay**
ディスパーズレイ
NEW SINGLE「LOVE IS DEAD」リリース

068 **Versailles**
ヴェルサイユ
ワールド・ツアー、いよいよスタート

070 **Kagrra,**
カグラ
10周年の宴、開幕！

072 **Kra**
クラ

076 **Mix Speaker's, Inc**
ミックス・スピーカーズ・インク

078 **ドレミ團**
ドレミダン

080 **メガ**

082 **ギル**

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

Nightmare

Positive mind

目指すべき場所へ

2010年。
10周年のanniversary yearを迎えたナイトメア。
彼等は何を思い、どんな気持ちで、
この10周年と言う"今"を過ごしているのだろう——?
今回は、メンバーそれぞれの"今"の想いをパーソナル・
インタビューで紐解くと共に、数ある彼等の楽曲の中から、
それぞれ思いて深い1曲を挙げて貰った、
集合インタビューの、豪華2本立てでお届けします。

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Art Direction:NORIAKI ISHIMATSU(Keisyo Office)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:YORIKO MATSUDA

蝴蝶网 hudie.com

爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

YOMI

—最近のYOMIさんは、どうお過ごしなんでしょうか。

「今は新曲を作ってるから、歌詞は書いたりしてる。あと、ジムも定期的には行ってるし。ただ、歌詞を書いてたりすると、どうしても行けないときもあるんだけど」

—しかし、すっかり体型は維持されていますよね。

「でもね、維持してるけど、行かないと自分的にちょっとの違いが気になったりするし…そうやって維持するのが苦痛に近い部分もあるしね」

—じゃあ、維持しなくていいんだったら維持しないですか。

「絶対しないね（笑）。でも今、俺は維持しなきゃいけない状況にあるから、だったらプラス志向で"引き締まった自分もカッコイイじゃん"って思うようにしてるんだけど。それに、ステージに立ってて前よりカッコイイ自分を見せられてるなっていう違いは感じるからね。前よりも、自信を持って立ててると思うし」

—ちなみに、今すぐ体型維持をやめていいとしたら、一番にしたいのはどんなことですか？

「なんだろうね…とりあえず暴飲暴食かな。満腹感が好きなんだよね（笑）。最近は、たまに酔っぱらった勢いでラーメン食べちゃうときもあるけど、いつも食事には気を付けてるし。咲人みたいに食べても太らない人には、俺の苦しみはわからないですよ（笑）」

—でも、そこで鍛えた精神力は、絶対にYOMIさんの男っぷりを上げているはずですからね。

「うん、そうだといいよね。それに、そうやって苦しむぶん、ガンプラ作ってるときとかパチンコしてるときは、すごくストレス発散になる。特に、ガンプラはすごいハマってるからね。時間がなくてなかなか作れてないけど、俺と同じ身長の12分の1サイズを入手したし」

—それ、部屋に置いたらかなり圧迫感がありそうですけど…。

「そうそう。だから今の部屋だとせまいから、近々引っ越そうと思ってるんだけど。あと、85分の1のS-ガンダムもあるしね。ホント、見てるだけで癒される。俺にとってはかわいいペットみたいなもんだもん。あとね、ガンプラをただ作るんじゃなくて、塗装もしてるからね。俺は黒が好きだから黒に塗ってるんだけど、自分の好きな塗装で、自分で組んで、世界にひとつだけしかない自分だけのガンダムができたときの達成感に浸るのが、これ以上ない幸せなの。今は鉄パイプの安いラックに飾ってるけど、引っ越したらケースの上からライトが点くようなガラスのラックを買って、ちゃんと飾りたいなって」

—ガンプラを語るYOMIさんの顔が、いつになく輝いてます（笑）。

「でしょ？ 引っ越すにあたって家具とか家電とか探したり、部屋のレイアウト考えたりしてるんだけど、そういうのも全部含めて、超楽しい、今。ただ、そうやって欲求を満たしていくことで、自分がダメになったらどうしようっていう心配もしてるんだけど」

—確かに、追い求めているときが一番楽しいし、ハングリーでいられますもんね。

「そうそう。絶対そうなりがちだよなって思う。でも、達成してより頑張れる人もいるから、そうなればいいんだけどね。やっぱり、俺はトンがってたいから」

—あんまり癒されすぎて、満たされすぎると、気持ちも雰囲気も妙にソフトになっちゃいそうですもんね。

「そうそう、それは絶対イヤだから。あとはね、もっとムキムキになりたい。ソフトマッチョっていうか、ボクサー体型っていうか。それってすごく男らしいカッコよさがあると思うし…いつでもギリギリを見せていたいっていう気持ちもあって。そのほうが、よりナイトメアの曲とか詞が活きてくるのかなって思うし」

—同じことを同じ想いを込めてやったとしても、見た目が違えば伝わり方も違うかもしれません、確かに。

「でさ、自分たちも10年目で、ずっと"オリコン1位を獲りたい"とか、"東京ドームでライヴをやりたい"とか言ってきたけど、たとえ一部にでも"もう諦めてるんじゃないの？"って思われてるとしたら、それはイヤなのね。でも、自分がいつでもギリギリにいれば、もっとポジティヴな可能性を感じてもらえるだろうし」

—ロックバンドでさいたまスーパーアリーナに立つなんてなかなかできることじゃないですけど、そこが頂ではなくて、まだまだ上を目指しているということを明示したいと。

「そう。自分的にも、ヴィジュアルのシーンの中では、来るところまでは来たと思うのね。でも、そこからもうひとつ上がるまでが果てしなく遠いなっていうことを、今すごく感じてるから」

—目指すべき場所に近づくほど、そこへ向かう道程はたやすいものではないですか。

「見えてはいるけど、どうしたらいいかわからないからね、正直。もっと歌がウマくなるっていうのはもちろんだけど、メンバーも事務所もレコード会社も含めて、みんながみんな、やれることは精一杯やってると思うし。あとは…タイミングとか運もあるのかもしれないし。10周年迎えたぐらいから、そういうことをずっと考えちゃってるかな」

—せっかく実り多い10年を過ごしたわけですから、この先もより良い形で続けていくためには、そういうシビアな問題も避けて通れないんですね。

「うん。俺は17歳からバンドを始めたけど、当時の俺の人生設計では、今の俺の歳で東京ドームは2、3回やってるはずだからね。だから、もっと頑張らないといけないなって。あとは、最近、もうひとつのルートも思い浮かんで」

—カーナビみたいに別ルートが出てきましたか（笑）。

「そうそう（笑）。たとえば今のバンドのカッコよさのレベルをどんどん上げていって、ファンも今の規模ぐらいついてきてくれて、セールスもあってっていう状況があと10年続けられることができれば、その間でまだチャンスはあるんじゃないかなって。ムリに売れようとかじゃなくて、そういう堅実なスタイルもカッコイイかなって思ったりもするんだよね。ドカンと売れて、惜しまれつつ解散するっていうのもアリだろうけど、俺はそういうのはイヤだからさ。それに、そういうチャンスは怖いでしょ？ チャンスはピンチだからね、はははは！」

—チャンスを活かしてステップアップできるか、活かせず下降するか…そこは紙一重です、確かに。

「だから、チャンスをちゃんとつかんで次のステップに進めるバンドになりたいなって。チャンスをチャンスに変えられるようなね。パチンコで言ったら、確変が止まんないみたいな（笑）」

—青少年読者には解らないかもですが、球が出てしょうがないみたいな感じですね（笑）。

「そうそうそう。球が止まらないぐらいにまでなったら、ホントに万人が認めるカッコイイ存在になったんだなって思うだろうし。今も自分ではカッコイイと思ってるけど、確変しないっていうことは…カッコよさが足りないんだろうなって。あとね、これはパチンコで学んだんだけど…リスクを背負わないとダメなんだよね。それこそダイエットとか、彼女作らないとか、俺にとってはリスクだから」

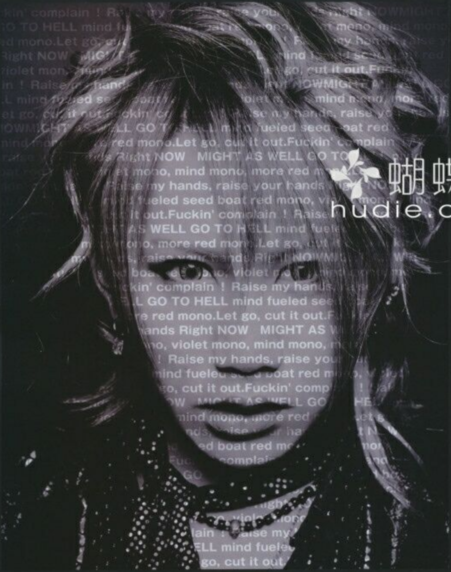
—何かを得るには、何かを失わなければいけないと。

「ホントね、それは実感してる。リスクは絶対に背負うべきっていうのを学べたから…パチンコには感謝だよね、はは。」

—そうやってリスクを背負いつつ、フロントマンとしての責任も背負いつつのYOMIさんですが…今、楽しいですか？

「うん、楽しい。楽しいっていうか、幸せかな。もちろん辛いこともあるけど、好きな歌を歌って、それでお金をもらって、ガンプラ作って、パチンコして…好きに生きてるからさ。だからね、みんな自分の好きなことを仕事にしたほうがいいと思う。俺もなんなら、ガンプラ制作代行業とパチプロと、三足のわらじ履きたいぐらいだもん（笑）。でも、自分の好きなことでこそ力を発揮できるからね。俺はすごく幸せですよ」

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

柩

――2010年に入って、改めて何か思うところなどありました？

「まだ決めてないけど…ぼんやりと思ってることはあって。10年やってきたし、もっとナチュラルな部分を出していってもいいのかなって。といっても、路線変更じゃないですけどね。今までもナチュラルなときっていうのはちょこちょこあったけど、メイクしたり、ステージに立ってるときに人間っぽくなければ、もうちょっと人間っぽさを見せる機会が多くてもいいというか」

――確か2年前ぐらいだったか、"今はナチュラルな自分を見せることに抵抗がある"と言っていましたけど…。

「そうそう。当時は、とにかく素顔を見せるのがイヤだったから」

――私にとっては、むしろその感覚が不思議でもあって。面と向かって言うのもなんですけど、柩さんは整った顔してるじゃないですか。隠したいような顔ならいざ知らず、一体何がイヤなんだろうと思ってましたよ、当時から。

「ないないないっ。俺、親大好きだし、こんなこと言うと悲しむかもしれないけど、自分の顔が昔から好きじゃなくて。それにそういうコンプレックスを自分の中で解決したわけじゃないけど、今後の自分のためにチャレンジしたほうがいいのかなって思ってのことだから。たとえば自分がおじいちゃんになって振り返ったときに、どっちのほうがいいかって考えたのね。ずっと素をひた隠しにしていった自分と、2つの面をちゃんと出せた自分と。結果、2つの面をちゃんと出せる自分でいたいなって思って。じゃなきゃ、もともとインタビューでこんなにしゃべらないしね（笑）」

――確かに、キャラを作り上げてそれを貫くなら、インタビューで無言とかもあり得ます（笑）。

「でしょ？　でも、俺が進みたいのはその方向じゃないなって」

――そう思うようになったきっかけというのは、あるんですか？

「きっかけとは違うかもしれないけど…ファンから"メイクしてるのも好きだけど、スッピン好きです"とか"ナチュラルな柩さんももっと見たいです"っていう手紙を結構もらってて。期待に応えるだけが自分の在り方ではないけど、そこまで言ってくれるんだったら挑戦してみようかなって。ステージ上でも写真でも、今まではメイクに助けられてた部分もあるから。ただ、まだ無理だけどね。まっさらな顔で"どうも！"、みたいなのは（笑）」

――しかしその意識変化、なかなか一大事じゃないですか？

「うん。すごく勇気が要ることだし。でもね、長いこと"絶対メイク！"って言い続けてきて、そのせいでメンバーに迷惑をかけたこともあって。当時、カラコンを使っちゃいけない媒体さんがあって、それだと俺がメイクできないからって、みんなが私服でナチュラルな感じでいくことになって。俺がコンタクトなしでも衣装でいけたらみんなも衣装でいけたのにって、ちょっと責任感じたから。とは言っても、今もちゃんとメイクして載ってる雑誌は自分でも見るけど、ナチュラルで映ってる自分は映像でも写真でも見たいと思わないんだけどね。写真チェックも、メイクしてるときは自分で選ぶ時もあるけど、ナチュラルなときは自分ではどれ選んでいいかわかんないから、事務所の人に任せるし。でも、これからはいろんな自分に対してのジャッジもできないとダメだなって思ってるけど」

――普段写メ撮ったり、プリクラ撮るときは素顔でも抵抗ないんですか？

「あぁ…たまにサングラスするし、カメラで撮る瞬間は目を逸らしちゃうかも（笑）。やっぱり、どこかに抵抗があるんだろうね」

――ちなみに、柩さんにとっての憧れの顔ってあるんですか？

「カッコイイなと思う人はいっぱいいるけど…いろんなカッコよさがあるから。HYDEさんなんてホント整ってるし。俺、HYDEさんと一緒に食事させてもらったときに、HYDEさんに"ホントカッコイイですよね"って言ったのね。そうしたら同席した人に"HYDEさんに面と向かってカッコイイって言った人、柩さんが初めてですよ"って言われて（笑）。あとは…HAKUEIさんもすごいカッコイイなと思う。スタイルもめちゃくちゃいいし。あと、中村獅童さんとかも好きだし」

――系統は違えど、確かに男前ですもんね。

「でしょ？　あと、オダギリジョーさんとか…映画の『20世紀少年』に出演したときも、唐沢寿明さんがすごいカッコイイと思ったし。ただ、誰かをカッコイイなと思っても、自分は絶対そうなれないし、羨ましいっていう感覚はない。髪型とか眉毛とか服装とか…どんなにマネしても、その人にはなれないからね」

――模倣より、柩としてのオリジナリティを追求していきたいというところですよね。

「そうそう。で、俺はメイクしてたとしても素顔だとしても、別にカッコイイって思われなくてもいいんだよね。咲人なんかは美少年系だけど、自分はそういう系じゃないし。俺は…なんか変わってるみたいな、そういう感じでいたい」

――ライヴでのMCでは、柩さんに対して"カワイイ！"という声が上がることも多いですが、そう言われることに対してはどう思います？

「でも俺、ライヴでもいつもと変わんないでしゃべってるからね。たぶん、ステージに立つと見え方が変わるんだろうね。シドの明希も、なんか、ステージでクールに見えるでしょ？　でも、普段は全っ然違うからね。これ、書いていいけど（笑）。あのゾジーさんでさえ、普段あんなにバカなのに、ライヴだとついていきたくなるように見えるしさ。そういう意味では、俺は珍獣みたいに見えてるのかなとは思う。ま、カワイイと思ってやってはいないけど…学生時代、俺はhideさんを見てカッコイイって思ってたけど、女の子たちはみんなカワイイって言ってたのに近いのかもね」

――カワイイと言われても、イヤではないですか？

「イヤでもないけど、好きでもないって感じかな。『エイリアン』っていう映画あるでしょ？　俺はあのエイリアンがカワイイと思うけど、みんなにはあんまり通じないしさ（笑）。人それぞれの感性に任せるって感じ。ライヴの楽しみ方にしても、好きにしてほしいし。暴れたい人は暴れればいいし、暴れたくない人は視覚と聴覚で楽しんでくれればいいし。どういう形であれ、とにかく楽しんでくれればそれでいいんだよね。…だいぶ話は逸れたけど、俺的にはこれから、殻を破っていきたいなとは思ってるかな」

――破ってみれば、自身の新しい可能性に出会えるはずですしね。

「ね。ただ、ファンからは賛否両論あると思うけど。メイクしなかったらしなかったでしてほしいっていう人もいるだろうし、メイクが濃かったら濃かったで薄いほうが好きな人もいるだろうし」

――でも、どうであれ柩さん自身に迷いがなければ、自然と受け入れられていくのかなとは思います。

「そうだといいんだけどね。あとはね、ちゃんと寝られるようにしたい、今年は。俺、寝付きがすごく悪くて。今日起きたの、昨日の17時だよ？」

――それからずっと起きてるんですか!?

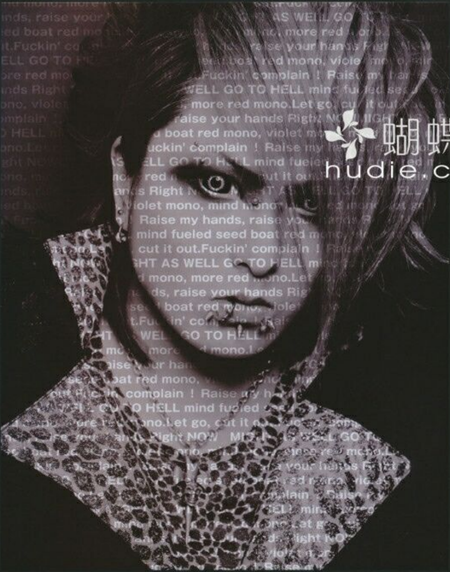
「うん、だって眠れないんだもん。だからね、ゾジーとかNi～yaとか、すぐ寝られる人が羨ましい。昨日も、朝の5時くらいに寝て、10時くらいに1回起きちゃって。でも絶対睡眠足りないと思って、15時にもう1回寝たんだけど…17時には起きちゃって、そこから起きっぱなしだから。それでも寝ないといけないと思って、4時から9時の間はベッドに入ってたんだけど、眠れなくて」

――なんか…寿命を縮めそうで心配です。

「そうだよね。でも、もともとショートスリーパーだから、7、8時間も寝たら逆に体がだるいからね。自分にちょうどいいのが5、6時間の睡眠だから、それが毎日続くように、今年はちゃんと生活リズムを整えないとなって。寿命縮まらないように気をつけますっ（笑）」

蝴蝶网 hudie.com

爱杂志 www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

咲人

――以前、"2010年は壊れる年にしたい"と言っていた咲人さんですが…改めて、その意図を訊かせてもらえますか？

「文字通りの意味とは、ちょっと違ってて。表現の仕方を変えたら、脱皮とかそういうことになるかな。10年間ナイトメアで曲を作ってきた中で、曲を作るためのある種のフォーマット的な価値観が、自分の中でできあがっている節があって。無意識に作ってると"このメロディどこかで使ったかも"っていうことがあるし、たとえばギターソロにしても、どうしても手クセでフレーズを作っちゃったり…音楽以外のことで言ったら、生活習慣もそうだしね。そういう今までの概念的なものを壊して、もう1回作りたいなっていうか」

――しかし、音楽にしろ生活にしろ、すべては地続きのことですからね。染みついた概念を払拭するというのは、なかなか簡単なことではないし、勇気も要りますよね。

「うん、難しい。でも難しいからこそ、そこに挑まなきゃいけないし。ある意味、10周年っていう区切りのいい年ではあるから、見つめ直したいなとも思って」

――加えて、これからさらにバンドが昇っていこうとする上で、ある種の危機感もあったり？

「ある。っていうか、危機感は常に持ってるから。それこそ、来年には田舎に帰らないといけないようになるかもしれないし。[illegible]別にアーティスト気取りをするわけではないけど、それでもアーティ[illegible]音楽を使わせてもらうなら、アーティストとして、常にそういう危機感を持っていないとダメだなって。俺は、何年も前に、事務所の社長とみんなでミーティングをしてるとき、"このバンドを10年続くバンドにしたい"って社長が言ってて。じゃあ10年経った今、ここから何ができるかって考えたときに、今まで何とかやってこられたことにあぐらをかくんじゃなくて、常に変えていかないと自分自信もつまんなくなっちゃうし。何につけても、惰性でこなすのがある意味一番ラクだし、変化するのは勇気が要るし怖いことだけど、それを今やっておかないと、ホント惰性になっちゃうような気がするんだよね」

――変化するリスクよりも、そのほうがもっと怖いですよね。

「それでもいいやって思えたとしたら、完全に俺終わってるなって思うし。俺を音楽と出会わせてくれて、今こうして音楽を仕事としてやっていけるように仕向けてくれた音楽の神様に対しても、失礼だし。音楽をやれていることが運命だとしたら、それに恥じないようにありたいなって。前世とかをすごく信じているわけではないけど、過去に俺が良いことをして今があるんだとしたら、現世でもちゃんとしたいから」

――良いことの連鎖で輪廻していけたら、それが一番です。

「うん。もちろん、俺がそうやって音楽をできるのは周りの人の協力があってこそだし、自分が最善を尽くすことが、そういう人たちへの恩返しにもなるし。何より、自分に嘘をつきたくないし、自分を騙したくないし、どんなに辛くても、最終的にやって良かったなって思えるほうが絶対に良い。ホント、音楽抜きで考えたら完全にダメ人間だけど、音楽だけは自分の武器だと思ってるし。そこに対しては、真剣に向き合いたいとはいつも思ってるし、最近ますます強く思ってる」

――その想いは、咲人さんをどんな行動に向かわせています？

「地味な話になるけど…ギター初心者みたいに、毎日音楽に触れるっていうのは大前提にしてる。それ以外のことで言うと、根本の生活習慣ってやっぱり大事だと思うから、毎日1食は自分でご飯を作るようにしてる。俺、すごく好きなアーティストさんがいて、去年の秋ぐらいに呑む機会があって。そのときに、"素材があって、それをどう組み立てて、最終的にどういうものにするかっていうプロセスが、音楽と料理は似てると思う"っていう話をしてもらって以来、何となく料理をするようになって。なんか、目からウロコが落ちた気分だった」

――確かに、料理もセンス次第ですしね。ちなみに、それまで、あまり料理はしなかったですか。

「したことはあったけど…気紛れでたまに米を炊くぐらい（笑）」

――でも、そうやって習慣づけてみると、料理って楽しくないですか？

「うん、楽しい。で、ちょっとずつウマくなっていくのがまた楽しくて。今まで普通のチャーハンしか作ったことがなかったけど、今度はキムチチャーハンを作ってみようとか」

――徐々にアレンジの幅も広がってきましたか。

「そうそう。普通、チャーハンのレシピで言うと卵とハムとネギとかが王道だけど、別に舞茸を入れてもいいよなとか。最終的に美味しければ何入れてもいいっていうところも、音楽と似てるよなって。だから、前は買い物っていったら服買いに行くかCD買いに行くかしかなかったけど、最近はスーパーしか行ってないからね（笑）。しかも、ちゃんとエコバッグ持って（笑）」

――でも、買い物にしろ料理にしろ、結構、頭を使いますからね。あなどれません。

「そうそう。考えるからね。なんかチャーハンの話ばっかりになっちゃうけど（笑）、ベーコンエッグをよく作るから、ボーっとしてるとそのクセで、卵溶かないでポコってフライパンに入れちゃったりするしね。ちゃんと考えないとダメだなって、ホント思う。あと、今まではツアーの前に運動してたけど、日常的に筋トレするようにしてるし」

――良いことは、習慣づけるとさらに良い効果をもたらしますからね。

「それはね、ホント実感してる。精神的にもラクっていうか…前ほど病むことはないというか。自分を保っていられる。今も制作期間だけど、そういうとき、前まではホントにボロボロになってたのね。でも、今は心が平穏な状態だから」

――ということは、かなり順調に歩めていると。

「そこは…順調と思いたいけど。いや、いろいろと順調ではないな（苦笑）。全部が順調なんて、滅多にないから」

――そういう今の課題は、何でしょう。

「まぁ…自分たちの力でどうにもならないこともあるから。今、自分ができることをするしかないかなって」

――自分の中の既成概念を壊して、曲やギターで新しい表現を生み出すことに関しては、自分の理想には近づけています？

「基本的に三日坊主の気質ではあるけど、今までの自分とは違うなとは思う。最終的な目標を考えたら程遠いけどね」

――どんなことも、継続させることって難しいですけど…継続できる秘訣ってなんでしょうね。

「それこそ、危機感じゃないかな。あとは、最終的に自分がどうなりたいかっていうヴィジョンがおぼろげにでも見えてれば、違うと思う。たとえばギターにしても、何となく始めるのと、"この曲を弾きたい"って思って始めるのでは全然違うから。何事もどうなりたいか、そこが見えてるか見えていないかでは、天と地ほどの差があると思う。ただ"幸せになりたい"っていうより、"お金持ちになりたい"とか"結婚したい"っていうほうがそこに辿りつく道順も見えやすいし」

――確かに、"幸せになりたい"って言ってるうちは、たいがい幸せになれないもんです。

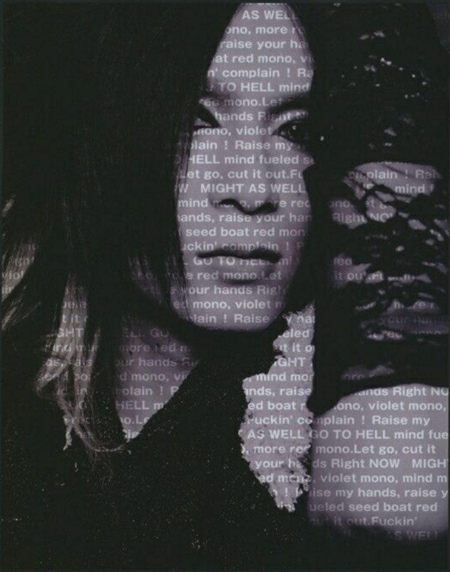
「そうそう。何が自分にとっての幸せなのかを考えるところから始めないといけないからね。ま、簡単なようで難しいことなんだけど」

――そういう意味では、咲人さんは前方が視界よく見えているし、心身共に健康な状態なのであれば、これまでの自分史の中でも、かなりコンディションは良いんじゃないですか？

「だと思う。今までの自分とは違う自分を生きてるというか…そういう風にできてるのは、俺にとっては大きいことだから。地味なことでもいいから、何かひとつ変えてそれを続けられれば、他のことにも良い影響があるからね。歳を重ねていったときに迷わないように、若いと言われる時期にやれるだけのことをやって、ちゃんとした土台を作っておきたいし。良い歳の取り方をするために今何をするか、そこが何となくでも見えてるから。今は良いテンションで歩けてる気はするよ」

蝴蝶网 hudie.com

爱杂志 www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

Ni~ya

—2010年、Ni~yaさん的に、どういう年にしたいと考えていますか？

「ナイトメア結成10周年だからね…でも、だからって特別な何かをしようとは思ってないかな。何かに挑戦したり、新しいことをやりたいっていう願望はいつもあるから、今年もそれを続けていくし。とりあえず、今は制作期間だから、良い物を作ろうっていうことしか考えてない」

—まずは、目先の音源制作だったりライヴだったりに全力で取り組んでいくことが、確かな未来へとつながるわけですもんね。

「そうそう。だから、半年先のことを考えるよりは、今を一生懸命生きてますよ」

—そういう今、心身共にコンディションは良いですか。

「うん、めちゃめちゃ良い。俺、冬から春にかけてのこの時期が一番好きで」

—春に向かう期待感が満ちてくるからですかね。

「そうかもね。春って、すごく楽しくなるというか。いろんな人と新しく出会う季節だし。小学校のときとか、進級してクラス替わるのがすごく楽しみだったもん。そういう感覚がいまだにあるのかな」

—ということは、今は何にでも前向きに向かえていそうですね。

「そうそう。やっぱり、仕事でもプライベートでも、良い影響はあると思う」

—去年の後半だったか、すごくお疲れなときがありましたから…浮上できてホントに良かったです。

「あのときは、スゲェ疲れてた時期で…。なんであそこまで落ちてたか、今となっては自分でもわからないぐらいなんだけど…だいぶヘバってたな（苦笑）。また、そういう自分がイヤだったしね。あんまりそうなるタチじゃないんだけど」

—それだけに、余計ダメージが大きかったんでしょうけど…。そこから立ち直れたのは、何かきっかけがあったんですか？

「気が付いたら浮上できた部分もあるし、"今のままじゃダメだ、もっとポジティヴに考えよう。"って、意図的に自分を持っていったところもあって。周りがどうあれさ、結局自分の問題だからね」

—そして、そういう山を乗り越えることで、精神的に逞しくなれたりもしますよね。

「まぁ…強くなってたらいいんだけどね。人生、山あり谷ありだと思ってるんで、これからもいろいろあるとは思うけど…その度に、ちゃんと向き合って越えていきたいとは思う」

—制作期間の中で、自身で曲を書くこともしていますか？

「うん、ちょくちょく書いてますよ。何らかの形で、今年中にまた俺の曲を聴いてもらえるとは思う」

—そうやって曲を書いていくと、新たに知れることや見つけることがあったり？

「あるある。俺、曲を作るときってギターで作るんだけど、ギターのリフとかフレーズをある程度固めて、それから他のパートを構築していくのね。そうすると、ギターってこんなに面白い楽器なんだっていうことを知れるんだよね。これまでも、たまには家でギターを弾いてたけど、いろいろ勉強して自分なりに知識と技術を身に付けてやっていくうちに、面白くなってきて。ゼロからのスタートに近いし、全部が新鮮で楽しいんだよね」

—なんとギターにも開眼しちゃいましたか。

「そうかも。素人目には見た目似たような楽器なのかもしれないけど、ギターにはギターで、ベースとは違う面白さがあるからね」

—そうすると、そういうNi~yaさんとギタリスト2人がお互い影響し合える部分もあるでしょうし。

「そのへんはね、ギタリストの弾くギタープレイとベーシストの弾くギタープレイってまったく違うし、俺の考えたものを基にギター陣が良い形で作ってくれるから。それはギターに限らず、ドラムもそうだし、鍵盤もそうだし。勉強になるし、音楽って面白いなってあらためて思う」

—10年同じバンドをやってきて、今もそう思えるというのは嬉しいことですよね。

「そうだね。ホントね、前向きにいかないと何事もウマくいかないから。特に俺の場合は（苦笑）。何かに失敗して畜生と思っても、次は頑張ろうって言い聞かせないと、クリアできないし。次に進めないからね。それをつくづく実感しているところでもある」

—というNi~yaさんですが、今、1人の男子として何か挑戦したいと思っていることはありますか？

「あぁ…今、オリンピックやってるじゃないですか（↑2月下旬時点）。俺、結構テレビで観てるんですよ」

—最初そこまで興味がなくても、始まるとつい観ちゃいますね。

「そうそう。で、俺、スキーはできるんだけど、スノボができなくて」

—どちらも未経験者なんですが…そんなに違うんですかね。

「全っ然違う。板に対してタテに向かうかヨコに向かうかなんだけど、ヨコに向かうのができなくて。だからスノボやりたいなと思うんだけど…国母さんの滑ってる姿を観て、"カッコイイ！"って思ってさ」

—国母さんと言えば素行に関して妙に注目を浴びちゃいましたが、純粋にあの滑りはすごいですよね。

「そうなんだよね。俺も最初、問題になった記者会見で彼を知ったんだけど、"この人面白ぇな。"と思って。そういう異端児的な人が好きだし、特にスポーツ界であんまりいないから注目してて。で、いざ滑ったらめちゃめちゃウマいし、カッコイイし。すっかり影響されちゃって、スノボやってみたいなって思ったんだよね」

—でも…残念ながらもう冬も終わりですからね。狙い目は次の冬ですか。

「行けたらいいんだけどね。俺の友達でも毎年行ってたりするし、地元の近くにスキー場もあるし。ただ、ケガしたら怖いなとは思う」

—特に、楽器陣は手とか腕にはケガできませんよね。

「でしょ？ サッカーでもバスケでも何でもいいけど、ケガは一番怖くて。でも俺、スポーツやるとすぐケガするからさ、万が一ケガして、ちょっとの間ベース弾けないなんてことになったら周りに迷惑かけるからね。そう考えると…何やろうかな」

—それこそ家でゲームぐらいしかないかも（笑）。

「そうそう。でもね、最近、時間を大切にするようになったんだよね」

—というのは、何かきっかけがあって？

「とある先輩が、"時間の無駄だから、俺はテレビを観ないんだよ。"って言ってて。俺、超テレビっ子だし、ニュースとかで世の中の動きを知っておかなきゃっていつも思うんだけど、その人は、"ニュースの8割は、事件とか事故とかネガティヴな情報でしょ？ でも俺たちはミュージシャンで、みんなに夢を与えないといけないわけだから、そんなネガティヴな情報を浴びてたら良いものは作れないよ。"って。言われてみれば、確かにそうだなって思ったんだよね」

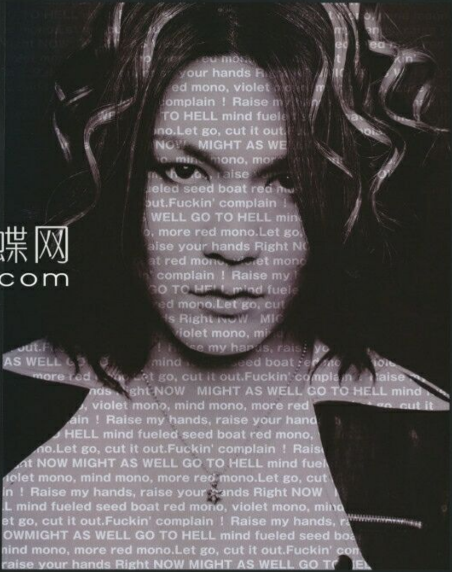
—ミュージシャンとして、クリエイターとしてどう向かうべきか…目からウロコでしたか。

「うん。昔はそんなこと考えもしなかったけど、年を追うごとに、"このままの自分じゃいけないな。"っていうか…何か自分を変えていきたいっていう気持ちが芽生えてきて。そういうときにその先輩に出会って、音楽の話もそうだし、いろんな話をしてもらって。スゲェ勉強になったんだよね。"この人はこういう考え方をできるから、あんな良い曲が書けるんだ。"って」

—その先輩、読者のみなさんも察しはつくでしょうけど、直に接してみればものすごく説得力があったし、良い意味で影響されているんですね。

「ホントそうだね。丸いヤツはカッコよくないし、色気もないし…そういう人をオーディエンスが観てても惹かれないからね。刺激のある生活を送ってる人間、努力してる人間こそが、ステージで絶対的な輝きとかオーラを放てるんだよなって。俺も、ステージに立ったらカッコイイって思われたいし。だから、無駄な時間は極力なくして、仕事するときはとことん打ち込んで、遊ぶときはとことん遊んで。今までに増して、カッコイイと思われる努力をしますよ」

爱杂志
www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

RUKA

—2010年はナイトメアにとって10周年というアニバーサリーイヤーでもありますけど、この先を見据えたときに、どんなことを思います?

「特にないっ(笑)。まぁさ、不安は挙げたらキリがないよね。それはこの仕事だけじゃないだろうけど。でも、考えてもしょうがないからね。俺は考えないようにしてる」

—RUKAとしてではなくても、1人の男子として、こうありたいと思う像はないですか。たとえば5年後、10年後にこうなっていたい、という理想像というか。

「どうだろう…もともとそういうのないからな。あるとしたら…モテたいよね」

—…まるで中学生のようなセリフですけど、RUKAさんでもそんなかわいらしいことを思うんですね(笑)。

「全然思うね。これは一生のテーマだから。むしろ、それだけは譲れねぇからな」

—RUKAさんが女子に求めるハードルって高いんですか? たとえば性格とか、見た目とかに関して。

「簡単だよ、かわいければいい」

—これは男女共通しますけど、見た目素晴らしくても中身的に重大な欠陥がある場合もあるじゃないですか。

「でもさ、性格って関係なくない?」

—友達でも恋人でも、付き合いを続けていくには関係あるかと…。

「そうかなぁ。俺、異性に関しては関係ない気がするんだけど。たとえば相手が口うるさいとしてさ、"うるせぇ"ってすげぇ怒って、それでも向こうがこっちを好きだったら、そこは直すだろうし。やっぱり合わなかったら、離れるだけでしょ」

—じゃあ、"この子の優しさに癒される"とかからは始まらないんですね。

「絶対始まらないね。わかりやすいだろ?」

—非常に(笑)。で、今はご希望通りモテてるんですか?

「どうだろうな…今、家から出ないからな。だからさ、年中モテたいって思ってるだけで終わってるんだよね。」

—思ってるだけで満足してる自分もいたりして?

「そうかもね。モテたいけど、行動するのは面倒くさいしさ」

—本気で思ってる人は、もっと行動力があるんでしょうね。

「まぁな。だから…面倒くさいって思うってことは、どうでもいいんだろうな。モテたいと金欲しいが、すでに口グセになってるだけだよね(笑)。ま、どっちもあって困るものじゃないからさ」

—じゃあ、今一番、RUKAさんにとって大事なものは何ですか?

「虎王ちゃんだな。絆深まってるからね。何がっていうのはわかんないけど、絶対深まってる(笑)。でもさ、すごい平和だからね。何もしないで、虎王ちゃんとずっと家にいるのがいい。俺さ、子供のころから、四畳半みたいな部屋が心の中にあるんだと思う。そこにずっと入ってるんだろうな、1人のときは」

—とりようによっては自閉的ですけど。

「そうだと思うよ、実際。本性見せないしね」

—誰にだったら、どういうときだったら、本当のRUKAさんを見せるんでしょうね。

「見せないね。だから、本当の俺は俺しか知らないと思うよ。それは、絶対表に出したくないし」

—RUKAさんならではの曲、詞が生まれる秘密は、その部屋にありそうですね。

「そうだと思うぞ。ところでさ、最近バップから『20世紀少年』のDVDもらって全部観たんだけどさ、いいね」

—私もシリーズ全制覇はしていないですけど、出演者が軒並みはまり役ですもんね。

「そうそう。配役がイメージとピッタリだからね。全部映画館で観たんだけど、1回じゃわかんないこともあったからさ。観直したらもっと面白い。あとさ、やっぱ『金八先生』は泣くよね。自分の中で、中学生時代っていうのが特別だからなんだろうけど。『ごくせん』とかも好きなのは、自分が高校を出られなかったっていうコンプレックスが、ずっとあるんだと思う」

—だからこその懐かしさや憧れ、羨ましさがあるんでしょうね。

「そうそう。完全にあるね。中学時代は一番楽しかったしさ。高校に行ってれば、もっと楽しいこともあったかもしれないからね」

—でも、これは決して悪い意味ではなく、ナイトメアは学生時代を彷彿させるような仲の良さがありますよね。

「うん、近いだろうね、かなり。見てて下らないでしょ?(笑)。いまだにそうっていうのが、良いことかどうかはわからないけどな」

—さて、そんなナイトメアでの作詞・作曲に関しては、どんな状態ですか。

「そこは触れないでほしいよね。もうさ、何もないんだよ。枯れた」

—先日、"作曲のスランプは脱した"と訊いた気がするんですけど…。

「それがさ、脱した気になってただけだった。さらに、今は歌詞もスランプだからね」

—今、書きたいと思うことや想いはないということですかね。

「そう、ホントないんだよ。あったら教えてくれって感じだもん(笑)。作りたいものとか書きたいものがないときは、どうやってもできないね」

—じゃあ、記憶の扉を片端から開けていくしかないですか。

「それももう、開け尽くしたからね」

—という状況を打開する、RUKAさんなりの策は?

「何もしない。これに限るんだよ。そりゃさ、考えたよ。でもわかんないんだもん。スランプのときどうすればいいか、むしろショックスでお便り募集してほしいぐらいだね(笑)。自分でさ、本読んだり映画観たりしてみたけど、寝ちゃうんだもん。だから、今本を読んだり映画を観たりしても、それを出すまでに時間がないとダメなんだと思うよ」

—となると、もっと即効性のある刺激がいいわけですけど…もっと外に出て、人と触れ合うとか。

「それはイヤなんだよね。だってさ、人と話すのって疲れない? もちろん、今まで自然に仲良くなった人と話すのは苦じゃないんだけど、新しく仲良くなろうとすることがストレスなんだよな。でも、確かに新しさがないとなかなか刺激がないしね。だから…八方塞なんだよ。ま、無理しても良いものはできないし、今年いっぱい使ってじっくり脱出するしかないよね」

—にしても、バンドとしてはここからさらに高いところを目指そうというタイミングに、どうしてかスランプがぶつかってしまったわけですね。

「そうそう、そこは悩ましいよね。いろんなことに感動はできるけど、関心が持てないからさ」

—じゃあ、その感動できることを種に花を咲かせてみるとか。

「でもさ、『金八先生』を歌詞に書こうとは思わないし。っていうか、そんな簡単に言葉にしちゃいけないだろっ。ま、波があるからね。いつもスランプになったらだいたいこんな感じなんだよ、俺は」

—でも、ナイトメアの場合は幸い、作曲者、作詞者が複数名いるので、誰かがスランプでも船が沈むことはないですからね。

「ただ、それに余計にケツを叩かれる感があるんだよ。精神的に追い詰められるからね。イメージは、分厚い辞書でブン殴られてる感じ(笑)。ただ…いつもさ、下らない駄作でも、書いてるうちに収まってはくるんだよ。ま、パチンコみたいなもんだよね。出なくてもずっと球を回し続けてれば、いつかは大当たりがくるみたいなさ」

—妙にわかりやすい例えです(笑)。

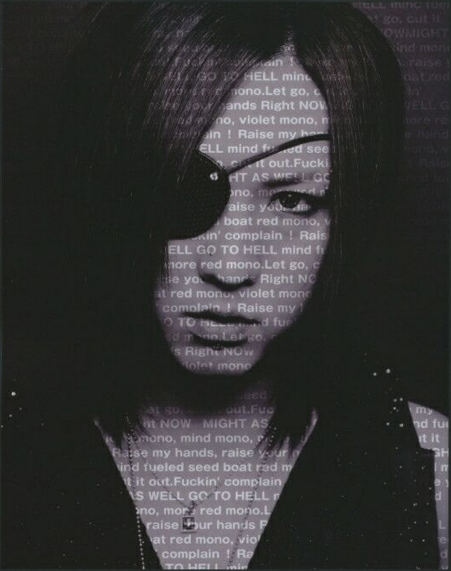
「だろ? でもさ、ホントに大事なのは来年じゃない? 10周年終わりました、じゃあ来年どうするか、ってなったときがさ。最初にも言ったけど、そっちのほうが不安かな、俺は。アニバーサリーイヤー明けっていうのは、経験したことがないからさ」

—確かに、手放しで祝う祭りの後こそ、真価が問われるのかもしれませんね。

「そうそう。それは俺も思う。来年こそ、ホントに勝負の年になるのかなって。だから…なんだかんだ言いつつ頑張るよ。いや、マジで(笑)」

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

Nightmare

Soug of my memory

――今回は、ナイトメア10年の歴史の中でも、それぞれの"この1曲"を挙げていただきたいなと。

RUKA：俺は「サバト」。何しろ、俺が入って初のレコーディングだったからね。で、レコーディングスタジオじゃなくて、咲人の通ってる専門学校で録ったんだよ。

柩：そうそう。で、俺らにとっても初のレコーディングでさ。

Ni~ya：それまで宅録してたからね。

YOMI：1人あたりの時間がきっちり決まってたから、"やべぇ、早く録んなきゃ"って思ったの憶えてる（笑）。

Ni~ya：また学校だからさ、始まるのがスゲェ朝早くて。

咲人：しかもエンジニアが生徒で（笑）。

RUKA：でも、「サバト」はメジャー発表のブリッツでも無料配布したし、なにげに節目節目で重要な曲なんだよね。

咲人："pitiful sight"（↑YOMIが書いた歌詞の一節）ね（笑）。

柩："pitiful sight"ってどういう意味？

YOMI：なんかあるんだろうけど…忘れたっ（笑）。

咲人："pitiful"って"かわいそうな"とか"哀れな"っていう意味でしょ。

YOMI：そうなの？　はははは！

柩：じゃあ"哀れな視界"みたいなこと？

咲人：たぶん（笑）。

――当時のメンバーは、そんなYOMIさんの歌詞に疑問を抱くことはなく？

咲人：うん（笑）。当時は、歌詞のいろはがわかんなかったからね。

柩："ゾジーさん歌詞書けるんだ、スゲェ"みたいな感じだったもん。

RUKA：な？　想い出の曲だろ？

YOMI：でもさ、そんな高校生の作った曲が、10年後もファンに聴かれるとは思わないじゃん。だったら、もっとちゃんと頑張っておけば良かった（笑）。

咲人：ま、あれがゾジーさんの原点だからね。

YOMI：原点であり、底辺であり（笑）。

Ni~ya：この前も、仙台のカウントダウンライヴでやったしね。今は2音下げだけど。

柩：そうしないと、声が出ないからね。

YOMI：出なくはないよぉ。

RUKA：失礼しちゃうよな。

RUKA：安全策を取ってたよ！

柩：なんでかばってんの!?（笑）。

RUKA：あとはね、「vice」。「サバト」と「vice」は、俺の中で対だからな。兄弟っていうか。「vice」もそれこそ10年以上前の曲だけど、今やっても盛り上がるのがすごいなって。ただ、「サバト」はシーンとしてるんだけど（笑）。

柩：「vice」に時代がやっと追い付いてきたんじゃない？（笑）。

咲人：当時はまだ、早すぎた（笑）。

YOMI：俺は「わすれな草」かな。それまではあんまり聴かせる曲がなかったんだけど、実際歌モノを歌ってみたらウマく歌えなくて…。"歌頑張んなきゃ"って思わせてくれた曲だから。

――メンバーの目から見ても、YOMIさんの意識変化は感じ取れました？

柩：それが形になって表われたのは、メジャーデビューしてからだと思うけどね。

RUKA：名古屋のライヴでノドつぶした後だよね。

YOMI：そうそう。ボトムラインで、柩の胸で泣いた（笑）。

柩：初めて声が出なくて怖かったんだろうけどね。

Ni~ya：でも、そう考えるとゾジーはノド強くなった。俺は…「自傷」だな。初のシングルだったし、初の東京レコーディングだったし、ジャイアニズムシリーズの最初でもあるし。でも、レコーディングはキツかった。確かウチの母ちゃんの車に機材積み替えて、RUKAさんと2人で、仙台から夜走りしたよね。

RUKA：そうそう。しかも、Ni~yaは身内の不幸ですぐ仙台に帰ったけど、その帰り道は下道じゃなかったっけ？

Ni~ya：そう！　当時金なくて、確か宇都宮から高速降りて、そこから地元までひたすら下道。死にそうだった（笑）。しかも、そのスタジオがライヴハウスだったんだけど…怖いんだわ。

――…オバケ的な!?

Ni~ya：うん。RUKAさんが怖がるからさ、RUKAさんが録るとき、隣にいなきゃいけなかったからね（笑）。

RUKA：だってさ、ステージで録るんだけど、真っ暗で怖いんだよ。1人だと。だから、Ni~yaに横に座ってもらってた（笑）。あとゴキブリな。

YOMI：あとさ、Ni~yaがシャッターに思いっ切り頭ぶつけて、切ったんだよね。すげぇ流血してさ。

Ni~ya：傷、今でも残ってるからね。

柩：機材運んでてね。すごい音したもん。

咲人：骨が当たった音だよね（笑）。

――いろんな意味で忘れ難いわけですね。

咲人：俺は「トロイメライ」かな。それまでちゃんと歌詞を書いたことがなかったから、いざ書こうと思ったときに結構悩んで。

柩：「トロイメライ」が最初の作詞？

咲人：いや、「ジャイアニズム惨」は書いたけど、あれはジャイアニズムだしノリみたいなものもあって、そこまで考えて書いてはなかったから。でも、「トロイメライ」のときは見かねた上の人が外部の人に発注して、仮歌まで入れてもらったんだけど…ものすごく違和感があって。やっぱり頑張って自分で書こうと思って。

――その転機があってこそ今があると。

咲人：うん。正直、それまでは歌詞に重点を置いてなかったから…"pitiful sight"も許したと思うんだけど（笑）。歌詞に対する意識を変えた「トロイメライ」は、自分の中で印象深い。

柩：俺は「Star[K]night」かな。今までいっぱいいろんなところでライヴをやってきたけど、「Star[K]night」をやるときはちょっと自分が改まる感覚があって。大事なシーンで演奏する曲でもあるしね。

――去年の武道館でも、1曲目に持ってきていましたね、そういえば。

柩：そうそう。あのときも気持ちがシャンとしたけど、いつでも自分をそうさせてくれる曲だから。

――それはファンにとっても同じくかもしれませんね。さて、10周年の今年、"こんなメンバーを見てみたい"という意見を訊いておきたいんですが…まず、どんなRUKAさんを見てみたいですか？

柩：すごく社交的なRUKAさん（笑）。

YOMI：あとね、ライヴのMCのとき、声のトーンを少し上げてほしい（笑）。

咲人：すごい熱血キャラになるとかは？

RUKA：それ一番苦手だわ。（松岡）修造は俺にはムリ。

YOMI：いいじゃん！「修造」っていう曲作ってみたら？　で、"ジャ…

（笑）。

RUKA：まさかだな！（笑）。Ni~yaは…青髪だね。

YOMI：あと…短髪は？

Ni~ya：見てくれだけ?? 他になんかないの!?

YOMI：…昔のNi~yaに戻ってほしい。そうしたら俺、高まっちゃう（笑）。それか、酒呑まないとベース弾けないとかはどう？

柩：そっち!?（笑）。でも、常に酔っぱらってるNi~yaは、見たことないな。

咲人：見るのはいいけど…関わりたくはない（笑）。

YOMI：咲人は、もっと顔でギター弾いてほしい。ヨダレ垂れるぐらいに（笑）。

柩：おはようからお疲れまで、1日ずっと崩壊しててほしい（笑）。

咲人：家帰ったときのヘコみようが尋常じゃなさそう（笑）。

YOMI：柩ぐらい濃くなるとかは？

RUKA：1回、上手と下手がチェンジしてみたらいいじゃん。キャラごとすべて。柩はピアスも全部外してさ。

柩：俺、王子系になるの!?　ムリ！（笑）。

咲人：俺は今からいっぱいピアス開けるんでしょ？　それは荷が重すぎる（笑）。

RUKA：じゃあ柩は…家とかすべて失ってみるとかどう？（笑）。

咲人：ドン底まで落ちて、また這い上がってきたらどうなってるのか見てみたい。「ドラゴンボール」で界王さまのところから帰ってきた孫悟空みたいな（笑）。

柩：覚醒はするよね。…ってさ、急にハードル高くない!?（笑）。

咲人：でも、最近理性が働くよね。それが見てて面白くない。

Ni~ya：2009年はハジけてたのにね。でも、今チャージ中なんでしょ？

YOMI：ウソ!?　今、すごいワクワクしちゃったんだけど（笑）。

柩：そういうゾジーさんは…まともになってほしいとか、そんなとこ？

RUKA：それ切実でイヤだね（笑）。

Ni~ya：それか、より壊れるか（笑）。

咲人：でも俺、生粋のドSだけど、ゾジーさんに怒られてみたい。

YOMI：それには叱るだけのスキルがないとダメだからなぁ…一応頑張っ

TEL:03-3268-7213(受付時間・平日12:00～18:00)　dateotoko@nightmare-web.com

蝴蝶网 hudie.com

爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

THE LEGENDARY SIX NINE

Cruel~狂い咲く花~

Photography : SUSUMU MIYAWAKI / TAKUHIRO SUGANUMA
Interview : YUKA SUGIE
Hair&Make-up : YORIKO MATSUDA / TOMOKO YAMANAKA

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

—HAKUEIさんから見て、普段のRUKAさんはどういう人ですか?

HAKUEI：意外とね、パブリックイメージと普段の姿が、俺の中では変わらないかな。そんなにハジけてドカンと砕けたりとか、そういう感じでもないし(笑)。初めて話したのは某誌での対談で、そのときはもちろん対後輩な感じで臨んだんですけど、最近は先輩後輩っていうのはないですからね。プライベートで話すようになると、俺は年齢っていうのがあんまり気にならなくなるんで

RUKA：なんか聞いてるだけなのに汗が出てくる(笑)。

—また話は続きます(笑)。実際、The LEGENDARY SIX NINEというプロジェクトで共にモノ作りをしてみれば、作曲者であり、作詞者であり、ドラマーであるRUKAさんはどういうアーティストでした?

HAKUEI：これは何に関しても言えると思うけど、作曲者としてすごくオリジナリティがあるというか、自分の世界を曲げることが大っ嫌いな感じはしますね。変に我を通すわけではないけど、たとえばアレンジに関しても、こうしたいっていうのを理路整然と言えるし。作詞に関しても、それは感じるかな。世界観がしっかりしてるなっていうのが今回わかって、その上でナイトメアでの曲を聴くと、改めてなるほどって思ったし。一貫したものがあると思いますよ。

—ドラマーとしては、ナイトメアでは"特にこだわりがない"なんてよく言うんですが…HAKUEIさんの目にはどう映りました?

HAKUEI：うん、ドラマーっぽくないと思った。楽器陣って、職人っぽい人もいれば、楽器とかにこだわらず、曲とかアレンジとか、全体像に興味がある人もいると思うんですけど、彼は明らかに後者ですね。ま、細かくは絶対持ってるんだろうけど、あんまりそういうことが表に出ない人なのかなって。

RUKA：もう…耐えられないんだけど(笑)。

—ここまで照れているRUKAさんは、初めて見ました(笑)。そんなRUKAさんとしては、尊敬する先輩・HAKU

て感じましたか。

RUKA：うん。音源制作だけじゃなくて、撮影とかも含めて言うと…まず背がデカイ。いつもナイトメアだと絶対俺がボコンって出てたんだけど、ピョコンってへっこんじゃってるからさ(笑)。それは最初に会ったときも思ったんだけど、実際隣に立ったりするとすごく感じる。

—身長の大きい小さいの印象って、数値だけじゃなく、その人の持つオーラというか人間の器みたいなものでも左右されるじゃないですか。その意味でも、大きく感じるんでしょうね。

RUKA：それはあるね。HAKUEIさんは、数値以上に大きく見える。でも電話とかでしゃべってると声低いんだけど、実際レコーディングブースで歌ったときに、"あ、PENICILLINだ"って思ってさ。ちょっと感動があったね。

—"ホンモノだ!"みたいな(笑)。そういうレコーディングの現場では、どんな言葉を交わしました?

RUKA：歌に関してはフルでお任せだったからね。

HAKUEI：基本はそうだったかもしれないけど、歌ってると自分で迷うようなところがあって。そういうときに、客観的な意見は言ってもらったような気がする。特に、通常盤に入ってるナイトメアのカヴァーのときは、ヴォーカルアレンジに関して、結構助かったね。元のものを聴いちゃうと、どう変えようかとか、どう自分らしくしようかとか力が入っちゃったりして、そこらへんはカヴァーの難しさでもあり、面白さでもあると思うけど…ウマいこと面白い方向に引っ張ってもらえたディレクションだったと思う。

—今回のように自分がプロジェクトを牽引するときには特に、RUKAさんの作品の全体像を俯瞰で見ることができる力が発揮されるんでしょうね。

HAKUEI：うん、それは思いましたね。じゃなかったら、こういうことしないだろうし。彼の才能は楽曲を聴いてもももちろん感じてたけど、一緒に作業することでより深く肌で感じられたかな。

RUKA：…光栄ですっ(照笑)。

ナイトメア・RUKAのソロ・プロジェクト【The LEGENDARY SIX NINE】の第一弾となる音源「Cruel」が、3月24日に遂にリリースとなる。本誌でも、何度かそのプロジェクトの全貌を、RUKA自身に語って貰って来たが、今回はヴォーカリスト・HAKUEI(PENICILLIN)を迎えて、そのプロジェクトの実態を更に紐解いて行きたいと思う。インタビュー中、終始照れっぱなしだったRUKAですが…。そんなRUKAの様子も、最新のフォトセッションと共にお楽しみ下さい!

めたDVDが付きますが…あのPV、すごいパンチがありますね。

RUKA：なかなか車は出てこないでしょ。しかも、あれ合成だからね。

—…まさか。

HAKUEI：全然見えないでしょ? 俺も驚いたもん。

—HAKUEIさんとTWIGYさんが並ぶとものすごい迫力ですけど、ああいったコラボレーションはHAKUEIさんにとっても初のことですよね。

HAKUEI：うん、歌ってる人と絡むっていうのは、これまでなかったんで。

—しかも、バンド畑の方とはたいぶ違う動きをされますし。

HAKUEI：ね。でも、どうにかなるかなとは思ってたけど(笑)。実際やってみたら、ノビノビとはできたし。TWIGYさんも相当のクセ者だけど…ああいう人、やっぱり好きなんだろうね(笑)。

RUKA：確かに、HAKUEIさんの周りっていつもクセ者だらけですよね(笑)。常人がいない気がする。変にカッコイイ人ばっかだもん。俺は2人が録ってるのを上から観てたんだけど、実際出来上がったらスゲェ迫力あって。やっぱカッコイイなって思ったね。しかも、6人全員強烈だしさ。ヤンキー(←ミサ)がギター弾いてるしね(笑)。

HAKUEI：あれ、完全に飛び道具だよね(笑)。

RUKA：サングラスしてるほうがまだ優しく見えるっていうね(笑)。

—いやホントに、いろいろなバンドやグループがいますが、とにかくインパクト絶大、劇薬な集団でございます。

HAKUEI：どのジャンルの人が観ても、気になるとは思うけどね。

RUKA：うん。弾き方とかも変わってるし。

—となると、3月のイベントライヴでは、一体どんなことになるのかという興味が尽きないわけです。

RUKA：ライヴはライヴメンバーで、またちょっと変わるんだけどね。ベースはNi~yaさんが弾くよ。心の拠り所だからさ(笑)。

HAKUEI：リズム隊はバッチリだよね。

酔っぱらって[illegible]で寝てて[illegible]心だから(笑)。HAKUE[illegible]I~yaが揃ったら、ヘロヘロ[illegible]は目に見えてるからね。

HAKUEI：一緒に呑み[illegible]よなら言ったことがないん[illegible]いに力尽きて終わるってい[illegible]もので(笑)。

—そこには、RUKAさ[illegible]いんですか?

RUKA：いやぁ、ハ[illegible]しょ!(笑)。俺は傍観者でいるよ。[illegible]も6人って普通の編成に比べると多いじゃん。その違和感が欲しくてさ。ライヴも面白いと思うよ。

—何しろ、お互いに予測不能な動きがバンバン飛び出しそうですし。

RUKA：でしょ? それがいいなって。

HAKUEI：そういうラフさがあるほうが、ロックだし、スリリングな気がするしね。"何だこれ!?"って言われるぐらいが面白いなって思う。ライヴでセンターにいるのが自分だけじゃないっていうのは初めてだけど、TWIGYさんはPV以上に面白い動きをしそうだし、それはすごい楽しみ。そうなれば、勝手に自分の体も動くと思うし。その未知なる部分は、期待したいよね。

RUKA：他のバンドなりお客さんなり、ボカーンとされるとは思うけど(笑)。俺はとにかく、大好きな先輩方と一緒にできて、ホント楽しいから。

—という経験が、それぞれの活動に良い形でフィードバックされることを願います。

HAKUEI：あ、それは確実にそうなるでしょうね。俺自身、良い刺激をもらえたし、得たものは大きいですよ。

—ところで…この際、お互いに言っておきたいことはありますか?

RUKA：何、その永遠の別れみたいなフリ(笑)。

HAKUEI：じゃあ…忙しそうなんで、くれぐれも体に気を付けてください(笑)。

RUKA：それはお互いそうだと思う。あと、HAKUEIさんは呑みすぎなんで…プリン体の過剰摂取に気を付けてください、かな(笑)。

(問) http://sics-nine.jp/pc/

愛杂志 www.aizazhi.com

BugLug

超音速でまわるメリーゴーランドって見たことがある?

メリーゴーランドってたいてい小さな女の子や男の子を乗せてゆっくりゆっくりまわっている。
少し大きくなれば乗る事も無いのかな?
でも実はね、この星が、超音速のメリーゴーランドなんだ。

その時速1700km!!

信じられない速さでこの星はまわっている。
でも、ぼくたちは回転していることを知らない。だって、何にも知らなくても問題ないからね。

知らないままにぼくたちはその乗り物の上で、ありのまま[illegible]愉快に生きている。
どっかに飛んでいっちゃうこともなしにね。

hudie.com

この超ハイスピードの星の上にぼくたちがどうして乗っていられるのかって。
物理学ではいろいろと説明しているらしい。
でも、今はそんな事どうだっていい。

ぼくたちがここに立っているのは、ぼくたちの意志で立っている。
キミがキミの意志でそこにいるように。
だから、キミとぼくたちは出会える、そう信じて、歌っている。

Official Site : http://www.buglug.jp/

「この星、メリーゴーランド」

爱杂志
www.aizazhi.com

圭（kannivalism）
×宮脇 渉（12012）
×大佑（大佑と黒の隠者達）
×ジュンノ（boogieman）

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

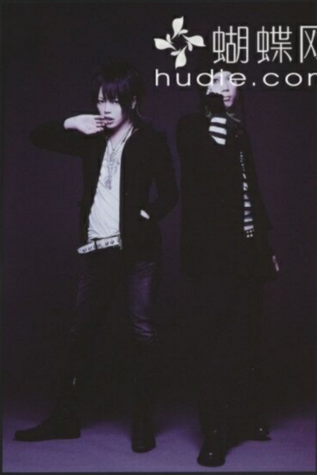
"EXTRA-TERRITORIAL" OUTSIDE BATTLE!!!!!!!!

いつ誰が出てくるか分からない、密度の濃いイベントに

レーベル兼マネージメント・オフィスFWDの系列会社に所属する、kannivalism/12012/大佑と黒の隠者達/boogieman/BugLug/DOG inTheパラレルワールドオーケストラという6組のアーティストが集結するイベント・ツアー"EXTRA-TERRITORIAL"が、東名阪にて開催される。これまで、ありそうでなかった大イベントであり、各バンドがどんなステージを展開するのか楽しみなイベントになるのは間違いない。本誌では、開催に先駆けて、発起人である圭と宮脇、さらに大佑とジュンノにコンタクト、誌上バトルが繰り広げられた！

Photography : SHINJI TANAKA (Luz-p.o.)
Hair & Make-up : HIROKO TSUKADA, HIDEAKI SAKANOI (alphaknot), MASAKAZU AOYAGI (alphaknot)
Styling (大佑) : TOMOMI OHBUCHI
Costume (大佑) : ATELIER BOZ 新宿店 (☎03-3225-6008)
Interview : TAKAYUKI MURAKAMI

爱杂志
www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com

OUTSIDE BATTLE!!!!!!!

――"EXTRA-TERRITOR[illegible]人は、宮脇さんと圭さんなん[illegible]

宮脇：こういうことをやりた[illegible]のは、結構前から思ってて。F[illegible]のアーティストは、イベント[illegible]で出たりしない人たちが揃[illegible]いですか。あまり馴れ合わな[illegible]逆に、そういう者同士で集まった[illegible]白いイベントになるんじゃ[illegible]思ったんです。やってる音楽[illegible]れ違っているけど、根本は一[illegible]いう気がしているし。

圭：宮脇さんと呑んだ時に、その話を聞かされて。僕も、いいんじゃないかなと思いました。"自分たちは、自分たちだ"というバンドが同じ場所に立つのは、すごく意義があることだなと思って。それそれが、自分たちが持っていってやる…くらいの気持ちでライヴをするだろうから。それで、"じゃあ、大佑さんを説得してください"って言って（笑）。

宮脇：そう（笑）。ただ、話をしようと思った時には、もう大佑さんのバンドが活動休止状態になってて（笑）。"とりあえず、出てください"と話をしたら、キョトンとしてましたよね（笑）。

大佑：そうでしたっけ？　でも、すぐに参加することを決めたと思います。私は、ソロ活動を始めているんですけど、ライヴの時は"大佑と黒の隠者達"というバンド形態を採っているので、違和感はないだろうと思います。

ジュンノ：俺は、話を聞いた時から興味があったんだけど、boogiemanは、こだわる人間の集まりなので（笑）。一つのことに対して、ものすごく議論をするんだよ。今回の件も、ああでもない、こうでもない…と議論して。参加することになったから、みんな気持ちに曇りはないんだけど、それぞれ目標や目的は違ってて。楽しませればいいんじゃないかな…というヤツもいるだろうし、これを上手く利用して…っていうヤツもいるだろうし（笑）。まぁ、そういうバンドだよね（笑）。イヤな野郎の集団だよ（笑）。

――そんなこと、ないです（笑）。大佑さんに関しては、今回のツアーでソロ・ライヴに接する人は多いでしょうね。

大佑：そうですね。"完璧なる芸術作品"とも言えるようなステージを見せたいと

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

"EXTRA-TERRITORIAL"

"EXTRA-TERRITORIAL"

ただ、今までやってきた"身体で感じる"というよりも圧倒されるライ[illegible]思います。

圭：大佑さんは、すごく[illegible]昨年末に、セッションで一緒[illegible]に立たせてもらったんですけど[illegible]も、やっぱりスゲェな"と思[illegible]曲目からステージの下に降[illegible]"早いな！"って（笑）。[illegible]ら、思いのほか思いっきり[illegible]（笑）。大佑さんは、いろん[illegible]い（笑）。

宮脇：大佑さんは、"日替[illegible]たいな感じで。日によって[illegible]れば、落ち込んで喋らない時も[illegible]すごく人間味がありますよね。それが、そのままライヴに出てしまうのが、すごくいいと思う。そこはヴォーカルのいちばんの強みというか、弦楽器には出来ないことだから。大佑さんは、その究極の形を持った人なので（笑）、どんなライヴになるのか楽しみにしています。

ジュンノ：いや、大佑は絶対にすごいパフォーマンスをすると思う。普段はプロレスのことしか話さないから、どういう人なのかよく分からないけど（笑）。でも、すごいパフォーマンスを見せてくれるのは間違いない。

大佑：もう、生爪を全部剥いで、客席に投げます。

ジュンノ：絶対やれよ！ 毎回チェックするからな（笑）。

大佑：……。

――初体験ということでは、新生kanniva-ismも同じです。

圭：そうですね。新しいkanniva-ismとして、どこまでやれるのか…というのがあって。自分たちも、そういう可能性を試したいと思っているので、その辺りを思いきりぶつけたいですね。

大佑：kanniva-ismは、とにかく一緒にいると楽しいんです。音楽的には、ポップでいながら、ちょっと変わったアプローチ…変化球みたいなことをやってて。かと思えば、各々がやっていることは直球だったりして。不思議なバンドですよね。そこは今回のツアーでも、大きな観どころになると思います。

ジュンノ：俺は、新生kanniva-ismは、まだ観てなくて。今回のイベ

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

OUTSIDE BATTLE!!!!!!!

ントでライヴを観るのが楽しみだな。

——光也さん（Dr）の人となりも、今回のツアーで分かりそうですね。

圭：光也は、見た目は70年代から抜け出してきた人みたいだし、叩くドラムもパワフルですけど、人間的には“ゆとり世代”というか（笑）。

一同：えっ、そうなんだ？

圭：うん（笑）。おとなしいし、ガツガツしてなくて。だから今回のツアーで、先輩方にイジってもらいたいです（笑）。

一同：よし、イジろう！（笑）

宮脇：kannivalismは、メンバーみんな若いのに、ミュージシャンとしての能力が高いよね。それに、今はメンバー同士の気持ちやテンションが、さらに纏まっているみたいだし。そういうことは、一緒に撮影してても分かるから。今日もたくさん刺激を受けたし、負けたくないと思う。今回のイベントが決定になった時に、“イベントの成功とは、どういうことだろう？”と考えたんですけど、大事なのは、参加するアーティスト同士が刺激を受け合うことだなと思って。それが発展してお客さんに伝わることで、新しい空間が生まれるから。それを実現させるためには、まず12012がしっかりしたライヴをやることが必要だから。今の12012は、メンバーそれぞれのポテンシャルも高まってるし、バンドとしても今までにないくらい纏まっているから、それをそのままぶつけたいと思ってる。

大佑：12012とは、もう長い付き合いで。the studsの時に2マンで一緒にツアーを回ったりもしたんですけど、彼らのライヴは観てて本当に楽しいんです。すごく、真っ直ぐな感じがあって。それが、爆発的な人気に繋がっていくんだろうなと思います。

宮脇：大佑さん、最近の12012は観てくれてないじゃないですか（笑）。

大佑：あっ（笑）、12月のフリー・ライヴに行こうと思っていたんですけど、猫の具合が悪くなってしまいまして。

ジュンノ：boogiemanの最初のワンマンは来たよね。もう、ベロンベロンに酔っぱらって（笑）。

大佑：あの時は、ちょっと外に出たら、

のバス、代官山通るな、と思って、乗ったんです。12012のライヴも楽しみですね。須賀くんの圧倒的な存在感を体感したいなと思っています。

一同：オオッ！

大佑：彼のオーラは強力ですからね。ギター・ケースに、ライフルが入ってるんじゃないかな…という。

圭：いや、マシンガンじゃないかな（笑）。12012に関しては、宮脇さんと話をしていると、根本的な部分で、“何に突き動かされているのか？”とか“なぜバンドをやっているのか？”といった部分で近いところがいっぱいあって。でも、表現の仕方が自分たちとは違うんですよね。そういう風に、根本は似通っているのに出てくるものは違うことの面白さも、今回のイベントで感じてほしいと思う。なので、同じステージに立つのが楽しみです。FWDのギターヒーローの座を、須賀さんと争いたいし（笑）。

宮脇：みんな、須賀押しなんだ（笑）。

ジュンノ：12012は、申し訳ないけど、接点が全くないんだよね。じかに喋るのも、今日が2回目とかだし。だから、今回のツアーで、人となりが少しでも分かるといいなと思ってる。

——宮脇さんは、いろんなことを深く考える人なので、話すと面白いですよ。

ジュンノ：えっ、そうなんですか？

大佑：……残念ながら、そういうところはあまり見たことがないですね。

一同：ワハハ!!（爆笑）

大佑：僕は、ヤカラな部分しか見たことありません。

ジュンノ：俺も、どちらかと言うと、そういう話をいろいろ聞くので（笑）。

圭：でも、先輩方に対して失礼ですけど、そういう意味で言ったら、みんなヤカラですよ（笑）。

一同：ワハハ!!（爆笑）うん、それは間違いない（笑）。

ジュンノ：今回みたいな機会は、そうそうないと思うので。みんなで仲良くして、いろんな話をしたいね。社交辞令だけど（笑）。boogiemanに関しては、やるからにはいちばんを目指す……この錚々たるメンバーを目の前にして言うのは不躾だけど。個人的には、楽しまなきゃ

OUTSIDE BATTLE!!!!!!!

爱杂志
www.aizazhi.com

"EXTRA-TERRITORIAL"

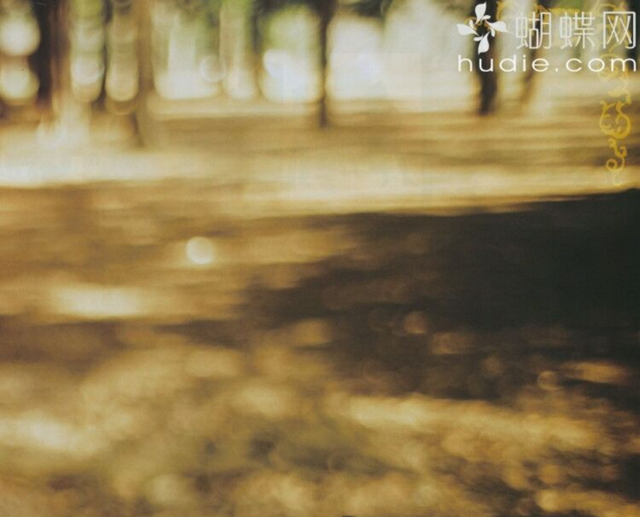
つでも交換できれば本望かな（笑）。
大佑：この間boogiemanのワンマンを観て、みんな動きますね！"と思いました。それに、独自の世界観を持った衣裳や音源、アグレッシヴなステージングなりは見習わないとな…と思っています。
ジュンノ：よく言うよ（苦笑）。
大佑：いや、代官山の時は、もう会場がグラグラ揺れてて。地震が来たのかと思いましたから。
ジュンノ：それは、自分がベロベロに酔ってたからだろっっ！
圭：boogiemanが参加してくれたのは嬉しかったです。よく知ってる人たちがいるバンドと、同じステージに立てるのが嬉しくて。お互いが自分のバンドに自信を持っているから、一緒にやれるわけだから。すごく楽しみだな。ユウイチローさんだけ、あまり知らないですけど。
大佑：ユウイチローさんって、酔って線路に落ちたことがあるんですよね。
圭：あと、参加メンバー全員でフライヤーの撮影をしたじゃないですか。その時に、僕がみんなから離れて一人で飯を喰っていたんですよ。そうしたら、ユウイチローさんがスタスタって歩いてきて、"ここ座っていい？"とか言って。でも、何も喋らないんですよ（笑）。"何だったのかな？"と思って（笑）。
ジュンノ：ユウイチローは、boogiemanの七不思議の一つだから（笑）。あいつは、本当に謎なんだよな。もう、ユウイチローの話はやめよう（笑）。
一同：ワハハ!!（爆笑）。
宮脇：boogiemanは、最初にライヴを観た時に、初めて観るタイプのバンドだなと思いました。それぞれが強力な個性を確立しているのにバンド感があって。それが新しさに繋がってて。ツアーを一緒に楽しみたいし、刺激を与え合いたいし、仲良くなりたいですね。ジュンノさんは、ラジオに一緒に出させていただいた時に、"あっ、こんなに喋ってくれる人なんや"と思ったんです。すごく怖いイメージがあったんですけど…。
ジュンノ：えっ、ホントに？　メチャクチャいいヤツなのに……。
大佑：いや、第一印象が怖かった…というのは分かります。ジュンノくんが昔やってたバンドを観た時に、"この人たち、全員アタマがおかしいんだろうな"と思いましたから。
ジュンノ：初対面の時は、確か坊主頭で、眉毛がなくて、白いコンタクトを入れていたんだよね？
大佑：そう。歳も分からないし、"謎だなぁ"と思いまして。でも、ライヴが終わって、顔を洗って、コンタクトも取って、クルッとこっちを向いた時に、"優しそう！"と思ったんです。
ジュンノ：優しいっちゅうねん（笑）。
――みなさん、ステージに立つと変わりますよね。DOG inTheパラレルワールドオーケストラと、BugLugのステージも楽しみです。
宮脇：DOG inTheパラレルワールドオーケストラは、会場を盛り上げるのがすごく上手いバンドなので。初めて観るお客さんも楽しめるんじゃないかな。
圭：BugLugは、新しいバンドだけど、それぞれ経験もあるし、演奏も上手いですよ。一樹には、僕がソロ活動をした時にギターを弾いてもらったりしたし。曲もいいし、演奏も上手いので、いいライヴをすると思います。
大佑：上手いんですか……。隠者になってもらいましょうか？
圭：ダメですよっっ！（笑）
――今日のみなさんの話を聞いて、早くライヴが観たくなりました。
圭：僕らも早くやりたいです（笑）。このイベントを提案した理由として、誰も観たことのないイベントをやりたいな…というのもあって。もうトイレ休憩できないくらい、密度の濃いものになると思うので期待しててください。
宮脇：せっかくだから、ライヴ以外の要素も入れたいと思っているしね。
圭：そう。いつ好きなメンバーが出てくるか分からないので。もう、最初から最後まで、楽しんでください。
宮脇：どのバンドも毎回同じようなライヴをするタイプじゃないし、ライヴの最後に日替わりメンバーのセッションも予定しているので。出来れば全会場を観てほしいですね。毎回来てくれる人には、パスを出します（笑）。
一同：やめろ!!　安易な約束はするんじゃないっっ!!

"EXTRA-TERRITORIAL"

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com



カノン

（アンティック -珈琲店-）

Pinky☆Distortion

ソロ・プロジェクト始動!!

2010年…4日の武道館以来、久々の登場です！　活動を休止をしたあの日から、現在…
それぞれが個々に自分に磨きをかけている最中だという。
そんな中、お待たせしました！　いよいよカノンが始動します！　今回は、久々の登場に…
…カノンの近況にグッと迫ってみることに。そして、カノンがプロデュースする…
…ゲーム『Pinky☆Distortion』についても、ガッツリ語ってもらいました！

Photographs: SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Interview: NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up: CHINATSU TABATA

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

[illegible]に立ったこの日に、アンティック―珈琲店―は、活動を休止をした。結成から6年。彼らはずっとアンティック―珈琲店―として走り続けてきた。活動休止直前のインタビューで、カノンは、息継ぎする余裕もなくここまで走り続けてきたと言った。もちろん、1番愛しているアンティック―珈琲店―と共に走り続けてこれたことは、彼にとって幸せなことだった。しかし、まったく息継ぎをせずに走り続けてきたことで、見落としてきてしまったことや、外に目を向けることが出来なかったのはたしかである。

「俺、上京してきてから、ずっとアンカフェやってるんですよ。高校卒業して上京したから、それから今までずっと。幼稚園→小学校→中学校→高校→アンカフェ、って感じなんです。学校ってね、卒業があるでしょ。今まで卒業の度に、いろんな出逢いがあったり、別れがあって、そこで経験したことによって、自分が成長出来て来たことがたくさんあったと思うんです。今回の活動休止は、卒業ではないけど、いろんなことを吸収するためのお休みだと思っているんです」

そんな活動休止前のカノンの言葉は、とても深かった。

武道館からもう2ヶ月か。早いな……。そんなことを考えながら、取材現場に向かった――。

――カノン！　元気だった？

「元気元気！　すごい元気してましたよ。武道館が終わってから、すぐに携帯ゲームの企画が動き出したこともあって、何かと、忙しく……はないですが（笑）、それなりに漫画喫茶行ったり、メイドカフェ行ったり、僕なりには忙しくしてるかな（笑）。けど、元気なんで、安心して下さい。いろいろと頑張ってますし」

――良かった。一昨日RUKA（ナイトメア）に会ったんだけど、電話で話したんだって？

「そうそう！　そうなんですよ、RUKAさんにちょっと用事がありまして……」

――お願い事したのに断られたんでしょ。

「あ、聞きました（笑）？　そう、あっさりフラれちゃいました（笑）」

――言ってた言ってた（笑）。カノンさんさぁ、いきなり電話かけてきて、「曲作ってほしいんですけど……」って言うんだよ。なんの？って言ったら、なんか、ソロプロジェクトのだって言うからさ、「オマエ、ソロプロジェクトの一発目を自分で書かなくてどうすんだよ！」って、突き放してやった（笑）。って（笑）。

「あははは。そのとおりです（笑）。いやぁ、その、今回俺がプロデュースする『Pinky☆Distortion』っていうゲームは、バンドが絡んだゲームでもあって、音楽は必要不可欠なモノだったりするんですよ。なので、ゲームだけっていう考えではなく、ちゃんとそこに音楽というモノも絡めて行こうと思っているので、いろんなアーティストの人と一緒に音作りとか出来たらいいなって思ったんです。アンティック―珈琲店―の楽曲をRUKAさんに書いてもらうっていうのは、絶対無理な話じゃないですか。でも、こういう形の中でだったら、一緒に音作り出来るなぁと思って、ウキウキしながら電話したんですけど…フラれちゃいました」

――あははは。それ、RUKAに今みたいにちゃんと説明してないでしょ（笑）。ちゃんと説明したら、絶対に、いいよって言ってくれたと思うよ。

「じゃぁまたチャレンジしてみる！　一緒に面白いことやってくれるかなぁ？」

――やってくれるよ、きっと。だって、RUKA、カノンのこと好きだもん。

「嬉しい（笑）」

――でも、今カノンが言ったみたいに、アンティック―珈琲店―では出来なかったチャレンジをすべき期間だもんね、今。

「そうなんですよ。この時間を絶対に無駄にはしたくないですからね。今、いっぱいチャレンジしてみたいことがあって。いろいろと企画中なんですよ。今回のゲームでは、音を選択すると、実際にゲームの中のDIS:CODE（バンド名）の演奏が聴けたりもするんですが、機種によって、どこまで音を作り込めるかっていうのが随分違ってくるんですよね。だから、そこもいろいろと試行錯誤しながら煮詰めていきたいし、今、考えてるのは、オーディオドラマ。声優さんの声だけのCDで、ドラマがCDで聴けるっていう声だけのドラマなんです。"え？　声だけで面白いの？"って思うでしょ。むしろ、声だけだからいいんですよ（力説）！　声ってすごい力を持ってるんですよ。声が素敵って、本当に素晴しいことだと思うんですよ。だって、声だけで人を癒せるんですよ（力説）！　声を聴いてるだけで、そのシチュエーションが浮かぶんですよ！　ふむふむふむ。って。その妄想が楽しいんです」

――エッチな？

「えっ（びっくり）!?　違いますよ違いますよ！　違いますってば（必死）。いやいやいや、そうじゃなくて（笑）。妄想って、そっちの妄想じゃないですよ！　そのドラマのシチュエーションが、頭の中で広がるってことです」

――想像力をね。

「そうそう、高める訳です！　そうすることで、みんないろいろと登場人物のキャラクターに対して、思い入れが出来るし、ちゃんと登場人物もキャラ立ちしてくるから、そうしたら、ひとりひとりのテーマソングみたいなモノも出していきたいなって思ってるんです。それで、今、オーディオドラマの声優オーディションをしようとも考えているんです」

――ひとりひとりのテーマソングってことは、その声優さんがヴォーカル？

「それでもいいんですけど、音楽に関しては、そことは別でもいいのかなと思っていて。アニメや映画の主題歌って、本人が歌ってないでしょ。そんな感じ。ドラマとか映画とか、音楽との繋がりって絶対に切っても切れないモノだと思うんですよ。もちろん、ストーリーや、役者さんの演技に涙するんですけど、そこでその音楽が流れるからこそ、その音があるからこそ泣けてくるってないです？」

――あるある。その印象が強過ぎて、その音楽を聴いただけで、そのドラマや映画を思い出すもんね。

「そこです！　この前ね、ゆうきと一緒に映画観に行ったんですけど、そのときも、絶妙なタイミングでの挿入歌に、二人で"おぉ～っ！　キター！　ヤバい！"って感動しまくっちゃったんです！」

――何観に行ったの？

「『魔法少女リリカルなのは』。小学校3年生の女の子が、魔法を覚えて魔法少女にな[illegible]なんですけど、その映画のクライマックスで、みんなが助けにきてくれる時に、その挿入歌が流れるんですよ！　"キターッ"って感じなんですよ（超一生懸命に話してます。夢中です）。そのときの感動と言ったら。今も忘れられないんです！」

――音楽の力ってすごいよね。そもそも。カノンがこの『Pinky Distortion』を手掛けるきっかけって何だったの？

「事務所で制作をやってるスタッフに、オタク文化に詳しい人が居て、その人を紹介してもらったことがきっかけだったんですよ。活動休止するなら、やってみないか？って。音楽とまったくかけ離れちゃう訳でもなかったし、俺が入ることで、より深くそこが繋がっていけたらいいなって思ったし、ゲームとかアニメはもともと好きだし、っていう、願ってもないお話で。何か新しいことをやっていきたいっていう、新プロジェクトを考えていたところだったみたいで。家庭用据え置き型のゲームだと、その機械を持ってる人じゃないと出来ないけど、携帯ならみんなが持ってるし、いいんじゃないかなって。まだまだ発達していくと思うんですよね、携帯って。そんな携帯の進化とともに、アプリも進化していけたらいいなって思って」

（カチャッ。取材部屋のドアが開く）

ゆうき「あ！　カノンさん！　ねぇねぇ、『Pinky☆Distortion』の体験版ダウンロードしたよ！　あれ、いつ製品版出るの？」

「4月の中旬くらい予定かなぁ」

ゆうき「思ってた以上に面白いよ！　あ、お久しぶりです！　なにやってんですか？　あれ？　何これ、今、取材中？」

――ゆうき！　久しぶり！　うん。今ね、SHOXXの取材してんの。元気だった？

ゆうき「元気です、元気です！　すいません取材中ですよね、帰るっす、帰るっす」

「いいよいいよ、ゆうき、せっかくだからこっちおいで。んで、体験版の感想聞かせてよ（笑）。こっちこっち」

ゆうき「じゃぁ（笑）。いや、マジ楽しかったですよ、体験版。バンドのマネージャーになれるってのも面白いし、ちゃんと音も聴けるんだね」

[illegible]デモ曲3曲あるんだけど、聴いてくれない？"って、聴かせてくれたりすんの」

ゆうき「主人公のマネージャーは女の子の設定なんだけど、男の子がやっても楽しいよね。ゲームの中で女の子になれるのも、またひとつの楽しみかも（笑）。バンドを育てる楽しみとかあって楽しい！」

「まずは、ライヴハウスデビューが出来るか、ってところまでがエピソード1なんだけど、そこは体験版じゃ体験出来ないんだよ、製品版じゃないと」

ゆうき「うん、でもね、ホント、続きやってみたいんだもん、今。カノンさんはもう最後までやったんでしょ？」

「うん。一応全部テストでね。ちゃんとコントロールしてあげないと、バンドが解散しちゃうことにもなりかねないから、頑張らないといけないの。マネージャー次第でメンバーも頑張れたりするからね。でもね、俺、ちゃんとストーリーも知ってて、どういう選択をすると最悪な方に行ってしまうかってのも知ってるのに、お試しでやったとき、誤った選択をして、最悪な方向に導いちゃったの（笑）」

ゆうき「あははは。ダメじゃん、それ（笑）！」

「そう（笑）。今、世界中で遊べるように他言語対応しようと思って、試行錯誤中なんだよ。このゲームもそうなんだけど、『Studio Blue-3』っていう、レーベル名で、この先もいろいろとやっていこうと思ってるんですよ。『Studio Blue-3』はね、ブルースリーじゃないですよ（笑）。事務所が、青山3丁目だから（笑）。んふふ。いいでしょ。今ね、夢があるんですよ。メイドカフェをプロデュースしてみたいなとも思ってて。やっぱね、自分がお客さんとして行ってると、いろいろと"こんなことがあったらいいのに"とか、そういうところが見えてくるんですよね。好きだからこそ出来る、ニーズに合った楽しいモノを作っていけたらいいなと思ってます。ゆうきも頑張ってるよね」

ゆうき「うん。みんな頑張ってるから、僕も頑張らないと」

「そうそう。みんな自分磨きを頑張ってるんで、楽しみにしててね」

ゆうき「どうもお邪魔しました（笑）」

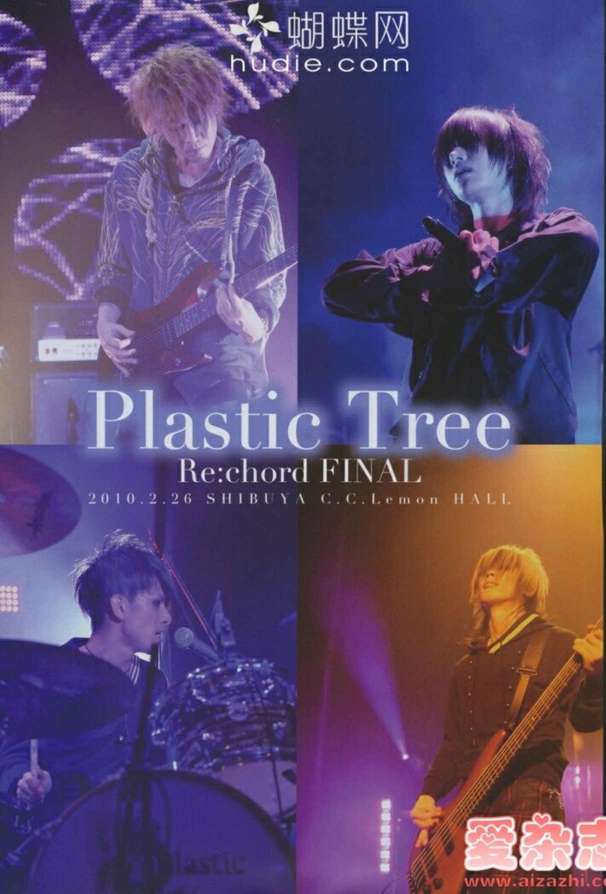
爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

(問)〒150-8518
東京都渋谷区神宮[illegible]1-30 コンセプ[illegible]
ソニー・ミュー[illegible]ーティス[illegible]
アンディッ[illegible]店
http://www.[illegible].com/

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com



爱杂志
www.aizazhi.com

辿り着いた"のどかなきょう"

何処かに連れられてゆくことの哀しさではなく、何処にでも行けることの歓びを、Plastic Treeはあらためて知ったのだろう。現体制となって初のアルバム『ドナドナ』の完成後、行なわれていた全国ツアー[Re:chord]を通じ、彼らは着実にライヴバンドとしての変革を果たしてみせた。Plastic Treeという名の荷車は4人を自らの願う場所へと辿り導かせたのだ。

Photography:SAWAE HARA　Report:YUKI SUG

【set list】
1.1999
2.理科室
3.梟
4.サナトリウム
5.エトセトラ
6.星座づくり
7.メルト
7.メルト
8.真っ赤な糸
9.sunset bloody sunset
10.ガガジ
11.怪物くん
12.puppet talk
13.ドナドナ
14.暗転
<encore>
15.ツメタイヒカリ
16.メランコリック
17.ヘイト・レッド、ディップ・イット
18.Ghost

でこぼこ道を前へ前へと進んでいった荷車が、ぐらぐら揺られながら、やがて辿り着いたのは、"のどかなきょう"だったのかもしれない。

現体制となって初のフル・アルバム『ドナドナ』を完成させたPlastic Treeが、年明けからいそしんでいたのはツアー[Re:chord]。本誌におけるアルバム・インタビュー時、思い返すと竜太朗はこんなことを言っていたっけ。

『作り終わったばっかりだから、自分の中ではまだ解答が見つかってなかったりもするんですよね。（中略）ここからライヴをやってく中で、また何かが見えてきたら良いなあって思います』

ツアー・ファイナルとなった、今回の渋谷C.C.Lemonホール公演を観た限り、おそらく彼の思惑はしっかりと達成できていたように見えた。1本のツアーを通して、改めて楽曲たちと日々向き合っていくこと。そのプロセスを経て初めて生まれる、音の中の奥深いコクや味わい。『1999』を、この夜のオープニングで聴いた瞬間から、それらは率直に我々のもとへと伝わってきた。

いかにもプラトゥリらしく、リリカルな面持ちで激情を迸らせたような『エトセトラ』、希代の秀逸ギター・リフと、憂いのある名旋律が暴走する『sunset bloody sunset』。既存曲たちと交えながら供される『ドナドナ』収録曲たちは、何だかどれも体温と生命力を感じさせる音になっていて、その音の渦中にずぶずぶと浸りながら、ただ無心に意識を遊ばせられることが至極心地良い。

ところで、今回のツアーを通しては、ライヴバンドとしての成長があったと同時に、どうやらPlastic Treeは新キャラまでをも開発してしまったようだ。それは本編後半に差し掛かろうかという頃合いで、敢えてのトゥーマッチ・ヘヴィチューン『ガガジ』が演奏され始めた時のこと。突如、ステージ脇や客席後方から、不穏な人影のようなものが計4体ほど出現したのである。

後にはさまれた竜太朗のMCによると、このキャラはツアーグッズの"正袋"と、ツアー先のホテルのパジャマをカスタマイズして作られたという、その名もガガジくん（笑）。眼には[…]込まれていて、見た目の様[…]しかも、中には何やら本の[…]しきりと破っては、行儀悪[…]り構わずバラまいている個[…]『海外のバンドとか、ステ[…]をビリビリーッ！って破っ[…]じゃないですか。ああいう[…]思ったんですけど、でも[…]てバチあたるのもイヤだ[…]今のところ聖書じゃなくて[…]サーを渡してます』（アン[…]る竜太朗の発言）

何という、くだらなさ[…]れは純粋に褒め言葉だ。こ[…]託のない遊び心をツアーに持ち込めるというのは、それだけバンド自体が健全な状態であることの証にほかならない。そして、そんな彼らのバンドとしての充実ぶりは、本編最後に来ていよいよ最大出力状態で本領を発揮する。

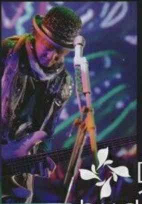
本編最後にて、アルバムのエンディング部分が組曲的ニュアンスで完全再現／演奏された場面。それは今ライヴにおいて、最も成果が音に叩き込まれた瞬間であったと、そう筆者は確信する。竜太朗の訥々とした弾き語りを軸とした『ドナドナ』を入り口に、流れるような展開で綴られていった『――暗転。』

胸の内にある想いを託すように、一打一打を放つケンケン。全身を使うような弾き方で、音圧のある低音を響かせる正。理性と本能の狭間を漂うような風情で、熱くエモ的ギターを聴かせるアキラ。そして、肩から掛けたセミアコ・ギターを無心に掻き鳴らし、音を出すことに没頭している竜太朗。この曲はいわゆるインストゥルメンタルであるため、そこには声を用いた歌こそなかったが、そのかわり4人が発する渾然一体となった音像の中には、叫びにも似た彼らの切なる願いが溢れていたように思う。

今回のツアーを経たうえで、今度5月に彼らが行なうのは［Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追憶］と題された記念公演だ。紆余曲折の果て、今ここに来てようやくバンドとしての"のどかなきょう"を手にした彼らの、音楽に対する情熱と歓びを体現する日々は、これからもきっと長く続いてゆく。

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

爱杂志
www.aizazhi.com



蝴蝶网
hudie.com

【set list】
1.咆哮
2.極彩
3.サル
4.蝿蠅
5.1R
6.アゲハ
7.梟の揺り籠
8.ファズ
9.楽園
10.オズ
11.空忘れ
12.Libra Feat.Candle
13.ジオラマ
14.謡声
15.名も無き夢
16.闇鋳
17.フリージア
<encore Ⅰ>
18.追憶のマーメイド
19.雨のオーケストラ
<encore Ⅱ>
20.大嫌い

新たなるステージへ──ホールで見せたムックの挑戦

**新たなる局面が、遂に見えてきたようだ。
2010年、ムックは2月5日に横須賀芸術劇場で行なわれた不定期主催イベント［えん5］を皮切りにして、
その後も東京NHKホールと大阪NHKホールにてワンマン・ライヴ［WINTER CIRCUIT 2010］を相次いで成功させた。
早くも年末までライヴ・スケジュールも決定するなど、今年のムックはいつも以上に“やってくれそう”な気がする！**

Photography:YUKI KUROYANAGI（★/TOKYO）,TOSHIKAZU OGURUMA（OSAKA） Report:YUKI SUGIE

い、我々は〝してやられて〟しまった。

このたび、ムックが東京と大阪で行なった［WINTER CIRCUIT 2010］は、とにかくアレコレと異例尽くしで、いちいち驚かせられる場面が満載だったのだ。

ここでは、彼らにとって2005年5月以来、2度目のNHKホール公演となった東京での一夜についてご報告するつもりだが、彼らの仕掛けたギミックはいきなり冒頭から大炸裂するに至る。

開演に先駆け、舞台前に垂らされたスクリーン上で躍っていたカウントダウンの数字がゼロを示すと、すぐさま客電が落ち、達瑯の〝Are you ready!?〟という声が場内に響き渡り、間髪入れずに聴こえてきたのは「咆哮」のイントロ。同時に暗転していたステージが一瞬パッと明るくなると、降ろされていた紗幕が上がり、そこにはムックの面々が黒いスーツに黒いマスクを着けた格好で立っていた。と、思いきや…？

次の瞬間、達瑯、YUKKE、ミヤが次々と客席フロアへと飛び降りて、そのまま疾風の如く客席ドアから外まで駆け抜けて行ってしまうという、まるで前代未聞の異常事態が勃発。つまり、この時ステージ上にいたのはSATOちだけ、ということになる。

んっ？　あれっ!?　いや、でも音自体はずっと鳴り続けてるし…？？　えーっ、何コレ!!　戸惑う筆者はもちろん、場内のムッカーたちも、一瞬何が起きたのか分からず、その場は今までにない騒然とした空気でザワつきだす。だがしかし、全ての謎は次の瞬間に氷解した。

ふと気が付けば、ステージ上には再び達瑯、YUKKE、ミヤが所定の位置に戻り、何事もなかったかのように演奏を続けているではないか。というか、3人とも先ほどとは全く違う、白を基調とした出で立ちをしている。…なるほど。先ほどの3人は影武者だったのか！

単純といえば単純なトリックだが、予想もしない展開に誰もがドキマギしてしまったオープニングで、初っぱなからガッチリと観客の心を掌握してしまった彼らは、この後も意欲的で斬新なスタイルのライヴを繰り広げていった。

そもそも、物理的な面から見ても今回が一切置かれていないシンプルな構造で（Ⅱメンバーは全員イヤーモ[illegible]用）、しかも床パッチやバ[illegible]だけでなく、マイクスタン[illegible]全ては真っ白で統一。前述の[illegible]ンバーの衣装も白系でまとめ[illegible]結果その空間は、照明や投影[illegible]が極めて映える、キャンバ[illegible]のと化していたのである。『何もないようでいて、実は[illegible]るこの空間へようこそ』

途中、達瑯がMCで言っ[illegible]まさに的確だった。こうし[illegible]いてそれぞれにマッチした[illegible]が流されたりしていった中、特に前衛的なアプローチが強く見てとれたのは、本編中盤で『Libra Feat. Candle』（昨夏発表の『カップリングベスト』に収録）がプレイされた場面だったろう。

音と視覚的効果、実際の一挙一動をシンクロさせた演出を背景に、達瑯が見せたパフォーマンスは絶妙の一言で、その完成度の高さには場内からも一際大きな歓声が沸き起こった。

とはいえ、今回のライヴが素晴らしかったのは何も見た目や、お膳立ての部分ばかりではない。例えば、12月末に配信限定シングルとして世に出たバラード「ジオラマ」が演奏された時には、純粋に曲の良さと、魂のこもった演奏に心動かされたオーディエンスも、きっと数多かったはずだ。

また、アンコールにて「雨のオーケストラ」が演奏されたくだりでは、5年前にも同じ場所でこの曲が演奏された時のことが思い出され、当時と今ではムックがバンドとして格段にスケールアップしていることも、改めて確認できた。

なお、今回のライヴにおいては終演後にも革新的な新展開があったことも最後に付記しておきたい。なんと、いつも流される今後に向けての告知映像が、今回は楽屋からの生中継（SATOちだけ、なぜか深紅のバスローブ姿だったのには思わず笑ってしまった）だったのだ。

徹頭徹尾、我々を驚かせたり、楽しませたりするムックの企みっぷりには全く脱帽してしまう。ここまで徹底的なら、〝してやられる〟のもたまには悪くない。

爱杂志
www.aizazhi.com

ムック主催イベント「えん5」
2010年2月5日 横須賀藝術劇場

Photography : KAZUKO TANAKA　Report : YUKI SUGIE

ムック

矢野絢子

一期一会の妙、ここにあり。ムックの不定期主催イベント"えん"は、彼ら自身、さらには観る側にとっても刺激的で意義深い場だ。今回の「えん5」でもまた、多彩かつレアな顔ぶれの演者たちが一堂に会して我々を楽しませてくれた。

ちなみに、今回の会場として選ばれていたのは横須賀藝術劇場で、これはなんでも達瑯たっての希望だったのだとか。本格的なオペラハウス仕様に設計されている豪奢で重厚な空間は、確かに華やかな宴にこそ相応しい。

そんな夜宴の始まりにあたって、場の雰囲気を一瞬で異次元へと染め替えたのは、四国は高知在住のシンガーソングライター・矢野絢子。1脚の椅子がたどる長く数奇な運命を、10分以上の大曲としてまとめあげた「ニーナ」をはじめとして、ピアノを弾き語りながら情景を描き出すように歌を紡いでいくその姿からは、鬼気迫るものさえ感じることが出来た。（なお、この「ニーナ」は達瑯が好きな曲でもあるらしい・本人談）

また、今回のイベントにおいてはムックの先輩格として、貫録のあるプレイを見せつけてくれたバンドもいた。そう、2009年2月より復活再始動しているCASCADEだ。最新アルバム『VIVO』からの楽曲たちはもちろんのこと、少し懐かしいヒット・チューン「YELLOW YELLOW FIRE」などもキッチリと聴かせてくれ、場内は大いに沸き立つこととなったのである。

次いで、舞台上へと降臨したのは歌うリアルドールの如き佇まいの宝野アリカ嬢と、独創的な音楽センスを持つ片倉三起也氏による、ALI PROJECT。

CASCADE

クラシック音楽を下敷きに、ゴ[illegible]シッヴロックの概念を加味しな[illegible]れていく音は濃密で、浮世離れ[illegible]も実に幻想的。代表曲「聖少女[illegible]一部の楽曲で見られたドラァグクイーン群を率いてのステージ・パフォーマンスも興味深く、"アリプロ"なら[illegible]奇特な存在感が発揮されていた。

いよいよ宴もたけなわとなった[illegible]ついに登場となったのは、言わずもがな今宵のホスト役であるムックだ。昨今の鉄板曲たちのみならず、『我、在ルベキ場所』に収録されていた「儚くとも」や、久しぶりの「ホリゾント」などを交えつつ、決して長くはないながらもムックの魅力を凝縮したライヴは見応えがあり、オペラハウス的豪奢な空間はやがて熱気と歓声、ムッカーたちの勢い良く飛び跳ねる振動ですっぽりと包まれた。

一期一会の宴を楽しみながらも、感じたこと、得られたこと、吸収したもの。それらは全て、居合わせた人すべての"こ

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

BugLug バグラグ
http://www.buglug.jp/

超進化!!
TV、ラジオ、ネットで話題騒然!!!

結果が物語る驚きの真実

幸運が怒涛の勢いで押し寄せる!

バグラグ ファーストシングル 4月7日発売!!

金運 恋愛 仕事 勝負

ASOBIZ アソビズ

初回盤

RSCD-009/010 ¥1,890 (tax in)
01. Grazie!!
02. Hu.Mor.Box
[DVD] Grazie!! Music Clip

通常盤

RSCD-011 ¥1,260 (tax in)
01. Grazie!!
02. オオカミボウイ
03. Hu.Mor.Box

発売元:Resistar Records

※効果を実感出来なければ
返金を前向きに検討
させて頂く場合があるかもしれません

ビューティーアーミー女学院 天文学部助教授
鬼瓦乃淵 権三郎佐右衛門先生

幸せになるためには幸せの扉を開く鍵が必要です。
つまり鍵さえあれば、誰でも幸せになることができるのです。
ここでいう鍵とは?まさに超新星(スーパーノヴァ)となるBugLugの1st single「ASOBIZ」となります。
「SUPER NOVA」で世界は生まれ「-7-」で扉を開いた「Grazie!!」はその一歩目。
そこから無限に広がるBugLugワールド「ASOBIZ」をお聴きいただけば、三種三様の曲の中にあなたを幸せへと導く鍵を必ず見つけることができるでしょう。

生活が激変!すべてが順調です!

夢にまで見た!こんな大金!!

◀ 仕事もなくギャンブルも負け続きだったのに急に負け知らずに!今まであんなにお金に苦労していただなんて信じられません。今では毎日使い切れないほどのお金が手元に入ってきます。

逆ナンパされて
こんなに素敵な彼女が出来ました!

◀「ASOBIZ」を買った日に駅前を歩いていたら突然女の子に声を掛けられました。女の子とほとんど会話もしたことがない僕が逆ナンパされるなんて信じられませんでした。これが「ASOBIZ」のパワーなんだ!と気づきました。
今ではこんなに素敵な彼女と毎日ラブラブです。

憧れだった高級車も購入して
最高の気分です!

◀ 唯一の愛車だった自転車を盗まれた僕がこんな高級車に乗れるようになるなんて自分でも驚きです!こんな高級車をキャッシュで買えるなんて昔の僕からは想像も出来ません。
毎日ピカピカに磨いて大切にしています。

ドン底生活をしていた頃の私。

今までの僕は何をしてもうまくいかない事だらけでした。だらしない生活で定職もなく、一発逆転を狙ったギャンブルも負け続き、惚れた女にも騙され…(もちろん彼女なんていませんでした…トホホ)
唯一の愛車だった自転車も盗まれ、本当に良い事なんて一つもなかったんです。
でも、まさか、BugLugの「ASOBIZ」を手にして聴いただけでこんなに世界が変わるなんて…どん底の人生に突然変化が訪れたんです。

その他の情報

EXTRA-TERRITORIAL

4月29日(木)名古屋E.L.L.
4月30日(金)心斎橋BIGCAT
5月5日(水)SHIBUYA-AX

出演
kannivalism、12012、大佑と黒の隠者達、boogieman、BugLug、DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
※各会場スペシャルセッション有り

SPEED DISK PRESENTS 桜華乱舞TOUR'10

3月30日(火)名古屋ell.FITS ALL
3月31日(水)大阪FANJ twice

「SUPER NOVA」等の楽曲を独占配信中!新曲も続々と配信予定!

◀着うた…の ダウンロ…
◀メロディコール・…

RESISTAR RECORDS BugLug Official Site : http://www.buglug.jp/

愛雑志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

D
"7th Rose" forms the world

"D"とは果たして何者なのか――

結成7周年を彩るフル・アルバム『7th Rose』が3月24日にリリースされる。
"原点回帰"をテーマに制作されたという今作は、Dの本質を改めて見つめ直し、強く打ち出すための作業であったようだ。
タイトなスケジュールの中でも、彼らにしか表現できない世界観を際限まで追求した『7th Rose』について、5人に訊いた。

――『7th Rose』のテーマと…た。"原点回帰"という言葉が使…原点からかけ離れていたから戻ろう…た意味合いが一般的だと思う…だ、今回のDの場合、そう…スではない気がするんですよ…

ASAGI：おっしゃる通りで…れまでもアルバムに応じてテ…てきましたけど、1stアルバ…name of Rose』のような…を強調したのが最初のアルバ…いろんな楽曲を打ち出してきた中で、本質的なDのカッコよさみたいなものをもっと追究したいなと思ったんですよ。今までが間違ってたとかじゃなくてね。そういう意味の原点です。

――いつ頃から思い始めたんですか？

ASAGI：アルバムのリリースが決まって、結成から7周年になるというところですかね。聖書では7は神が好む数字だと言われてますよね。例えば地球は1週間（＝7日）で作られたとか、6日働いて1日休むといったものとか。『7th Rose』という楽曲も神に作られた最初の薔薇というイメージだったんですけど、まずアルバムのタイトル曲が先に必要だなと思って取り組んでたんです。1曲目ってすごく大事だと思うし、これがあることで流れも変わってくる。他の楽曲たちも見えてくるんじゃないかなと思って。

――シングルとして先にリリースされた『Tightrope』や『Day by Day』は、それ以前に生まれていた楽曲ですよね。

ASAGI：はい。その頃はまだ『7th Rose』のテーマまでは考えてなかったですし、その時々の最高のDを打ち出していきたいなと思ってましたけど、やっぱり『Genetic World』を作った時みたいに、アルバムになる時はシングルの中から共通点を探して、それを含むような特別感のあるものにしようとは考えていたんですよ。それによってもアルバムの統一感は絶対に出てくるなと思ってて。では、『Tightrope』と『Day by Day』では何かというと、"数"だったんですね。それは『7th Rose』を作る辺りで気付いたんですけど、最終的に今回は、タイトルを…

爱杂志
www.aizazhi.com

「by Day」なら〈命の数だけ〉、「Tightrope」なら〈ひとつくらい〉とか。ただ、こういった裏テーマみたいなものは、わざとらしくないように、絶妙なバランスじゃなきゃいけないんですよね。無茶な入れ方をすると、1曲1曲を大事にするというDの基本的な姿勢から外れちゃうんで。

――なるほど。〝原点回帰〟という根本的なテーマに戻しますが、今回の取り組みには、また違った感慨もありそうですね。

Tsunehito：俺にとっての原点はDの音源を初めて聴いた時なんですけど、歌も楽曲も音もホントにカッコよくて。今回のアルバムを聴く人が、同じような衝撃を感じ取ってくれればいいなというう想いはすごくありましたね。そういう音楽と出合えることって少ないと思うんですよ。だからこそ、今まで応援してくれてたファンの人たちにも、初めて知る人たちにも、Dはこういうものだというのを聴かせられたらいいなと。それを目指して取り組んでた感じですね。

Ruiza：この話をASAGIくんから聞いた時、問答無用でカッコいいアルバムを作りたいなと思ったんですよ。ある意味、明確なものではないので難しかったですけど、曲をめちゃくちゃ作ったんですよ。それがすっごい勉強になったんですよね。ずっと作ってると、似たような曲が出来ちゃうんで、それをどう打破しようかとか考えたり……。

Photography : TAKEHIRO SUGANUMA

Hair & Make-up : TAKAYUKI TANIZAKI,

CHIHIRO YAMAJI, KAYO FUJII,

NORIKO SHIMOOKA (Fats Berry)

Interview : KYOSUKE TSUCHIYA

――その似たようなものは、ある種、自分の原点とも言えますよね。

Ruiza：まぁ、気付くことはありますね。これはよくやるなぁとか。でも、ずっとやってると何でもそうかなと思えてくるんですよね。どれだけ新しいプレイをしていても、録る頃には馴染んできてる。ピッキングの入り方や指先に感じるテンション感……全然やったことのないプレイをしてても、自分らしいなぁと思ったりすることもあるんですよ。

HIDE-ZOU：僕は〝原点回帰〟というワードがあったからというわけじゃないんですけど、自分がバンドを始めた頃、ステ[illegible]に立[illegible]の想いとかも振り返ることが出来たんですよ。[illegible]とはまた違った視点で、例え[illegible]に触れていた音楽を改めて[illegible]コピーしてみたりして、当時[illegible]かった凄さまで深く知ること[illegible]成長できた部分、今後の自分[illegible]部分も明確になったんです[illegible]た新たな感動はレコーディ[illegible]すことが出来ましたし、い[illegible]せたなぁと思いますね。

HIROKI：〝原点回帰[illegible]ワードが出てきてから、自分[illegible]なのか、時を経てどうい[illegible]いるのかと考えた時、それ[illegible]の仕方なんだろうなと思ったんですよ。だからこそ、例えば「7th Rose」では、すごく疾走感や重厚感があって、メロディアスな展開がある中に、7年という月日で培ってきた自分のプレイが凝縮できればなと思って。今回は存分にツーバスを踏んだり、足技も思い通りに出せるようになってきたり、自分でも感じられる成長した部分が出せたんですよね。もちろん、他の曲を含めて、1プレイヤーとしてはまだまだだなと再認識するところもありましたよ。ただ、課題が見えている分、もっとハードルを高くして、より高みへ行けたらなと思ってます。

――それだけ現状維持では許してくれないバンドということでもありますよね。前回のインタビューで、Tsunehitoくんは「7th Rose」に関して、〝びっくりしますよ。〟と話していましたが、それはどの部分だったんですか？ もちろん全体でもあるかもしれませんが。

Tsunehito：何と言うんですかねぇ……全部です(笑)。このパートがカッコいいとかそうじゃなくて、全てが組み合わさって1曲になってるんで、全部ですね。びっくりしました？

――あの発言があったからこそ考えちゃったんですが(笑)、Dならこれぐらいはやるだろうなという思い込みも、こちらにはあるんですよね。

ASAGI：確かにそれはあるかもしれませんね(笑)。そういった意味で、毎回ハードルが高いんですよ。

愛杂志 hudie.com www.aizazhi.com

――ええ。今までのDらしさ、原点は当然ありながら、今までにない要素を単なる実験的な試みで終わらせず、新しいDとして全て自然に機能させている。

HIDE-ZOU：歌詞の壮大なテーマもありますし、音の作り方とか、細かい部分まですごく意識して弾いたんですよね。僕らも何度も聴いても衝撃を受けるんですよ。みんなが驚く様子が浮かんでくるし、ワクワクしてるんですよね、早く聴いてもらいたいなって。

Ruiza：ASAGIくんの歌まで入って聴いた時に、笑いましたからね、すごすぎて（笑）。自分でもあの声を出してみたいと思ったぐらい（笑）、むちゃくちゃカッコいいなぁって。アルバムのタイトル曲でもあるし、とにかく強烈なことを詰め込みたいなと思ってたから、普段、密かに練習していた技を繰り出してみたり。やってきてよかったぁって思いましたね（笑）。どこを切り取って聴いても、"最高！"と思える、衝撃のあるところだらけにしたかったんですよ。

ASAGI：曲作りにおいてもそうですけど、楽曲に応じて、どういった歌唱法がいちばん伝わるのか……やっぱり多様性も求められると思うんですよ。この曲に関しては、七色の声を使い分けたいなと思ってて。薔薇の棘を感じさせる歌い方、美しさを感じさせる歌い方ですよね。自分の声をどこまで駆使できるのか、こ

の曲にしか出来ない、自分に[illegible]い表現は追究しましたね。そ[illegible]指したものに完成形として辿り[illegible]しさと手応えもありますし。

――ここからこの「7th Ro[illegible]せる楽曲が様々に登場してく[illegible]

HIROKI：例えば「花摘みの[illegible]Rozava Dolina～」は自分の[illegible]なところが露骨に分かった曲[illegible]んですけど（苦笑）、かなり難[illegible]たですね。変拍子の解釈で迷[illegible]んでしまい、抜け出すのに時間がかかったんですよ。やっぱりメロディありきのプレイなんですよね。その拍の取り方を間違えれば歌の邪魔をしてしまう。今後の洗練されたプレイにつながっていいなと思うんですよ。

――"Rozava Dolina"とは、[illegible]アにある薔薇の谷のことだそうですね。

ASAGI：はい。曲が揃って[illegible]いろいろ並べてみたんですけ[illegible]Rose」の次に来るのに相応しいものがないなと思ったんですよ。そこか[illegible]を始めたんですけど、薔薇の谷は[illegible]ら採り上げたかった題材だったん[illegible]ストーリーの中では、薔薇を摘んで[illegible]に暮らしてた人たちが、政治的な[illegible]急にライフルを作ることを押[illegible]る。ところが、それに反対した男性[illegible]まって連れて行かれてしまうんです。今は復活して、かつての薔薇の谷に戻っているんですけど、その背景にあった悲しさはどれだけのものだったんだろうって。それを考えただけで胸が痛くなって……。曲そのものに関しても、ブルガリアには奇数で成り立つ楽曲が多いということから、変拍子を採り入れて、7・5・7・9で作ったんですけど、奇数というのは薔薇を思わせるなぁとも思ったんですよ。そこからメロディや自分の感動した気持ちを一気に詰め込んで。薔薇のイメージで「7th Rose」の世界観を上手く引き継ぎながら、支配と服従ということで「Tightrope」にも上手くつながったかなって。内容はもちろん変わったとしても、それぞれの曲のストーリーは順番に引き継がれていってるんですね。だからニューヨークのチャ

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

「Fish」でも、中国マフィアのボスの娘である主人公が、ごく普通の男性と恋に落ちる。その物語にも支配と服従からの離脱といったテーマが組み込まれているんですよね。

――Tsunehitoくんが何か象徴的な1曲を挙げるとしたら？

Tsunehito：俺は「Sleeping beautiful beast」ですね。自分で初めてバラードを作ったんですけど、自分の中の新しい部分って何だろうと思って、何か深いものが作れればなぁと思ってたんですよ。でも、すごく難しかったですね。テンポがゆっくりな分、一つ一つの音の間が空くので、その間の音の重なり方というか、滲み方というか、そういうところまで考えて。ギター陣にも、例えばAメロや間奏では、アルペジオで色を塗ってほしいという説明をしたり……すごく抽象的でしたけど、いろいろ試せたことも多かったんですよ。ストーリーにヴァンパイアの話をつけてもらえたのがすごく嬉しかったですね。

ASAGI：最初に聴いた時、ヴァンパイアの王が、一輪の薔薇を持って森で一人で歌っている映像が思い浮かんだんですよ。そのイメージを大事にして、キーも原曲から調整したりもして。声や歌詞で世界観を表現する時に、1音の違いってすごく大きいんですよね。

HIDE-ZOU：すごく濃い曲が揃って、

D "7th Rose" forms the world

どの曲も個性があるんですけど、その中で強いて挙げるなら、僕はそれ[illegible]日月揺籃歌」ですね。ここで[illegible]ングに参加させていただい[illegible]い取り組みでしたし、自分[illegible]つの成果でもありましたね。[illegible]ディから、すぐにASAGIさ[illegible]ジするものが伝わってきた[illegible]ルバムの最後にこの曲が[illegible]地よく眠りにつくような、[illegible]があると思うんですね。

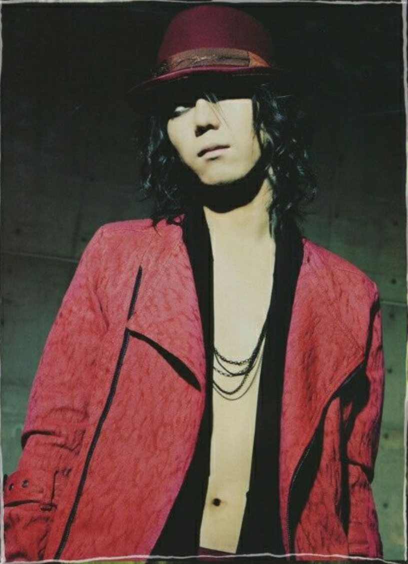
ASAGI：アルバムの流[illegible]だうえで、「7th Rose」への[illegible]しかったし、子守唄的なイ[illegible]たんですよね。だから、いろんな楽曲たちがある中で、最後に〈静まり給え 森よ〉というフレーズが来るのがすごく自然だったんですよ。「闇の声」は王の息子の話なんですけど、「Sleeping beautiful beast」に上手くバトン・タッチされていて、そこから三日月が歌っているような……。揺りかごの中に薔薇の蕾があり、蔦が三日月に絡まっていて、フクロウがとまっていて。そういう絵画的な映像がまずあったんですよ。

Ruiza：「闇の声」はライヴ感がすごくあるし、みんなでコーラスもしてるし、曲としても面白いんですよ。テンポがグッと曲中で落ちたりとか、それぞれがソロを取ってますけど、各パートに土火風土といったイメージがあって。個人的には衝撃のアーミングを久々にしましたね（笑）。ドキドキさせられるようなものになったらいいなと思ってたんですけど、鋭い音が出せたと思います。

――すごく強さを感じさせますね。「13月の夢見丘」を始めとして、ライヴでの再現も気になる楽曲は多いですが、本誌発売の頃にはスタートしている全国ツアーはより一層、楽しみになりますね。

HIDE-ZOU：ホントにカッコいい曲が目白押しですし、世界観が強烈……と言ったら語弊がありますけど、それを表現するための演奏、見せ方もすごく重要になってくると思うんですよ。だからこそ、さらにパワー・アップした僕らを見せられたらなと。ファイナルに向けてどんどん成長していきたいですね。

愛雑志
www.aizazhi.com



D'ESPAIRSRAY

LOVE IS DEAD

更なる挑戦

未知なる魅惑の空間で、今宵は彼らと派手に踊り明かしてみようか。来たる4月14日、D'espairsRayが斬新にして革新的なニューシングル『LOVE IS DEAD』を発表する。クラブミュージックの艶やかな香りを纏いながらも、彼ららしい轟音に仕上がったこの曲は、必ずや聴き手を魅了する … 4月 … と24日に行われる、渋谷O-EASTでの2DAYS LIVEも必見 …

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

——どうやら、予言は現実のものとなったようです。昨年末の取材で、各人から"きっと次は新しいD'espairsRayの一面が出て来る"、"また、皆、着いて来れっかな?"っていうくらいのものが出来つつある、という発言が出ていたではないですか。今回の『LOVE IS DEAD』は、まさにそれらの言葉を具現化したシングルになっていますよね。

Karyu：今回はですね、俺からすると"皆、驚くがいいさ!"っていう気持ちで作ったんですよ。

——確かに、これだけ派手にダンサブルな要素を取り入れたものって、今までのD'espairsRayには無かったですからね。とても斬新だと思います。しかしまた、何故今回はこちらの方向に来たのですか?

Karyu：発想としては単純なとこで、ウチらの曲ってパーティで騒げるような曲って無かったな、って思ったんです。ライヴで盛り上がれる曲は一杯あるんだけど、お酒を飲むような空間で楽しく聴けるような曲、っていうんですかね? そういうのも欲しいな、みたいな。

——クラブ的なノリが入ってきているのは、その為だったのですね。

ZERO：実は、俺も前から歌って踊れて、みたいな音楽って意外と聴くの好きだったりしたんですよ。ただ、あくまでそれは自分の個人的な好みとしての話だって割り切ってたし、まさか"そういうもの"をD'espairsRayでやるとも思ってなかったんです。だから、今回Karyuがこの「LOVE IS DEAD」を持ってきた時は、"遂に、ウチでこういうものをやる日がやって来たとは……!"って、ちょっと不思議な気持ちになりました（笑）。

Karyu：だって、俺自身も、まぁ、どうせ出しても使われないだろうな〜って、思いながら控えめなスタンス持ってたくらいだもん。それがまさかこうしてシングルになるなんて（笑）。

HIZUMI：そうそう、曲出しの時に"こんなのどう!?"っていう感じだったもんね（笑）。でも、ほんとこれは偶然なんですけど、俺からしても、次、こんな雰囲気の曲があがって来ないかなぁ〜って思い描いてたそのイメージと、今回Karyuが出してきた曲が、まさに一致してたんですよ。

——以心伝心とは、これいかに。ただ、このようなタイプの曲は、まずリズム構築の段階からして普段とはまた違う観点が必要だったのではないです?

TSUKASA：この曲に関しては、もうひたすら四分打ちに徹してます。キックの音で曲を引っ張ってくぜ!っていう気持ちで録音して行きました。こういう、ダンスナンバー的な曲は僕も聴くのは前から好きだったんですよ。ノリの良い曲って、踊りたくなりますからね。

Karyu：彼ね、踊るんですよ。海外の打ち上げでクラブとか行くと率先して。

——ちなみに、皆さんは国内でもクラブ通いをしたりする方でしたっけ?

HIZUMI：まず行かないです。むしろ、苦手な方。

Karyu：けど、日本でもたまにパーティとかあったりすると、そういう空間でかかってる音楽って、わりと重過ぎなくて良いなと思うんですよね。

——今までさんざん重い音を出しまくって来たバンドの人が、今さら何を（笑）。

Karyu：あぁ、だからそこはあくまで自分たちでやるとなったら、また話は違いますよ。今回、取材前に聴いてもらった音ってまだラフミックス状態だったと思うんですけど、実際はそれよりもっと重くなりますから。

——あらたな試みとして、異なる畑の要素は取り入れつつも、最終的にはきっちりD'espairsRayの音として仕上げたい、と。

Karyu：そうですね。後々ライヴでやった時のことなんかもシュミレーションしつつ、自分たちの音としてのバランスがとれた音にしたいと思ってます。

——ZEROくんが、「LOVE IS DEAD」を仕上げて行く際にこだわったのは、どんな点でしたか。

ZERO：シンセとのユニゾン具合、ですかね。といっても、わりとそういうかたちのプレイは他の曲でもやって来てるので、意外と俺は何時も通りといえば何時も通りだったと思います。あとは、録る時にはドラムと一緒に録っているので、打ち込みのシンセと合わせつつもドラムとの生っぽいグルーヴも出す、っていうところも意識はしてました。

——それだけリズム要素が大事な曲だけあって、今回はKaryuくんも基本は刻みに徹していますね。ただし、この刻みはダンサブルさや軽快さとは全く無縁な（笑）、極ヘヴィな音ですけれども。

Karyu：さっきも言ったんっすけど、普通にまんまクラブでかかってる音楽みたいにはしたくなかったんですよ。そうなると、こういうメタル調のロックギターの音も必要じゃないですか。

ZERO：ってことで、今回彼はフライングVを弾いてるんですよ。

——おぉー、それは実に興味深い!

HIZUMI：でも、残念ながら弾いてる姿を実際に見たら、も〜のっ凄い似合わないんっすよ! ほんと、びっくりするくらいに（爆笑）。

Karyu：あれはだって、しょうがないよ。ああいうVシェイプだと、普通に構えて弾けないじゃないですか。ってなると、スタジオでは短いストラップで吊るしながら弾くことになっちゃうから、見た目がちょっとね（苦笑）。でもいいんです、音はちゃんとメタルしてたんで俺は満足です。

——一応、確認しておきますがそのVがライヴで登場する可能性は…?

Karyu：ありません!（笑）。

——かくして、話題性たっぷりの内容に仕上がった「LOVE IS DEAD」ですが、詞の面でもここには"踊り"を感じさせるくだりが端々にありますよね。

HIZUMI：そこはやっぱり、曲を最初に聴いた時の雰囲気から出て来たものでしたね。イメージ的には、なんか人間離れした人たちというか、ゾンビ的な人たちが踊ってるような、そんな場面を思い浮かべながら書いてた詞でした。

——そう伺うと、何故この曲が「LOVE IS DEAD」というタイトルになったのかが、良く分かります。

HIZUMI：さすがに、タイトルにそのまんまゾンビだ何だって持って来ちゃうと古臭いし、カッコ良くないじゃないですか。だから、ちょっとキャッチーさと親しみやすさを加えて（笑）、こういうタイトルにしたんです。

——タイトルの面白さという[illegible]今回カップリング「WEDIC[illegible]非常に素晴らしいです。

HIZUMI：これ、鏡を文[illegible]置くと本当のタイトルになるん[illegible]詞も、言葉遊びが中心になって[illegible]

——MEDICINEというだけあ[illegible]ウンドの方も毒気たっぷり[illegible]がありますね。

TSUKASA：これは、ゴスな曲が[illegible]欲しいっていうことで作っ[illegible]

——ある意味、このバンドの[illegible]さ"を感じられる曲でもある[illegible]

ZERO：「BRILLIANT」あ[illegible]音楽性の幅もだんだんと拡がって来て、今回は遂に「LOVE IS DEAD」の領域まで来ましたからね。そういう中で、今のD'espairsRayがゴスな音を出すとこうなる、っていうところを上手く出せたんじゃないかと思います。

Karyu：俺自身は、そんなゴスとかって全然意識してないでやってましたけど、凄い入り込みやすかった曲だったっていうのはあったなぁ。

——かと思うと、3曲目に入っている「CROSSED ARROWS」は、スケール感があって劇的な1曲ですね。

Karyu：劇的…そうですね。これは現状に満足出来ない自分の人生を、映画感覚で表現してみた1曲です。

HIZUMI：その映画的っていう感覚は、詞を書く上でもありました。別にそうしてくれって言われたわけじゃないけど、曲から感じるものがありましたね。

——このシングル発売を受けるかたちで、4月後半には渋谷O-EASTにて2デイズライヴもありますが、今年のD'espairsRayは、これからさらにどんな展開になって行くのでしょう。

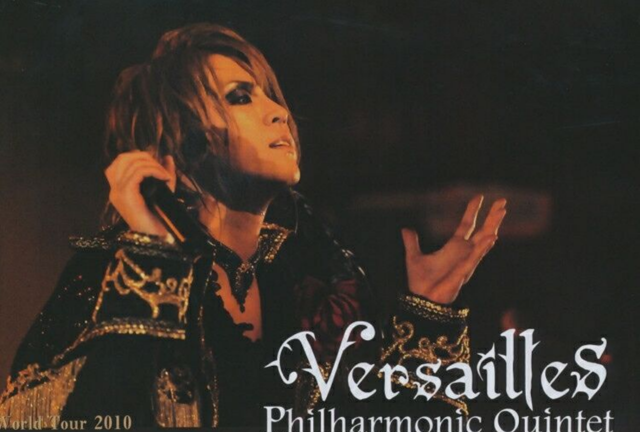
Karyu：近いうちに、アルバムも出すと思うんですけど、それは今回のシングルとは方向性が全然違ったものになります。よく、先行シングルっていう表現がありますけど、この「LOVE IS DEAD」に限っては、次のアルバムの雰囲気は全く匂わせてません!

——さすがは天の邪鬼バンド（笑）。

HIZUMI：ま、アルバムはシングルの真逆の世界が拡がってる、って考えてもらうと分かりやすいと思います（笑）。

(問) Sword 〒107-0062 東京都港区南青山1-10-3 橋本ビル2F
TEL:03-5413-7026(平日14:00〜18:00)

爱杂志
www.aizazhi.com



Versailles
Philharmonic Quintet

World Tour 2010
"Method of Inheritance"—APOSTLES—
2010.2.28 YOKOHAMA SUNPHONIX HALL

t list]
he Red Carpet Day
Zasen Schwert
愛と哀しみのノクターン
Beast of Desire
.morphous
PRINCE
.Descendant of the Rose (YUKI Solo)
2.Reminiscence (TERU Solo)
atharsis
月下香
ambie
Shout & Bites
The Umbrella of Glass
After Claudia
PRINCESS -Revival of church-
Serenade
ASCENDEAD MASTER
ncore I>
Aristocrat's Symphony
ncore II>
Sympathia
The Revenant Choir

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

より知らしめるツアーにしたい〟（KAMIJO）

〝日本全国でお客さんと『JUBILEE』の楽曲を育てて、ワールド・ツアー（海外）でさらに僕たちが育てて来る〟（HIZAKI）

『JUBILEE』リリース時のインタビューで、こう言及していたワールド・ツアー『Method of Inheritance』・『APOSTLES』がいよいよ幕を開けた。今回は言わずもがな、メジャー1stアルバム『JUBILEE』を引っ提げてのツアーであり、本格的な再始動を告げるものでもあるだけに、ヴェルサイユの今後の歴史にも重要な位置を占めることは間違いないだろう。

ツアー初日となった横浜サンフォニックスホールは、開場時間がやや遅れたためか、場外には開場を待ちわびるオーディエンスでごった返していたのだが、男性ファンが4割近くを占めるまでになっていて、その変化に少し驚かさ[illegible]開けば、その兆候はアルバム・リリ[illegible]直後のイベントなどから見受けられ[illegible]たとか。その音楽性ゆえに、ライヴでは[illegible]これまでも多数の男性ファンの姿が[illegible]れたヴェルサイユだが、ここへ来て[illegible]の変化は、『JUBILEE』をリリー[illegible]たことによるリスナーの変化の顕れだろう。そして、〝ヴェルサイユの存在を[illegible]らしめること〟──その動きは、ツ[illegible]が始まる前から起きていたのだ。

開演予定時刻を20分ほど過ぎた頃、S[illegible]

蝴蝶网
hudie.com

新たなる旅の幕開け

メジャー1stアルバム『JUBILEE』を引っ提げてのワールド・ツアー
"Method of Inheritance"がいよいよ幕を開けた。
初日となった2月28日・横浜サンフォニックスホールには、
Versaillesの面々を待ちわびたオーディエンスが詰めかけ、
ツアーのスタートを大きな歓声で祝福したのだった。
ここから7月、さらにはその先まで、Versaillesの旅は続いていく──

Photography:SAWAE HARA
Report:RINGO AOMORI

かに開かれた。会場に満ちた期待感が、〝We are Versailles!!〟という歓声に変わると、その声に導かれるようにメロイックサインを掲げたメンバーがステージに登場した。

〝さぁワールド・ツアーの幕開けだ。Welcome to Versailles!!〟

KAMIJOが叫ぶと、「The Red Carpet Day」でライヴ・スタート。4人から放たれる凄まじいまでの気迫は、オーディエンスからの唸るような声を引き出していく。ライヴでお馴染みの曲で会場に熱気を満たし、一体感を作り上げると、しなやかにギターに手を絡めるHIZAKIの動きに歓声の上がった「Rosen Schwert」、さらには〝次の曲は、みんなの顔が見たいんじゃないんだ。頭が激しく取れそうになってしまうのを見てみたい…〟と何ともKAMIJOらしい表現でヘドバンを促した「愛と哀しみのノクターン」へ。ライヴ初盤は、既存曲と新曲のファスト・チューンを織り交ぜながらたたみ掛けられた。

中盤では、今回のツアーのひとつの見せ場であろう、YUKIとTERUによるそれぞれのソロ・プレイが挟まれた。オープニングからキレの良いリズムを繰り出してきたYUKIは、シンコペーションの入り混じるリズムを的確に叩いてみせた。アルバム収録のインスト・ナンバー「Reminiscence」を披露したTERUは、軽やかな曲調に合わせて、弾きながらステージを歩き、笑顔を振りま

ライヴ後半は、HIZAKIのソロ・フレーズに始まるテクニカ[illegible]「Catharsis」でスタート。[illegible]やブレイクの多い高速チ[illegible]アルバムで聴いていた以上[illegible]テクニックを伺える楽曲だ[illegible]実感。しかし、こんな複雑な[illegible]ヴ前半よりも全体的にサウ[illegible]か軽やかに聴こえたのは、[illegible]ステージングの裏側では[illegible]アー初日。ならではの緊張[illegible]いうことなのかもしれない[illegible]

そうやって垣間見える[illegible]ナチュラルな姿は、本編終[illegible]で、よりあらわに。〝嬉し[illegible]涙もみんなに見せていき[illegible]す〟というKAMIJOのMCに導かれた「The Umbrella of Glass」。ここから続く、ミディアム・テンポの楽曲が配されたこのブロックで見せた、そしてアルバムでも見せていた素直な感情が、ツアーの中でヴェルサイユをどう変貌させていくのかも楽しみにしていたい。

結果的に、この夜は本編だけでアルバム『JUBILEE』の収録曲がほぼ全局披露されたことになるのだが…個人的にはやはり、ここで聴けなかった10分に及ぶ大作「God Palace」は、4月30日のJCBホールで聴けることを期待したい。そして、『JUBILEE』の成長がヴェルサイユにもたらすものは何なのか…ワールド・ツアーの今後の行方にも注目していきたい。

爱杂志
www.aizazhi.com

"10th Anniversary～百鬼夜行～幕開け

蝴蝶网
hudie.com

Kagrra,がKagrra,であり続ける為に。
"10th Anniversary～百鬼夜行～"と題された、記念すべき1年が今春より始まった。来たる6月3日には[鬼咆]と題したワンマン・ライヴを行ない、6月16日にはニュー・シングルを発表。加えて、夏にはシングルをもう1枚出した後、ツアー[行脚　百鬼夜行～陰～]も行なうというKagrra,。彼らは、今さらなる未来へと歩み出したのだ。

Photography:Michaël　Interview:YUKI SUGIE

──3月3日に渋谷O-WESTにて行なわれた、ライヴ［鬼還］を手始めとして、いよいよKagrra,にとっての輝かしき"10th Anniversary～百鬼夜行～"が始まりましたね。

一志：思い返してみると、Kagrra,としてはちょうど10年前の3月3日に、当時はまだON AIR WESTっていう名前でしたけど、あの場所でワンマンをやったところからのスタートでしたからね。あれから10年が経って、そこで気持ちも新たにライヴをやれるっていうのは、自分たちにとってホントに感慨深いことだと感じてます。

──10年前、Kagrra,として初めてあの場に立った時、どんな心境だったかは思い出せますか。

白水：いや～もう、あれはとにかくそれまで経験したことがなかったタイプの緊張感でしたね。実質初めてのワンマンだったんで、"やっとこの場に立てた―"っていう嬉しさもあったし、逆に、"ここから先、どうなっていくんだろう？"っていう期待も混ざった中で、凄く未来に対する希望を感じながら、心地良い緊張感を味わったライヴだった記憶があります。これが始まりなんだ、っていう気持ちでいっぱいでした。

──特に印象深いものとして、胸の中に残っているシーンはありますか？

真：僕にとっては、あの日ステージ上から見た客席の眺めっていうのが、今でもかなり鮮明ですねぇ。対バン形式でライヴ始めた当初は、ホントお客さんも全然いなくって、けっこう地道な活動を続けてた分、後ろまで人がいっぱい入ってるっていう、その光景がとっても嬉しくって。俺たちだけのために、これだけ

これまでも、これからも、唯一無二の存在に。

ことに凄い感動しました。

楓弥：それと、あの日は初めて舞台セットを組んでもらったライヴでもあったんですよ。みんながあれだけ観に来てくれたこともそうだし、それだけの人が自分らのために動いてくれてる、っていう事実もこれは凄いことだなって感動して、あの日は僕初めてライヴで嬉し泣きをしちゃいました（笑）。特に、「桜舞い散るあの丘で」で、桜の花びらが上から降ってきたところは、メチャクチャ綺麗で、ホントに良い景色で感激したなぁ。

女雅：衣装もまた、あの日のために良いの作ってもらってたしね。今日ここは全てが俺らだけの世界なんだ、っていうそのことに対して、俺も凄い興奮しましたよ。あとそうだ、あの日は確か初めて白水とリズム隊ソロもやったんだよね？

白水：（無言で頷く）

女雅：ま、流れ的に言うと、メンバーが衣装チェンジするための時間稼ぎ部分ではあったんですけど（笑）、あそこで俺と白水の中で芽生えたものってありましたから。"ドラムとベースだけでも、いろんなことが出来そうだな"って。そういう収穫のあったライヴでもありました。

──全ては、今に脈々と通して来ているわけですね。

一志：とはいえ、当時はまだ曲数もあんまりなくて、とにかくその時点で出し切れるものは全て出し切ろうっていう、まだ余裕のない状態ではありましたけどね。でも、僕も今でもあの時にステージ上で言ったことは自分でも覚えてるんですよ。"Kagrra,というものが一本の樹であるならば、そこに養分を与えてくれているのは、周りにいるスタッフやえてくれる人たちです。そして、今日この

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

ようなことを言ったはずです。

―その時の気持ちも、今と変わらなかったりしますか。

一志：当然そうです。むしろ、その想いは当時よりも強くなってますよ。僕らはこの5人でKagrra、ですけど、周りの方々の力を借りなければ何も出来ないですし、そこに聴いてくれる人たちがいなければ、やり甲斐もないわけですから。そのことは常に意識してますね。

―かくして、今年のKagrra、はここからより活動の密度を高めて行くことになるわけですが、今度は結成記念日である6月3日に、渋谷O-EASTにて【鬼咆】と題したワンマン・ライヴも行なうそうですね。

一志：6月3日はKagrra、の誕生日ということで、毎年ライヴを行なって来てるんですけど、今年は【鬼咆】というタイトルをつけました。

―【鬼咆】とはつまり、ここから寄り高く気炎をあげていく、というような意味合いを込めたものですか。

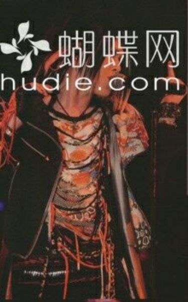
一志：このライヴの直後、6月16日には新曲も出ますしね。ここからより機運を上げて行くぞ、というライヴになってくんじゃないかと思います。

白水：バンドとして、まさに10歳になった今だからこそ出来ることを、ここでは表現していきたいですね。

―6月16日のシングルは、間違いなく記念すべき作品になっていくのでしょうね。今もう、作っているのですか？

一志：まだプリプロの段階ではありますけど、やってます。今のところの手応えからいくと、Kagrra、の持っている綺麗な部分が出て来てます。

真：Kagrra、の場合、シンプルなギターロックでドーン！っていう音より



とつの特徴だったりするので、そういう部分を活かした作品になってくはずです。もちろん、そこにはここまで積み重ねてきたバンドとして持ってる力も活かしたいし、曲の持ってる良さを最大限に引き出しながら、完成度の高い音にしていきたいと思ってます。

楓弥：特に、繊細な部分は大事にしたいよね。ひとつずつの音が、なぜそこに必要なのかっていうところまで突き詰めながら、Kagrra、ならではの繊細さを、改めて感じてもらえるような音が理想です。

―ということは、曲調はバラード的な感じなんですかね。

楓弥：いや、曲調的なことでいえば、このところシングルはバラード続きで来てたっていうのもあるので、ちょっとアップテンポなニュアンスも入れていきたいと思ってます。

女雅：みんなにも、"あっ、これは来たね！"って感じてもらえるようなシングルになると思いますよ。

―10年やってきた成果を、作品の面でも見せつけていただきたいものです。

女雅：もちろん！　10年かけて吸収してきたものを、ガツンとぶつけますよ。サウンドの持つ説得力もそうだし、一志の書く詞の世界にしても、"さすがだね！"とみんなに言わせるだけものを、必ずお届けしてみせます。

白水：何しろ、これだけ10年、10年とは言ってますけど（笑）、だからって決してここがゴールではないですからね。ここからもっと前に進んでくための、第一歩に相応しい曲にしないと。

―なお、実は夏にもシングルがさらに1枚出て、そのうえ8月後半からは全国ツアー【行脚　百鬼夜行〜輪〜】もあるそうで。

全員の地元も廻りながらのツアーになります。1本ずつのサブタイトルもあって、普段のツアーとはまたちょっと違うかたちになってるんですよ。

―そのサブタイトルが、全て妖怪の名前になっているというのも、いかにもKagrra、らしいところです（笑）。

一志：そこはまあ、ツアー・タイトルからして"百鬼夜行"ですから（笑）。

―2010年、ここからより速度を上げていくであろうKagrra、に、しっかりとついていきたいと思います。

白水：初心はしっかりと忘れず、10年

今年はみんなに見せていく1年にしたいですね。

女雅：俺らも士気を上げながら、[illegible]と次に繋がってくように動いてく[illegible]したいです。今年はこれからみんな[illegible]い思い出をたくさん作ってくために[illegible]グレッシヴに行きますよ！

真：いろいろ予定は目白押しなん[illegible]ど、僕が思うにいちばん大事なの[illegible]かにカッコ良いバンドでいられる[illegible]てことだと思うんですよね。だから[illegible]とつの節目ではありますけど、昔[illegible]しむんじゃなく、今どれだけのこ[illegible]来るかっていうところで今年は頑[illegible]す。

楓弥：10周年を祝いながらも、ちゃんと先に進みたいもんね。ノスタルジーに浸るのは、死ぬ間際でいいです（笑）。

一志：この10年、きっと他にいなかったと思うバンドって、Kagrra、のようなバンドですよ。ここから先も、Kagrra、が唯一無二の存在でいられるよう、今年はKagrra、の世界をより強固なものにしていきたいですね。日本にKagrra、在り、と胸を張ってそう言えるバンドでいるために。

爱杂志
www.aizazhi.com

LIVE TOUR 2010『日本全国満開宣言』~咲きまくり警報発令~

2010.3.2 YOKOHAMA SUNPHONIX HALL

Kra

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

けら散歩

ちょっと河原まで…

アタマの中は次の現場のことでいっぱいです(笑)

ラーメン博物館、まずは入ってすぐに撮影!

撮影終了と同時に並んじゃいました!

名物、"からみそラーメン"!

3月2日、Kraのツアー「『日本全国満開宣言』～咲きまくり警報発令～」の2日目が、横浜SUNPHONIX HALLで行なわれた。久々の全国ツアーとなるだけに、楽しみにしていたのはメンバーもファンも同じ。お互いの熱い想いをぶつけ合って、ライヴハウスの空間を熱気で包み込むようなライヴが展開された。春の訪れと共に全国を駆け巡り、ファイナルの日比谷野音大音楽堂ではどんな花を咲かせてくれるだろうか。この日は、本番前にちょっと散歩もしてみました!!

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)　Report:MIYUKI MURAYAMA　Location thanks:新横浜ラーメン博物館(☎045-471-0503　http://www.raumen.co.jp/　※詳細はP128へ)

て、今年はライヴをたくさんしたいと[illegible]にしていた4人。久々となる[illegible]の2日目、ステージにはライ[illegible]4人の生き生きとした姿が[illegible]最近は、渋谷C.C.Lemo[illegible]ど大きな会場でライヴを観[illegible]かっただけに、いかにもライ[illegible]いったキャパシティの小さ[illegible]のライヴを見ること自体が[illegible]と共にメンバーがステージ[illegible]近くで見る彼らの姿に一気に引き込まれ[illegible]た。

ライヴは、「ariman」か[illegible]タート。パワフルなサウン[illegible]してのノリが、直接体に響[illegible]に感じられるのは、ライヴハウスならでは。そのせいか、いつもは明るく伸びやかな印象の「少年と空」も、何だかエネルギッシュ。そして「MH」は荒々しい様相を呈し、「春色の花」では[illegible]しく、会場を染め上げる。

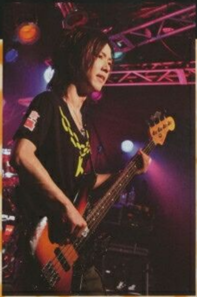
まず最初のMC。ツアー初日となった渋谷O-WESTでのライヴのMCが相当長かったらしく、それを若干気にしつつも、相変わらずのトークを繰り広げていく。特に舞はテンション高めで、すでに暴走気味。オーディエンスから[illegible]込みが入り、会場が盛り上がると[illegible]手ごわいな。という景夕からのお[illegible]の言葉（?）も飛び出した。

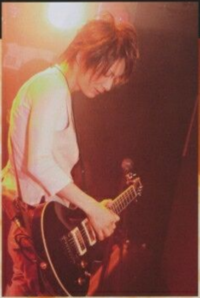
しかしその後は、そんな空気感と相反するように、「水風船」から、ゆったりとした曲を続けていく。ムー[illegible]に満[illegible]たっぷりな歌を聴かせた「街の灯」、ア[illegible]ルセットを交えた柔らかい歌声を、落ち着いたプレイから生まれる丁寧なサウンドが支えた「Dear little」、軽快なリズムが会場を異国情緒へとさらった「上海遊戯」と、次々と目まぐるしく展開。各々の曲が終わるたびにオーディエンスからは拍手が沸き起こり、曲ごとに異なる世界を堪能している様子がうかがえた。

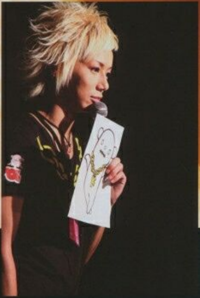
2度目のMCでも、やはりとりとめのない話は全開。けれども、初日の反省を若干意識して、強引に「サァカス」へと続けられる。景夕の口上で、ガラッと辺りの空気を一変させると、ちょっといかがわしいような騒々しい世界が広がる。"全てを巻き戻して行きましょう"と始まった「〈〈」では、景夕の表現力が活き、そのまま「Pied Piper」でも、歌詞の

hudie.com

愛杂志
www.aizazhi.com







【set list】
SE
1.artman
2.少年と空
3.MH
4.春色の花
5.水風船
6.街の灯
7.Dear little
8.上海遊戯
9.サァカス
10.<<(リワインド)
11.Pied Piper
12.世界で一番頼りない恋の歌
13.ロック
14.ショータイム
15.Marry
<encore>
16.時の列車
17.君の声
18.恋情フィソロフィー
19.明日屋
20.結色の詩

伸びやかにハジけたツアー2日目!!

世界に入り込んで、なり切[illegible]た。その横で、舞と結良は[illegible]がら、ステージを楽しんでい[illegible]ら終盤は、いよいよ激しく盛り[illegible]間。「ロック」が始まれば、[illegible]ろん舞のシャウトも会場に[illegible]乃は鋭い響きを打ち鳴らし[illegible]み掛けるようなビートを弾き出す。フロアは人が入り乱れ、激しい[illegible]それまで温かいムードに包[illegible]場は、一気に温度が上がり、[illegible]ぽい。「ショータイム」では[illegible]方までいっぱいにヘドバンをするオーディエンスで満たされた。景夕はますます火をつけるようにあおり、楽器隊から繰り出されるサウンドも、そんなオーディエンスをはやし立てる。心地いい汗をかいたところで、最後の曲、「Marry」。弾むようなノリとキラキラしたサウンドが、幸福感を生み出す中、景夕が丁寧に歌い上げて、ライヴを明るく締め括った。

アンコールに応えて、まず登場したのは結乃。物販紹介をしているところへ、他のメンバーも登場。そして最後に現れた景夕は、懐かしい『ACID Märchen』時代の衣装姿。このツアーでは、全ケ所で誰かが古い衣装を着ると[illegible]るとのことで、これはファン必[illegible]にはぜひ耳をつけてもらいた[illegible]」の後、予定外の「恋情フィ[illegible]」、「明日屋」までプレイし、オ[illegible]スは、座席のあるホールとは[illegible]ライヴハウスならではのノリで大[illegible]れ。

もちろんメンバーも、そ[illegible]肌で感じ、ライヴの楽しさを[illegible]したことだろう。最後は『結色[illegible]元気いっぱいに届け、高らかに公演の終わりを告げる宣言と共に、ツアー[illegible]日目の横浜公演を終えた。

終演後の楽屋では、またテ[illegible]ンの高い様子のメンバーに会うこと[illegible]出来た。だんだん身体が馴染んで来たという言葉からは、久しぶりのツアーを楽しみながら、ツアーの感覚を取り戻し、よりよいライヴにしていこうという意気込みが感じられた。4月3日・日比谷野外大音楽堂でのツアー・ファイナルでは、たくさんの発表が控えているとのこと。その内容はもちろん、ツアーでの充足感を手に入れて帰って来た4人の姿にも期待した

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
SHOXX
No.3
glitter Pop
グリッターポップ
SHOXXから生まれた徹底的にヴィジュアルにこだわった新メディア『glitter pop』!!
36ページのスペシャルブックとポスター10枚を封入したスペシャル玉手箱の夢のコラボメディア!!
輝く夢のヴィジュアル玉手箱
SHOXXからスピンオフ!!
第2特集!! D
lynch.
heidi.
ギルガメッシュ
Sadie
ダウト
アンド
大好評第3弾!!
3月27日
全国書店にて発売!!
気になるポスター
10枚の内容は!!
#01: 有村竜太朗
#02: 長谷川正
#03: 佐藤ケンケン
#04: ナカヤマアキラ
#05: D
#06: lynch.
#07: heidi.
#08: ギルガメッシュ
#09: Sadie
#10: ダウト
最新撮り下ろし特集
Special Front 12 Pages Edition
Plastic Tree
SHOXX 2010年5月号増刊号　雑誌コード:04538-05 1,500円(税込)
A4ワイド版 本体36ページ オール
愛杂志
発売日(3月27日)を過ぎても店頭に商品がない場合はインターネット及び携帯サイトからもご注文、ご購入いただけます。http://www.ongakusenkasha.co.jp
www.aizazhi.com

ANIMAL ZOMBIES

Mix Speakers.Inc.

夢を忘れていませんか?

3rdストーリー『Mix Land～夢を忘れていませんか?～』のコンセプトをオープンにしたMix Speaker's.Inc.。そんな彼らが、ニューキャラクターでニューアルバムをリリースする。昨年の9月にリリースされたアルバム『BIG BANG MUSIC!!』では、全員が楽器を置いてダンス・ヴォーカルを務めるという前代未聞のパフォーマンスを見せた彼ら。さてさて。今回は新キャラクターでどんな世界を展開してくれるのだろう?

Interview:NAOKO TAKEICHI

——出ました、新キャラ。

AYA：【ANIMAL ZOMBIES】です(笑)。今回、【テーマパークを作ろう】というのが、大本のテーマやって、その第1弾が、動物ゾンビが居るお化け屋敷っていうアトラクションなんすよ。

seek：公式ホームページのトップにもなってるんですけど、あれがテーマパークの相関図みたいになってるんですよ。今後、そのテーマパークで、いろんなアトラクションが楽しめる、的な。観覧車が出て来たり、ジェットコースターが出て来たり。だんだんとアトラクションが増えて行くという展開を、これからやっていこうかなと思ってる最中で。

——今回のキャラクターは、第2弾までのお話で出て来たキャラクターとは絡まないの?

MIKI：ゆくゆく絡んでいくこともあるかもしれないけど、とりあえず、ウサギ列車で旅してた人たちとは別。一旦そこまでのお話は完結した感じかな。

——なるほどね。今回は既に試写会として、【ANIMAL ZOMBIES】の世界を早々とライヴでも披露してたけど。

seek：あくまでも、試写会ということで、Mix Speaker's,Inc.のコアなファンの皆様には、いち早くお届けして、いろんなところで、"面白かったよ!"って宣伝して頂こう企画だったんですよ。

MIKI：映画の試写会的な感じ。

AYA：本格的始動は7月30日の日比谷野外音楽堂になるんじゃないかなと。

——野音は楽しくなりそうだね、テーマ的にも。

YUKI：うん。外やしね。外の空気や外ならではの明るさの変化とか、そんなんも武器に、ライヴをみんなで楽しめたらいいなぁと思ってますね。

——そんな野音のライヴ前に、5月からのイベントツアーもあるし、その前にミニアルバムがリリースされるということで。

seek：はい。4月7日にミニアルバム『ANIMAL ZOMBIES』が出ます。この世知辛い世の中、みんなで楽しく過ごしましょうと。夢を忘れていませんか? と。3rdストーリーの「Mix Land～夢を忘れていませんか?～」をコンセプトとした1枚になっております。いつものごとく、マネージャーであり、社長、総支配人で[illegible]さんが、我々ゾンビに、再就[illegible]て、遊園地のお化け屋敷に与え[illegible]たという、そういうお話になっ[illegible]んですが、今回のアルバムは[illegible]ストーリーを色濃く感じ[illegible]もありつつ、テーマパーク[illegible]いたような大きなテーマの曲[illegible]つ、ラジオドラマ的な「M[illegible]～ANIMAL ver.～」もありつ[illegible]しんでもらえる1枚になった[illegible]いかなと思いますね。

S：今回の試写会でも2曲ほど[illegible]てもらったんですけど、ライヴ自体も、今までの流れもありつつ、新たなアニマル感も持たせつつなライヴに出来たし、アルバム的にも、いままでやってきたことがあって今がある的な、内容の濃いモノになってると思いますね。中でも、僕のお気に入り曲は「Woody Nightmare」ですね。この曲は、原曲をAYAくんから貰った時に、好きにドラムを叩いていいよ、って言われたんで、"俺ならこう叩く!"的な、ドラマーとしての個性を前面に押[illegible]た1曲になったので、とても気に入ってます。遊ばせてもらったアレ[illegible]になっているので、ライヴでやるのが楽しみなんですよね。

MIKI：俺は「春。恋しい人[illegible]」が気に入りかな。

——聴かせる系の唄モノだよね、すごく珍しいというか、特別感があった。

MIKI：うん。特別感、あ[illegible]。でも、とくに狙ったという訳でも[illegible]、純粋にいい曲だなと思って、今回のアルバムに入れたかったんですよね。

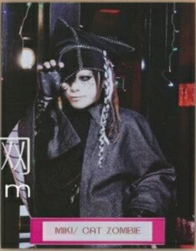
AYA：この曲ね、今から3年く[illegible]前に作ってた曲やったんですよ[illegible]曲やから、早く音源化しようって言[illegible]てたんですけどね、毎回候補には上がるんやけど、なかなかタイミングというか、"ここだ!"っていう感じにならなくて、結局ずっとあたためて来た曲になって。今回も選曲会に上がったんやけど、今回はみんなで、"ここちゃう?"って話になったんですよね。満を持してって感じっすね。たしかに、ウチらにしてはあんまりない曲調なんで、珍しいし、特別な感じがすると思いますね。

MIKI：歌詞は今回入れることになって書きおろしたんだけど、すごく自然な言葉で書けた歌詞でもあったか

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

YUKI/DOG ZOMBIE

蝴蝶网 hudie.com



MIKI/ CAT ZOMBIE

AYA/RABBIT ZOMBIE

な。自分の思ってることや感じてることを、素直に書けた歌詞でもあったんで、素直に受けとめてもらえたら嬉しいなと。

YUKI：僕のお気に入りは「HAPPyyy!! LAND」です！ このミニアルバムの表題曲でもある曲で、内容的にも、コンセプトである、"ミックスランドを創る！"というところから生まれていった曲なんです。みんなもミックスランドにおいでよ！ 此処にはこんなに楽しいことが待ってるよ！ 的な、そんな曲になってますね。

keiji：この曲も昔に作ってあった曲を引っ張り出してきて、ミックスランドとアニマルゾンビっていう2つのテーマをイメージして、アレンジし直したんですよ。華やかさだったり、ポップな感じだったり、ゾンビっていうテーマも意識しつつ、ホラーな感じを入れてみたり、いろんなモノを盛り込んで作りましたね。

——「おもちゃのチャチャチャ」をパロって曲中に入れてたりね。面白かった。

AYA：楽しいテーマパーク感が出てる曲やと思います、「HAPPyyy!! LAND」は。ウチらしい曲なんじゃないかなと。そんな中、僕は5曲目の「「SOS」Toy's Factory」がお気に入りですね。僕、この曲ギター弾いてないんすよ（笑）。

——あぁ、ライヴで踊ってた曲ね！ でも、AYAはギタリストでありながら、バンド的にもメインパフォーマー的なキャラでもあるから、そこもMix Speaker's,Inc.の絶対的な個性だからね。

AYA：そうですね。またこの曲は、今回のコンセプトがあって、最初からライヴでの見せ方を考えて作った楽曲でもあったんで、そういう意味で、また新鮮でしたね。

——そうだね。そういえば、今回のライヴからAYAとkeijiの立ち位置が変わってたよね？ いままでkeijiが下手、AYAが上手だったのに。

AYA：そう！ まさに、その立ち位置も、この曲と深い関係があったりするんすよ！ 今までみたいに、keijiが下手に居ると、seekも下手やから、僕が真ん中で踊ると、下手に2人居て、上手に誰も居なくなるでしょ。そのバランスも考えて交代してみたんすよ。

——すごくいいバランスだったなと。

AYA：それなら良かった。この曲も原曲自体は古いんやけど、MIKIくんが、ダンスを前面に押出すんだったら、この曲がいいんじゃない？って、ストックの中からチョイスしたんですよ。

MIKI：サビの感じとかね、すごくライヴでのイメージが出来たから。この曲の歌詞は、玩具工場をイメージして書いたんだよね。そこまで今回のコンセプトに基づいて書いたというより、大きい意味で、Mix Speaker's,Inc.のテーマ曲的な感じで書いたかな。

——keiji的お気に入り曲は？

keiji：僕は「ANIMAL ZOMBIES ZOO」この曲は今回のライヴでの登場曲でもあるので、自然とテンション上がってきて好きですね。AYAくんが、ライヴでお客さんと掛け合いがしたいっていうのもあって、そこから生まれた曲でもありましたね。

AYA：今までのライヴは、結構突き放した感のある、見せるライヴやったと思うけど、今回はコンセプト的にも、世界観をちゃんと見せつつも、一緒に楽しめたらいいなと思って作りましたね。実際にライヴでも掛け合いが出来て楽しかったですね。

seek：ということで。僕は「Mix Theater～ANIMAL ver.～」をお勧めしようかと。これは、いつもライヴでやってる劇的なモノを、ラジオドラマ的に音源でも見せていけたら面白いんじゃないかな？ と思って作ったモノでしたね。

——置き位置難しかったんじゃない？

seek：そう。ド頭に置くのもね、いきなりやと入り辛くさせてしまうやろし、オマケ的に最後に入れるのも、「春。恋しい人」との繋がりもおかしくなるし。めちゃめちゃ考えて、考えた結果、ライヴをイメージして、中盤のお休みタイム的な場所に置いたんですよね。でも、このラジオドラマが入ったことによって、ライヴを観に来たことのないお客さんにも、バンドのカラーをより深く知ってもらえると思うし、今回のキャラクターも、より深く解ってもらえると思います。ぜひ、このミニアルバムを聴いて、7月の野音に遊びに来て下さい！

keiji/LION ZOMBIE

seek/CONDOR ZOMBIE

(問)Mix Speaker's,Inc. 〒102-8366 東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル7階
http://www.mixspeakersinc.com/

爱杂志 www.aizazhi.com

ドレミ團

Don't Let Me Down

ユウが入った事は運命だった

2010年1月23日に、恵比寿リキッドルームで行なわれた『東京姫始メ5』。この日、ドレミ團は、また新たなスタートを切った。この日から、正式メンバーとして、ベーシストのユウを迎え入れたのだ。これまでにも、メンバーチェンジを経験してきたドレミ團。メジャーデビューというタイミングで起こった大きな転機の裏側にあった経緯を、改めて5人に語ってもらった――。

Interview:NAOKO TAKEICHI

――1月23日の『東京姫始メ5』（年初めライヴ）からユウが正式メンバーとして加わった訳だけど。前ベーシスト・シンジがV-ROCK（昨年の10月24・25日、幕張メッセで行なわれた『V-ROCK FESTIVAL '09』）の時に体調を崩して、リハにも来れない状態になって、そこからいろいろと大変だったんだよね。

[illegible] そうや！ ちょうどSHOXXのアルバムインタビュー取材の直前に、バタバタしてて。わざわざリハスタまで来てもらったのに、取材を別日にしてもらったんですよね！ あの時から状況が一気に変わって。ほんまに、今、こうして取材してもらえてるのも奇跡なくらいの精神状態でしたから。

マコト 本当にすいませんでした。なんか、今日は何から話せばいいかな……？ ……うん。僕たち、ユウが入った事は運命だったと思っているんです。今、思い返してみても、もしユウが居なかったら……。

――ずっとドレミ團を担当してる編集担当者も、"この精神状態じゃインタビュー無理だろうから、落ち着いてから仕切り直そう"って、咄嗟の判断をして、私たちはリハスタを後にしたんだけど、次の日、幕張のステージにドレミ團は立っていた。私たちも、ライヴ当日まで、その後の様子を聞かずに現場に行ったから、ドレミ團がステージに出て来たときは、ホッとして。でも、そのステージにシンジの姿はなくて……。だけど、ベースの音はしてたから、同期で流して、とりあえずこの日を乗り切ったんだと思ってた。

マコト 公の場では、今、初めて言う話なんですけど、あの日のベースは、同期じゃなく、ステージそでで、ユウが弾いてくれてたんです。あの日、シンジがステージに立ってくれることを1番に願ってたけど、それが無理だってなったから、とにかく、待っててくれるファンのみんなに対して、ステージに穴を空ける訳にはいかないから、どうしようって……。もうライヴは次の日に迫ってるし……。っていうんで、知り合いのベーシストだったユウに、"今からと明日って予定ある？ 事情は後で話すから、予定入ってなかったら、今からベース持ってすぐにリハスタに来てほしい"って、唐突な電話かけたんですよ。そしたら、[illegible]でかけつけてくれて。

[illegible] 前日ですからね。本当に[illegible]の選択だったんです。ベースを[illegible]流すことも考えたんですけど、[illegible]やってる時間もなかったし、[illegible]ステージに穴をあけたくなく[illegible]てくれる人たちを裏切ること[illegible]絶対にしたくなかったから[illegible]く、出来る精一杯でステー[illegible]うって4人で決めて、ユウに[illegible]を話して。そしたら、ユウ[illegible]かく頑張りましょう！"って言ってくれて。助けられたんですよね、まず、そこで。

――私たちがリハスタ出たのが夕方くらいだったから、そういう話になったのは、もう随分と遅い時間だったんじゃない？

マコト うん。いろいろと悩んだあげくだったからね。でも、ユウは、その時間から、必死にセットリストにある曲を覚えてくれたんですよ。"シンジが体調が悪いから、この日だけユウくんにサポートしてもらいます"って、ステージに上がってもらっても良かったんですが……。前日にシンジがライヴを欠席する事をホームページで発表したんだけど、それを見ていない人もいるだろうし。逆に見に来てくれた人達に心配かけちゃう事になったらどうしようって悩んでたんですよ。そしたら、"サポートとしてもステージには上がらない方がいいと思う。"って、ユウ自身が言ってくれたりもして。

――ユウ。偉いな、あんた……。

ユウ いやぁ。それは当たり前のことです。とにかく、その時は、無事にライヴが出来ることだけを願ってたんで。

[illegible] もぉね、この言葉にどれだけ助けられたか解らなかったです。

マコト そのV-ROCKフェスティバルの3日後くらいに、代々木体育館でのイベントライヴもあったんですけど、まだシンジがステージに上がれる状態ではなかったんで、そこでもユウが力を貸してくれたんです。その時はさすがに、サポートとしてステージに立ってほしいって、お願いしたんです。結局、その後に、シンジから脱退の申し入れがあって……。

KEN 今まで応援してくれたファンのみんなを悲しませるような事は絶対

愛杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

A feeling newly

にしたくないから、最後にちゃんと会いに行こうっていう話し合いをして、シンジはツアーまで頑張ることにしたんです。

ソコト　とにかく、ツアーは待っててくれてるお客さんに対して、心配かけないような、100%楽しめるライヴをしたかったから、その先のことは何も考えられてなかったんです。でも、年が明けて、どうしても5人でやりたいなって。いろいろな人達とスタジオに入ってみて、やっぱり僕たち4人とも、ユウとやりたいって思ったんです。迷いなく。

KEN　代々木で一度だけ一緒にステージに立ったとき、すごく、音楽的にもプレイヤー的にも人間的にも、年下だけど、尊敬出来るモノを持ってる人だなって思ったこともあって、みんなで、今後の話をした時にユウの名前が上がったときは、全員一致で、"ユウしか居ないと思う"ってことになったんです。

──ユウは？　歴史のあるバンドに入る勇気や覚悟ってあったんじゃない？

ユウ　そうですね。

ソコト　正式にメンバーになることを考えてくれないか？っていう話を持ちかけてから、やっぱ返事待ちましたからね。

ユウ　最初は、本当に困ってた状態での参加だったから、とにかく、自分も音楽の道で生きていきたいと思っている同じ人間として、自分が出来ることがあるなら、精一杯の力で力になりたいと思ったんです。だから、正式メンバーになるとか、その後のことは一切考えてなかったこともあったし、正直、悩みましたね。歴史のあるバンドだし、責任があると思ったし。自分でいいのかどうか？っていう疑問というか、心配もありましたし。でも、ドレミ團の楽曲を聴き返してみて、すごく面白いと思える音楽をやっているバンドだと改めて思ったんです。普通に聴いてたんですけど、自分がメンバーとしてプレイする側に立って、改めて聴き返したら、自分にないものがいっぱいあることに気づいたんです。聴くのと弾くのと全然違うなぁ、面白いな、挑戦してみたいなって思ったことと、メンバーさん一人一人と、ちゃんとお話させてもらった時に、みんな本当にドレミ團のことが好きで、本当に愛してるんだなってことがすごく伝わってきたんで、このバンドで、僕も一緒にドレミ團を愛していけたらいいなって思ったんです。それで、ぜひ、お願いしますってお返事したんです。

──そっか。今の言葉はすごくファンの人にとっても嬉しい言葉だと思うな。で、メンバー的には、実際に、正式メンバーとして音を合わせてみてどうだった？

[illegible]　正式メンバーになってから初めてスタジオに入ったとき、既に、いろいろと自分なりにアレンジをして来てくれてて、"ここ、こういうフレーズとかどうですかね？"とか言ってくれてたりして、感動したんですよ。

[illegible]　他の楽器の音も1個1個そうですけど、ベースの音って、バンドにとっては絶対欠かせない音でもあって、今までもそれを当たり前のようにしながらやってきてたんですけど、また違う音色が加わったことで、ベースの音を感じさせられたんですよね。それにすごく感動したんですよ。曲のポテンシャルが、上がったっていうことにもあったんだってことに気づかせてもらったんですよね。

──すごくいい状態みたいだね。

ソコト　やっと……ですかね。いろいろと心配かけちゃいましたし。

KEN　今は、まず、早く音源作って、それをライヴでやりたいと思ってますね。

ソコト　まず、3月31日のクアトロのライヴで、この5人での一作目となる音源を販売しようと思ってるんです。その曲は、まさに、今の心境。サイコロに例えてあるんですけど、サイコロって、自分では出す目を決められないでしょ。人生と似てるなぁと思って。サイコロ振った時6ばっか出す人もいると思うんです。でも、ドレミ團ってあんまり6は出ないんです。でも、サイコロには0はないんですよね。最低でも1。最低が1ってことは、サイコロを振ることで、最低一歩は進めるってこと。それって素敵なことだなと思うんです。振らないよりは振った方がいい。そう思って、この先も頑張っていこうと思ってます。この5人と、ドレミ團を好きで居てくれる人たちと一緒に。

(問)〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル3F「青空倶楽部」 http://www.doremidan.com/

爱杂志
www.aizazhi.com

メガマソ

HOME MADE Photo Session!! Part2

手作りのぬくもり、あなたに届け!!

Photography:SUSUMU MIYAWAKI (PROGRESS-M)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

歌謡曲を作る。

――7曲目が、「前髪、ディフォルメされた歌謡曲を作る。」。

涼平：ド頭から2ビートのツタツタで入って、Bメロはちょっと古きよきヴィジュアル系みたいな感じで、サビは切ない歌謡曲みたいな感じで。まぜこぜなのにカッコいいっていうのは目指してたところです。インザーギもデモの段階ですごい気に入ってくれてたんですよ。でも、歌詞が出来上がって来たときに…。

インザーギ：ぞっとしました（苦笑）。

涼平：「マコライ三郎」って歌いたくないって言い出して。そんなこと言われたら何回も歌ってもらいたくなって。ハモりをいっぱい入れてるんです（笑）。

Gou：強調されてるもんね、歌の中で。

――こういう歌詞が来ると、え？ってなったりするんですか。

インザーギ：誰が見ても、え？ってなると思いますよ。でも、ただひたすらカッコよく歌うことを追求して歌いましたね。

涼平：カッコよく決まったし、インザーギの判断は正しかったんですよ。インザーギの声を想像しながら曲を書くんですけど、これはズバ抜けて僕が想像したよりもよくなったんで、ビックリしちゃいました。

――ベースも曲調にあわせてカッコよく？

Gou：ドラムとベースはノリノリなんでね。

涼平：目まぐるしくリズムが変わるから。

インザーギ：ここ食ってんのに（※食う：シンコペーションの事）、ここ食わないとか。そういうリズムの変化球みたいなのがあるから、バンドでやると面白いよね。

Gou：聴いてるほうもノリノリだろうね。

インザーギ：気持ちいいと思う。

涼平：ライヴで盛り上がるだろうな。

Torisarideishi's Love

（トリサリディシス）

――次が、「Torisarideishi'sラブLove」。

涼平：「Torisarideishi」っていうロボット[illegible]恋の[illegible]です。新しい感じが詰まってるアルバムなんで、ヘヴィなんだけどサビだけは[illegible]麗にしました。

――[illegible]てもガラッと切り替えて。

インザーギ：サビは綺麗なんだけど、AとB[illegible]殺気々しい感じで。これの印象はね、[illegible]しいんだけど古い感じでしたね。そこの[illegible]ックスがいいバランスで出てて。

MEMORIES

の周りに新しいものがあるから、すごく新鮮な感じですね。

――ベースについては？

Gou：すごいシンプルです。ギターの下を支えるような曲なんで。支えまくってます。

――また歌詞がインパクトありますね。

涼平：最初の2行はストーリーテラーの人が言ってるわけなんですよ。その人が、ピアノ弾いてるお前は誰だ？って聞くんです。ピアノ弾いてるロボットが語り出すのが、その後のストーリーなんです。

Gou：頭の、インザーギの声が印象的ですよね。すごい入りですよね。インパクトがすごいです。

白夜の小惑星

――次の「白夜の小惑星」は、ポップですよね。

涼平：不思議な世界観は続いてるんですけど、アルバムの最後に向かって加速して。テンポ感とかリズム感はあるけど、ポップだったり、違うアプローチをしてるんです。ラテンなノリが使いたくて出来たんですけど、意外と皆も気に入ってくれて。小惑星っていうのは、大きい猫バスみたいな、そういう生き物なんですよ。その上に男の子と女の子が乗って出かける歌です。僕は、ギターソロが弾いてて気持ちいいです。

Gou：気持ち良さそうだね。

涼平：ベースはね、ずっと拍子をとらなくちゃいけないから大変だと思うけど、ギターはその上でメロディーを弾いてたらいいから。

Gou：ギターとの絡みが面白いよね。

涼平：ギターのメインのリフとね。そこの絡みが、上手い具合に聴こえて来るんですよ。それがラテンのノリにひと役を買ってるんじゃないかなって。

――リズミカルな印象を出してると。

Gou：ドラムとベースで出してると思います。サビになってからの広がりが好きですね。これは一押しな曲です。

――歌もこのリズムにノって？

インザーギ：仮歌からノリノリで、そのまま録りましたよ。爽やかっぽい感じで声質もちょっと違うし。

涼平：ちょっとツヤッとした感じがあるよね。インザーギとかGouちゃんがノリノリでやってくれて、嬉しかったです。

メジャー1stアルバム『M of Beauty』全曲解説。

（後編）

カッコよくキマったので、インザーギの判断は正しかったんです

メガマソのメジャー1stアルバム『M of Beauty』は、現在好評発売中。お待ちかねの全曲解説、今回は後編をお届けします。いよいよ全国ツアーも始まり、このアルバムを、ライヴで体感するチャンス。「音楽は美しい」という、壮大な、けれども一番根本的とも言えるテーマを、CDで、ライヴで、しっかり感じ取って下さい。メガマソの考える音楽の美しさが、きっと伝わるはず。

マゾの頂点にある曲だってずっと言ってるんですけど、このアルバムでもね、この後2曲がすごい、いい曲なんで、その橋渡しもしつつ、シングルとしての存在感も放ってるかなと思います。

Gou：ラストへの流れがすごいよね。

涼平：怒涛です。音楽は美しいっていうテーマを体言してます。

――その流れで聴くと、シングル曲だけどまた違って聴けそうですね。

インザーギ：アルバムで聴くといいクッションにもなってるし、シングルのきらびやかさもあるんだけど、馴染んでくれて。いい接着剤みたいなポジションです。

メグムミサダメキタゾラニナクノ

――「メグムミサダメキタゾラニナクノ」は、ロマンチックなバラードです。

涼平：ロマンチックで、切ないメロディーをじっくり聴かせる曲になってますね。恋愛の歌詞なんですけど、聴いてる人達が共感できる歌詞ってやっぱり恋愛かなって思って。僕のちょっと変わった価値観に触れてほしいっていうのもあるんだけど、共感してほしいっていう気持ちもあるので、恋愛の歌詞を書きました。

――そのメロディーとか歌を大切に歌ったんですか。

インザーギ：メロディーを綺麗に聴かせることを意識して歌いました。すごいメロディーも歌詞もいいなと思って、歌ってて自分でも感動しました。

涼平：それってすごい、いいことだよね。自分で感動できるって。うん、そう思う。

――バンドが入ってからは、ドラマチックに盛り上がって。

涼平：ドラマチックな展開ですね。そこから入るギターソロも主演な感じで入って、メロディーを聴かせるみたいな。

――世界が広がるような感じがします。

涼平：世界が広がるっていう言葉そのとおりで、世界が広がって、同時にね、切なさもどんどん飛んでっちゃう。それで彼との思い出が希薄になってっちゃって。

Gou：ベースも、今話してた通りで。バンドが入って、広がるような感じのイメージです。本当にシンプルに終わらせましたね。

EYES

――感情的にはここでぐっと盛り上

ます。好きなんです、この曲。「[illegible]」のときのシングル候補で、両[illegible]ですけど、個人的にはこっ[illegible]しいメガマソって感じがし[illegible]うコード進行でこういうメロ[illegible]珍しくない？ これ、男のヴ[illegible]にはキーがきつくて、逆にA[illegible]人は歌えないぐらい低くて。域が広い曲なんです。

――実際歌うのは大変で[illegible]

インザーギ：大変でした。す[illegible]たんですけど、高い上に息[illegible]なくて。練りに練って、ブ[illegible]決めて、そこで吸う量も決[illegible]らいしないとダメな曲でし[illegible]

――プレイでは、疾走感を[illegible]

Gou：それをすごい意識してますね。

涼平：ベースはベーシックなプレイと、Aメロではトリッキーなプレイがあって。

Gou：「M of Beauty」と「EYES」って、しゃれおつな感じなんです、ベース的に。

インザーギ：おしゃれでいいじゃん。

Gou：（照笑）拍の取り方も違ってて、面白い曲になってます。

――この曲でアルバムを締めくくると言うのは、最初から考えてたんですか。

涼平：もともと決めてました。アルバムを作るときに、ラストはこれでって。

センスオブスターゲーザー

――プラス、通常盤のみに入るのが「センスオブスターゲーザー」。

涼平：これはもう思うままに作った曲なんですね。インディーズ時代の僕らって感じがするのかな。

Gou：やりたいようにやってますよね。遊んでるって言うか。

涼平：実はラフミックスなんですよ。アルバムの雰囲気と変えたくて、そのままOK出しちゃって。アルバムは12曲で完結してるから、録るのも、これは違う気分でって。

インザーギ：それが逆にいい感じのチープ感が出せたんで。ライヴでは映えるだろうし。面白いかなって。

涼平：新しい部分はアルバムでバリバリ出せたけど、昔の部分もちょろっと。

――アルバムとは別枠の曲なんですね。

涼平：これだけ別のCDでつけたかったぐらいだよね。

Gou：お楽しみです。

蝴蝶网 hudie.com

爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

girugämesh

TOUR 2010 This is "NOW" START!!!!!

2010.2.21 SAITAMA SHIN-TOSHIN HEAVEN'S ROCK VJ-3

興奮と熱気のツアー、スタート!!

やはりギルガメッシュには、密度の高い、熱い空間が似合う。2月21日・さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3でのライヴを観ての感想だ。彼らのステージに相応しい熱い空間を、メンバーとオーディエンスが共に楽しんでいる様は、広い会場とはまた別の意味で壮観だった。この『TOUR 2010 This is "NOW"』は4月まで続き、夏にもツアーは控えている。まだまだ熱い空気を楽しませてくれそうだ。

otography:MIWA OHYA / Report:MIYUKI MURAYAMA

新木場スタジオコーストの広[illegible]空間から一転、オーディエンス[illegible]離が近いライヴハウス、さいた[illegible]心HEAVEN'S ROCK VJ-3での[illegible]生々しい興奮と熱気が埋め尽く[illegible]「now (intro)」が流れ出す。[illegible]叫び声と手拍子で、さらにボル[illegible]アップ。もちろんそのまま1曲目の[illegible]crash」で会場は大きく揺れ始[illegible]体で感じ、身体に直接訴えかけ[illegible]ウンドは、まさにライヴハウス[illegible]の醍醐味。テンションが上がらずにい[illegible]れないのは、オーディエンスはもちろんのこと、メンバーも同じだ。ステージもフロアも、このサウンドと、そこから放たれるパワーを、思う存分楽しんでいる。鋭くタイトに決めた「NO MUSIC NO REASON」、パワー溢れる「BEAST」、心地よく跳ねた「GAME」と、ノリは少しずつ違うものの、とにかく楽しく、体が自然に喜ぶ。会場は一気に熱気で満たされた。

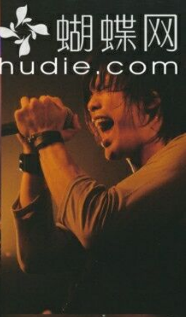
"ガツンと盛り上げていこう"と、早速ジャケットを脱いだ左迅が語り、それに応えるように「CRAZY-FLAG」では、オーディエンスが叫び、左迅と声をぶつけ合った。弐と愁はお互いの動きを見ながら動き、Ryoも立ち上がっては笑いながら踊っている。続く「Dance Rock Night」では、浮かれるようにみんなで踊って大騒ぎ。その音を聴けば、素直に共に楽しみたくなるような、そんなパワーが彼らのサウンドには漲っている。それは、ひとつひとつのプレイを大切に、そして楽しんでいるメンバーの姿勢の表れに他ならない。ステージとフロアの距離が近い、この日のような会場であれば、それが直接感じられるだけに、その魅力は倍増するのだろう。

熱いテンションのままで始まった「睡蓮」ではあったけれど、丁寧に落ち着いたプレイでしっかりと聴かせ、曲の雰囲気を損なうことはない。一言一言丁寧に発し、一音一音心を込めてプレイした「I think I can fly」でも、伝えようとする想いが、その真剣な表情と共に、サウンドから伝わって来た。

沈黙を破るように始まったのは、愁のMC。話すことを何も考えていないと話し始めながらも、とにかく"(終演後に配

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com



girugämesh

TOUR 2010 This is "NOW"

[illegible]また一気にサウンドの渦へと引きずり込んだのは、「Break Down」。17[illegible]ツアーの経験が、やはり生き[illegible]自然にプレイしているにも関わ[illegible]き上がって来るパワーの凄まじ[illegible]抜いていた。あのツアーで、どれ[illegible]ンドの底力がアップしたのかを[illegible]じる。その勢いのまま、「s[illegible]ら後は最後まで突っ走って行[illegible]を打ち鳴らし、声をあげ、会場を[illegible]オーディエンスに対し、愁と[illegible]と目を交わして笑顔を浮かべ[illegible]に寄り添ってプレイ。思わず[illegible]ら"元気がいいなぁ"という[illegible]るほど、フロアも元気いっぱいだ。そのままラストとなったのは、渾身の力を込めた「arrow」。全力をぶつける姿が、彼らのライヴに対する姿勢を物語っていた。特に左迅は、苦しそうな険しい表情ではあったけれど、真剣に最後まで歌い切った。あっという間の15曲、力いっぱい駆け抜ける姿と、最後の笑顔が清々しかった。

全力を出し尽くした本編の後に、とどめを刺したのが2度のアンコール。「お前に捧げる醜い声」でフロアを蠢いていた人の波は、最後の「evolution」で大はしゃぎ。"全国ツアーに行ってまいります!"とスタートを宣言して、ライヴは終了。最初から最後まで高いテンションを保ち、ステージに賭ける熱い心意気が伝わって来るようなライヴだった。

帰り際に配布されたフライヤーに記されていたのは、7月2日・原宿アストロホールでのライヴ告知。このツアーでは、会場ごとに次のツアー日程が1ヶ所ずつ発表されていくとのこと。ツアーが進むにつれ、次のツアーの全貌も明らかになっていく仕掛けだ。

この日は見事ソールドアウト。ライヴ中、埼玉でのライヴがソールドアウトした喜びを語る左迅が、"次（の会場）はどこだろう?"と言うと、"すぐ近くにある、さいたまスーパーアリーナ!"という声が飛んだ。そこへ向かう道のりはまだ遠いかもしれないが、今までと同じように着実に一歩一歩踏み進め、いつかそんな日が現実のものとなって、今日の日のことを思い出したい、そう思いながらスーパーアリーナの影を横目にしつつ、帰路についた。

愛杂志
www.aizazhi.com

DELUHI

突破口的シングル「REVOLVER BLAST」発売!!
DELUHIを象徴するポジティヴ・ナンバー

フル・アルバム『ユグドアライヴ-Yggdalive-』リリース以降、初の音源となるシングル「REVOLVER BLAST」を3月24日にリリースするDELUHI。アルバムからの進化を感じられるタイトル曲の他、新曲2曲やPVを収録したDVDも付属と、充実の作品に仕上がっている。6月からのツアーでは、どんな姿を見せてくれるのか非常に楽しみだ。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

——シングル曲「REVOLVER BLAST」は、「Yggdalive」に収録されていた曲のニュー・ヴァージョンですね。

Leda：「REVOLVER BLAST」は、「Yggdalive」のリード曲だったんです。台風が駆け抜けていくようなイメージの楽曲で、歌詞もポジティヴで。誰でも悩みや、わだかまりを抱える時があるじゃないですか。そういうものが、この曲を聴くことがキッカケになって晴れるといいなと思って。そういう想いを込めた歌詞になっています。DELUHIを象徴する曲でもあるので、シングルカットすることにしました。今回は、新たにギター・ソロも入っています。

Juri：「REVOLVER BLAST」は、突破口的な強さを持った曲で。ライヴでも、この曲をやると、テンションが一気に上がるんです。でも、ただ単にアグレッシヴなだけではなくて、サビはメロディアスなので。いろんな意味で、シングルにふさわしい曲だなと思っています。

——同感です。カップリングは、エモーアグレッシヴな「F.T.O」という取り合わせ。

Leda：「Remember the rain」は、1月9日のワンマンが終わってから作り始めた曲です。リラックスしたムードの中で作ったので、自ずとこういう曲調になりましたね。新しい扉を開くことが出来た手応えを感じています。

——歌詞は、男女の別れを描いていると思っていいんでしょうか？

Leda：そう捉えてもらっても構いませんけど、実は違ってて。最近は、応援してくれていながら、いろいろな事情でライヴに来れなくなってしまう人が増えてきたんです。そういう人たちに向けて、"また、いつでも来てほしい"という気持ちを込めて書いた歌詞です。

Sujk：「Remember the rain」は、曲調も歌詞も気に入ってて。エモーショナルなドラムを叩くことが出来て満足しています。「F.T.O」は、大変でした（笑）。テンポが速い上に、意外と長くて。しかも「Remember the rain」を録った後だったので、若干疲れ気味で。この曲の後半

——と言いつつ、最後に超高速の2バス連打を決めているでしょう？

Sujk：決めました（笑）。やるなら最後でしょう…ということで（笑）。

Aggy：「Remember the rain」は、最初に聴いた時から、いい曲だなと思いました。好きな雰囲気の哀愁があって、すごく右脳を刺激される感じがして。いいモチベーションで取り組めました。「F.T.O」は、SujkからBPM（テンポ）は、190くらいだと聞いてたから、ずっと190で練習していたんですけど、ドラム録りの時に、"いや、195だよ"と言われて。そこからが大変でした（笑）。"5の壁"を乗り越えるために、ずっと練習し続けて。この曲は、体育会系だな…という印象しかないです（笑）。

一同：体育会系って（笑）。

Aggy：いや、ちょうどその頃にテレビで、『明日のジョー』をやってて。それを観て、"俺は、ジョーだ"と（笑）。力石に臨むジョーの気持ちになって練習したんです（笑）。"5の壁"が、減量苦200g落とせない…みたいな（笑）。

Leda：逆に、ギターは、あまり気合いを入れないというか。キッチリ弾くんですけど、精神的にはバカっぽい感じでやるイメージでした（笑）。シリアスになりすぎると、違う方向にいってしまう曲なので。あと、ギター・ソロの最後で、"ファミコン奏法"という、自分で考えた技を使っています（笑）。「Remember the rain」は、ボトルネックを使ってて。この曲のソロはカントリーっぽくしようかなと思っていたら、レコーディング・エンジニアさんから"ボトルネックでやれば？"というアイディアが出たんです。

Sujk：録りの前日にな（笑）。

Leda：そう（笑）。でも、それはいいなと思って、一晩頑張りました（笑）。

Juri：「Remember the rain」は、日本語を英語っぽく歌ってほしいとLedaに言われて。チャレンジした結果、新しい表現を形に出来てよかったです。「F.T.O」は、まず自分で歌詞を書いた…というのがあって。孤独や挫折を感じてや家族、恋人とかに相談することが多いと思うんです。でも結果的に、その殻をブチ破るのは自分じゃないですか。そういう風に、"自分の意思で戦え！"ということをテーマにしています。歌の面では、最後のシャウトがイチオシです（笑）。

Sujk：Juriは、ずっと一人で、"これ、いいわぁ"とか言ってたよな（笑）。

Juri：いいじゃん、た[illegible]れても（笑）。最初は"F.T.O[illegible]叫ぶ[illegible]だけだったんですけど、何[illegible]など思って、俺のものにしました（笑）。

——正解だったと思います[illegible]今回のシングルは、タイトル曲が[illegible]言ってもおかしくない内容になりましたね。

Leda：今回は、いつも[illegible]がやっている1曲の中のいろ[illegible]を3曲にばらした印象があって[illegible]が。今回の3曲で、もっと幅を拡げられる[illegible]がついたし、どんどん新しいこ[illegible]いい意欲も湧いてきて。このシング[illegible]を作ったことで、自分たちでも今後のDELU

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

THE KIDDIE

SINGLE COLLECTION

蝴蝶网
hudie.com

“過去”を埋める“今”

3月24日に『SINGLE COLLECTION』をリリースするTHE KIDDIE。今作は、2009年の4月15日にリリースされた「NOAH」以前にリリースされたシングルをコレクションしたモノに、新曲を2曲プラスしたボリューミーな1枚。過去作をまとめたというだけではなく、なんと、全ての楽曲を新たに録りなおしたという、今現在の彼らを感じられる必聴作でもある。

Interview:NAOKO TAKEICHI

爱杂志
www.aizazhi.com

――3月24日に『SINGLE COLLECTION』がリリースされる訳だけど。どうして今作には、2009年の4月15日にリリースされた『NOAH』以前の楽曲で構成されているの？

揺紗：去年1年、素晴しいスピードでバンド活動を進めてこれて、本当にいろんな人たちに感謝してるんですけど、それ以前の2年弱くらいの時間って、すごくゆっくりと進んでいたんですよ。去年1年は、そんな2年弱の時間を取り戻せるかのような濃い1年でもあったから、今、改めて『NOAH』以前の楽曲たちを、見つめ直して、その頃には出逢えていなかったみんなにも、その頃のTHE KIDDIEを知ってもらいたいって思って、今回、こういう形のシングルコレクションにしてみたんです。

――なるほど。今作に収められてるTHE KIDDIEは時期的に言うと？

揺紗：結成当初から、去年の3月くらいまでのTHE KIDDIEですね。

――時系列？

揺紗・ユウダイ・淳・そらお：そうです。

――おっ。揃った（笑）。

佑聖：（慌てて）そうです。

――あ。遅れた（笑）。

佑聖：遅れちゃいました（笑）。このアルバムは、ただのベストじゃありません！　すっごいベストなんです！　全曲録り直したんですよ！

――らしいね。改めてレコーディングをしてみてどう感じた？

そらお：全然違いましたね。その頃にやってた感覚とは違うというか。昔は擦れてない感じというか（笑）。音は、音も若かったなって、改めて思ったというか。全部レコーディングし終えて聴き返してみたら、随分印象違ってびっくりしました（笑）。

――ラスト2曲の「TORA/UMA」と「HANA」は新曲なんだよね？　今回は、この2曲にスポットを当てて聞いていきたいんだけど、このアルバムの並びで聴くと、曲的にも演奏的にも、すごく大人になってるのが解るよね。

ユウダイ：ですね。でも、「TORA/UMA」も「HANA」も、当時からのストック曲をアレンジし直して、新たに新曲として世に出したんですよ。

――そうなの!?　この2曲に関しては、いい意味で毒を持った楽曲と演奏だったから、0から書き下ろしたのかと。

揺紗：うん。でも、まさに、そんな感じでもありますよ。だって、昔に、この2曲を完璧な形にしてたとしても、きっとこの状態になってなかったと思いますもん。この2曲が、この状態で音源化出来たのは、いろんな経験があっての、今だからこそだと思いますよ。でも、他の楽曲たちが作られた時期に生まれた曲でもあったから、今回、入れようって話になったんです。

――「TORA/UMA」なんて、70年代のハード・ロックの臭いするもんね。子供には出せないシブさがあるもん（笑）。

揺紗：そう。シブさも出せる年頃になっちゃったんですよ（笑）。1曲目の「蒼」とかは、2007年の春くらいだからね。その頃には、このシブさは出せてなかったと思う、確実に。でも、最初のワンマンで「TORA/UMA」も「HANA」もやってるんですよ。だけどやっぱ、今のこの形じゃなかったからね。

――「TORA/UMA」での、外したコーラスとか新しいよ。この外したコーラ

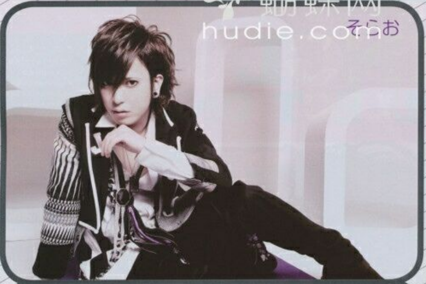
揺紗

佑聖

淳

胡蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com


そらお

ユウダイ

スは全員でブースに入って録ったの？

ユウダイ：そうなんですけど、なぜか、そらおくんだけ居なかったんです（笑）。

そらお：そうなんです。なんでかな？なんで居なかったのか覚えてないんですけど、居なかったんですよ。すごい残念。なので、ライヴでその分頑張ります！

――こういう曲、もっとやってたらいいのに！って思ったくらい良かった。

揺紗：昔からそのアレンジはあったんだけど、昔はただ外してるだけで味がなかったというか。だらしない感じの、いい加減なロックがやりたかったんですけど、昔はそれを表現しきれなかったんですよね。でも、今はそれを味に出来るというかね。音の形をいい形で活かしながら、再現しつつ、今のスキルでやりたかったんですよね。全曲。曲を最初に作ったときの気持ちを大事にしたいなって思ったんですよ。ライヴでよくやってる曲もあったりするから、そこで加わったノリというか、そんなのも今回は音源の中にちゃんと収めることが出来たかなと。歌詞は、僕がよく見る夢を書いたんです。風邪ひいたときとか、熱があるときによく見る夢なんだけど、普通に歩いてるのに、すごく周りの景色が早く動いて、最後は、真っ赤な所にドンッってぶつかっちゃうっていう夢。ちっちゃい頃から、本当によく見る夢で。だから、だんだん加速していく曲にもしたかったんですよ。

――なるほどね。「HANA」もすごく綺麗な楽曲だよね。ギターのクリーンな音と生っぽい音の重なり具合とか、素晴しいと思った。クリーンはどっちが？

佑聖：はい（挙手）。クリーンは僕が弾いてます！　クリーンじゃない方は淳くんが弾いてます。クリーントーンをアコギでなぞってたりしますね。アコギはストロークがメインなんですけどね。

――ベースの音に近いギターの音とベースの音との絡み具合もすごく和んだし。

淳：そうですね、バッキングはベースの音に重心が近いイメージで弾いてますね。「TORA/UMA」のギターもそうなんですけど、あんまり歪ませてはいないんですよね。マーシャルのオールドのアンプがたまたまあって、それが、いい意味ですごく荒い音が出せたアンプだったんで、ちょっと古めな音が作れたっていうとこも大きかったですね。Aメロとかラストでクリーントーンとアコギが鳴ってるところは、2本があってユニゾンしてるんですよね。2つで1つの役割りっていう音作りをイメージしましたね。

――なんかね、この曲を、この5人が演奏してるんだって思うと、残念でしかたなかったよ……。

そらお：へっ!?

揺紗：ちょっとぉ～っ！　ウチらの曲、ウチらの曲（笑）！

そらお：あぁ、そういうことかぁ（笑）。

――音に人間性がついていってないっていうかね……（笑）。

ユウダイ：あははは。ひでぇ（笑）。違う違う！　音に全てを注ぎ過ぎて、クスになっちゃったんですよ、ウチら（笑）。

――ああ、それなら納得（笑）。

揺紗：みんな本当の俺たち、本当のTHE KIDDIEをまだ知らないね（笑）。ダメだなぁ～。そんなことじゃ。

――俺たちが？

揺紗：違うから！　みんなが（笑）！

――あぁ（笑）。でも、「HANA」は本当にいい曲だし、THE KIDDIEらしい曲なのに、どうしていままでストックしておいたの？

ユウダイ：昔はね、イベントライブばっかだったから、なかなかバラードをやる機会がなかったんですよ。だから、シングルにもあんまりしなかったんです。ガツガツ行って、盛り上がればいいっしょ！　みたいな。ま、そうじゃないんだなってことを学びましたね（笑）。いろいろ失敗して。去年はちゃんとシングルで勝負かけて曲も届けて、ちゃんとライヴでも表現出来るようになって、こういう曲を大事にしていこうっていう、意識が変わっていったんですよ。

――なるほどね。

そらお：ベースって、バラード曲では、また特に重要な役割りをしなくちゃいけない楽器だと思うんですよ。雰囲気を出せる楽器というか。だから、いかに、"この楽曲と歌詞の雰囲気を支えるか"っていうことと、いかに、"伝えたいことをフレーズで伝えるか"っていうことを、第一に考えて弾きましたね。イントロとかはすごく綺麗だから、敢えて動かずにシンプルにしたんですけど、Bメロとか大サビとかは、唄をサポートするというか、雰囲気を付けたかったので、結構動いたフレーズを付けてみたりしましたね。すごく丁寧に作っていけた1曲だったと思いますね。

揺紗：バラードに対する意識が、昔と今とだと大きく違うんですよね。今回、この曲をレコーディングしたとき、すごくスムーズでしたからね。「ポプラ」とかを自分たちが思った通りに形に出来た今だからこそ、この曲がまたちゃんと見つめ直せたんだと思ってますね。歌詞は当時のまま。素直で居た方がいいんじゃないかってことを、本当に飾らずに歌っているので、真っ直ぐ伝わってくれたら嬉しいです。ねっ、佑聖くんっ。

佑聖：はい！　僕は個人的に「Plastic Art」っていう曲が好きです！　この曲はすごくギターにもこだわってて、左右から音が聞こえるように工夫してたりとか、細かいところまでこだわった曲なので、じっくりと聴いてみてほしいです！　僕が、そういう細かいギターテクニックに目覚めた曲でもあるので、ぜひ！　あとは、聴いてくれる人が、お気に入りをみつけてくれたら嬉しいなと思います！

(問) 〒162-0831 東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂BLd.
TEL:03-3268-8804 (平日12:00～18:00) http://kiddie.jp/

愛杂志
www.aizazhi.com

SINGLE COLLECTION
全11曲収録（再レコーディング9曲＋新曲2曲）
http://kiddie.jp
VPCC-81659／¥2800 (tax in)
SINGLE COLLECTION
【収録曲】
1.青（再録）
2.翼グラフィティ（再録）
3.in one sense（再録）
4.Plastic Art（再録）
5.恋して★DISCORD（再録）
6.one and only（再録）
7.サヨナラセツナ（再録）
8.So high（再録）
9.imitation（再録）
10.TORA/UMA（新曲）
11.HANA（新曲）
※全11曲収録
SINGLE COLLECTION 購入特典
特典1 「SINGLE COLLECTION」セルフライナーノーツ
特典2 オリジナルFLASH待受
特典3
THE KIDDIE OFFICIAL FAN CLUB kidd's
詳しくはOFFICIAL WEB SITEまで。
http://kiddie.jp/fanclub.html
入会受付中！
OFFICIAL MOBILE SITE
THE KIDDIE
蝴蝶网
hudie.com
LIVE SCHEDULE
4.25(sun)
shibuya O-EAST
詳細は
HPをチェック！
THE KIDDIE
STORE EVENT
sun) ライカエジソン名古屋店
tue) 仙台 little HEARTS.
3.27(sat) ライカエジソン東京店
3.28(sun) 池袋 Brand X
4.2(fri) NACK5 TOWN
詳細はHPをチェック！
年3月17日(水)
·DRUM SON
18:00/START 18:30
ThaNkS!!
little HEARTS.
2010年3月19日(金)
大阪·OSAKA MUSE
OPEN 18:00/START 18:30
ThaNkS!!
センター 06-7732-8888
2010年3月20日(土)
名古屋·ell.FITS ALL
OPEN 17:30/START 18:00
前売券¥3,000 当日券¥3,500
·ダイレクトセンター 052-320-9000
·チケットぴあ+SPOT 0570-02-9999(Pコード：343-477)
·ローソンチケット 0570-084-004(Lコード：41564)
·TANK! the WEB http://www.sundayfolk.com
問合せ サンデーフォークプロモーション 052-320-9100
2010年3月22日(月)
SENDAI
爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

NEW ALBUM 2010.03.24 RELEAS

ただのベスト盤だったらごめんね(笑

装い新たに、まるでオリジナル・フルアルバムのような豪華なアルバム

過去にリリースした音源を再レコーディングし、更に新曲2曲を収録!現在では入手不可となっている音源や
ライブで定番のキラーチューンが満載★新たに生み出す気持ちで歌詞を変えた曲もあり、聴き応えのある珠玉の

THE KIDDIE
ONEMAN TOUR
2010

Hi-FiVE

★★★★★★★★★★★★★★

2010年3月31日(水) 重大HAPPYあります

東京・LIQUIDROOM ebisu

OPEN 17:30 / START 18:30 前売券¥3,000 当日券¥3,500 ・ローソンチケット http://l-tike.com/ 0570-084-003 (Lコード:79364
・チケットぴあ http://pia.jp/t 0570-02-9999 (Pコード:343-724) ・CNプレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応) ・e+(イープラス) http://eplus.jp
・ライカエジソン東京店 店頭販売+電話予約 03-3369-3708 ・ZEAL LINK 渋谷店 03-5784-9666 問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

BugLug

新しい一歩を踏み出そう!!

1stシングル『ASOBIZ』で改めて知るBugLugとは!?

1月にリリースされた初音源『SUPER NOVA』で、いきなりシーンに躍り出たニュー・バンド=BugLug（バグラグ）が、1stシングル『ASOBIZ』を4月7日にリリースする。"改めて、初めまして"という彼らの気持ちを表現しつつも、BugLugの持つ、無限に広がる宇宙的世界観を知らしめる快心作だ。アイディア溢れる彼らの世界、しっかりとついていってほしい!!

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ

片っ端から扉を開け放て！――シングル『ワンダー×ワンダー』完成 観てほしい"僕ら"はこんなにあるから!!

蝴蝶网
hudie.com

――3月20日・原宿アストロホールでのワンマン・ライヴと前後して、怒濤のライヴ数をこなしているね。

春：昨年は、1stシングル「ハルシオン飴街」とミニ・アルバム「メルトトルカカトル」、さらに2ndシングル「ドッグゼロスター」との連動や、バンドとしての地固めを兼ね、敢えてライヴ本数を絞ってきたんだけど、ようやくバンドとしての土台を築き上げられたと言うか。今は、自分たちを観てほしい。という受け身ではなく、"観てほしい姿がこんなにたくさんある。"という、発信していくスタイルに意識が変わってきた。だからこそ、たくさんライヴをやって、僕らの姿を見せていくべきという考えから、今年は怒濤のライヴ展開をしていくつもりなんです。

――作品を発表すること、いろんな表情の扉も開け続けてるしね。

春：新しい扉は、片っ端から開け放ってます。むしろ、どんどん部屋の中がカラフルに散らばっていく感じ（笑）。この間ミズキも、"ウチらって、全曲バラバラで統一感ないよね。だけど、それがいいよね"って言ってたんだけど、今回の「WONDER×WONDER」も、すごくいい手応えをつかめた曲になったと思ってる。

ミズキ：「WONDER×WONDER」はポップにハジけた、でも、どっか"らしい"味を持った作品だからね。

メイ：確かに新しさもあるんだけど、こと「WONDER×WONDER」に関しては、"ポップでカラフルで楽しさ満載"な、良い意味で今までのシングル曲の延長線上にある楽曲に仕上がりました。だからずっとDOGの曲を聴いてる人たちには、"あっ、こういう進化したんだ"と感じてもらえるはず。

――"今の僕らはこうなんだから"と、自信あふれる嬉しい宣言を受けた気分も、この作品からは感じられるんだ。

メイ："こうすればみんなは喜んでくれるんじゃないか!?"という予定調和ではなく、"今の僕らはこうなんだ、みんなカッコいいと思わない？"という意識で制作に臨んだからね。そう気持ちに変化が生まれたことが今年の怒濤の展開へと繋がっていったし、今まで以上にDOGには自由度が増した気がします。予定調和が大嫌いなので。

――原曲を作った準々は、どんな気持ちで制作していました？

準々：「WONDER×WONDER」は、"ワイワイした感じ"をテーマに制作していきました。

春：今回も振り切った作品になったと言うか。「WONDER×WONDER」がDOGの"陽"の部分を色濃く反映させた曲なら、「絶頂Highスピーカー」は、毒っぽい"陰"の面を存分に出した楽曲。まさに、1枚の中で両極に振り切れたからね。1曲目に収録した「-DDT-」だって、決してSEではなく、1曲として作ってる。ライヴでも、毎回その時の気分でメロディや歌詞を変えて歌ってもいいかな？と思っていたり、とても自由度の高い楽曲に仕上がりました。

――"WONDER"は、"不思議な"という意味を持つ言葉。みなさん、"ワンダーな体験"があったら教えてください。

春：僕、UFOが見えるんですよ。しかも、"見たい"と思った時ほど見られる節があって。でも、これを人に言うと"アタマ、オカシイんじゃない!?""それって、幻覚じゃないの？"と言われてしまうんです。まぁ僕自身、生まれた星が違うから、これぱっかりは理解してもらえないことですよね。と言っても、実際に宇宙人とコンタクトを取ってるというレベルではなく、肉眼で物体を確認している、付かず離れずの関係なんです。

――春くんって、そういう不思議体験って多い人!?

春：家に帰るじゃないですか。そうすると、シャワーが流れてる音がするんですよ。"あれっ!? 誰かいるの!?"と覗きに行くと、誰もいないんです。あとは、毎晩同じ時間にノックされたり、勝手にテレビが付いたり消えたり…きっと、僕が遊んでくれそうだと思って、音や不思議な現象で僕にアピールしてくる人たちが多いんです。

――それ、メッチャ怖くない!?

春：そりゃあ、怖いですよ。でも、"一人じゃないんだ"と思えたら、ちょっと嬉しいかも（笑）。

ミズキ：これ不思議体験って言って良いのか分かんないですけど、小学6年生の時、1年間で12cm身長が伸びました。あの頃は、晩御飯だけで3合とかご飯を食

爱杂志
www.aizazhi.com

怒濤の進撃ラッパを鳴らし続けているDOG inTheパラレルワールドオーケストラ。4月21日に、彼らは早くも3rdシングル『ワンダー×ワンダー』を、DVD付き2曲入りCDの初回盤と、3曲入りの通常盤として発売する。現在彼らは、怒濤のライヴ本数を詰め込んだ"DOG狂犬病-2010-"ツアーを実施中。今年はかなり精力的に活動を行う4人を、がっつり捕獲し、インタビューを行なった!

Interview:TOMONORI NAGASAWA

蝴蝶网
hudie.com

べてたし、明らかに身体が〝ワンダー〟なことになってました。

——当時は、身長何cmありました？

ミズキ：小学校の卒業時点で、165cm。今は185cm。正直、背が高くても、あんまりいいことないですよ。電車に乗ってても、中吊り広告とか、顔にピタピタ当たってきますからね。

メイ：僕は、仙台から上京して、このワンダーなメンバーと一緒のバンドにいることが、不思議な体験かな（笑）。

準々：ジュンタン、日に日に体重が減っていくんです。ご飯とかちゃんと食べてるし、動いてもいないのに体重が減ってるって、何か不思議なんですよ。

春：彼に関しては、〝ちゃんとご飯を食べてる〟の意味が違うからね。だって、朝昼晩お菓子を食べて、最後にご飯かラーメンって人だから。たとえお菓子でも、お腹がいっぱいになったら、彼の場合〝ちゃんと食べてる〟になるんですよ。

準々：でも最近は健康に気を遣ってるせいか、よく深夜の通販番組を観ては、つい健康食品を買ってしまいます。きっとジュンタンは、サプリメントで生きているんです。

——そんなワンダーな話もありつつ、「WONDER×WONDER」は〝らしさとやらかした感覚〟を上手くミックスした、まさにワンダーな楽曲になりましたよね。

春：文字にすると生意気に思われるかもしれないですけど、僕ら、何がしたいのか簡単に分かってしまうような音楽はやりたくないし、先の展開が読めてしまうようなバンドにもなりたくはないんです。でも、嬉しい驚きを感じてもらった上で〝らしいね〟と言ってもらえることは、DOGらしさを発揮していることにもなるので、そこは嬉しいこととして捉えています。

——むしろ、「絶頂highスピーカー」での春ワールドには驚いたけどね。

メイ：良いんじゃないですか？ さっきも言いましたけど、バンドの自由度がより増してきているので、その表れですよ。

春：今回は、2曲とも〝自分の経験や感じていること〟を書いてますからね。それこそ「WONDER×WONDER」が、小学生の頃に感じていた〝初恋〟の想いがテーマになっていて、「絶頂highスピーカー」は、上京して東京砂漠によって心枯れ果てたような姿を歌いました。だけど、今でも「WONDER×WONDER」のようなピュアさは心にあるんです。だからこそ、今回のような詞だって書けたんで。

——でも、鬼畜な姿を、「絶頂highスピーカー」で感じてしまうとねぇ（笑）。詳しくは誌面には書けないぶん、気になる人は楽曲を耳にしてほしいんだけど。春くんって、あんなに絶頂的な人なんですか？

春：僕は、完璧〝絶頂系ヴォーカリスト〟ですから。

メイ：「WONDER×WONDER」のようなハピネスな表情って、春の中にあるピュアな部分って言うか、〝良薬〟的な面なんです。でも「絶頂highスピーカー」には、思いきり〝毒薬〟的な面が出ていて。言うなれば、どっちも彼らしい部分なんですよ（笑）。

春：「WONDER×WONDER」の中にだって、チョチョイと毒は入れてるけどね。

——準々は、「絶頂highスピーカー」の歌詞を読んで、どう思いました？

準々：ジュンタンは淡白な性格なんで、よく分かんないです。

——……（苦笑）。「WONDER×WONDER」のPVも撮り終えたんだよね。どんな内容になりそうか、それも教えてください。

春：「WONDER×WONDER」を通して僕が伝えたかったのは、〝新しく始めよう〟〝一歩を踏み出そう〟〝諦めずに頑張ろう〟というポジティヴな想い。そのテーマを軸に、PVでは〝扉を開けた世界〟を舞台にして、〝内にこもった自分の内面的な想いの世界観〟と〝外に出ていこうとする想いを描いた世界観〟を表現したんです。4人それぞれが部屋の中で演じていて、ちょっと物語仕立てな感じにもなっています。

——この記事を目にする頃には、怒濤のライヴを展開中です。

春：3月3日のライヴで、僕らは活動1年目が終了なんです。ついにライヴ活動も2年目へ突入。今年は狂犬病のよう狂いまくったライヴをやっていくし、1本ごとに進化していく自信もあるし、可能だったら全部のライヴを観てもらいたい。まぁそれは無理でも、何回か足を運んでもらえれば、必ず違った表情を味わえるだろうし、来た人たちを絶対に絶頂へ導きますから！

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

EVENT

怒涛の3ヶ月LIVE 集中砲火!! DOG 狂犬病 -2010- 決定!!

4月 1 日(木)池袋 Black Hole
4月 6 日(火)高田馬場 AREA
4月 15 日(木)池袋 Black Hole
4月 29 日(木)名古屋 E.L.L.【EXTRA-TERRITORIAL】
4月 30 日(金)心斎橋 BIGCAT【EXTRA-TERRITORIAL】
5月 5 日(水)SHIBUYA-AX【EXTRA-TERRITORIAL】
5月 14 日(金)渋谷 BOXX
5月 21 日(金)池袋 RUIDO-K3

追加スケジュール続々更新中 !!
詳しくはオフィシャル HP をご覧下さい。

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

9 GOATS BLACK OUT

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

からも分かるように、このアルバムでは、まさに死そのものを中心に据えたものにしようと考えたんですか。

ryo：前作を作り終わってから、次に書くもののテーマをメンバーに話してたんです。そこから、死そのものにスポットを当ててたのは、家族の死がキッカケだったりするんですけど、死と真正面にドンと向き合ったほうが、真摯なものになるんじゃないかなって考えたんです。ただ、死そのものとか、"TANATOS"っていう言葉は、あくまで表現の手段で、こういうものにしたいんだっていうものは元々別にありました。

——この作品は、死から想像される冷たいものより、明るく、救いがイメージされるものに仕上がってますよね。その部分がいちばん伝えたかったことなんでしょうか。

ryo：そうです。

hati：一言で終わっちゃった（笑）。

ryo：（笑）アルバムの制作に入る前にメンバーに言ってたのは、同じ作品の中で全く別のものを書いたり言ったりしても、実はひとつのもののことだったり、逆に同じようなことを歌ってるようで本質は違うものだったり、そういうものがやりたい、っていうことだったんです。"死"って言うと、生気のない冷たい印象があるんですけど、深く追求すると、生があるから死があるんだっていう風にも見えたりしますよね。見る側の立場によって、物事はいくらでも変化するんだから、いろんな解釈が出来るように、作品の中に矛盾を詰め込んでいこうっていうのが、本来のテーマだったんですよ。なので、こっちではこう言い切ってるのに、こっちでは全く相反してるような発言をしてる曲があったり、そういうギミックはいっぱいあります。でも、最終的な今回の目的は、死をテーマにして、生命の素晴らしさ、生きて行くことの素晴らしさが受け手に伝わればいいなっていうことです。

——1曲目の「TANATOS」は、どんな風に生まれたんですか。

ryo：原曲は、utaがフレーズとか1コーラスとかを作って来るので、その中からピックアップしてメロと歌詞をつけたんです。

uta：原曲を作る時は何も考えずに、

hati：この曲が出来た時に、久しぶりにすごくいい曲が出来たって思ったし、ryoさんも歌詞をつけてこれで行きたいって言って。アルバムをこんな風にしたいっていう、ぼんやり見えてたものがはっきり形になりましたね。メロが乗って、"これいいよ、いいね"って（笑）。速かったですよ、出来上がるの。

uta：ほとんどアレンジしてないですね。

hati：シーケンスを増やしたぐらい。

uta：メロが来た時点で、叫びましたね。これ、来たー！って（笑）。それだけは忘れないですね。俺の120％のツボだったんで。

——《死を死と知り　愛を謳う》という歌詞には、死への肯定感が感じられます。

ryo：あくまで死という一般的に感じられる概念は、入り口として1曲目にして、作品の扉を開けるところに添えたんです。まずここからでしょう、と。なので、それは強く出しました。

——ここから…いきなり最後の「願い」について聞くと、話が飛びすぎですか。

ryo：いや、むしろこのアルバムは三点構造なんですよ。

——「TANATOS」「Heaven」「願い」の3曲ですか？

ryo：そうです。「TANATOS」と「願い」は同じように出来ました。あっという間に出来て、メロディと歌詞に半日かかってないですね。

——「願い」は、最後に死から立ち上がって未来に進む希望を伝える曲になっていると思うんですが、それは原曲の時点から考えていました？

ryo：「願い」は、こういう風なことを伝えたいっていう欲求が全くない状態で出て来たんですよ。自然に書けたんで、スラッと。今思うと、「Heaven」が先に出来上がっていたからだと思います。「Heaven」があったから、「願い」が出て来たと思うんですね。

——「Heaven」も以前からある曲ですよね。

ryo：ライヴでは昨年の5月にもうやってますね。

——「Heaven」を作った時点で、今回のアルバムで伝えたいことは、もうすでにryoさんの感情としてあったということなんでしょうか。

見る側の立ち場によって、物事はいくらでも変化する

が末期の癌だったので、どうしても頭を離れなかったんですね。それはそれとして分けた作品作りがどうしても出来なくて。結局亡くなるという時期にレコーディングが始まっちゃって。だから「Heaven」の最後の歌詞は、父が亡くなって、式も終わって、全部送り出した後に、改めてこの楽曲は故人に捧げられるような作品に仕上げないと失礼だと思って作り出した詞なんです。それがあったんで、「Heaven」は僕の中ですごく大切な曲なんです。分かりやすく言うと、"父が死んだ、哀しい"って感情をそのまま作品にするのは自分の中で許せなくて。"何で人は死ぬの？"とか、"死ぬことに対して何で人はもっと真剣に考えないんだろう"とか、そういう問題ともっと向き合って作品に落とせないんだったら、一生本当の自分を隠したまま作品を作ることになるだろうって考えたんで、「Heaven」を軸にして「TANATOS」と「願い」が出来た経緯があるんですね。なので、「Heaven」が出来たから、このアルバムで言わんとすることが出来たんじゃないかと思います。

——このアルバム作るにあたって、音楽的に何かをしたいと言うより、何を伝えるか、何を感じ取ってもらうかを優先させたい、というようなところはありますか？

hati：そのとおりです。

ryo：こういうことを作品にしたいって、楽曲制作に入る前にみんなに伝えたのは今回が初めてなんですね。だから、そういう風になるプロセスを踏んで来たのかなと思います。

——その中で、音楽的な部分でのチャレンジが出来たのはどういうところ？

hati：ちょっとずつ、いろいろチャレンジしていきたいなって思いますね。アレンジに苦労したのは、「BABEL」と「宛名のない手紙」。これはメロディと歌詞が3つ付いてました。

一同：（笑）。

ryo：そうだね（苦笑）。

hati：「BABEL」は、楽器隊がもうちょっと何か、もうちょっと何か…って悩んだんですけど。「宛名のない手紙」は最初にデモがあって、そこにメロが乗って、じゃあもっといいギターを付けようってutaがやったら、ryoさん

たら3つメロディがあって、歌詞も3つあった、みたいな（笑）。

ryo：「宛名のない手紙」とか「BABEL」とか、こういうコードにこういうメロディ、こういうベース…っていうチャレンジをしてると、どうしても試行錯誤が入って来るんです。

——その辺り、utaさんはいかがです？　ギター・ソロが印象的でしたけど。

uta：ドカンと弾きました。気持ちで。伝えたいことはryoさんが全て歌とか歌詞で伝えてるんで、小難しいことは一切なしで。

hati：新しいアルバムを作るにあたって、こだわりもあるし、いろいろ挑戦をしたりはしてるんですけど、だからってそこが特化して見えるような作品にならなかったのは、逆によかったかなって。いろいろやったけど、最終的にちゃんと歌と歌詞が伝わってるって捉えてもらえたんなら、よかったと思います。

——これまでも、生死というものを掲げて作って来て、それを正面に据えたこの作品で完結したということはありますか。例えば、次に作るものが変わって来るとか。

ryo：自分の中で掲げていた、作品の中のテーマみたいなものの連続性はなくなったなって思ってます。普段は、（作り終えると）次はこういうことを着手したいとか出て来るんですけど、今回はまだ何もないです。やり切ったと言ってもいいかなと思います。

——アルバムの発売の後には、cocklobinとの2マン・ツアーと、ワンマンも決まっています。

uta：「HARMS」とか今までにない楽曲なんで、それをどうライヴで再現するか、これから練りますけど、たぶん音源とは違うアプローチになると思うんで、そういうのも楽しみにしてもらいたいですね。

hati：テーマが自分の中にも入って来て、「Heaven」とか、気持ちが入っちゃって弾けなくなっちゃうんです。やってるほうが感動してる、みたいな（苦笑）。そういうのがやってる側にもあるんで、ライヴでちゃんと伝わるようにしたいです。

ryo：ハンカチ持って来て下さいと言えるようなライヴにしたいと思います。

死を死と知り　愛を謳う——『TANATOS』完成

もしまだ、9GOATS BALCK OUTのニュー・アルバム『TANATOS』を耳にしていなかったら、このインタビューを読むのはアルバムを手に入れてからにしたほうがいいかもしれない。ここでは、敢えてこのアルバムで彼らが伝えたいことを言葉で説明してもらった。それを知る前に、まず聴いて感じてみてほしい。そこで何が感じられるか、それは聴き手のあなた次第だ。

Photography:REIKO ARAKAWA (2OBSite)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

爱杂志
huaie.com
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

Dacco

フレッシュ&エナジー

my self時代!?

『HAPPY! LIKE A BABY』から約1年ぶりに待望の音源をリリースするDacco。これぞ、Dacco！ 的なオープニングナンバーから幕を開ける今作『フレッシュ&エナジー』。そんなスタンダードな、Dacco色はもちろん、新たなDacco色をも感じさせてくれる意欲作。LidaとYURAサマの"my self"が詰まった今作とは!? Dacco、久々の音源インタビュー。やっぱ、和みます、この二人。

Interview:NAOKO TAKEICHI

—新作『HAPPY! LIKE A BABY』は、心が和む曲あり、トランス系あり、高速ラップ曲ありと、幅広いアルバムだったけど、今回はまた違う一面を覗けたよ。驚いたのは3曲目の『poker-faced』。

YURAサマ：ダメでしたか（笑）？

—いやいや（笑）。ダメじゃないよ、意外だった。やっぱり、Daccoの王道と言うと、1曲目の「LIFE」なんで。

YURAサマ：はいはい。でしょうね。ちょっと今までにない感じですよね。

—今どきというか。頑張っちゃってる感じというか（笑）。

YURAサマ：僕も作りながら、頑張っちゃってるなぁ。って思いましたよ（笑）。

Lida：頑張っちゃってる感は、きっと英語やと思いますよ。

YURAサマ：曲が今どきの打込み系なんで、歌詞にも英語入ってくるやろなぁと思って英語入れてみたんです（笑）。

Lida：また歌い方も、英語の部分は妙にウィスパーなんですよ。

YURAサマ：ウィスパーって（笑）。いや、特別に変わった曲作ろうと思って書いた曲でもなかったんですよ。たまたま曲を書いてたら、最初にサビが出来たんですよ。そこから楽曲を広げていったんですけど、自然とこういうアレンジになっていって。そうすることによって、今までのDaccoにはないオシャレテイストな楽曲が生まれたという。でも、自分的に、作りながら"こんなん歌うの無理無理"って突っ込みいれながらも、とりあえず完成させてみたんです。パソコンの翻訳サイトで、日本語を英語に変換してみたり、逆に英語を日本語に変換してみたりして頑張って書いたんです。

Lida：頑張ったなぁと思いましたよ。最初にデモもらったとき、恥ずかしかったんか（笑）、めちゃめちゃちっちゃな音と声やったんですよ。いろんなとこに、YURAサマの暗さが出てると思いますよ（笑）。良い意味でね。ダンサブルな曲ではあるんですけど、そこまでダンスじゃないっていう。【力なきダンス】なところがええんちゃうかなと。でも、この曲、ライヴでどうやって表現しようかと。

YURAサマ：どうしましょね（笑）。

—「BLUE」もね、新しく感じたかな。

Lida：まぁ、この曲はね、2曲目の「真紅の羽」と、別テーマで歌っているものなんですよ。「真紅の羽」は、もうちょっと暗くて深いテーマだったりするんですよ。単なるエネルギーではなく、生まれゆくものと、死にゆくものを描いた、スピリチュアルな内容なんです。「BLUE」も重いんですけどね。【フレッシュ】を陽として、【エナジー】を陰とするならば、陰の方なんですけど、ちょっと書き方が違うんですよね。でも、スケール感はデカイかな。破滅が来た時に、人間はどうなるんだ？っていう、そんなことがテーマだったりするんですよね。最近ね、僕、NHKが好きでよく見てるんですけど、世界的に環境問題がどうこう、わぁ～、みたいなこと騒がれてるでしょ。そんなことをね、いろいろと考えてみたりもしてる訳ですよ。最近。

—うんうん。「BULE」はね、聴いたとき、"地球"を感じたからね。

YURAサマ：ですよね。僕的に、この2曲は、Daccoを意識して作られた曲ではなく、"リーダーが作ったリーダーの曲"っていうイメージなんですよね。楽曲的にも歌詞的にもね。

—より内面的な部分に食い込んでる感じではあるよね。「I believe my self」はYURAサマ曲だけど、これも、歌詞がすごいYURAサマっぽいと思ったよ。

YURAサマ：これねぇ、歌詞書いてる最中[illegible]ビューでそう言われる[illegible]と思ったんですよ（笑）。やっぱ[illegible]内面の自分がついつい出てしまうという[illegible]（笑）。変に人生悟って[illegible]います……的なとことかね[illegible]

—そう[illegible]（笑）。

YURAサマ：[illegible]そこは自分でも自覚してます[illegible]笑[illegible]でも、結構深いこと言[illegible]しょ？ こういう歌詞はサク[illegible]けるんですけどね、「poker-faced」みたい[illegible]に、ちょっと頑張っちゃう[illegible]めちゃめちゃ歌詞書くのに[illegible]人間、やっぱり[illegible]ことは難しいことなんやなと、[illegible]回改めて解りましたね。「I believe my self」では、ハーモニカとかアコーディオンとか、自分好みの音色をふんだんに使いましたね。あぁ、また僕っぽい曲作ってもぉたわ、みたいな（笑）。

Lida：でもね、「I believe my self」は、歌録りで結構苦労したんですよ。語尾が上がるところがあるんですけど、譜割り的に結構難しくて、なかなか困難やったんですよ。僕的にね、こういう曲調は、自分が得意とする曲調ではないと思ってるんですよ。それもあって、構える部分もあったりするからってとこもあるんですけど、今回は、どうやって歌ったらええんやろ？って自分でいろいろと考えて、ちょっとファニーに歌ってみたりもしたんです。ちょっと身長を低くした感じで歌ったというか。イメージ的にね。ここはちょっとニヤッとしてるところかな？ とか、いろいろと想像しながら歌いました。逆に、「LIFE」とかは、さっきも言ってもらったようにDaccoらしさ全開なところもあるんで、歌詞もそんな難しくなく、なんも考えずに、前向きさをストレートに書いてるし、歌ってますからね。音数も多くなく、アコギやし。もともとね、この曲のタイトルはデモの段階では「my self」やったんですよ。そしたら、YURAサマから曲上がってきて、それ見たら、タイトルが「I believe my self」やったんで、"あ、被ってもぉた"と思って、「LIFE」っていうタイトルに変えたんです。……。ま、だから何？って話なんですけど。そこにオチはなく、ただ、そういうエピソードもあったよ、っていう報告でした。

—報告ありがとう（笑）。それは長年Daccoをやってきたことでの阿吽の呼吸的なことでもあったの？

YURAサマ：まぁ、そういうとこでもあるんでしょね。

Lida：まぁ。年頃なんでしょうね。

—え？ と、年頃……？

Lida：そう。YURAサマも大人になって、10代20代と見えてくるモノがいろいろと変化してきてる訳で。昔は僕とも少し歳が離れてますから、ちょっと歳の差を感じたりすることもありましたけど、だんだんね、感じることが近くなってきた、みたいな。いわゆる、"my self時代"なんちゃいますかね？

—自分のことも含め、いろんなことが見えてくる時代というか、世代というかね。でも、そこで被ったということは、何か軸になるモノがあったってこと？

YURAサマ：今回は、【フレッシュ&エナジー】というテーマを最初に立てて作っていったんですよ。最初は『フレッシュ』でどうかな？ と思って、僕からメールでリーダーに投[illegible]たんです。そしたら、リー[illegible]"『フレッシュ&エナジー』で[illegible]っていう返信があったんで、き[illegible]ダーは、その"&エナジー"[illegible]い深い想いがあるんやろな、と[illegible]んですよ。前のアルバムが『HAPPY! LIKE A BABY』ってタイ[illegible]たんで、今年はフレッシ[illegible]かーってことで。深い意味は[illegible]すよ、ひらめきで。でも、[illegible]マにもしようと思ってるん[illegible]レッシュ&エナジー】。なの[illegible]レッシュ担当】で、リーダ[illegible]ナジー担当】なんです。

—なるほど。でも、今回のミニアルバムの中には、そこまでギラギラなエナジー感が押出された曲はないんじゃない？

Lida：まぁね。今回はフルアルバムではなくミニアルバムなんで、そこまでの振り幅は付けなかったんです。まぁ、【&エナジー担当】言うても、僕もそこまでの深い意味はなく、ひらめきやったんで（笑）。でも、2010年はエナジーが来るんじゃないかなと思ったんもあって、【&エナジー】を足してみたんです。

YURAサマ：でも、やっぱり1曲目にアコギ曲の「LIFE」があって良かったなって思いましたけどね、出来上がってみて。ここがDaccoの原点だったりもするので。個人的に、「LIFE」ってすごく好きなんです。リーダーの語尾の伸ばし具合いなんかも好きだなと。

—そうだね。流れ的には「フレッシュ&エナジー」がラストなのもいいよね。

YURAサマ：そうでしょ！ 僕も、そこだけは死守したかったんですよ。Daccoらしい曲で終わるのがいいでしょ。そこ以外はリーダーに投げてたんですよ。

Lida：いつもの流れやったら、「フレッシュ&エナジー」が1曲目にきて、「LIFE」が真ん中くらいにくるんですけどね。今回はミニアルバムやし、ちょっと構成変えてみたんですよ。でも、1曲目と6曲目をDaccoらしくしめてるっていうとこが、Daccoらしいのかなとも思いますし。結果、すごくいい流れになったなぁと思いますので、ぜひ、じっくり聴いてみて下さい。

(問)(株)ソニー・ミュージックアーティスツ
〒150-8518 東京都渋谷区神宮前3-1-30 コンセプト青山4F
TEL 03-5414-7351 http://www.dacco-dacco.net/

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

Around30

不定期的に開催されている対バン形式のライヴ『Around30』。今回は、かつてスピードディスクにお世話になったバンドから、今尚お世話になっているバンド、そして、新進気鋭のバンド、というバラエティに富んだ全7組が出揃った。それぞれ見せ方が違うだけに、どのようなイベントになったのか。その全容をレポート致します！

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）／Report:ERI MIZUTANI

1.GO!YA!NUMBER
～ぬちぐすい～
2.春の基準
～ヒカンザクラ～
3.ハブa nice day
4.サラバイ♪

シリアル⇔NUMBER

少女-ロリヰタ-23区@セッション

1.Red Room　2.睡-スイレン-蓮の部屋　3.Pheromone Cherry
4.蜂子時計リビドゥー　5.Carnival of JULIA

1.Not Found
2.煉獄
3.蜥蜴-トカゲ-
4.宣戦布告

アンド

トップを飾ったのは、新進[illegible]ド、アンド。人気曲に加え、[illegible]グル「煉獄」の収録曲を演奏し会場を盛り上げていった。自らをエキ[illegible]クエージェントと名乗るだけ[illegible]覚的にも聴覚的にもかなり[illegible]を残してくれた。この後も、新作[illegible]スやライヴの予定が目白押し[illegible]ので、気になる人は是非とも[illegible]ておいてほしい。今年大きく[illegible]ドなだけに、注目度大だ。

続いては、少女-ロリヰタ-23区@セッション。現在ヴォーカル不在の為、Ba.リョヲ丞がマイクを取るという画期的試みをしただけに、登場時から悲鳴のような歓声が起っていた。そんな過剰な期待にも臆することなく、全5曲を完璧に歌いきったリョヲ丞には拍手を贈りたい。もちろんそこには、龍兎・ユヰキ・BAN・ココエ（exキナルラ／当日はリョヲ丞の代わりにベースを担当）の支えも大きかったのだが。とにもかくにも、早くちゃんとした形でロリヰタの活動が見たいと思わせてくれるライヴになった。

前の2バンドと対照的なアプローチをしてくれたのはシリアル⇔NUMBER。まずは、コミカルな要素を持つ「GO!YA! NUMBER～ぬちぐすい～」で全体を軽く温めると、先日配信されたばかりのデジタルシングル「春の基準～ヒカンザクラ～」を演奏。これからの季節にピッタリな曲。更には、シリアルにとってミディアムナンバーをシングルで出すのはこれが初ということもあり、観客はジッと耳を傾けて聴いていた。そして、ラストは明るく「サラバイ♪」で締めくくると、晴れやかな笑顔でステージを後にした。

短い時間ながらも、自分たちの音楽を完璧に提示したのはDue-Jewel。オープニングの「outsider」では、さすがイベント荒らしという噂通りの激しいライヴを見せ付けた。MCでは、もはやお馴染み（!?）となってきている隼人と祐弥の愉快な掛け合いが観客の笑いを誘った。そこでも紹介があったように、新作「Will」に収録されている同タイトルの曲をMC明けに披露すると、会場は大いに盛り上がっていったのである。爽やかな出だしから迫力あふれる轟音へと

hudie.com
愛杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

1.フラッシュバック
2.刺青-tattoo-
3.SUNRISE
4.鬼門
5.花咲ビューティ

ダウト

1.KAIROS
2.molder
3.ブラックモンスター
4.Cursed Hurricane
5.RAGING BLOOD

SCREW

1.outsider 2.Moon Struck
3.Will 4.Partytime!! 5.Trust

DuelJewel

KuRt

1.悲しみを売る音楽家
2.0秒で光る骸骨狂ったチャップリンと命名
3. Sweet Lemon Broker
4.さらばバンビ
5.切り裂く日々
EN.高所恐怖症

移るあたり、彼らの魅力を最大限に発揮していたように思う。そのま[illegible]後半へとなだれこみ、ライヴ[illegible]く終了した。

5番手は、SCREW。曲[illegible]たと同時に、その場は瞬く[illegible]CREW色へと染め上げら[illegible]た。「KAIROS」「molder」[illegible]ピード重視の曲はもちろ[illegible]「Cursed Hurricane」も難な[illegible]いく。新メンバーが加入した[illegible]うだけに、幾分ぎこちなさが[illegible]ジングになるのでは、と予想[illegible]だが、そんなことは一切なく[illegible]上にバンドが強靭になったところを見せてくれた。これからは2ヶ月連続リリースが待っている。きっと、ここでは更にパワーアップしたSCREWを提示してくれることだろう。

待望のフルアルバム『CARNIVAL浮世』を完成させたダウトのステージングは、余裕すら漂っていた。まずは、アルバムに収録されている「SUNRISE」のプロモーションビデオがスクリーンに映し出される。今までありそうでなかったアプローチの曲だけに、観客は食い入るように見つめていた。そこから本編が始まると、「フラッシュバック」「刺青-tattoo-」と一気に演奏し、先程流れた「SUNRISE」を披露。ちなみにこの曲、朝の番組のタイアップも決定したとのこと。"最後に、この曲を歌ってお別れしましょう!"幸樹のそんな一言から始まった「花咲ビューティ」では、会場に満開の笑顔が咲いていた。

ラストはKuRt。シーンの中でも個性的なやつらとして認識されていたこのバンドが、遂に今夜復活ということで、以前からのファンはもとより、彼らと一緒のステージに立ったことのある戦友が多く詰めかけたことも補足しておきたい。今は別バンドで活動している4人のパフォーマンスは、KuRtとしてのブランクを感じさせないほどであり、"たくさんの人の前でKuRtの歌が歌えて本当に幸せ"と語ったてんてんは、当時の熱さそのままで、妙に懐かしさを感じてしまった。アンコールを含め全6曲、全てを演奏し終わった彼らには、会場中から惜しみない拍手が贈られたのだった。

爱杂志
www.aizazhi.com

hudie.com

Irokui

何時の世も愛とは『執着』なの

最新アルバム『おわらないせかいのうたいか

愛杂志
www.aizazhi.com

人生ってこんなに早く終わってしまうのに なぜ神様は人間をつくったんだろう。

あなたはどの物語がお好きですか？イロクイ。のニューアルバム『おわらないせかいのうたいかた』には、童話をモチーフとした楽曲が多く詰め込まれています。けれどもそれは、ただのハッピーで終わるはずもなく、今の彼らの伝えたいことが、物語という表現方法を通して、ギュッと詰まっているのです。唯一無二のバンドが描く"終わらない世界"。その全貌や如何に——。

Interview:ERI MIZUTANI

のコンセプトとは？

ゆーり：それは……。[illegible]です。

はづき：僕がコンセプト[illegible]（笑）。

——それはそれで面白いけど（笑）、ここはひとつ真面目に！

ゆーり：今の僕らが生きている世界っていうのは騒がしく物が溢れている。だけど、モノクロなんです。物が溢れて便利になった分、人間の無[illegible]が増えて、何かがないとつまらないって感じる人が増えている。そこに僕らが[illegible]、歌で、そして言葉で、僕らだけの色を[illegible]界に伝えられたらなって。

——タイトル然り、[illegible]言葉にも増して強い意志が感じられる[illegible]

ゆーり：ありがとうございます。あと今回、歌詞のタイトルからも分かるように、童話がモチーフになっているんですよ。僕らが生きる世界の中で、童話のようなものから、自分の人生観だったり哲学だったりを乗せていったら面白いんじゃないかなって。逆を言うと、そういった考えがあったから、こういうコンセプトが生まれたんです。まさに、アルバムならではの楽曲が揃っていると言えますね。それに今回、あんまりかっこつけて書いてないんですよ。自分のことばっかりっていうか（笑）。

——それがまたストレートで良いんです。では、収録曲を、新曲中心に紹介していただきましょうかね。まず、1曲目は「Cinderella」。これは、リツさんの作曲だけど。

リツ：曲自体は、前のシングルからあった曲なんです。自分の中では、王道のロックチューンを出したつもりではあるんですけど、今のイロクイ。でやることによって、面白いものに仕上がったんじゃないかなって。

——この曲を1曲目に持ってきた最大の決め手というのは？

なつき：大人の事情じゃないっすか。

——どんな理由よ（笑）。

ゆーり：（笑）。最初にみんなに伝えたいことっていうのは、"執着"だったり、"愛"だったりっていうところだったんです。それが歌い始めからくるっていうのも、僕ららしいかなって。

——そうだね。で、次の「きたかぜおとこ」

なつき：ギターをちょろちょろと弾いて口ずさんでいたらできた曲なんですよ。なので、曲が持つスーッとした空気感とかもデモの段階から変わってません。

ゆーり：一風変わった曲調だけに、僕としては隙間風が吹いている印象を受けたんです。そこからサビで開ける感じとかで前向きさとかも感じたし。それに対して前向きな切望を「北風と太陽」という話を基に書いてみたんです。

しゅうた：この曲、いかついリフが印象的なんですけど、僕個人のミソとしてはAメロで。アコースティックギターとクリーンのアルペジオ、そして、センチメンタルな歌詞の世界観とバンドサウンドが相まっているのがこの部分だと思うので、そこはすごくお気に入りです。

はづき：俺も、この部分は好きですね。そこから、各セクションにメリハリがきいているんですけど、そこに合うギターフレーズを作るのに一生懸命でした。

リツ：右肩上がりの盛り上がりを楽しんでほしいですね。

——続く「猫のレインブーツ」は、はづきさんの作曲。「ソプラノビースト」はなつきさんの曲だけど、どちらにも素敵な愛の形が描かれていて。

ゆーり：「猫のレインブーツ」は献上愛ですね。届かないものに対する自分を描いてみただけに、感情を込めて歌っていきました。ちなみに、しゅうちゃんは感情込めすぎて涙で弦が錆びたらしいですよ。

しゅうた：すごいな、それ（笑）。この曲、弾きごたえありましたね。やっぱりギタリストが作っただけあって、ギターの入れ甲斐があるというか。イントロやAメロに従来のイロクイ。が得意とする、重ねて重ねてのギターサウンドを盛り込み、後半ではフレーズを弾き倒すっていう、ギターの根本にあるかっこいいところを詰め込んでみました。

はづき：自分が作っていたときはメロ重視だったんですけど、メンバーがアレンジをしていくうちに、ここまでのかっこよさが出てきたんですよね。なので、俺はギターソロに魂を込めるのみというか。

ゆーり：はい、名言出たー！

なつき：多分、ここから良いことは出ないだろうから、次いこう（笑）。4曲目の「ソ[illegible]ドという位置付けはしてないんです。でも、みんなから"バラードだ、バラードだ"って散々言われて。

ゆーり：メロ綺麗だからね。これも結局、「きたかぜおとこ」と同じようなことを言っているんですけど、違う観点から僕の伝えたいことを書いただけですね。

——相手のことをここまで思えるのってなかなかできないよね。

ゆーり：でも、僕は本当にそう思うんです。大事な人ができたらずっと一緒にいたいし、僕の方が1日でも先に死にたい。だって、独りになるなんて、そんな寂しい思いしたくないし。

しゅうた：わかる、その気持ち。そういった感覚を壊さないように、違う音色を使って場面展開をしていったんです。それにより、"あー、良い曲だったね"っていうただの感情で終わらせない曲に仕上がったと思います。

——そうして余韻を残しつつ、シングルとして発表した「ファンタジックドリーマー～Sleeping beauty～」へと移り、スパニッシュ的アプローチが光る情熱ソング「あかいくつ」に。

ゆーり：ここでは、"嫉妬・欲望・渇望"を表わしていて。これが1番、童話に忠実かな。

リツ：これはほんと、アルバム向けの遊び曲ですね。自分的にサンバのイメージで作っていったので。

——良いよね、その発想（笑）。

しゅうた：こうした、りっちゃんの遊び心満載なところ、俺は大好きなんですよ。イロクイ。の何でもやる世界観にはピッタリだなって。ほんと、お前すげーぞ。

リツ：あざっす！（笑）。

——そして、既存曲の「摩天楼の雨男」を挟み、「幸せのマッチ」が始まるわけです。

しゅうた：自分がやりたいことをやりたいようにやろうと思って作った曲です。そこに良い感じの世界観を持った歌詞が乗ることで、より良い曲になったかなと。

ゆーり：あざっす！（笑）。人生をマッチの火に例えたら…ってところから書き進めていったんですけど、僕、常々思うんです。世の中にはこれだけ多くの人間がいるけど、人生って早く終わってしま

たのかなって。

——哲学的要素が含まれている[illegible]

ゆーり：それがわかれば、人の[illegible]事にできるかなって。そこを[illegible]歌っていきました。

——なるほど。そこからキュートな「[illegible]クリオオカミ」に変わる様も楽[illegible]

なつき：これはですね、ほ[illegible]作ったんですよ。むしろ、そ[illegible]うか。

ゆーり：これだけ愛して首ったけ[illegible]ら、後を付いていってもいい[illegible]ていう曲です。言うならば、[illegible]の公演に来てくれる子たちって[illegible]ストーキングしているわけじゃないですか。だから、僕らもストーキングしちゃっていいよね♪っていう、お返しの曲になってます（笑）。

——ラストは「おわらないせかいのうたいかた」。作品タイトルと同じなだけに、感動が押し寄せます。

しゅうた：俺、曲を作るときに、これはエンディング向けだなとか、そういったことは気にしないで作るタイプなんですけど、この曲に限っては、アルバムの後半に持っていきたいって気持ちで作りましたね。

ゆーり：それで、最後に入れるっていうのが決まったときから、メッセージソングにしたいって思って。1番伝えたいのは2回目のBメロ【もし君達に大切な誰かが現れて連れ去られてしまうときに】っていうところ。きっと、僕らを応援してくれる人もいつかは僕らに飽きる。でも、そんなとき、僕らが提唱する"おわらないせかいのうたいかた"を忘れないで生きていってほしい。そんな思いを込め、完成させていきました。

——唯一、童話から掛け離れている曲だけに、とても心に響いてきたよ。そこがまた、これから始まる単独公演ツアーにどう影響してくるか見所だな。

ゆーり：この記事が出る頃には既に始まっていると思いますが、この未完成なアルバムを完成へと導きます。そう、この時点ではまだ完成してないんです。皆の手に渡って、皆の中で完成したって思えてもらえたときに、初めて、「おわらないせかいのうたいかた」は完成するので。

蝴蝶网 hudie.com
愛杂志 www.aizazhi.com

COUNTER CULTURE 2010

Live at SHIBUYA-AX 2010年2月26日

lynch.

1-M1.LAST NITE
1-M2.I'm sick,b'cuz luv u.
1-M3.59
1-M4.EVILLY
1-M5.AMBIVALENT IDEAL
1-M6.SHADOWZ
1-M7.THE BLASTED BACKBONE
1-M8.alien tune
1-M9.MARROW
1-M10.pulse_
1-M11.ADORE

Sadie

2-M1.brown cow
2-M2.crier
2-M3.Regret
2-M4.アゲハの失彩
2-M5.蒼き群青
2-M6.心眼
2-M7.Grieving the dead soul
2-M8.迷彩
2-M9.a holy terrors

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

予定調和一切無し。反骨のイベントを完全レポート!

昨年初めて行なわれ、好評のうちに終了したイベントツアー『COUNTER CULTURE』が、今年もパワーアップして戻ってきた。主演者は、前回と同じく、Sadie、heidi.、lynch.の3バンド。ワンマンとはまた違ったステージングを見せてくれるこのイベント、その最終公演となったSHIBUYA-AXの様子をレポートしよう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:ERI MIZUTANI

蝴蝶网 hudie.com

イントロが響いた瞬間、ざわついていた会場が水を打ったように静まり返る。ゆっくりと幕が開くと、そこには既にメンバーの姿があった。こんな、イベン[illegible]らしからぬ始まり方をしてきたのはlynch.。そう、らしからぬと書いたのには理由がある。普通、こういった対バン形式のライヴともなると、盛り[illegible]役を買って出たかのように、はし[illegible]ステージングを見せるバンドが多い[illegible]、彼らはいつもどおり、通常のライヴの[illegible]で攻めてきたのだった。そこがlynch.が持つ〝媚びない姿勢〟を貫いた[illegible]となり、他2バンドのファンたちも驚嘆の溜め息を漏らしたの[illegible]そして、先程の続きである「[illegible]ITE」で闇の部分から光を指し示す、「I'm sick,b'cuz luv u.」で大群を動かしていった。その波は「59」や「AMBIVALENT IDEAL」でも収まることはなく、艶を含む爆音に導かれるようにして大きなウネリを見せていったのだった。この日は、最新アルバム『SHADOWS』の収録曲を多く組み込んでいた為、lynch.初心者にも非常にわかりやすい内容のライヴとなっていたのではないだろうか。〝ありがとう、サイコーのツアーでした〟とステージを去るそのときまで、ステージには熱い視線が送られた。

そこからバトンを受け取ったのはSadie。lynch.と同じく、激しさを得意とするバンドだ。まずは、低音がすこぶる気持ち良い「brain core」で会場を揺らしていく。単純なロックではない楽曲故、どうノッたらいいものかと、ノリ方に苦戦する観客が出てきてしまうかと思いきや、辺りを見渡してみると、自由に曲を楽しんでいるオーディエンスたちばかり。どうやら、彼らの楽曲は頭で考える前に体が動いてしまうようだ。それが如実に感じられたのは、続く「ever」でのこと。圧倒的な聴きやすさ、プラス1番最新の楽曲ということもあり、フロアの盛り上がりも半端なかった。かと思えば、「アゲハの亡骸」や「淡き群青」といった壮大なロックバラードを持ってきて、緩急を付けた展開で聴く者を魅了していく。ワンマン同様、特に目立ったMCはなかったが、時折、〝生きているか?〟全てを出してくれ!〟と問い掛ける姿は、つらつらと言葉を並べるよりも100倍の力があった。ラストには、代表曲である「a holy terrors」を。演奏が終わる頃には、ここにいた全ての人の気持ちが一体化していた。イベントライヴとは言え、5周年記念ワンマンに向け、何かひとつ見えたライヴになったことだろう。

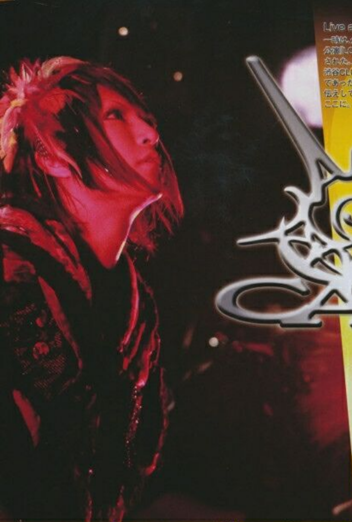
本日のトリを飾ったのはheidi.。前2バンドとはまるで色の違うバンドだが、ライヴにかける熱さは1番と言っていいぐらい熱い。その勢いを示すかのように、オープニングに持ってきたのは「シンクロ」。小気味良いリズムに乗せ、有り余るほどの元気を曲に置き換えていく。それは「ハロー!」や「レム」でも。ダイナミックな音が一面に広がったと同時に、会場中が口ずさみながら楽しんでいたのが印象的だった。ロックと歌謡曲の良いとこ取りを得意とするバンドなだけに、楽曲の幅も多岐に渡るということを証明してくれた。もちろん、実力のほどはMCでも試された。それにしても、この日の義彦ときたら、実に饒舌で。ちょうどバンクーバーオリンピック期間中ということもあり、タイムリーな話題から始まったかと思えば、前2バンドに負けないようにシャウトを練習したというこぼれ話まで飛び出した。〝このイベント、やって良かったです。また、すぐにでもやりたいなと思います!〟こんな力強い宣言をしたからには、是非とも有言実行してもらいたいものだ。さて、こんなMC後には、新曲の「おまえさん」や「翼」で会場を沸かせることに。実に、heidi.らしいライヴを披露してくれた。

だが、これで終わりではなかった。アンコールに応え再度登場してきたheidi.の横には、桑月と真緒の姿が。そして、義彦とのトリプルヴォーカルで「センチメンタル」を歌うことに。お互いを〝はっさん〟〝まっさん〟〝よっさん〟と呼び合うだけあって(笑)、3人の息はピッタリ。これには、後からステージに乱入した他のメンバーも温かい眼差しを向けていた。結果、今回の『COUNTER CULTURE』も大成功に終わったと言えよう。それだけに、またすぐにでも、次回が見たくなってしまった。

蝴蝶网
hudie.com

Live at 渋谷CLUB QUATTRO 20 2.21

一時は、公演中止か!? と危ぶまれたキャンセルのワン公演「LOVERS」が、2月21日、当初の予定ど 、無事に決行された。メンバーの怪我を乗り越え行われただけに、当日は渋谷CLUB QUATTROにたくさんのファンが詰めかけたのであった。その様子を、ここに辿り着くまでの流れとともにお伝えしていこうと思う。5人のキャンセルの見事な復活劇をここに。



CANZEL キャンセル

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)／Report:ERI MIZUTANI

この日、ヴォーカルのいっ も何度も"ありがとう"と口に はワンマンがある度、こうやって 言葉をファンに向かって丁寧に だが、今日はことさらだった イヴがラストに近付いた頃 バーみんな口を揃え"ありがと 葉を連呼していた。それもそ 我を乗り越え完全復帰となっ びもひとしおだったのだろう

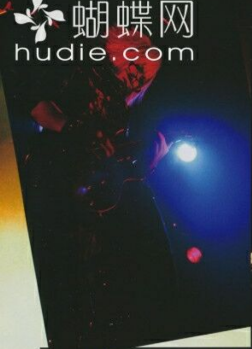
振り返れば数カ月前、キャ アーの移動中に車の接触事故に遭った。幸い、全員、軽傷で済んだのだが、手を怪我した未緒と、鎖骨を折ったいっちに関しては、しばらくの安静が必要になったのだった。その間、予定に組んでいたライヴはキャンセルすることなく、ルリ、ハク、ゆきみの3人でこなすことに。途中から未緒も加わったのだが、いっちの復帰はまだまだだった。それを聞いて、2月のワンマンは延期になってしまうのではと心配する声もあったが、今、こうして彼らはステージに立っている。きっと、ここに照準を合わせ頑張って調整してきたのだろう。だが、それは、こちらが想像する以上に大変だったはずだ。けれども、そんなことを微塵も感じさせないほどの笑顔で演奏している。困難を乗り越えただけに、こうやってキャンセルの曲を演奏できていることが最大の喜びと言わんばかりに。顔を綻ませてライヴを展開してく5人の姿は頼もしくもあった。

もちろん、どの曲も印象的だったが、オープニングに用意されていた「光覚ハレヱション」はいつも以上に聞き応えがあった。"ジャンプして!"いっちの元気な掛け声とともにフロアが一斉に高く跳ぶ様子が、5人のキャンセルとしての復帰を心から喜んでいるように見えたから。更に、未緒とルリのお互いを熟知した音をがっちりと支えるハクとゆきみの役割もここにきてしっかりとまとまった気がする。そこからMCを挟みつつ、勢いのあるナンバーを一気に畳み掛けると、「風靡る、桜舞う」や「青色LOVERS LINE」といった爽やかなナンバーが彩りを添えた。

また、普段はお遊び企画として用意されているメンバーチェンジのコーナー

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com



【セットリスト】SE.fuTuers woRd 1.先覚ハレヱション 2.ミソギ 3.夢幻色metro 4.マルチ 5.invit' 6.未来ノート 7.永劫回帰エレメント 8.風踊る、桜舞う 9.青色LOVERS LINE 10.声、鳴り 11.メンバーコール 12.starlight 13.枯れ葉 14.アンブレラ 15.twilight 16.世界終了組。 EN1.heart EN2.月待ちセンチメンタル EN3.Allegro

このときばかりは、ヴォーカル・ゆきみ、ギター・ハク&いっち、ベ[illegible]ドラム・朱緒へとパート変更[illegible]に限っては特別に感じられた[illegible]段は笑いが起こることが多い[illegible]日は目を潤ませて楽しんでいる[illegible]ァンの姿が多くあった。「メンバーコ[illegible]いうタイトルに添ってメンバ[illegible]の名前を元気呼ぶとステー[illegible]えるように笑顔を返していっ[illegible]

その後に続いた「starlight」や「枯れ葉」でも、会場は大いに盛り上が[illegible]ただ、気になったのは、時折[illegible]呼吸を苦しそうにしながら歌[illegible]とだろうか。鎖骨を怪我した[illegible]んまり無理しないでとハラハラする場面も多々見られたのだが、その不安を長く引っ張ることなく済んだのは、楽器陣の演奏力のおかげだろう。彼ら、コンビネーションという点では、ここ最近めきめきと力を伸ばしてきたように思える。それだけに、この先どのようなバランス感覚を持って成長していくか、期待できるところではないだろうか。

そして、最後には、メンバー1人ずつマイクを回していくことに。全員同じように感謝の言葉を口にしていたのだが、"5人でステージに立てていることが嬉しい"と言ったゆきみの目には、キラリと光るものが。その前に、絶対に今日は泣かない、と宣言していたのだが、ファンの優しさに触れ、思わずホロリときてしまったのだろう。それにつられて、全員が目頭を熱くしていたのは言うまでもない。そうした素直な思いが演奏面に表れていた「Allegro」は格別だった。"本当に今日はありがとう、最高だ!"と、心からのお礼を言ったいっちの目は、先程とは打って変わって、強い意志が宿っていた。

完全なる復活劇となったワンマン公演『LOVERS』。主旨どおり、愛や幸せがたっぷりと詰まっていたものになった。そうそう、最後に大事なお知らせをひとつ。6月25日には、また単独公演が行われる。ただ、この公演は、300人限定とのことなので、チケットのお求めはお早めに。確実に、今日を超えるライヴになるはずだ。それだけに、見ておいて損はないだろう。

(問)〒101-8797東京都千代田区神田淡路町2-12
神田郵便局留 キャンセル宛 http://www.canzel.net/

愛杂志
www.aizazhi.com

愛杂志
www.aizazhi.com

セラ」の登場となりました。
ルビ：これまでは、"シングルを作る"という前提のもと、一曲入魂の姿勢でえみる君が作品を作っていたんだけど、今回は愛狂います。史上初めて、何曲か楽曲を仕上げ、その中から今年の愛狂います。の方向性に相応しい曲を選ぶ方法を取ったんですね。その中から選ばれたのが、「ケセラ・セラ」でした。
えみる：全部で7曲くらい書いたのかな？ ルビ君も言ってましたけど、これまでのように"これぞシングルだ！"と肩肘張ることなく、良い意味で肩の力を抜いた中から生まれた楽曲を並べていったら、意外といろんな表情が生まれたんですよ。その中から今の愛狂います。の方向性を考えて選んだのが、『ケセラ・セラ』を筆頭とした、3曲でした。
さらん：僕ら演奏陣は、どの曲が選ばれてもいいように、すべての曲へ全力を注いでいたけどね。
ルビ：だから選ばれなかった曲が、今後出てくるかも知れないし。まぁ、そこは自分らでもよくわからないんだけど（笑）。

──『ケセラ・セラ』をメインに持ってきた、その決め手は何だったんですか？

えみる：今までにない曲調という理由もあるけど、一番は愛狂います。を応援してくれる子たちを応援していける歌というか、"ケセラセラ（なるようになるよ）、大丈夫だよ"という、僕らなりのファンに対する前向きな応援メッセージを詰め込んだ歌だったからなんです。

──これまで自分の内側へ向いた歌詞を綴ることの多かったえみる君にしてみれば、意識が外へ向いてるだけでも、十分新しい表情になっているもんなぁ。

えみる：これまでの愛狂います。は、攻撃的な歌詞の中へ、伝えたい想いを忍ばせてきたけど、愛狂います。も結成3周年を迎え、4年目へ突入することもあり、"何があっても僕らについてくれば大丈夫だよ、だから安心しなよ"という想いを、もっともっと応援し続けてくれるファンの人たちに伝えたいなと思ったんです。楽曲としても、「ケセラ・セラ」や「あおいろ1号」は、愛狂います。のNEW

──「[illegible]盤」へ収録した「暗殺-ANSATSU-」は、何時もの愛狂います。らしいですけどね。

えみる：これまでの僕らを観てきた人たちには、確かに「暗殺-ANSATSU-」の印象のほうが強いだろうけど、むしろ、その軸をしっかり持ちながらも新しい扉を開けたのが、「ケセラ・セラ」や「あおいろ1号」だからね。
ルビ：そう。これまでの愛狂います。って、同期やSEを使った楽曲という印象があったと思うけど「ケセラ・セラ」は、いきなりギターから楽曲が始まるし「あおいろ1号」に関しては、これまでなら同期やSEで補うところを、全部ギターのダビングで対応していったからね。じつはそうしたのも、"バンドっぽいサウンド"を出したいからだったんです。
さらん：2曲とも、頭から勢いあふれるライヴ感を持って始まる歌なんで。
ルビ：「ケセラ・セラ」のようバンド感の活きた曲や、「あおいろ1号」のようなストレートで爽やかな楽曲だって愛狂います。はやれるんだよと言うのを、みんなに知って欲しかったんです。
えみる：「あおいろ1号」は、オケだけを聞くとすっごく明るいんですよ。まるで、未来に光が差し込んでゆくような楽曲なんで[illegible]て歌詞では、[illegible]まったく正反対のベク[illegible]たんです。
玲音：この歌詞、えみる君が海で思いついた[illegible]んです。
えみる：[illegible]の寒い時期、海の側に一泊二日のバンド合宿に出かけたんですよ。[illegible]みんながどんちゃん騒ぎをし[illegible]夜風に当たろうと一人海辺へ[illegible]んですね。そこでボーッと波の音を[illegible]いてたときに、"青"い無機質な感じの[illegible]ージが生まれていきました。

──[illegible]曲の[illegible]に対し、前向きな想いと言って[illegible]たよね。ぜひ、1曲ごとに詰め込んだ想いも教えて欲しいんだ。

えみる：まず、3曲通して伝えたかったのが、先にも言った"大丈夫だよ"というメッセージ。「ケセラ・セラ」では、"ちょっとくらい嫌なことがあっても大丈夫だよ、雨だってそのうち上がるように、気持ちだって晴れてくから"という

もし体が青かったら海が空と同化して楽しくない!?

**愛狂います。今年第1弾となるマキシ盤『ケセラ・セラ』が登場。
さらに、3月下旬より東名阪ワンマン・ツアー『浪漫。』もスタート。
じつはこの【浪漫。】という言葉には、
今年の愛狂います。の活動を示唆するいろんな想いが隠されている。
その真相を知りたければ、彼らの言葉へ触れなさい。**

Interview:TOMONORI NAGASAWA

と[illegible]伝えました。「あおいろ1号」は、一見ネガティヴな歌詞にも思える内容に見せて、みんな"悲しい気持ち＝ブルー"って言うけど、もし自分の身体が青くなったら、海や空などに同化し、身体に船を浮かべたり、雲や虹でお洒落できたりと、むしろ気持ちも楽しくなっていけるんじゃないか？ という、しっかり気持ちを外へ向けてる内容にしています。そして「暗殺-ANSATSU-」は、ライヴ映えする勢いを持った楽曲という前提がありつつ、ファンの人たちを害したり、大切な人を傷つけたりするような悪の部分を、僕らが正義のヒーローとなって暗殺してやるって歌なんです。正義のヒーローと言っても、この歌の場合、必殺仕事人みたいな、異端のヒーローにも見えるけど、しっかり正義を貫くヒーローとしてのイメージなんだけどね。

──やはり3曲とも、深い想いが隠されていましたか。

えみる：パッと通して聴いちゃうと、激しかったり荒々しい印象を受けるかも知れないけど。中身は、人間味あふれる温かさを持った歌にしたかったからね。

──歌詞も曲調面でも、いろんなバランスを考えて構築してるよね。

えみる：甘口（「ケセラ・セラ」）、中辛（「あおいろ1号」）、辛口（「暗殺-ANSATSU-」）という感じだよね。サラッと聴いても聴きやすいバランスであり、愛狂います。のことを初めて聴く人でも、どんなバンドかというのがすぐにわかる。そこは、毎回しっかり考えていることなので。
ルビ：なんとなく入れましたをやっちゃ、バンドの色も方向性も見えなくなるから、それは絶対にやっちゃいけないこと。そのバランス感は、常に考えてることですから。

──さらん君の3曲に対する印象も、聴かせてよ。

さらん：「ケセラ・セラ」は、いつもの僕らしさを出して演奏。「あおいろ1号」は、曲調が爽やかだったので、アレンジも爽やかにしています。「暗殺-ANSATSU-」は、思いきりメリハリ付けた演奏を心がけました。

[illegible]君のギターに特色が出ています。

ルビ：「ケセラ・セラ」は、明る[illegible]曲調にも関わらずメタル風のソ[illegible]きを入れたり、「あおいろ1号」[illegible]は、いつもなら同期に頼るとこ[illegible]べてギターで埋めていきました[illegible]「暗殺-ANSATSU-」は、何時も[illegible]います。らしいとはいえ、今回[illegible]で以上に人間味あふれる作品[illegible]思ってる。むしろこの音源を、[illegible]ヴで再現していくかが楽しみに[illegible]ました。
えみる：「あおいろ1号」とかラ[illegible]すごく出ている楽曲だから、ラ[illegible]したときがすごく楽しみ。とくにうちらの場合、音源とライヴでは、アレンジも含め、曲の響き方が変わるからね。

──「ケセラ・セラ」や「あおいろ1号」という新しい色と同時に、「暗殺-ANSATSU-」のような"らしさ"を入れたのは、やはり安心感も与えておきたいというバランスをとってのことなの？

えみる：やっぱし辛口な愛狂います。も、うちらはズッとやっていきたいんですよ。結果今回は、"甘いスパイシー感"の出た作品になったからね。とくに初回限定盤に入れた「ケセラ・セラ」のPVは、まさに"甘いスパイシーさ"の出た映像だから、ぜひ観て欲しいんです。
玲音：首がスパッと切れてるように見える映像とかね。あと、今後の愛狂います。のテーマ性に合わせた衣装にも、ぜひ注目して欲しい。
ルビ：「ケセラ・セラ」のPVは、歌詞に沿った展開も見せていくんだけど、中でも雨が火花に変わる瞬間とかは、ぜひ楽しんで欲しいところだね。そして僕らは、4月に『浪漫。』と題した東名阪クアトロ・ワンマンツアーを演ります。その【浪漫。】というタイトルが、今年の愛狂います。の活動を象徴するキーワードになっていきますから。
えみる：「ケセラ・セラ」が【浪漫】というテーマ性の最初の幕開けとなり、ここから今年の愛狂います。の方向性を描いていくので、そのためにも、最初の変わり目をぜひ目撃してもらいたいんです。
さらん：今年の僕らは夢を…浪漫を求めて進み続けていきますから。

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

んなにかなりの変化が表れてきたなと。
ロア：録りの環境も変化したので、そこが音に表れているのかなと思うんですけど、かっこよくなりたい、もっとたくさんの人に聴いてもらいたいっていう想いが以前より増していて。その上で前作や今作を作っていったので、ステップアップはしていると思います。
——なるほど。そこを踏まえ、みんなの"今年、これだけはやってやるぞ！"ということは？
大地：メンバーみんなでプールに行きたい。えっ、そうじゃなくて？（笑）。そうですね、真面目に言うと、バンド活動をより楽しんでいきたいです。あとは、唯一無二のギタリストになりたい。レコーディングが終わった今、そう思います。
ロア：最初に会ったときからそれは言っていましたね。そうそう、白もステージで随分と動くようになったんですよ。
——白さんってどちらかというと、動きの少ないギタリストっていう印象だけど。
ロア：ですよね。それが最近になって、やたらと動くようになって。そのおかげで、すごくかっこよくなったんです。そこが、私としてもとても嬉しくて。
白：動くようになったのには理由があるんです。このメンバーとやっていく以上、もっと個性的にならないとなって。ライヴを重ねれば重ねるほど、他から刺激をもらうんです。そこで、僕なりの見せ方を見つけないとって思ったんですよ。それからというもの、どんどんと自分のスタイルが見えていったんですよね。
——白さんとしては、最終的にどんな見せ方をしていきたいと考えているの？
白：動くばかりじゃなく、僕なりのプレイスタイルを築きたいと思っています。ちゃんとした芯を置いて、そこにどんどんと自分の要素を足していけたらなって。
ゼクス：最近また、一段上の男になれてきているんじゃない。
白：何それ～、僕、褒められてるの？
——多分（笑）。それで、ゼクスさんのやりたいことというと？
ゼクス：今年はですね、ルックスをよりよくしていきたいな。
——それ以上に!?
ゼクス：いやいや、でも、まだいけるかなと考えている最中です。
ロア：そこだけ考えられても困りますが（苦笑）。などと言って、次のゼクスの格好が、タンクトップにオールバック、そして、刺青までもが入った、実に男らしいスタイルだったらどうします？
——その綺麗な肌に刺青なんて許しませんよ！
ロア：お母さんのごとく怒ってます…。
ゼクス：あはは（笑）。でも、自分磨きは続けていきますよ。
タクミ：僕は今年、お酒に強くなりたいです。だって、メンバーと一緒にお酒を飲んだことが1回もないんですから。
ロア：全員、弱いから仕方ありません（笑）。でも、前に1度、みんなでカラオケに行ったことがあるんです。そのとき、自分が影響を受けたアーティストの曲を歌ったのですが、みんな、こういうものから刺激を受けたんだなと勉強になりました。
タクミ：そうでしたね。まぁ、たまにはメンバーと壊れる機会もほしいなと思っているので（笑）、頑張っていきたいなって思います。
——なら、レコーディング中に飲んでみてはいかがでしょうか？
ロア：そんなロックなバンドじゃありませんよ、私たちは（笑）。
——ですよね（笑）。では、前置きはこの辺にして本題に入りましょう！ 今回、3ヶ月連続リリースとなるわけだけど、随分と違う色で攻めてきたね。
ロア：はい。ただ、いつも大事にしているメロディ重視という部分は忘れていません。そこを守り通してこそヴァージルの音楽だと思っているので。第2弾に関しては、ストーリー性をいつもより大事にしたんです。楽曲の中で、決められた音符という台詞を読み上げていくだけのドラマは面白くないと感じたので。
——なるほど。
ロア：そこで、自分が吸収したものを自分なりのスタイルで吐き出してもらいたいと思って。みんながそこに添って演奏してくれたからこそ、私の望む音楽が提示できたのだと思います。
——去年はバンドコンセプトを忠実に守ってきたと思うんだよね。今年はコンセプトを守りつつ自由さが加わったかな

たまにはメンバーと壊れる機会もほしい！

新作を3ヶ月連続で発売することが決まった、御主人様専用奇才楽団-Virgil-。先日、第1弾作「SENSE」が発売されたのだが、聴いていただけただろうか。耳に入った瞬間から、今年の彼らは違うと感じられるはずだ。もちろんそれは第2弾でも。その変化を探る[illegible]新曲の話を含め訊いてみることに。5人の心境の変化、それは、後々の作品や単独演奏会にも影響してくることだろう。

と
ロア：そうですね、それがヴァージルの新しい挑戦なのだと思います。
——ちなみに、今作のテーマというと？
ロア：今のヴァージルに必要なこと、ですね。第1弾では、"聴きやすさ"。そして今回は、"盛り上がり"というのを考えました。もちろん、聴きやすさというのは今回も含まれていることなのですが。
——そこで1つ訊きたいんだけど、みんなにとって良い曲とは何だろう？
ロア：良い曲の定義ですか？ 私は、ストレートな曲が良い曲だと思います。
大地：あと、ポジティブになれるとか。
白：うん、僕もそう思います。あと、聴いていて、楽しかったり悲しかったり、そういった感情を与えられたりするのが良い曲かなって。
ゼクス：僕も全く一緒ですね。更に、ポップさとかが加われば、どの世代からも愛される、良い曲になるんじゃないかな。
タクミ：そういう曲って、聴いていると背中がゾクゾクするじゃないですか。それを感じられるのが本当の良い曲ってもんなんじゃないかと思います。
——うんうん。今回の作品は、それらの事柄を充分に感じることができたよ。A面の「Lunar Desert」は、冒頭から、オッ！って思ったし。
大地：これは、色で言うなら"白"って感じですね。僕としては、この曲、ドラマ性を意識して作っていったんです。短いながらにも展開の多さっていうのを目指していきました。
ロア：こんなにも綺麗な曲なのに、泥臭い汚い歌詞を乗せてしまいました……。
大地：そんなことは（笑）。けれど、こうやって失恋ソングになったからこそ、タイトルが表わす心象風景というのがよく出たのではないかなと思うんです。あと、同期が入っている分、暗い雰囲気は間奏だけにしたんですよね。だからこそ、より、葛藤の部分が濃くなったんじゃないかなと。
白：聴きどころは、ツインギターのアンサンブルですね。そこは大地ともすごく話しあったんです。お互いの出方を見ながらやっていったんですけど、2人の音が重なったとき、表現できた切なさというのはとても良かったと思います。
タクミ：ただ、僕としては、曲を覚えるのが[illegible]全部の音が入ったデモを聴かされた[illegible]1つ斬新だなと思ったのは、[illegible]のドラムの音と機械のドラ[illegible]ビネーションフレーズをや[illegible]ろでしたね。そこは思わず、[illegible]"画期的だね！"って言いまし[illegible]
ゼクス：僕は、初の試みと[illegible]を指で演奏していったんで[illegible]曲の雰囲気にも合っていると[illegible]で。これはほんと、挑戦してみて[illegible]たと思います。
大地：逆に、B面の「aby[illegible]例えるなら、"黒"ですね[illegible]
——バックに流れている民[illegible]は、最初からあったものなの？
ロア：はい、デモの段階から。そこにロア語を入れて完成させていったんです。
——ライヴで盛り上がれる要素が全部入っているし、面白い曲になったね。
ロア：ジャンプも逆ダイもできますからね（笑）。けど、歌詞では、どうしようもない方向を選んだんだという、ネガティブなところを出していて。そこは「Lunar Desert」同様、ドラマ性のあるものになったのかなと思います。
白：影がある曲だなと思ったので、どういうアプローチをしていくか悩んだところでもあるんですけど、最終的に、切なさを入れたことで明るい広がりが出たかなって。
——切ないのに明るいって、不思議。
白：ですよね。でも、僕も大地も、弾くギターフレーズが明るいんですよ。音色使いとかもそうだし。そこが「abyss」に足されることで、黒だけでない色が出せたんじゃないかなって思います。
ゼクス：あとは、ここに激しさが入るので、僕としては、ロックやメタルっぽさを意識して弾いていきましたね。それにより、ライヴノリが期待できる感じになりました。
タクミ：そうしたノリも大事ですけど、僕は正確さを大事にして叩いていったんです。どんな曲であれ、ドラムには正確さが重要だと思っているので。
ロア：確かに。そしてですね、次回作では、あの名曲が収録されます！
——あら、今から第3弾が気になります。
ロア：そこは、次回のインタビューをお楽しみに！（笑）。

Interview:ERI MIZUTANI

hudie.com
愛杂志
www.aizazhi.com

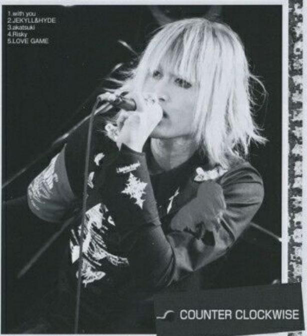
SHOCK WAVE アポロ Vol.35

Live at 高田馬場AREA 2010.2.18

毎月"18日"に、高田馬場AREAを舞台に行っているイベント「SHOCKWAVEアポロ」。真冬の2月18日に開催になったこの日に出演したのは、disSolid/THE GLADRAW/COUNTER CLOCKWISE/V-last/SwallowtaiL-スワロウテイル-/×TRiP×/「東京指定」の計7バンド。V系のスタイルとは何か？　ということを、いろいろと考えさせてくれたこの日の模様、さっそくお伝えいたしましょう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:TOMONORI NAGASAWA

disSolid



COUNTER CLOCKWISE

THE GLADLAW

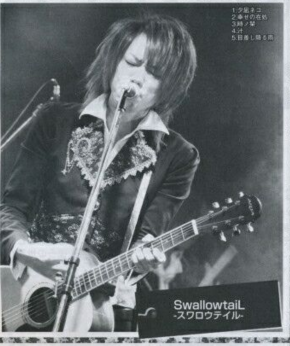
荘厳なSEからダークサ[illegible]バンド?!と思ったら、カウ[illegible]れると同時に、身体をガンガ[illegible]ヘヴィかつエクストリー[illegible]てっ腹に突き刺さってき[illegible]みを上げた音をブチ鳴まし[illegible]とは裏腹に、ヴォーカルは[illegible]メロディに乗せ、しっかり言[illegible]また活動を始めて間もない[illegible]自分たちを【活かす】ス[illegible]かり認識しているdis[illegible]面々。"お前らの生きてる証を伝えてくれ!"。その言葉こそ、彼らがこのバンドを通し描こうとしている姿と実感!

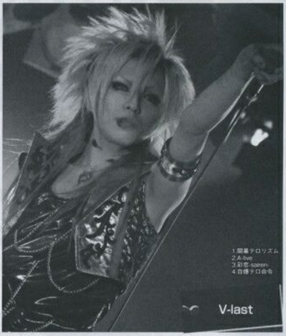
幕が開くと同時に、身体つんざく刺々しい演奏を突きつけてきたTHE GLADRAW。冒頭を飾った「Lost」は体感的な衝動与えゆく煽り系ナンバー。ヴォーカルも叫びまじりに歌うのだが、セリフを語るように観客たちを唄い煽ってゆくところに、個性を覚えた次第。サビはメロディックだが、それ以外の部分は煽りに徹してゆく楽曲構成が、昨今のバンドの主流。彼らもその流れに染まっているバンドだ。"モッシュしようぜ"。その言葉が指し示すよう、体感的な衝動をライヴの軸に敷いてるが、かなり歌心強い姿を見せていたのも印象的だった。

激しく煽るバンドが続いたところで、次に登場したCOUNTER CLOCKWISEは、【歌】を届ける姿勢を全面に押し出した演奏をみせてきた。と言いつつ、低音を活かした演奏で、ライヴ特有の激しめなノリを描いていたところは、さすがだ。正直なところ、演奏や歌唱力の甘さはまだ否めないのだが、それを塗りつぶすだけの【歌心】を持っているからか、楽曲がスーッと胸に飛び込んでくる。「akatsuki」など、思わずアニメの主題歌か?!と思ったくらいのキャッチーなインパクトを持っていた。良質な歌物バンドだけに、演奏に磨きがかかれば、一気に大化けしてゆくかも?!

身体をガンガン揺さぶるヘドバン・ナンバー「闇夢テロリズム」から狼煙を上げたV-lastのライヴ。冒頭から身体揺さぶるノリを描きあげるのは、この手のイベントでは見慣れた風景。要は、ここからどう個性描いてゆくかが、腕の見せどころ。ロずさみやすいサビメロで—

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com





体化した風景作りあげた「A-live」。ドライブ感満載な激烈歌[illegible]煽り曲「自爆テロ命令」[illegible]CKテロリスト」とい[illegible]応しい楽曲を連発。どの曲[illegible]像が描いただけに、そこへま[illegible]感じることが出来た。

演奏が幕開けたとたん[illegible]しい哀情な舞台の中へ[illegible]溶け込んでいった。Sw[illegible]i-L-スワロウテイルが[illegible]通し綴れ織ったのは、心[illegible]かしてゆく風景。何処か[illegible]むしろ暖かな温もりを覚[illegible]ろう?! ノスタルジ[illegible]言葉に心が浪漫を覚えゆ[illegible]せの在処」。彼らは【色】を持ってい[illegible]【激烈[illegible]歌謡メロ】バンドが跋扈するシーンの中だからこそ、彼らのような、哀愁な物語を描いてゆくバンドが愛おしい。陶酔してゆく素敵な出会いが、ここにあった。

いきなり哀愁味を持ったソウルフルなミッドバラード歌「I miss you」から物語を明けたxTRiPx。楽曲のアプローチは、まさにJ-SOUL。この手の曲調をV系が演るのも嬉しい意外性だが、音源にすると支持を得そうな良質な楽曲に仕上がっている点も見逃せない。続く「Dream Catther」からは、一気にミクスチャー・モード炸裂な楽曲を叩きつけてきた。V系の装い施しながら、ソウル/ヒップホップ/ヘヴィロック/デジタルな要素をミクスチャーしたJ-ROCKスタイルで迫ってゆく彼ら。このシーンに現れたニュータイプに、嬉しい興奮を覚えた!

最後を飾った「東京指定」は、ラップコア歌「V.B.B.feat LUXAM」を通し場内へ上げ上げな空気を作りあげてゆく。会場中の人たちが、右手振りかざし飛び跳ねゆく光景は、圧巻だ。彼らも、これまでのV系が持っていた既成概念を思いきりぶち壊した存在。むしろ今は、バンド/観客ともに【でなければいけない】という枠組みなど関心外。自分たちの感情を上げてくれるなら、スタイルなど関係ないのが現状だ。「東京指定」もまた当たり前のようダンスロックをぶち嚙まし、場内をビートアップさせてゆく。それが今のシーンの主流のように。

愛杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX VOICE!!

平成維新

楽しむ事に無我夢中。2010年のニュータイプ!!

4月21日に、KISAKIプロデュースによるニューコンセプトシングル『Prism.』をリリースする平成維新。衣装からイメージしたプリズムという言葉をもとに制作に臨んだだけあって、楽曲、歌詞、そしてヴィジュアルと、トータルで彼らの魅力が感じ取れることだろう。目前に迫ったニューとの2マンや、4、5月の東京でのワンマンと、彼らの世界を堪能できるライヴが続く。CDで、そしてライヴで、成長し続ける彼らの姿を確かめたい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

――『Prism.』は、新しいコンセプトをもとにした作品になるんですか。

拓：新しい衣装が、プリズムのように、照明の光で七色に光って見える生地を使っていて、それで全員統一してるんです。そういう見た目と掛け合わせた曲にしようかなと思いました。音楽と見た目がひとつにマッチした感じに出来たと思います。

――〝プリズム〟という言葉が先にあって、それを曲にして行ったんですね。

JILL：プリズムって、ガラスとか透明な素材で、光を入れると変わった反射の仕方とか屈折の仕方をして、七色に見える特殊な素材なんですけど、それを世の中に捉えて、〝世の中で全てが互いに屈折しあう中で〟っていう歌詞を書きました。光を通した時に色々乱反射する、そういう世の中で一本突き進む光を自分で探して、それを信じて行こうっていうのをコンセプトにして歌詞を書きました。

――曲については、〝プリズム〟という言葉からどんな風に作って行ったんですか。

YUKKIE：〝プリズム〟とっていう言葉をイメージして、衣装が近未来的な感じだという事もあるので、ダンスチックと言うか、裏打ちの曲だと思って、そこでサビから作りました。それを皆に聴かせてこんな感じで行こうってなったんで、サビから広げて行った感じです。

――サビはキャッチーなメロディーを聴かせてますよね。

拓：タイトル曲として、平成維新が常に持ってるキャッチーさを出したかったし、「Prism.」っていうタイトルもあってキラキラ感を大切に出してます。

――軽快なノリにも、キラキラ感を感じさせますね。

ライ：メロディーとか曲全体を聴いたときに、ドラムでものすごく変わる曲だと思ったので、やりすぎず、言葉を生かすようなドラムを意識して叩くようにしました。ドラムのフレーズと言うよりは、曲を生かせるようなドラムを意識してます。

善：これは歌詞が一番大事だと思ったので、ヴォーカルを生かすも殺すも楽器陣次第だなと思って。ドラムもベースも無駄なカッコいいフレーズよりも、ヴォーカルを中心に考えて、ヴォーカルがないところで美味しいフレーズを弾くぐらいで。いい意味でシンプルに出来たなと思います。

――ギターも、ヴォーカルを重視して?

JILL：特にダンスチックな曲なので、軽快なノリを出すためのカッティングだったり、コード弾きを意識して弾きました。

――音色でもキラキラ感を出したり?

JILL：生と言うより、どっちかと言えばデジタルチックな音ですよね。音のバランスも、二人でひとつになるように意識しながら弾きました。

YUKKIE：ヴォーカルを中心に考えてはいるんですけど、ただバッキングだけだと面白くなかったので、邪魔にならないようにちょこちょこフレーズを絡ませたりして、面白い仕上がりになったと思います。

――歌はどんなイメージで歌ったんですか。

拓：「Prism.」は、歌詞とメロディーがはっきり出せるテンポだと思うので、歌詞が伝わるように一文字一文字大切に歌いました。バックもいつもよりかはガンガン出る感じではなく、ヴォーカルの下に入って来るようなバランスになってると思うので、そういう意味で歌詞の面でも歌い方が大切になって来たと思います。

――最初にプリズムという言葉があって、そのイメージに向かって作って行く作業はどうでした?

善：やりやすかったですね。今の衣装と僕らがやりたいこと、伝えたいこと、全部が一致したので。YUKKIEから曲を聴かされた時も、〝これ絶対、プリズムだな〟って思ったんで。全員が本当にやりやすかったんじゃないかと思います。

YUKKIE：いい意味でわかりやすかったので。皆同じ方向を向いていたのかと思います。

――カップリングの「Psycho dripper」は、どんな風に出来た曲なんですか。

拓：平成維新の持ってるキャッチーな部分と激しいロックな部分のどっち[illegible]せる曲を作りたいなと思って、僕が[illegible]て来ました。

――サウンドとしてはバンドっぽい[illegible]がりですが、これはねらったところ[illegible]

善：同期は少なめで、バンドサウ[illegible]仕上げてますね。

――それだけに、ドラムがリズムを引[illegible]張っているような。

ライ：ロック色の強い曲だと思った[illegible]「Prism.」と違って勢いと力強さを[illegible]下から支えるように、土台を作る[illegible]叩きました。美味しいフレーズとか[illegible]分的に挑戦したフレーズとか、いろいろ考えるのが楽しかったですね。

善：この曲は、最初拓が持って来た時に、ベースは打ち込みで作ってあったので、それを自分のやりたいようにとことんやってやろうと思って。平成維新のベースラインの中で一番難しくなってます。打ち込みで作るんで、手癖と言うよりはカッコいいフレーズ重視で出来たかなと思います。平成維新が好きなベーシストは聴いてほしいですね。コピーしてほしいです。

JILL：デジタルロックっていうのがコンセプトとしてあるんで、「Prism.」はデジタル部分を強調して、ギターもタイトで軽快なノリを出したんですけど、こちらはロックなノリが中心になるんで、歌詞もこぶしを突き立てていくぞっていう強い意志があるし、そういう感じでリフもバッキングも力強く弾いてます。

――ロックバンドで弾いてるギターらしい感じですよね。

JILL：音も荒々しくしてますね。

YUKKIE：聴いた瞬間から、攻撃的でもあって、なおかつ聴かせるっていう、すごく刺激的な曲だなって思ったし、ライヴの映像が見えたんですね。全員でジャンプしたり。そういうのが思い浮かぶライヴ曲だなって気がしたので、ギターも単純なことをやってるんですけど、オーソドックスなロックな部分が出ていて、気持ちいいチョーキングをしたりしてます。平成維新ではあんまりやらないことが出来る曲ですね。

――歌も、ロックなノリを意識して歌ったんですか。

拓：歌い方にしても勢いを大切にしてます。常に疾走して行く感じで。歌詞も攻撃的と言うか、ある意味毒舌から始まるような感じで。でもあくまで前向きで。サイコって精神異常とかそういう意味なんですけど、自分が異常だと思っている、例えばコンプレックスとかも、個性であり、その個性が今までの歴史に爪跡を残してるって歌ってるんです。

愛杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

ある話だと思うので、そういうことも大切にしていかないといけないんじゃ かなっていうのを、攻撃的に歌詞に した。

——Aタイプには、「Prism」のPV くんですよね。

拓：キラキラ感を大事にしながらも、 装のキラキラ感を出すためにシンプ して。その中で勢いも出せるよう で、演奏シーンがメインになって

——そして、Bタイプに付くライヴ Dでは、昨年の大晦日の「首都制圧」の 模様が見られますね。

拓：まだ音源にもなってない、い イヴでやる「干支」っていう曲が入 レアだと思います。

——さて、「Prism」のもとのイメージ なった衣装ですけど、近未来っぽくしようというのは、メンバーさんからのアイデアだったんですか。

善：平成維新を一年ちょっとやって来て、今やりたい衣装があぁいうキラキラした感じだったんです。

拓：平成維新が始まってから、やりたいと思ったことを素直にやって来て、いろんな衣装を着て来たんですけど、今回は、デジタルっていうところで、上はキラキラしていて、でもロックなんで下はスキニーを履いてるんです。バンドとしての輪郭がはっきりして来たし、音楽とヴィジュアル面、全てにおいてリンクできるような衣装になったと思います。

——機械的な音とか、無機質的な衣装でありつつも、歌詞は熱いメッセージが込められているんですね。

拓：やりたいことをやりつつも、リスナーに伝えるっていうことでは、メロディーも歌詞もキャッチーでありたいですよね。とにかく想いを素直にぶつける感じです。

——4月、5月と、東京で2ヶ月連続ワンマンがありますが。

拓：今年は東京でもいっぱいやって行きたいっていうのが素直にあって。

JILL：東京が、第二のホームになればいいかなって。

YUKKIE：やっぱり東京がシーンの中心なので、そこを攻めて行きたいです。

——内容的には違うものが見られそう？

拓：同じライヴには絶対にしないです。

——目前のニューとの2マンとか、ワンマンとか、大きいライヴが続きますね。

拓：今年は持ち時間の長めのライヴをやって行こうかなって。曲がいっぱい出来ると、僕達の世界観も出しやすいし、僕達の空間を作り上げて見せて行きたいです。

愛杂志
www.aizazhi.com

「東京指定」

DJ PLAYER

初のPV付シングルを2ヶ月連続でリリースすることが決まった「東京指定」。第1弾作は、バンドコンセプトとして掲げている"V.B.B(ヴィジュアル.バッド.ボーイズ)"の進化形とも言えるミクスチャーダンスロックチューン「DJ PLAYER」。こちら、過去最高にノリノリな楽曲に仕上っているため、相当オススメです。今回のインタビューは、PVの裏話もあるので、お楽しみに♪

Interview:ERI MIZUTANI

——2ヶ月連続でのリリースだけど。

23：でも、コンセプトは全く別物なんです。今回リリースする「DJ PLAYER」は、前作からのテーマでもある"V.B.B."の進化系、いわゆるミクスチャーダンスロックになっているんです。

——表題曲の「DJ PLAYER」、担当編集も良い曲だって褒めていたよ。

23：それ嬉しいです！ 何て言うか、昔は目立ってなんぼじゃないですけど、かなりガムシャラだったじゃないですか。それが、ここにきて、だいぶまとまってきたのかなって思うんですよね。

Ren："V.B.B."を掲げての2作目ということもあり、「DJ PLAYER」は渋谷と相談しつつ作っていったんですよね。前々からスクラッチを入れたいよねって話をしてたんで、クラブとかを意識して、ピコピコした打ち込みを増やして仕上げていったんです。結果、やりたいことがやれたかな。

——その為にクラブに通い詰めたとか？

渋谷：おぉ、よくおわかりで！

Ren：行ってないから（笑）。こう見えても僕は優等生なんでね。

——はいはい（笑）。それにしても、打ち込みを多用しているだけに、楽器陣としては難しくもあったんじゃないかなって。

Ren：そうですね。ただ、生ドラムがいないのを逆手に取って、自由なサウンドに出来るかなって思ったんです。そこで、うちらなりの良さっていうのも出るだろうし。だから、僕に関していうと、あんまり弾いてないです。どちらかと言うと、ヴォーカルを活かしたかったので。あ、あと、作曲環境が変わったんですよ、僕。そこも、曲に大きく影響しているかもしれません。

渋谷：って言っても、アナログからデジタルに変わっただけでしょ。

Ren：うるさい（笑）。でも、前までのデモときたら、ハイハットの音がホウキを掃く様な音でしたからね。

爛丸：今思うとひどいな（笑）。

——そう思うと進化したものだ（笑）。

Ren：ですね（笑）。今は、自分で思っていた音をそのまま出せるようになった

23：それだけに、今回は聴いた瞬間"よしっ、これでいこう!"って感じたんです。だから、僕と爛丸くんは、これといった手直しもなく進めてたんですけど。

爛丸：この曲はほんと、渋谷とRのセンスが活きているかな。僕、今回[illegible]前回もそうなんですけど、下を[illegible]るので、スタンスは変わりなく[illegible]でしたね。なので、特に苦労もな[illegible]

——ということは、ヴォーカルに任せられている部分はかなり多いと見た。

渋谷：そうですね。でも、歌詞はすぐに浮かんだんですよ。ダンスナンバーっていうのはずっと書きたいって思っていたし、自分の経験した世界を広げていったというか。

——夜な夜な、こんなゴージャスな感じで街に繰り出して行っていたの？

渋谷：えっ、そんなことないですよ。これは、あくまで雰囲気です（笑）。

——そっか（笑）。それにしても歌うまくなったね。ほら、この手のダンスチューンって、理解して歌っていかないと単調に聴こえがちというか。

渋谷：今回、かなり力抜いて歌っていったんですよね。それで、自分の歌いたいように歌えたのかなって。

——すごく自然体なところが出ているよ。それはライヴでも実践してほしいところなんだけど、これって既に披露しているんだっけ？

23：ちょくちょくやってますね。でも、CDが出てからの方がより楽しめるんじゃないかなって思います。

Ren：今までライヴでやってきた様な曲ではないので、浸透させるまでは大変かもしれないけど……。

——そこは、皆様の腕次第！

渋谷：あははは。ですよね～（笑）。

——PVのように、華やかな感じがライヴでも出せるといいよね。ところでPVはどこで撮ったの？

23：あれですか？ あれは、室内と、外の撮影場の両方で撮りました。室内は暖かったんですけど、外は寒くて寒くて。その為、

（問）〒150-8681渋谷区渋谷1-12-13渋谷支店留「東京指定〇〇宛」http://tokyo-sti.com/

nudie.com

愛雑志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

渋谷

Ren

——今回、かなりの軽装備だしね（笑）。
渋谷：ヤバかったですよ。手足の感覚なくなってくるし。
爛丸：でも、真顔な人もいたけど（23を見る）。
23：そんなことない。あぁ、思い出すだけで寒い！
渋谷：よく見ると、全員の動きがおかしいかもしれません。
——そこまでの寒さは感じないから（笑）。でも、すごくかっこよかったじゃない。4人がザッと出てくる冒頭部分とか、クールなカット割とか、すごく曲に合ったPVになっていると思うな。
23：なら良かったです。でも、思っている以上に寒かったんですよ！
——（笑）。寒い以外の話が聞きたいんですけど。
Ren：確かに（笑）。そういえば、風が強くて飛ばされたんですよ。照明とか、すごい勢いでバーンってなって。
23：あったね（笑）。そうそう、今回は、渋谷が監修を努めたんでかっこよく仕上ったんですよ。
渋谷：僕が絵コンテ書いて、こういう撮り方でこういう動きをしてってみんなに提示していったんです。それもあって、納得いくPVになりました。

『V.B.B』の進化系

——もう1つの「Scream!!」も、「DJ PLAYER」に負けないぐらいの〝V.B.B.〟さが出ているけど。
23：「Scream!!」って感じの曲ですよね。
——いかにも（笑）。
Ren：これ、結成したときからあった曲なんですよ。で、最近までやってなかったんですけど、ファンの子も含め、自分たちも気に入っていた曲ということもあり、今回入れることになったんです。そこで、歌詞とメロディ、あと、構成も少しいじって、再アレンジという形で収録してみました。
——当時と大きく変わった点というと？
Ren：自分たちのコンセプトに乗っ取って曲をやるようになったっていうのが1番大きく変化したところですかね。そこは成長した部分でもあると思います。
渋谷：当初よりも勢いが付いたしね。
——でも、それも、意識してのことではないんでしょ？
渋谷：そうですね。前は結構バラバラだったんですけど、今回新しく生まれ変わってまとまったと思うんですよ。だから、前のものを聴いたことのある人は、随分とストレートになったなって感じてもらえると思います。
——前はどんな気持ちで歌っていたの？
渋谷：不安不安（苦笑）。
Ren：何か中途半端だったよね。
渋谷：それが、バンドコンセプトがしっかりしたことにより、まるで違った気持ちで歌えるようになったんですよ。それは自信が付いたってことなのかなぁ。自分でも分からないんですけど、きっと、これは自信だと思います（笑）。
23：でもそれって、全員に言えることなんですよ。
——みんな、不安を抱えていたんだ？
23：はい。でも、ライヴを多くやるようになって、そうした不安がなくなってきたんですよね。自分たちを待っていてくれるお客さんがいる、そう思ったら、気持ちにも変化が出てきて。
渋谷：そうだね。だから今って、ライヴやっていて楽しいんですよ。

爛丸

23

——ヴォーカリストたるもの、みんなのことを引っ張っていかないとね。
爛丸：そこはどうかなぁ。意外とニワトリさんなんでね～、この子（笑）。
渋谷：何それ!? そんなことないよ！
23：よく言うよ、3歩歩いたら大事なこと忘れるくせに。
Ren：結局、成長しているんだか、していないんだかっていう（笑）。だって、今日も、どこに行くのか理解してないで付いてきましたからね。
——インタビュー終わってから、〝あれ、今日って何しに来たんだっけ～？〟とか言いそう。
Ren：それ、確実（笑）。
渋谷：そんなことないもん！
——まぁ、次回は第2弾について話を訊こうと思っているので、忘れずに来て下さいね。
渋谷：あはははは、ひど～い（笑）。
——では最後に、次回作の予告をして締めましょうか。では、23さんどうぞ。
爛丸：「東京指定」、渾身のバラード！とか、そういうのナシだからね。
23：うっ……（図星）。えっと、この業界に今までにないぐらいの作品になると思います。簡単に言うと、「東京指定」の革命、的な。そんな、渾身のバラードになっていると思います。
一同：言ってるし！（笑）。

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网 hudie.com

ALiBi

あなたの未来を何色に染める？

3月24日、ALiBiがリリースするニューマキシは、『キラ☆メキ未来』。
卒業シーズンに相応しく、切ない中にも未来へ進む前向きな気持ちが込められた曲に仕上がった。
それはALiBi自身の未来への気持ちでもある。彼らは、5月に迎える2周年から、さらに明るい未来へ進もうとやる気いっぱいの様子。
5月30日、2周年記念となる高田馬場AREAワンマンで、そんな姿を目に焼き付けたい。

Interview:MIYUKU MURAYAMA

一同：SHOXXをご覧の皆さま、チャオ★　アリバイです。イェイ（拍手）。

——今回はどういう作品にしようと？

カイ：タイトルを先に考えて曲作りに入ったんです☆　2周年のワンマンからきらめいて行こうっていうイメージがあったのと、卒業シーズンのリリースということで、哀しい恋愛から卒業して明るい希望に満ちた未来に向かって行く意味で、タイトルを決めました☆　失恋なんだけど、前向きな気持ちを込めてます☆

——遊瑛君はタイトルからイメージして、作曲したんですか。

遊瑛：タイトルからは未来的なイメージがあって。直感でデジタルっぽいかなと思って。同期で未来を表現してるんです。

——確かに同期が多いですよね。

フミヤ：最初曲を聴いたときはこんなにシンプルなベースでいいのかって思ったんですけど、同期も含めて聴いてみると、こういう感じなんだなって。

遊瑛：ギターはもうちょっと人間味があると言うか、音の接着剤になって、同期の上の部分とベースの間をひたすら埋め続ける感じで繰り返し弾いてるんです。唯一Cメロだけが、感情を込めて弾いてます。Cメロの歌がすごくいいので、その裏で鳴ってるといいかなと思って。

——綺麗に絡んでますよね。

カイ：Cメロがおススメだよね。。もう…バカ…っていう歌詞も、メロディーもいいし、ギターも上手くマッチしてるし☆　あとはですね、僕も宇宙っぽさを感じたので、Aメロでアリバイ初のボコーダーを入れて、エフェクトをかけてみたんです☆　それがよかったかなって☆

——タイトルのイメージどおりの仕上がりになったと。

カイ：この時期（春先）にぴったりだと思うので、ひとりでも多くの人に聴いてもらいたいです☆　PVもすごく上手く曲を表現してるので見てもらいたいです☆

——PVはどんな映像？

カイ：ドラマ展開になっていて、初の俳優シーンをお披露目しました☆

——カップリングの「agony」は、ちょっと雰囲気が違いますが。

遊瑛：自分の中で、リラクゼーション的な位置を占めてます。他の2曲がわりとを入れたいと思って。

——そういう雰囲気で仕上げようと。

カイ：最初はリラクゼーション的な感[illegible]の歌詞にしようと思ってたんです[illegible]その頃に、ファン同士のトラブル[illegible]いてるってメールが来たりして☆[illegible]で素直に感じたことを歌詞にしてます☆

——ノリ的には、ベースがリズムを[illegible]張る感じですよね。

フミヤ：こんなにゆったりした感[illegible]ベースラインを弾いたりすること[illegible]までなかったので、すごく新鮮な気持ちになりましたね。静かな曲こそベースが、[illegible]と思うので。

——「Ready Break!!」は、ノリよく元気いっぱいで、ライヴのイメージがします。

遊瑛：完全にそうですね。アレンジでは、展開を切り替えて行くっていうのをテーマにしてます。

カイ：最初に聴いたときに衝撃を受けました☆　展開の目まぐるしさが聴いてて飽きなくて☆　この一曲に切なさ、激しさ、楽しさ全てが詰め込まれてる曲だと思います☆　歌い回しもいろいろ出来たので、録ってても楽しかったし☆　ライヴデートでは、最後に持って来れたらいいかなって☆　サビの繰り返しを、「Say！」って言ってマイクを向けて、お客さんが歌うっていうのがやりたいです☆

——展開ごとのアレンジがポイントですね。

フミヤ：リフはガツガツ弾いてるんですけど、サビではオクターブフレーズでノリノリにっていう感じにしてますね。

遊瑛：展開ごとに最適なのが出て来ましたね。イントロは、ベースのローに合わせてガツガツ弾いてるんですけど、それもいいアクセントかなと。

——ぜひライヴでは皆で盛り上がって。

カイ：アリん子たちの声をステージまで響かせてほしいです☆　それで、気づいたら、歌えないよ…（泣）、みたいな感動がしたいです☆

——5月30日のライヴが楽しみですね。

カイ：重要なライヴデートになります☆　今年は、去年にも増してエンターテインメント性の高いアリバイを表現してるんで、最高のライヴデートにします！　ぜひぜひ見に来て下さい☆　アリ★バイバ

愛雑志 www.aizazhi.com

PIECElang

“らしさ”に満ちた『YeeeeeeeeLL』

3月24日に、待望のデビュー・マキシ・シングル「YeeeeeeeeLL」を発売するPIECElang。DJ/ラップ/ポップ/エレクトリック/ヴィジュアルなどなど、あらゆる音楽をミスクチャーした、まさにパーティ・スタイルなポップロック・チューンを炸裂させてゆく彼ら。そんなPIECElangの最新動向をキャッチした!

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――待望の1stマキシ「YeeeeeeeeLL」が登場! タイトル・チューンは、明るくてポップでアゲアゲで、DJやラップという持ち味も冴え渡った、まさにPIECElangらしい楽曲になりました。

hkr:このメンバーが集まって約1年が経ち、正式活動を始めてからも半年以上経って、精力的にライヴをやっていく中から見えてきた、“今いちばんPIECElangらしい姿”として、それこそ、ポップでキャッチーなところと、ラップの要素を巧みに押し出した“らしい”曲「YeeeeeeeeLL⇒」が出来たことで、今回のリリースを決めました。

アキ:PIECElangには、びんびんというDJがメンバーとしているし、この“アゲアゲ感”はまさに僕らにしか出せない味ですからね。

びんびん:「YeeeeeeeeLL⇒」は、スクラッチから幕を開け、ラップから歌が始まるんですけど、それってホントにPIECElangにしか出来ないスタイルだと僕らは思ってるんですよ。むしろ、“僕らにしか出せないスタイル”を追求した結果として、スクラッチのDJ始まりという形になったんです。

Kana:そういう“らしさ”を見つけるまでにも、いろいろ経験を重ねたと言うか。活動していく中で、方向性が分からなくなったり、いろんな迷いを覚える時期が正直何度もありました。そんな経験も踏まえつつ、活動準備期間を含めた1年間の中で培った“PIECElangらしい要素”を全て詰め込んだ結果が、この「YeeeeeeeeLL⇒」という曲に繋がったんですよ。

ANDo:今の僕らの持っている魅力が、ここからはいろいろ溢れ出てくるからね。しかも時期的にも、入学や就職など新しい始まりを迎える人たちが多いし、そういう人たちにも、僕らなりにエールを送りたかった気持ちもあったから。

hkr:夢を追い求めて頑張っている人たちや、必死に夢を探している人たちとか、そんな新しい自分を見つけようとしている人たちに、“みんな笑顔で頑張っていこうよ”と、僕らなりにエールを贈りたかったんです。と同時に、その想いは自分たち自身にも向けてると言うか。PIECElangも夢を求め活[illegible]いるように、僕ら自身の気持ち[illegible]たせていく意志も、ここには込[illegible]

――タイトルには、“e”が9つ[illegible]います。そこにはどんな意味が?

hkr:これ、どこかのグル[illegible]パクリじゃないですから[illegible]「YeeeeeeeeLL」の発売日の[illegible]PIECElangにとって大[illegible]となる日で、だから3と2と[illegible]の数字を足すと9になることか[illegible]を9つ入れたわけなんです。カ[illegible]グの「VIVA☆DREAMER」も[illegible]すけど、僕らは常に“気持ちをアゲる”っていうところを伝えていきたい。その“らしさ”を込めたのが、今回の2曲なんです。

――「VIVA☆DREAMER」なんか、V系版AAAかと思ってしまうほど、ポップミクスチャーなJ-ROCKスタイルを全面に押し出した曲たもんなぁ。

アキ:この曲、結成当初からライヴでやり続けてきている曲なんです。その経験を重ねるたび、それこそ“PIECElangらしさ”を発見するたびに成長してきた曲なんですよね。その一つの完成形が見えたからこそ、これも“今のPIECElangらしい姿”という意味で収録しようと。

びんびん:僕らは常に進化し続けていたい。昨日の自分に勝ちたくて今日の自分がいるし、今日の自分に勝ちたくて明日の自分がいると思っているんです。今回の作品は、制作した時点で最高の“PIECElangらしい”作品にはなったけど、きっとまだまだ進化していくと思うし。むしろ、そうでなきゃ僕ららしくないと思うから、その進化ぶりを、ぜひライヴで感じてもらいたいんです。

ANDo:ウチら自身が、進化していくことを楽しんでるからね。

びんびん:僕らは、“その人の毎日が少しでも笑顔になれるような音楽”を届けたくて活動を続けてる。PIECElangの曲とライヴで、笑顔やアゲアゲな気持ちになってくれる人を増やしたくて表現し続けてる。そんな笑顔たちに、もっともっと出会いたいからね。

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

GRUDGE

SHOXX VOICE!!

VAJRAのニュー・マキシ・シングル「GRUDGE」は3月31日にリリース！ 今回のインタビューでは、作曲者の如月悠里(Gt.)にスポットをあて、収録曲を紹介してもらうことに。自分たちのやりたかったことが出せたという今作、その中身とはいかに。来月には4枚目のマキシ・シングル「CONCEALED PAIN」もリリースされるので、要チェック！

Interview:ERI MIZUTANI

—新作「GRUGE」は、如月悠里（以下：悠里）さんが全曲分の作曲を手掛けているけど、個人的テーマみたいなものを設けた上で作っていったのかな？

悠里：個人的に、3rdシングルは、暗くて宗教的な要素に挑戦しようと思ったんですよね。そうしたことで、1stや2ndよりも、比較的わかりやすい作品になったかなと。

—かなり、ディープなところを出してきているよね。

悠里：ヴァジュラのダークなところが詰まっていると思います。この作品を出すって決まったときに、自分たちのやりたいことを存分に出そうと思ったんです。先に話してしまうと、次に出る作品はまた違ったものになっているので、そこと対比して、A面、B面的な感覚で聴いてもらえると面白いんじゃないかなって考えながら作っていったんですよね。

—そこは、他のメンバーはどう捉えたのかな？

Rohan：そうですね、このテーマっていうのは全員で決めたところもあるので、曲が出来上がるのも早かったんですよ。そういうのもあって、バンドがまとまってきたっていうのを感じるし、出したい雰囲気というのがこの作品で明確に出せたかなって。

希ユキ：うん、それはある。あと、この見た目から伝わってくるような音楽というものが欲しかったんですよね。1stや2ndだけだと、まだ温い感じがしていたので。濃いものを出してやろうというのが実行出来たので満足してます。

—理想としているところに近付けたと。

希ユキ：はい。

Nobro：自分としても、これは大好きな作品ですね。ただ、この作品を録る前に喉を痛めてしまったんです。今までそんなことなかっただけにとまどったんですけど、逆にこういう作品だったからこそ、少し痛めている声ぐらいの方が良くて（笑）。こうしてドロドロとした雰囲気を持つ曲が集まっているだけに、悪意という意味を持つ「GRUDGE」ってタイトルを付けたんです。

Rohan：そういえば、"GRUDGE"って言葉、バンド名の候補として上がったことあったよね。

Nobro：そうそう。それもあ[illegible]自分たちのイメージに1番近いものが[illegible]せたかなと思います。

—では、その中身を紹介してい[illegible]さい。

悠里：1曲目の「陰鬱に眠れ」は、[illegible]イヴ向けの楽曲になっています。[illegible]はドカーンと一気に突っ走る形の[illegible]かったんですけど、これはゆっく[illegible]肩上がりで盛り上がっていくので[illegible]が聴きどころではないかなと。

Rohan：俺、前々から"こういうのやりたいんだ〜！"って、散々言っていたんですよ（笑）。

悠里：これは、Rohan自らドラムパターンも考えてきてくれたし、2人で作曲したようなものだよね。

「L」：あと、僕的には、曲というよりも、オープニングSEっていう捉え方をしているんですよね。序章というか、他の曲の展開を期待させるものになっているんじゃないかなと思います。

—お次の曲は？

悠里：「Child of grudge」は、スタジオでみんなで合わせながら出来た曲ですね。バンドとしての一体感というのは、この曲が1番出ているんじゃないかな。

希ユキ：ヴァジュラにとって王道な曲ではあるけど、勢いを重視しただけあって面白く仕上がったと思います。

—最後は、「GOD IN THE DARKNESS」。

悠里：何ていうか、すごく僕っぽいですよね（笑）。

「L」：ほんと「GOD IN THE DARKNESS」って感じの曲だよね。それに、何回でも言っていたいな、このタイトルは！

悠里：（笑）。静と動のかみ合いがうまくいった曲になっていると思います。

—思い描いていたとおりの曲に？

悠里：それ以上ですね。間奏のリフでは、ギターとか、不協和音のハモリとかやっているんですけど、そこにあんな歌声が乗るとは思わなかったので。まぁ、全体を通して言えることは、こんなものも出来るようになったんだなと。次に出る4thシングルでは、ファンのみんなが喜んでくれるようなものになっているので、ぜひ、通して聴いてもらいたいですね。

問) D.T.M Entertainment 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802

蝴蝶閣 hudie.com
愛雑志 www.aizazhi.com

蝴蝶网 hudie.com

R指定

人間失格

6枚目のマキシシングル「拝啓、薔薇色な日々よ」と同時期に制作していた『人間失格』が遂に完成
初のフルアルバムというだけあって、R指定の得意とする、歌謡曲テイストナンバーから、バンドサ
ンド重視のロックナンバーまで、盛りだくさんの内容となっている。4月6日には渋谷O-Crestに
単独公演が行なわれるので、ぜひ、こちらの作品を聴いてから会場へと足を運んでほしい。

Interview:ERI MIZUTANI

完成しましたね。

マモ：解放感でいっぱいです。

——今、実感こもっていたなぁ（笑）。まぁ、長い制作期間を乗り越えてのことだったからね。

宏崇：でも、初のフルアルバムだからといって、そこまで意気込んで作っていったっていうわけでもないんですよね。あんまり作り込みすぎないほうがR指定っぽいかなって。だから、個人的には、いつもと変わらない感じで全曲録っていったんです。

七星：逆に、俺は、意気込みしかなかったですけどね（笑）。やってやらんといかん！っていう気持ちでこのアルバムに挑んでいきました。

——リズム隊、随分と対照的な取り組みをしていったんだね。

宏崇：そこが良いんですよ。プラスとマイナスでゼロになるって感じで。って、ゼロになったらマズいか。ほら、塩分を摂りすぎたら糖分を摂るみたいな。

Z：それ、どう解釈したらいいの!?（笑）。

宏崇：まぁ、何ていうか、こんな2人だから均衡が保てているんです。

七星：そうだね。あとは、新しいものを生み出してやろうっていう気持ちが強かったですね。

——なるほど。ところで、6曲目に入っている「路地裏の女」は歌ナシなんですか？

七星：歌、入れ忘れたんです……。っていうのは冗談で（笑）、まさかのインスト

Z：斬新ですよね、ここにインストに入るっていうのは。

マモ：せっかくたくさんの曲が入れられるので、こんな試みをしてみたんです。

——ちなみに、作品のテーマは？

マモ：今回、タイトルを見てもわかるように、"人間らしさ"っていうのが作品コンセプトになっているんです。人間のネガティブさを出していきたいと考えて、不安だったり苦しみだったりを描いていったんですよね。コンセプトを掲げてから曲を出していったんで、作品タイトルと同じ「人間失格」という曲がメインになっています。ここには、誰にも見せない本当の部分っていうのを表現していったんですけど、それだけに、さっき言った、人間のネガティブさがよく出ているんじゃないかなと思います。

楓：俺はこの曲、Zさんのフレーズを聴いたときから、バッキングに徹しようって思ったんですよ。そこら辺はマモとも話し合ってシンプルにいこうって決めたんですけど、結果、邪魔なことしなくて良かったなって。

——そんな「人間失格」を筆頭に、他の曲もシンプルさが引き立っているよね。

楓：なぜか不思議と、ぐちゃぐちゃにはならないんですよね。どの曲も雰囲気重視というか。

——「所詮、私は猫ですもの」や「天神駅」、「アナタ」といったミディアムテンポな楽曲は、特にそう感じます。

七星：そうした歌謡曲的なものから、今

を持つ、「花魁パレード」なんて曲も含まれているんで、聴いていて面白いと思います。

——「修羅場」っていう、ノリの良……**入っているしね。**

マモ：これは、「玉砕メランコリィ」のような感じの激しい曲なんですけど、にライヴで盛り上がると思います。は、救いの1曲「幸あれ」で締めれるんですけど、上がり下りの多バムだけに、人生が表われている作品になったと思います。

——となると、4月6日に行われる公演「椿姫心中」では、このアルバム中心としたメニューでいくってことになるよね？

マモ：そういうことになりますね。タイトルどおり、春らしく咲き乱れたいなって考えています。

Z：アルバムを出したことによって、見せ方もだいぶ変わってくると思うし。

——Zさんとしては、どういう見せ方をしていきたい？

Z：「人間失格」というのをベースに置きつつも、楽しめるライヴができたらいいなと。ライヴというのは、基本、ハジけられる場所ですからね。それに、上京してきて初のワンマンとなるので、はっちゃけていきたいと思います！

七星：あとは、アーティストとして成長したところが見せられればいいなと。良いものを見せられる自信はあるので、期待していて下さい。

（問）●SPEED DISK　東京都新宿区高田馬場3-3-8-609

愛杂志 www.aizazhi.com

SHOXX VOICE!!

Arc

皆で一緒に輝いて行こう!!

4月に結成6周年を迎えるArc。これまでにはバンドのコンセプトを変えるという大きな転機もあったが、今は、【ミクスチャーブライトロック】という、自分達のやりたいことをしっかりとつかんだようだ。そんな彼らが、4月14日、KISAKIプロデュースによるニューマキシ『コントラスト』をリリースする。発売前後にも立て続けにライヴを重ね、ますます自分達を鍛え、成長を続けて行く彼らを改めてチェック!

Interview:MIYUKI MURAYAMA

―「コントラスト」制作にあたって考えたことは？

俊：今までやって来たことを踏まえて、Arcの音楽性とか、何がやりたいのかを見つめ直して、【ミクスチャーブライトロック】、ミクスチャー的な要素を入れて皆で輝いてライヴを楽しんで行こうよっていうテーマになったんです。そこに合う音楽を作りたくて3曲とも作りました。

―まず、ダンスっぽい4つ打ちのSEから始まります。

俊：このCDの序章っていう感じで、ダンスでキラッとしたところを見せてます。それで、一曲目の「コントラスト」につなげられたらいいなって。そのためのSEですね。

俊：「コントラスト」は、ノリを重視して、ノリがある曲を作れればいいなって思って。

KO～JI：それと、サビは絶対に聴かせるっていうのがあるんで、そこだけは意識しましたね。

―プレイでもノリを意識して？

Toshiya：全体のノリを重視しました。展開がメチャメチャ速いんで、Aメロのノリを出して、Bメロのノリを出して、トータル的にいいノリが出たらいいなって思ってやってました。

YUKI：楽器隊が一番大事にしてるのがリズムなんで、ノリ重視ですね。

俊：3曲ともなんですけど、リズムセクション的なところでリズムで遊ぶみたいな、そういうのを盛り込んで、音楽を楽しんでいる感じを出したかったんですね。

―「コントラスト」という言葉は、何と何の対比をイメージして出て来たんですか。

KO～JI：世界中には貧しい国もテロがある国もあるし、それに比べたら日本は平和やし。けど、東京でも、夜でも明るくてきらびやかな感じの下で苦しんでる人がいるし。それで、苦しんでる人ときらびやかな感じとのコントラストっていうところから考えたんです。

―そして、カップリングが「未完成」。

俊：「未完成」は、今まであんまり作ったことのない曲調ですね。ノリのいい人やったらタテノリで楽しめるけど、静かに聴くこともできると思うし、聴き手によって変わる曲ですね。

いう感じで臨んだんですか。

Toshiya：僕の中では完全に[illegible]てたんですよ。イントロとかギターソ[illegible]は激しく行って、Aメロとかサビと[illegible]は、緩やかに弾けるように心掛けて[illegible]

YUKI：ギターに関しても両方[illegible]ましたね。聴かせるっていうのもあ[illegible]し、ノリも出さなって。

―歌は、すごく素直に感情が出て[illegible]

KO～JI：僕自身の、今までバ[illegible]やって来た想いを歌ってるんです[illegible]初はバンドを始めた頃の想いで、後になるにつれ今の想いになって行くんです。

―もっともっと…という気持ちを込めて、「未完成」だと。

KO～JI：そうです。言いたいこと言ったもん勝ちなんじゃないかって思って、ストレートに書きました。

―Aタイプには PVが付いて、Bタイプには、もう1曲「Joke」が収録されます。

俊：この曲は、【ミクスチャーブライトロック】の『ブライト』の部分ですね。ブライトって輝くっていう意味があるんですけど、僕らだけじゃなくて皆で輝いて行こうっていうのを出した曲です。ダンスチックな部分に、AメロとかBメロとかは振り付けみたいなのを考えて、ライヴで一体になれるような曲にしたいなって。

KO～JI：この歌詞は、一歩踏み出せない人に対する応援歌なんです。僕らは、お互いの欠点を補い合ってArcなんです。この曲で一体になるっていうのは、Arcを聴いてくれるお客さんも補ってひとつになろうって考えたからなんです。マイナス思考の子がいれば、僕らがステージで元気を与えますからって。そういう意味の一体なんです。

Toshiya：カッコいい～。

一同：(笑)。

―さて、バンドとしては4月で6周年を迎えるんですよね。

YUKI：その時々で必死にやって来てるんで、6年やってますっていう実感はないですけど。

―その後も、ライヴが続々と決まっています。

KO～JI：見えて来たものがあるので、ライヴをどんどん詰めて、自分達を鍛え

愛杂志 www.aizazhi.com

SHOXX VOICE!!

ClearVeil

2タイトル連続マキシシングルリリース!!

ClearVeilが、KISAKIプロデュースによる8ヶ月ぶりとなるシングルをリリースする。3月17日には『Black Velvet』、そして4月21日には『White Satin』と、タイトルからもわかるように対照的なコンセプトを掲げた2枚になっている。各々、どんな色を詰め込んだ作品になっているのか、聴き比べて、彼らの魅力をたっぷり味わってほしい。現在進行中の5ヶ月連続2マンをはじめ、ライヴも精力的に展開中だ。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

黒と白と対比させたものになってますね。

HISAYOSHI：コンセプトだててシングルを作ろうっていうことで、色で2枚の違いをイメージさせたかったんです。一番わかりやすい対比の色って白黒かなって。そこに共通する部分をつけようと思って、両方カクテルの名前にしたんですよ。ベルベットとサテンって生地の名前だし。そういう風にタイトルで遊んだ感じです。そこから曲を選んで、『Black Velvet』はライヴとか攻撃的なイメージの曲で構成してます。『White Satin』はメロディーが綺麗に映えるような曲が入る予定です。

──『Black Velvet』の2タイプ両方に収録されるのが、「scar」ですね。

HISAYOSHI：今まででも一番やってそうな曲ですね。カップリング曲では今までにない感じを出して、遊び心が入ってるんです。

──「scar」は、疾走感も、ドラマチックに聴かせるところも、両方ありますね。

希：使うアンプとかも変えたし、ミックスでも音の質感を変えて、ヘヴィかつドラマチックな感じになったと思います。

りゅうと：フレーズとかで、いろいろ今までと違う感じに表現できたと思います。

──ノリ的には疾走感を意識して？

希：あくまで『Black Velvet』のほうはライヴみたいな。

──そのせいか、3曲ともドラムがすごく出てる気がしましたが。

成華：やりたいようにやりましたね。「scar」に関しては、壮大な世界観を表現できたらいいなと思って。

希：めっちゃ注文して頑張ってもらいました。特に2番の中間のパートのドラムはすごいこだわって。

成華：あそこのフレーズだけで、スタジオで1、2時間ぐらい費やしたよね。途中からもうわからなくなって（苦笑）。

──歌も、尖さんらしく力強く歌いつつも、内容的には結構ドロドロしていて。

尖：テーマが浮気された人の気持ちなんですけど、これは言葉遊びをしていて、いろんなところに火に関連する言葉を組み込んでるんです。レコーディングでは、ドラマチックな雰囲気も疾走感も壊さないように歌うのが難しかったですね。

──そしてAタイプに収録される「ガーネット」は、歌も生々しくて荒々しいです。

尖：（…）手く歌おうとしてないんで。ピッチより荒々しい雰囲気を出すことを意識した。

──プレイでもそこは勢いを重視──

HISAYOSHI：外国のへヴィなバンドとかのCDを聴いて、こういう（…）みたいな感じでって話して。

希：ライヴを意識して作った曲（…）ライヴ感、勢いが欲しいって。

りゅうと：僕も同じ感じですね。（…）にジャッジされました。ライヴの感じが出ないとダメなんで。

──「riot girl」も、バンドっぽい（…）出てますよね。

HISAYOSHI：最初持ってったときは、普通のパンクバンドがやってるような感じだったんですよ。それを皆で上手くクリアヴェールっぽく変えてったんですね。コーラスをしてるところでは、ライヴでもお客さんが声を出しやすかったりとか、そういうところを意識して、皆に考えてもらって。

希：アレンジにすごい苦労して、パンクっぽさもあるけど、クリアヴェールっぽさもあるっていう風に出来ました。

HISAYOSHI：これもドラムの音は派手です。

成華：イケイケっす（笑）。

──歌はシャウトが中心ですが。

尖：これが3曲の中で一番面白かったですね。パンクっぽさを意識しながら歌いつつ、でもやりすぎたら俺じゃないんで、今の自分とパンクを意識して、上手くクリアヴェールになるようにしたんで。そこが面白かったなって。

──一方、『White Satin』は制作中（2月下旬時点）ということですが。

HISAYOSHI：バラードっぽい曲も入ったりするんですけど、メロディーの聴かせ方も曲によって違うと思います。メロディーがすごい綺麗なところばっかりじゃないから、逆に一箇所が映えるとか、そういうのもやってみたいですね。

──ライヴに関しては、5ヶ月連続2マンの最中ですね。

HISAYOSHI：セットリストを一回ごとに、メンバーの誰かが一人で考えてるんですよ。

尖：今は全然やらないような曲も組み込んでるし、対バンの方とセッションもしてるんで、面白い2マンになってると思います。

爱杂志 www.aizazhi.com hudie.com

SHOXX VOICE!!

SCAPEGOAT

hudie.com

パラダイムサァカス

3月31日、初のミニアルバム『パラダイムサァカス』をリリースするSCAPEGOAT。今回は、メンバーの個性を際立たせる為、全員が作曲にチャレンジしたそうだ。激しい曲から涙を誘うバラードまで、それぞれの個性と照らし合わせて聴いてみてはいかがだろうか。ちょうど結成1周年を迎えるだけに、今後の活動にも期待が持てる作品に仕上がっている。

Interview:ERI MIZUTANI

―ミニアルバムをリリースするのは初めてのことだけど、何をテーマにして制作していったの？

春：初のミニアルバムということで、メンバー1人1人の個性的なところを見せたいと思い、全員で曲を書いていったんです。それで、先に上がった曲のバランスを見つつ、タイトルの意に添って完成させていきました。

―5曲とも、うまい具合に違う色に仕上がっているけど。

春：同じものを出してもつまらないと思ったので、敢えて違う色にしたんです。その為、作っているときは相手の様子を伺いつつって感じだったんですけど（笑）。

たつき：なので、かなりギリギリまで煮詰めていたんですよ。

春：それに、作品を出すごとに挑戦が続いているので、今回もそこは妥協したくなかったんですよね。

LAYHA：うん。最高のものを作ろうっていう思いはあったよね。

克己：ただ、3曲目の「恋人」は、やってもいいのかなって悩んだんですよね。

―自分で作ったのに？

克己：はい。バラード曲だけに、聴く人に受け入れてもらえるのだろうかって。けど、このメンバーでアレンジをして、春が歌えば、スケープゴートになるだろうと思って、挑戦してみたんです。

たつき：こういう手の曲は、シングルで出してこなかった分、普段見せない一面を見せられたと思います。

―確かに。他に、挑戦したところというと？

さゅら：ギターに関していうと、お互いの音が似たものにならないよう、注意していったんですよ。弾き方やフレーズ、どの曲でも一緒になっていたらつまらないなと思ったので。まぁ、これだけ曲がバラバラになってくれたので、同じになることもなかったんですけど（笑）。

LAYHA：ほんと、1曲ごとに、スケープゴートの色を入れられたんじゃないかなって思います。

―そうだね。さて、1曲目の「alice」は、たつきさんの曲だけど。

たつき：ライヴでみんなが楽しめたらいいなと思って作ったんです。あとは、個[illegible]

[illegible]のくらいソフトなモノのだった[illegible]バーも許してくれるかな〜って（笑[illegible]も、最初は重さ重視のダーキッシュ[illegible]だったんですよ。それが、みんな[illegible]かかり、ファンタジーな曲に生[illegible]りました。言うならば、遊園地的[illegible]

春：そうだね（笑）。ただ、爽やかだ[illegible]は終わりたくなかったので、歌詞[illegible]はドロドロとさせました。

―なるほど。次の「アカイ[illegible]LAYHAさんの曲。

LAYHA：これは、たっきーが叩いていたリズムに合わせてリフを考えていったんです。うちのバンドでありそうでなかったところを出せたんじゃないかなと思いますね。

春：曲に合いそうだと思って、歌詞はとことん気持ち悪くしてみました（笑）。

―間逆なのが「恋人」と「桜雨」だね。

春：「桜雨」は1年前からある曲なんですけど、俺の中でこれは絶対に入れたかったんですよね。季節感が溢れているバラードになったと思います。

―最後は、激しさと爽やかさを併せ持った曲になっていて。

克己：これは、骨組みが見えた段階から、すげぇ綺麗だなって思ったんですよね。

春：タイトルの「Anesthesia」とは、"麻酔"という意味があるんですけど、今までの俺らっぽい曲になったと思います。サビでは聴かせる感じになるので、歌をしっかりとさせないといけないなと思いながら歌っていきました。

さゅら：今までの雰囲気は残しつつ、新しさを出せた曲になっていると思います。綺麗なところと汚いところがよく出た1曲になっていると思うので、そこら辺のメリハリを聴いてもらえたらなと。

たつき：得意中の得意なだけに、やっていて楽しかったし、思わず音が大きくなってしまいました！

―どうりで（笑）。それにしても、この全体の流れ、気持ち良かったよ。みんなの個性を感じることもできたしね。

春：そこは俺たちも思いました。ちょうど1周年を迎えるときに、こうした作品が出せて良かったです。あと、4月29日にはワンマンライヴがあるので、そこでも集大成的なものを見せられたらなと思[illegible]います。

問）D.T.M Entertainment　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802

愛雑志
www.aizazhi.com

SHOXX INFO!!

Over the Edge '10@OSAKA

西の都が燃えている。なんと次は大阪なのだ!!

V系イベントのトップブランドであるOver the Edgeも今年でイベント開催から4年目に突入。そしていよいよ西の陣に殴りこみ。今回は「ネオ・ヴィジュアル系第2世代」の精鋭バンド達や、この日にバンド活動を開始する精鋭も登場。さらに大阪でもやります、開けてびっくり玉手箱。つまりはOTE・セッションバンドです。複数出演予定。はたして今回はどんな組み合わせが登場するやら。そして事前予測不能も間違いなし。これを見逃すと2010年の春は終わらない！

【タイトル】『Over the Edge '10@OSAKA』
【日時】2010年5月23日（日） 開場 12：00 開演13：00（終演時間21：00予定）
【場所】大阪 なんばHatch
【料金】チケット代：¥7,350 （前売料金/税込・1F立見）※ドリンク代別途必要
【一般チケット発売日】4月17日（問）大阪ウドー音楽事務所 ☎06-6341-4506

【出演バンド】

12012

ギルガメッシュ

ダウト

ドレミ團

heidi.

Mix Speaker's,Inc.

Sadie

ヴィドール

凛 -KISAKI-NEW BAND-

heidi.

メジャー1stシングル発売決定!!

すでにライヴで披露されている「予感」が、メジャー1stシングルとして5月26日にリリースされることが決定した！

この曲は、4月1日深夜1時55分よりTBS系にて放送開始予定のTVアニメ「会長はメイド様！」のエンディングテーマとして起用されるので、こちらでもぜひチェックしてほしい。

また、"インディーズ・ラスト"であり、懐かしのタイトル＆場所でのワンマン・ライヴも行なわれる。
4月8日・高田馬場エリア［紅雲の初速2010］
4月14日・渋谷O-WEST［渦ノ「ナカ」2010］
4月15日・新宿ロフト［深黒2010］

さらに、2010年初の全国ツアーも決定!!
6月4日・さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-1
6月6日・横浜ベイシス
6月10日・千葉ルック
6月12日・OSAKA MUSE
6月13日・名古屋E.L.L
6月19日・博多DRUM Be-1
6月20日・広島並木ジャンクション
6月21日・岡山イマージュ
6月25日・金沢AZ
6月27日・新潟ジャンクボックス
7月3日・宇都宮KENT
7月4日・仙台HOOK
7月10日・札幌クラップスホール
7月18日・赤坂ブリッツ

http://heidi-net.com

大佑と黒の隠者達

ソロ活動、スタート!!

the studsの活動休止から半年を経て、ヴォーカリスト大佑がいよいよ初のソロ活動をスタートさせることが決定！

まずは『大佑と黒の隠者達　旗揚げ興行～辛辣なる悲劇～』と題し、プレミアソロデビューライヴを行なうことが決定している。

『大佑と黒の隠者達 旗揚げ興行～辛辣なる悲劇～』
4月6日・渋谷O-WEST
OPEN/18:30 STASRT/19:00
チケット/前売り¥3800

そして、そのライヴに先駆けて、FREE-WILLうたフルサイトにて、ソロ楽曲を3週連続で配信されることも決定。
第一弾配信：愚の消滅（配信期間：3/15～3/21）
第二弾配信：嘘と迷路（配信期間：3/22～3/28）
第三弾配信：翻弄（配信期間：3/29～4/5）

蝴蝶网
hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

犬神サーカス団

ミニ・アルバム発売決定!!

暗黒ロック界の重鎮、犬神サーカス団が結成16年目にして辿り着いた和風ロックの新境地——海外進出を視野に入れて発表する和風テイスト炸裂のミニ・アルバムがいよいよ完成した。

タイトル：「セタカムイ」
唄と演奏：犬神サーカス団
品番：DDCZ-1672
発売日：2010年5月12日（水）
価格：2500円（税込）
収録曲：骨／残酷楽園／狂った夜／箱女／夜、あふれる想い／ドグマの呪い／神の子／時は来たれり（全8曲）

また、このリリースを記念してのレコ発記念単独興行ツアーも決定している。スケジュールは次の通り。

5月21日・OSAKA MUSE
5月22日・名古屋ell.FITS ALL
5月30日・表参道　FAB

http://www.inugami.jp

陰陽座

話題の作品、リリース

昨年12月に行なわれた10周年記念公演の模様を収録したDVD「龍凰輪舞」を、4月21日に発売する陰陽座。そんな彼らの世界観を存分に堪能できる異色の作品が、3月10日にリリースされている。

陰陽座の楽曲がフィーチャーされ、バンドの世界観と戦国時代をテーマにしたパチンコの世界観のマッチングが、バンドのファンのみならず、パチンコファンの間でも話題を呼んでいる「ぱちんこCR戦国乱舞〜蒼き独眼〜」だが、そのオリジナル・サウンドトラックがリリースされたのだ。

CDには、タイアップ・ナンバー「蒼き独眼」の他、実機に収録された他の陰陽座の楽曲も完全収録。さらにDVDには、パチンコのムービーを随所にフィーチャーしたPV「蒼き独眼」（戦国乱舞バージョン）なども収録され、レア感たっぷりの作品となっている。

SHOXX読者には馴染みの薄いパチンコの世界かもしれないが、CDやDVDとして陰陽座とのコラボの世界を堪能してみてほしい。

Visual-kei DVD Magazine VoL.4

全世界仕様のスペシャル・メディアリリース!!

海外に日本のヴィジュアル系バンドを紹介するために、2007年から制作されてきたVisual-kei DVD Magazine。過去に欧米で3巻リリースされているが、今回リリースの第4弾からは日本国内でのリリースも決定!! そしてその内容は去年行われたV-ROCK FESTIVALのライヴの模様やライヴ直後のインタビュー、会場の雰囲気など90分以上の見応え充分の作品。今後のシーンを担う新たな伝説が、ここから始まる！

【収録バンド】
・DaizyStripper/アヲイ/BOUNTY/イロクイ/アンド/ニンジャマンジャパン/heidi./ベルベット/トゥーン工場/-OZ-/【_Vani;lla】/Aoi/exist†trace/ダウト

☆各バンド2曲ずつ収録。1曲2分前後。
☆ライヴ直後のインタビューを収録。（インタビューなしのバンドもあり）
☆インターネット全世界同時生中継、BS-フジのオンエア映像とは別カメラで、このDVDのために撮影編集された独自映像。
☆会場の様子やバックステージ、アーティストが参加したサイン会やフォト・セッション、ファッションショー（予定）も収録。

特設ページ→http://biju-cat.com/dvd4_vrock.html

Visual-kei DVD Magazine　Vol.4　-V-ROCK SPECIAL-
3月31日発売　DRS-0008　定価3900円（税込）

boogieman

待望のニュー・シングル発売決定

前作「HIDDEN」から約5ヶ月ぶりとなる新作、3rdシングル「キジョウノ空論」が4月28日にリリースされる。

タイトル・チューンは、1月に行なわれたワンマン・ライヴでもすでに披露されていて、boogiemanが隠し持つ(?)爽やかな一面が垣間見られるナンバー。新作については、本誌次号4月21日発売号でもインタビュー掲載予定なのでお楽しみに。

また現在、4〜5月のイベント・ツアー "EXTRA-TERRITORIAL" に先駆けて、ワンマン・ツアーも敢行中。残りのスケジュールは…
3月21日・厚木サンダースネイク
3月28日・心斎橋サンホール
3月31日・名古屋ell.SIZE

http://www.boogieman.jp

新横浜ラーメン博物館

今月号の撮影のために、Kraがお散歩で訪れたのがここ、"ラミューズメント・ミュージアム「新横浜ラーメン博物館」"。

新横浜ラーメン博物館は、"懐かしい昭和の町並みの中で遊べる" だけじゃない、"日本全国銘店のラーメンが食べられる" だけじゃない、"ラーメンの歴史や豆知識に触れられる" だけじゃない、遊園地ならぬ "遊麺知"。館内のラーメン店も定期的に入れ替わる他、様々な仕掛けも施されているので、何度行ってもいつでも新発見が待っています。

営業時間：平日11時〜/土日祝10時30分〜
入場券：中学生以上300円（小学生・シニアは100円）
最寄駅：新横浜駅より徒歩5分
http://www.raumen.co.jp/home/

Cla vi us

2nd Maxi Singleリリース

2008年夏に、大阪にて結成されたCla vi us。現在は、Vo.Shera、Gu.Yoshi、Ba.史、Dr.大介の4人編成で活動している彼等。心深くまで刻み込まれるメロディーを持ちつつも、バリエーションの広い楽曲が彼等の大きな魅力となっている。Vo.Sheraの美しくも儚い歌声とその瞳から生み出される世界観は一度入り込むと抜け出せない。Cla vi usの世界を是非ともご賞味あれ!!

■リリース情報
2010年 3月24日　2nd Maxi Single
「二十五時の色彩〜Colors〜」
BRC-001　4曲入り¥1,260-（tax in）
収録曲：soup.／生命線／赤様々果実／春の陽と君とサヨナラ

http://cla-vi-us.com/

hudie.com

愛杂志
www.aizazhi.com

ARENA37℃ 2010年1月号増刊 アリーナ・インデックス 2010

ARENA INDEX 2010

オールカラーA4ワイド判
164ページ!!
定価1,890円(税込)

大評判の『ARENA37℃』イヤーブック最新版!
感動のベストセレクション、絶賛発売中!

東方神起、GACKT UVERworld、the GazettE の4アーティストを大特集!!

東方神起 7p ●09.2月号=シングル「Bolero/Kiss The Baby Sky/忘れないで」インタビュー ●09.4月号=アルバム「The Secret Code」インタビュー+「Survivor」PV密着レポート ●09.8月号シングル「Stand by U」インタビュー ●09.9月号=東京ドームライブリポート!

GACKT 48p ●09.1月号=闇からの帰還――黄金編 ●09.2月号=戦闘開始!――銀狼編 ●09.3月号=国際フォーラムレポート ●09.5月号=永遠の旋律-美の戦慄! ●09.7月号=開かれる天の扉 ●09.8月号=表現者-GACKTの挑戦! ●09.9月号=仮面ライダーとコラボ!

UVERworld 52p ●08.11月号=シングル「儚くも永久のカナシ」予告 ●08.12月号=「儚くも永久のカナシ」インタビュー ●09.1月号=昭和女子大学学園祭 ●09.2月号=日本武道館レポート ●09.3月号=アルバム「AwakEVE」インタビュー ●09.5月号=ナゴヤセンチュリーホール ●09.6月号=国立代々木競技場第一体育館レポート ●09.7月号=Zepp Tokyoレポート ●09.8月号=13 thシングル予告 ●09.9月号=シングル「GO-ON」インタビュー!

the GazettE 49p ●08.11月号=シングル「LEECH」インタビュー ●08.12月号=横浜BLITZ ●09.1月号=新宿ステーションスクエア ●09.3月号=シングル「DISTRESS AND COMA」インタビュー ●09.4月号=ルキパーソナル ●09.5月号=幕張メッセ ●09.7月号=アルバム「DIM」予告 ●09.8月号=「DIM」インタビュー ●09.9月号=市川市文化会館 ●09.10月号=シングル「BEFORE I DECAY」インタビュー!

■今すぐ書店にご注文くださるか、当社HPにてご注文ください!
http://www.ongakusenkasha.co.jp/ (株)音楽専科社 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL.03(3574)0201 FAX.03(3574)8548

全国書店にて発売中!!
ショックス インデックス

SHOXX INDEXX 2010

SHOXX 2010年3月号増刊

2009年に『SHOXX』に
掲載された記事から、
オイシイところをピックアップした
恒例のSHOXXアーカイブスが今年も登場!!
ぜひ手に取ってくださいませ!!

ナイトメア……50pages
彩冷える……24pages
Plastic Tree……31pages
ムック……28pages
LM.C……23

オー
定価

TEL:03(3574)0201 FAX:03(3574)8548
www.ongakusenkasha.co.jp

hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

EXPECT RUSH

エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

蝴蝶网
hudie.com

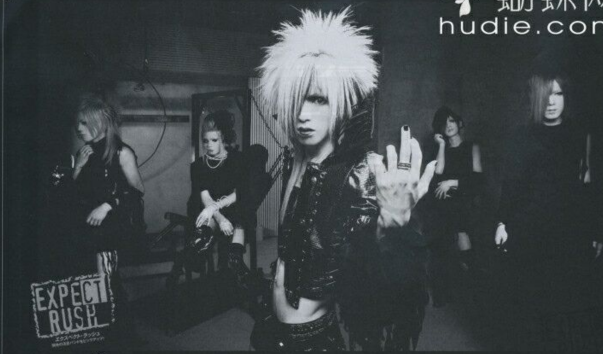
ヴァルナ

ヴァルナ

【メンバー】yo-ka(ヨウカ/Vo)佳衣(ケイ/Gt)SAKURA(サクラ/Gt)斬円(キリマル/Ba)
KAEDE(カナデ/Dr)
【結成日】2009年5月20日
【主な活動場所】東京都内
【アイテム】
2009年8月03日　1stシングル「Parasite Eve」発売(入手不可)
2010年1月15日　2ndシングル「Neo Infernal」(入手可)
2010年4月28日　1stミニアルバム「Distopia」(入手可)
【問い合わせ】
オフィシャルサイト:http://www.depain.nets

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网 hudie.com



ヴァルナ

既に大物の予感。
シーンの最新モードをキャッチせよ!!

4月28日に、ミニ・アルバム『Distopia』を発売するヴァルナ。4月には、「ジャック・ザ・ハンター～関東四神ノ葬」Tourを実施。そして5月20日には、結成一周年記念となるワンマン・ライヴ「Welcome to Distopia」を目黒鹿鳴館で開催する。結成からまだ1年経ってないにも関わらず、明確な音楽性と指針を描き出しているヴァルナ。今後の成長が本当に楽しみになってゆく存在だ。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

——ヴァルナのライヴを観たときに感じたのが、凄まじい轟音放つ激烈高揚系バンドという印象でした。でも、最新ミニ・アルバム『Distopia』の中に並んだ楽曲たちは、どれもメロディックかつ卓越した構築性を持った、完成度の高い良質な歌物作ばかりですよね。

yo-ka：歌が心に届いてこそ音楽だと僕らは思っているんです。なので歌物重視の姿勢で楽曲制作を行っています。でも、ライヴと音源は全く同じではないですよね。ライヴって、その日、その時にしか味わえないものを表現していく場じゃないですか。それこそ、ライヴって"生き物"だと僕らは思ってる。だからこそヴァルナは、毎回、ライヴは本気でぶつかっていくし、その本気度が、結果的に激しい演奏や歌へ繋がっているんだと捉えています。

SAKURA：僕やKANADEは、今年1月よりヴァルナへ加入したのですが、"入ろう"と決めた一番の理由が、ヴォーカルyo-kaくんの存在感なんですよ。僕は、"バンドはヴォーカルの存在感が活きてこそ魅力を発揮する"と思ってるんです。以前からヴァルナのライヴを観るたびに、激しい演奏の中でも、繊細な表情を伝えてゆく歌唱力の高さや、卓越した表現力に惹かれていたし、バンドの生み出す曲に対しても、構築された構成の中に魅力を強く感じていた。そこへ惚れ込んでいたので、誘いを受けたときに、喜んで加入したわけなんです。

KANADE：ヴァルナの楽曲って、つい気持ちが入り込み過ぎるから、ライヴになるとすごく感情が出てしまうんです。

yo-ka：そう。歌物曲にも関わらず、気がついたら、ライヴでは熱く叫んでしまってるからね。

桂衣：楽曲によっては、お客さんらと掛け合いしてゆく姿を意識した構成にもしているけど、やはりヴァルナの場合、ライヴなりの良さ、音源としての良さを、それぞれ持っているところが強みなので。

斬円：ヴァルナの魅力は、ヴォーカルの表現してゆく世界観が深いことであり、それを表現してゆくうえでの個々のアレンジ・センスの巧みさにこそあると、俺は思ってる。それこそ最近のV[illegible]ルにはない、往年のヴィジュ[illegible]イルの匂いを、俺はヴァルナに[illegible]ら表現しているのです。

yo-ka：まさに、そこなんです[illegible]のV系には、細分化されたいろ[illegible]イルがあるけど、ヴァルナが[illegible]るのは、V系スタイルのある[illegible]うか、楽曲面やビジュアル面を[illegible]のエッセンスを加えたうえで[illegible]系スタイル"なんです。[illegible]系：4月28日に発売するミニ[illegible]『Distopia』には、まさに、そ[illegible]出されているので。

——作品を聴いて、それは強く感じました。しかもこの『Distopia』、1枚を通した世界観も持っていませんか？

yo-ka：1曲ごとに別々の主人公が出てきて物語を演じてくとはいえ、全曲の歌詞を読み解いていけば、この作品は『Distopia』という物語を通して一つの繋がりを持っていることを実感してもらえるはずです。

KANADE：完成した作品を大音量で聴いたときには、鳥肌が立つくらいの興奮を覚えた作品になったからね。

桂衣：とくにタイトルにもなった『Distopia』は、ヴァルナにしか出せない世界観を描き出した歌になりました。

斬円：疾走感あふれながらも濃い表情を持った「ロストヘブン」や、謎めいた感じが存分に出た「螺旋迷宮」など、ヴァルナの中に今までにない、新しい刺激を与えていった曲たちも多いんで。

yo-ka：このバンド、5月20日に目黒鹿鳴館で行うワンマンを持って、結成一周年を迎えるんですけど、まだスタイルを確立したわけではないとはいえ、この5人の中には、"ヴァルナとして進むべき道"がしっかり見えている。だからこそ、『Distopia』のような、明確な色の見える作品を作れたんだと思ってる。

桂衣：『Distopia』は、ヴァルナにとって大きな分岐点となる作品。これをきっかけに、どうヴァルナが成長していくかが、とても楽しみなので。

yo-ka：まずは結成一周年のワンマンへ向け、1本1本のライヴへ本気の情熱と狂気性を詰め込んでいきますから。

爱杂志 www.aizazhi.com

PURE SOUND

ヴィジュアル系専門店
販売・買取

☆HP限定SPRING SALE☆

期間：4/1（木）AM00:00～4/15（木）PM23:59

内中古商品全品 20%OFF!!（※特設SALEコーナーは除く）

ピュアサウンド西新宿店では『1周年記念セール』を開催中★

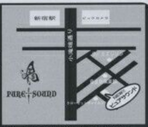
ト1週間も大放出！3/27（土）は最後の『5円セール』!!

間：～3/31

容：店内中古全品 30%OFF!!

/27（土）限定「5円セール」コーナー設置！

途特別セール商品は除く。店頭販売のみ対象。



●ピュアサウンド西新宿店
東京都新宿区西新宿 7-16-14
ミクラビル1F
TEL＆FAX　03-6304-0360

郵送買取なら絶対ピュアサウンド!!

◆CD（邦楽・洋楽・etc）
◆DVD（ミュージック・映画・アニメ・etc）
◆音楽雑誌　◆ツアーグッズ各種
◆FC会報◆ゴスロリ服（その他V系古着）

でも無料！着払いでお送り下さい　送料代金は当店が負担します！

店頭にて持込での買取も行っております！
その場で専門スタッフが査定
↓
即現金にてお支払い♪
（身分証明書をご持参下さい。
＋
18歳未満の方は親権同意書が必要となります。）

1 お売り頂く商品 / 身分証明書のコピー / 買取依頼書 / 親権者同意書 を必ず同梱の上お送り下さい。
2 当店到着後すぐに専門スタッフが一点ずつ丁寧に査定。
3 査定結果をメールor電話にてお知らせします。
4 お客様からの承諾をいただき次第ご指定の口座にお振込み♪

詳しくはこちら

春の大量処分大歓迎キャンペーン!!
売れば売るほどボーナスが付いてくる！

3/25～3/31着まで

査定金額¥200以上の商品 10点以上で ＋¥1,000

さらに10点ごとに ＋¥1,000

50点ではなんと査定金額 ＋¥10,000

100点以上 ＋¥25,000

以上 ＋¥12,000
以上 ＋¥14,000
以上 ＋¥16,000
以上 ＋¥18,000

※買取依頼書に必ず「SHOXXで春の買取キャンペーン見た！」とご記入下さい。）

買取の極意！
①CDなどの帯は捨てたらアカン！
②美品、完品（付属品が完備）が一番！
③リストにないようなレア商品を売る際、補足説明を書いたメモがあればGOOD！

こちらの宛先まで、「佐川急便着払い」にてお送り下さい！

Pure sound Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-10-34
心斎橋ウエスト 363 ビル 2F
TEL:06-6214-2549

佐川急便QR

ゴスロリ専門サイト
~maiden clothing~
http://www.maidenclothing.net

◇SPRING SALE◇
期間：4/1～4/15
HP内全品 20%OFF!!

◇春の買取キャンペーン◇
下記の春の大量処分大歓迎キャンペーンは maiden clothing と合同キャンペーンになります。
期間中であれば洋服・小物もO.K!
期間中にCD.DVD.洋服，小物etc是非、アメリカ村・西新宿店にお送り下さい！

西新宿店もついに郵送買取スタート!!
店頭での買取も随時行っております。
専門店なので安心査定価格♪
是非この機会に郵送・店頭買取をご利用下さい♪
詳しくは下記のお電話にてお問い合わせ下さい。
（※お電話での査定価格のお答えは出来ません。）

携帯版 http://psound.in/

hudie.com
愛雜志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

15コのアタリQRコードを探し出し、
BugLugの超お宝コンテンツをGETしよう

BugLug
バグラグ
http://www.buglug.jp/

Official Site : http://www.buglug.jp/

爱杂志
www.aizazhi.com

洋服買取出張イベント開催!!
クローゼットチャイルド関西初上陸!!

ライブ会場にてライブ開催時刻前まで買取を受け付けさせていただきます!!
取を金額によっては後日のお支払とさせていただく事がございます。ご了承下さい。

取をご持参いただいた方に先着でPhantasmagoriaの
リジナルノヴェルティをプレゼント予定!!条件や内容は後日HPにて告知致します!

Phantasmagoria 60minutes Limited Premium Live
2010.4.05(月)大阪BIG CAT

更なる詳細は
HPにて決定次第告知いたします!!

Closet child

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
BPN / ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
Angelic Pretty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Emily Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene

ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

http://closetchild.ocnk.net
リニューアルオープンしました!!携帯電話でもお買物いただけるようになりました!!

インフォメーション

シック/パンクブランド買取大強化中!!

ゴシック/パンクブランド
期間限定
春夏物お洋服買取キャンペーン
春夏物まとめてお売りいただくと お得です!!
春夏物買取大強化中!!
対象ブランドの春夏物を指定着数お売りいただくと
5点で査定額5%UP
0点以上で査定額10%UP

買取/宅配買取のご案内

※必ず佐川急便をご利用下さい、送料無料!!

宅配買取送料無料!!

TEL 03-3365-6361

宅配買取用段ボールご用意致します

Mensブランド取扱開始!!

取強化ブランド

alo bobs casva Diavlo DISREV
nCisT_Mor::K::S. FUGA GLAD NEWS
KROSE Justin Davis LAGUST roar Roen
al Order Sixh. VANQUISH VICE FAIRY
D PARTY Xfrm

tin Davis買取大募集中!!高価買取表は↓で!!

クローゼットチャイルド新宿CDフロア内にオープン!!
3 新宿区西新宿7-16-12 YSビル1階 03-3365-6316
11:00 - 20:00(買取受付は19:00迄)
ブランド古着ウェブショップ (買取の詳細もご覧いただけます。)
://m-closetchild.ocnk.net/

買取対象ブランド一覧

5351 POUR LES HOMMES
ADDICTIVE
Amarantine
BLACK LIST JAPAN
BRING LEADS
Brodiaea by gold bood
buffalo bobs
Burden
casva
charm cult
CHROME HEARTS
cluise
COAL BLACK
COOL DRIVE STRIKER
Cure Crisis
DEADLY JESTER
Deary
Del Mundo Jewelry
Diavlo
DISREV
Dress Camp
drestrip
Eight by
EIGHT BY JAPAN
FAD HEDGE
FARM RECORDS
FranCisT_Mor::K::S.
FUGA
FULL BLOOD
GENNARO
GLAD NEWS
graffity
Grasum
GRZ&M
hidden charms
High BRAND
HIROMU TAKAHARA
infectcolors
J.C. BEAST
JACKROSE
JURY BLACK
Justin Davis
JUVICE
Jwyed
kiryuyrik
KNIGHT ERRANT
LA GATE
LAGUST
LAWLESS
Le Materiel
loree Rodkin
LOWBOX
LUST
Luv maison
LUXURY GENEDR
MAY CHAMP
Midas
Moonage Devilment
MORGAN HOMME
mtp homme
MURDERLICENSE
NEW YORK HAT
NO CROSSING
NO ID.
PLATIVE
PUERTA DEL SOL
RECYCLAGE
roar
Roen
Roi Franc
Rounder
ROUTINE
Royal Order
Ruin Riddre
sabgreed
Sixh.
SKULL
SLANGY
SLOW HAND JAM
stillgreen
STUNNING BLUE
style
SWITCH
THIRTEEN JAPAN
Tokyo Rush The Real Colors
TORNADO MART
Tres
VANQUISH
Varentine
varosh
VCTO
VIBRAND sparkl
VICE DYNE
VICE FAIRY
VivienneWestwood
WILD PARTY
Xfrm
YOBOSS
ZEALL
ZERO

enne Westwood 専門オンラインショップ

://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

D/BABY,TI STARS SHINE BRIGHT/Moi-meme-Moitie/Emily Temple cute
ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!
://closetchild.ocnk.net

スィーツアクセサリー・ロリータ雑貨オンラインショ

スィーツ/ロリータをテーマとした雑貨オンラインショップオープン!!
人気のスィーツモチーフアクセサリーを中心にカワイイ小物を取り揃えました!!

ミニハット★リボン★カチューシャ★スイーツアク

http://www.rakuten.ne.jp/gold/chozomint/

愛杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

closet child

日本一の在庫量!ユーズド～貴重盤～アーティストグッズ～新譜

超高額買

★クローゼットチャイルドオンラインショップ!!★

モバイル

クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

メールでも在庫確認が出来ます☆

発売されたばかりの新譜がリーズナブルに,入手困難な貴重盤が,そして
ライブ会場やファンクラブ限定のアーティストグッズ...がお買い物いただけます!!
更に、お宝アイテムのオークション&新譜の予約も可能になりました!!!

closetchild_cd@closet-child.com

http://closetchild.j

横浜店 4月17日 移転

ヴィジュアル系CD独立専門店として Re-Newal OPEN!!!

リニューアルオープン記念として蔵出し貴重盤&アウトレットセール開催致します!!!!
※15&16日は準備期間としてお休みとなります。

横浜市西区南幸2-16-11二幸ビル302
現店舗所在地より徒歩1分

3.1-3.31 **期間限定買取査定額大幅アップ キャンペーン 20%UP** 対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ViViD R指定 Versailles ダウト ギルガメッシュ
DELUHI DEATHGAZE 9GOATS BLACK OUT 摩天楼オペラ ly

< 中古CD/DVD/アーティストグッズ/貴重盤 買取表 >

アーティスト	タイトル	形態	買取額	アーティスト	タイトル	形態	買取額	アーティスト	タイトル	形態
ア行				サ行				ナ行		
R指定	裏音源盤。	CD	¥1000	SuG	BL⇔Rock Party MonstAr	DVD	¥4500	9GOATS BLACK OUT	TANATOS [限定盤CD+DVD]	CD+DV
R指定	裏映像盤。PV集	DVD	¥1000	SuG	TOKYO MUZICAL HOTEL [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000	9GOATS BLACK OUT	20090411 Shibuya-Boxx live in Bright Garden	DVD
R指定	人間失格 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2200	砂月	MOON SPIRAL	CD	¥1200	ν[NEU]	LIMIT	CD+DV
emmurée	灯籠(ほかげ)	CD	¥1700	Sadie	「SADIE」～UNDEAD13+2～(初回/銀スリーブ)	CD+DVD	¥2800	新興宗教楽団NoGoD	INDIES BEST SELECTION2005-2009	2CD
【.Vanilla】	平成二十年度謹出濁春夏秋冬狂声陛棧篤集	DVD	¥1500	Sadie	『MASTER OF ROMANCE』 at SHIBUYA-AX2009	DVD	¥6000	ハ行		
ViViD	Take-off	CD	¥3000★	シド	流通盤	CD	¥4000	Plastic Tree	cell(初回限定デジパック仕様/アーティストカード付)	CD
ViViD	THE ViViD COLOR(初回盤)	CD+DVD	¥2160★	シド	センチメンタルマキアート[初回限定盤/カード2枚付	CD+DVD	¥2500	Plastic Tree	ドナドナ [初回限定盤]	CD+DV
vistlip	THEATER -vistler [CD+DVD]	CD+DVD	¥2400★	シド	Side B complete collection～ [初回限定盤A&B]	CD+DVD	¥2000	Plastic Tree	黒テント(DVD)	DVD
Versailles	JUBILEE [初回限定盤]	CD	¥2160★	シド	SIDNAD Vol.3～TOUR 2008(初回限定盤)	2DVD	¥3000	Plastic Tree	テント [通常盤]	DVD
Versailles	Philharmonic Quintet 【写真集】	GOODS	¥2400★	シド	SIDNAD Vol.4～TOUR 2009 hikari	DVD	¥3000	有村竜太朗	あおむしドロップ(帯付)	GOOD
Versailles	CHATEU DE VERSAILLES	DVD	¥3600★	SHULA(シドVo.マオ在籍)	Shu-la-tic	CD	¥10000	ベリィ	白痴	CD
LM.C	WONDERFUL WONDERHOLIC [初回盤]各種	CD+DVD	¥2400	人格ラヂオ	証拠(通常盤)	CD	¥1700	ボウトリン	ボウレツ大百科	CD
カ行				ゾロ	CORE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000	マ行		
ガゼット	鬼畜教師(32歳独身)～、午前0時のトラウマー	CD	¥7500	タ行				摩天楼オペラ	alkaloid showcase	CD
cali≠gari	再教育 会場限定盤セット(封筒入り完品)	2CD	¥12000	ダウト	CARNIVAL浮世～大～ [初回限定盤A]	CD+DVD	¥2000	摩天楼オペラ	ANOMIE (通常盤)	CD
cali≠gari	cali≠gariの世界 【初回限定盤】	CD+DVD	¥2500	D	7th Rose [初回限定盤A]	CD+DVD	¥2000	摩天楼オペラ	COUPLING COLLECTION 08-09	CD
cali≠gari	蛻 [初回生産限定]	3DVD	¥4000	D	ALICE	CD	¥15000	摩天楼オペラ	DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	DVD
cali≠gari	(BOOK)A Moveable Feast Authorized	BOOK	¥2000	D	PV集(3/31発売)	DVD	¥3500	メガマソ	M of Beauty [初回限定盤]	CD+DV
THE KIDDIE	NOAH / elite STAR+	CD+DVD	¥1080★	DaizyStripper	「CROSSTRIP」2008.0909.LIVE	DVD	¥1600	メガマソ	3/17発売 赤坂BLITZ LIVE DVD	DVD
THE KIDDIE	SINGLE COLLECTION	CD	¥1680★	D'espairsRay	モノクロになった最後の日(配布CD)	CD	¥5000	ラ行		
KYOKUTOU GIRL FRIE	勝手にしやがれ	CD	¥1700	D'espairsRay	murder Day 2004.9.23(限定盤スリーブケース仕様)	DVD	¥4000	LAREINE	Fleur (BEST ALBUM)	CD
己龍	明鏡止水 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000	DIR EN GREY	AVERAGE BLASPHEMY	DVD	¥2800	Lycaon	Royal Oder [初回限定盤]	CD+DV
己龍	雛罌粟桜～二〇一〇年十二月七日渋谷オーウエス	DVD	¥2600	DIR EN GREY	DESPAIR IN THE WOMB (FC限定)	2DVD	¥5000	lynch.	『THE SHADOW IMPULSE』 FINAL 2009.09.06	2DVD
ギルガメッシュ	13's reborn [初回限定盤]	CD+DVD	¥3000★	DIR EN GREY	IN WEAL OR WOE (FC限定)	2DVD	¥5000	lynch.	SHADOWS [初回限定盤]	CD+DV
ギルガメッシュ	NOW [通常盤]	CD	¥1920★	DEATHGAZE	THE CONTINUATION	CD	¥2040★	少女-ロリヰタ-23区	.doc(ドキュメント)	2DVD
ギルガメッシュ	CRAZY CRAZY CRAZY	2DVD	¥2880★	DELUHI	Surveillance	CD	¥6000★	V.A.オムニバス		
ゴールデンボンバー	金縛ねんごろツアーファイナル初ワンマン	DVD	¥2000	DELUHI	ユグドアライヴ(初回ピクチャー盤)	CD	¥2160★	V.A.	原石の庭	CD
cocklobin	死と再生	CD	¥1200	トゥーン工場	Innocent	CD	¥1200	V.A.	黒貴族「日本耽美革命」ドキュメンタリーDVD	DVD

もちろん、掲載品以外も買取してます!

< 配布アイテム買取の際はその時のライブなどのチケット半券と共にお持ち下さい。上記の買取額は実際の査定時の在庫状況、人気、状態などにより変動いたします。査定後のキャンセルもできますのでご了承下さい。>

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

遠方のお客様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
段ボール等にCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
(必ず佐川急便にて着払いでお送り下さい) ※混雑状況により1～2週間程お時間をいただく事がございます。
★ 買取の際に必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
★ 氏名/住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

一発送先住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild(グッデー) 宅配買取 SHOXX]係 宛

宅配キットご自宅までお届けします

梱包 ... 状

webtakuhai@closet-child.com 03-3365-6316

爱杂志
www.aizazhi.com

nudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

Like an Edison Release Informatio

※価格はすべて税込

一部専門店のみの限定販売！

イベントあり

Seven

3月22日 Maxi Single インペリアル ¥777

THE KIDDIE

3月24日 Full Album SINGLE COLLECTION ¥2,800

イベントあり

The LEGENDARY SIX NIN

イベントあり

3月24日 Maxi Single Cruel

初回限定盤(PV DVD付き) ¥1,890／通常盤(ボーナストラック収録) ¥1,

D

3月24日 Full Album 7th Rose

封入特典 トレカ

初回限定盤(PV DVD付き) ¥3,800

初回限定盤(豪華フォトブックレット付き) ¥3,999

通常盤(ボーナストラック収録) ¥3,000

3月31日 CLIP DVD D 1st VIDEO CLIPS ¥7,350

D'ESPAIRSRAY

4月14日 Maxi Single LOVE IS DEAD

初回限定盤(DVD付き) ¥2,000／通常盤(CDのみ) ¥1,260

メーカー特典：ポスター

人格ラヂオ

4月28日 Maxi Single 太陽 ¥1,890

R指定 — Full Album 3/24 人間失格 初回限定盤 ¥3,675／通常盤 ¥3,150 ★オリジナル特典：コメントDVD(初回盤)／(通常盤のみ)サイン入生写真

VII-Sense — Maxi Single 3/24 BLACKBIRD ¥2,000

DASEIN — Maxi Single ¥1,260 3/24 真夜中のエレジー ★オリジナル特典：サイン入りポスター＆生写真／封入特典：トレカ

ニンジャマンジャパン — Mini Album 3/24 忍 ¥2,500 ★オリジナル特典：生写真

PIECElang — Maxi Single 3/24 YeeeeeeeeLL ★オリジナル特典：生写真

Dali — Maxi Single TYPE A ¥2,100／TYPE B ¥1,890 4/7 トリコロールクロール

nil delete heads — Maxi Single 4/7 【mi;】 ¥1,000 ★オリジナル特典：生写真

BUG — Full Album ¥3,150 4/7 red rip xtc ／ LIVE DVD ¥4,200 5/26 THE CHAOS

Virgil — Maxi Single 4/7 -Desert- Atype ¥1,575／Btype ¥1,260

BugLug — Maxi Single 4/7 ASOBIZ 初回盤 ¥1,／通常盤 ¥1, ★封入特典：トレカ

シンディケイト — Maxi Single 4/14 メトロポリス TYPE A,B ¥1,365 ★オリジナル特典：オフショット生写真(別柄)

Tu[ism] — Maxi Single ¥1,500 4/14 The Retro Digi Rock

rice — Maxi Single 4/14 Sing you 限定盤 ¥1,800／通常盤 ¥1,200

M — Full Album 4/21 燦燦 初回盤 ¥3,675／通常盤 ¥3,150

呀修羅 — Maxi Single ¥1,000 4/21 春夏秋冬にまりぬ／DEPRESS

EAT YOU ALIVE — Maxi Single ¥1,300 5/19 Missing you／暁

Acid Black Cherry — 3月24日 LIVE DVD Acid Black Cherry 2009 tour "Q.E.D" ¥6,500

Alice Nine — 3月24日 Best Album ¥2,800 Alice Nine Complete Collection 2006-2009

DETROX — 3月24日 Full Album DETROX IV ¥3,360

D'ERLANGER — 3月24日 LIVE DVD 13e cross intoxication(仮) ¥6

NEOPHILIA — 3月31日 Maxi Single WHITE&BLACK ¥1,890

VAJURA — 3月31日 Maxi Single GRUDGE ¥1,575

MoNoLith — 3月31日 Mini Album fiction ¥2,500

L'Arc～en～Ciel — 3月31日 LIVE DVD TOUR 2008 L'7～Trans ASIA via PARIS～ ¥7,

---

★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

Filter Fish,コドニカンデ	3/21(日)	PM4:00～ [illegible]
[illegible]	3/22(月)	PM2:00～トーク&握手&サイン会
Iam	3/22(月)	PM5:00～トーク&握手&サイン会
D	3/24(水)	PM6:30～ショートトーク&6ショットチェキ撮影会
Lycaon	3/24(水)	PM6:30～ 無料ワンマンLIVE ※会場:渋谷eggman
ALiBi	3/27(土)	PM2:30～トーク&サイン会(プレゼント配布有り)
THE KIDDIE	3/27(土)	PM6:00～トーク&握手会
Megaromania	3/28(日)	PM6:00～トーク&握手&6ショット撮影会
Lumrealt	4/ 4(日)	PM5:00～ [illegible] 握手会
Virgil	4/ 9(金)	PM7:00～ [illegible] 握手&サイン会
08018209336	4/10(土)	PM6:00～ [illegible] 握手&サイン会
Seven	4/11(日)	PM2:00～ [illegible]
Tu[ism]	4/13(火)	[illegible]
シンディケイト	4/14(水)	[illegible]
ハートレス	4/14(水)	[illegible]
シンディケイト	4/17(土)	PM5:00～ [illegible] ショット撮影会
rice	4/18(日)	PM2:00～ アコースティックライブ [illegible]
VII-Sense	4/18(日)	PM5:00～ [illegible] 握手&サイン会
v[NEU]	4/24(土)	PM5:00～ [illegible] 握手会
Zip.er	5/ 2(日)	PM5:30～トーク&握手会
Dacco	5/ 9(日)	[illegible]
R指定	5/15(土)	PM5:30～ [illegible]
[illegible]	5/16(日)	PM5:00～トーク&握手会♣
-OZ-	5/23(日)	ライブ終了後 握手会 ※会場:高田馬場AREA

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

THE KIDDIE	3/21(日)	PM12:00～トーク&握手会
Megaromania	3/23(火)	PM6:00～トーク&握手&6ショット撮影会
ValettA	3/24(水)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
ヂウト	3/29(月)	PM6:00～ [illegible] ※会場:HOLIDAY NAGOYA
xTRiPx	3/30(火)	PM3:30～ショートトーク&握手&サイン会
R指定	3/30(火)	PM6:00～ 1時間店員
メガマソ	4/ 2(金)	PM6:00～トーク&4ショットチェキ撮影会&サイン入ポスター争奪！じゃんけん大会
ALiBi	4/ 3(土)	PM2:00～トーク&サイン会(プレゼント配布有り)
ハートレス	4/ 3(土)	PM5:00～トーク&握手&サイン会♣
[illegible]	4/ 4(日)	PM2:00～ アコースティックライブ&ミニトーク&握手会
[illegible]	4/ 7(水)	PM7:00～ 無料ワンマンLIVE ※会場:池下CLUB UP SET
[illegible]	4/ 9(金)	PM7:00～トーク&握手会♣
[illegible]	4/10(土)	PM1:30～ 握手&プレミアム抽選会 [illegible]
[illegible]	4/10(土)	時間・内容未定
[illegible]	4/16(金)	PM5:00～トーク&ゲーム&握手&サイン会♣
v[NEU]	4/17(土)	ライブ終了後 握手会(スペシャルプレゼントあり！) ※会場:名古屋ell.SIZE
Tu[ism]	4/24(土)	PM4:00～ 内容未定
シンディケイト	4/24(土)	PM6:00～トーク&5ショット撮影会
[illegible]	5/ 3(月)	PM3:00～トーク&握手会
rice	5/ 8(土)	PM2:00～ アコースティックライブ&トーク&握手会
Zip.er	5/16(日)	PM6:00～トーク&サイン会
-OZ-	6/ 4(金)	ライブ終了後 握手会 ※会場:名古屋ボトムライン

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

撃狂います。	3/24(水)	PM4:00～トーク&ゲーム&握手&サイン会♣
Megaromania	3/26(金)	PM6:00～トーク&握手&6ショット撮影会
Filter Fish,コドニカンデ	3/28(日)	PM4:00～ [illegible]
メガマソ	3/30(火)	PM6:00～トーク&4ショットチェキ撮影会&サイン入ポスター争奪！じゃんけん大
xTRiPx	3/31(水)	PM3:30～ショートトーク&握手&サイン会
R指定	3/31(水)	PM6:00～ 1時間店員
JULLY	4/ 3(土)	PM6:00～ アコースティックライブ&ミニトーク&握手会
ALiBi	4/ 4(日)	PM12:00～トーク&サイン会(プレゼント配布有り)
Phantasmagoria	4/ 4(日)	PM3:00～トーク&サイン会
ハートレス	4/ 6(火)	時間未定 トーク&握手&サイン会♣
DaizyStripper	[illegible]	PM1:30～ [illegible]
イロクイ。	[illegible]	[illegible]
v[NEU]	[illegible]	[illegible]
BUG	[illegible]	[illegible]
ヂウト	[illegible]	[illegible]
シンディケイト	[illegible]	[illegible]
Tu[ism]	[illegible]	[illegible]
Dacco	[illegible]	[illegible]
rice	[illegible]	[illegible]
Lycaon	[illegible]	[illegible]
Zip.er	5/16(日)	PM12:00～トーク&サイン会
-OZ-	6/ 3(木)	ライブ終了後 握手会 ※会場 [illegible]

hudie.com
愛杂志
www.aizazhi.com

ント5倍キャンペーン
全商品10%OFF
4月1日～4月30日

ージからの通販に適応されます。
商品10円お買い上げ毎に、1ポイント差し上げ
回商品購入の際、1ポイント1円計算で商品代を
とが出来ます。

録が必要になります。
ト利用は500ポイントからになります。
トの有効期限は、ポイント最終発行日より6ヶ月
す。

の商品ですと600ポイント貯まります。
購入の際、600円引きで購入出来ます。

全国に即日発送いたします！

全国一律 700円 送料+代引手数料

ポスターが付く場合、ポスター梱包200円が別途かかります

送料全国一律500円　代引手数料200円
10,000円以上ご購入の場合は送料無料！

＊月末一括発送＊
まとめ発送　毎月最終日発送

商品を複数注文されている方は、毎月月末に一括発送しちゃいます。（同月発売の商品のみです）　発送を急がない人で、送料を節約したい方や、給料日後に一括購入したい人は、是非利用してね！
※途中での変更は出来ませんので、よく検討してから申し込んでね！

通販方法

1.代金引換
商品を即日発送いたします。商品到着時に、商品代+700円(送料代引き手数料)の合計金額を、配達員にお支払い下さい。送料代引き手数料は全国一律700円です。関東はもちろん、九州、沖縄まで送っちゃいます。

2.現金書留
在庫確認の上、商品代と送料(500円)の合計を現金書留で送金下さい。お金が届きましたら、商品を発送いたします。

3.銀行振込（1週間以内の振込でお願い致します）
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方→インターネットで24時間365日お振り込みができます。ジャパンネット銀行間の手数料は52円ととってもお得です。
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちでない方→通常の銀行からのお振り込みになります。
オンラインによる管理ですので、24時間リアルタイムで確認いたしますので、振込確認次第、即発送しちゃいます！
オーダーフォームより、お申し込み下さい！

約3500アイテムを網羅
CD、DVDの他
貴重盤、ファンクラブ会報
ツアーグッズ、ツアーパンフ
ブランド古着も
取り扱ってます！！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU　検索

http://www.guruguru.co.jp/

GURU GURU

待望のニューアルバム発売！！
D
7th Rose
限定盤A CD+DVD 価格¥3,800
限定盤B CD+フォトブック 価格¥3,999
CD 価格¥3,000

2種同時発売
風がめくる頁
CD+DVD 価格¥1,575
CD 価格¥840
GURUGURU特典 2種同時購入で コメントDVD

D 1st VIDEO CLIPS
◆DVD 価格¥7,350

03.24 on sale
Alice Nine
Alice Nine
Complete Collection 2006-2009
◆CD 価格¥2,800
GURUGURU特典 ポスター

03.24 on sale
DELUHI
REVOLVER BLAST
◆CD+DVD 価格¥1,890

04.14 on sale
D'espairsRay
2種同時発売
LOVE IS DEAD
◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥2,000
◆通常盤 CD 価格¥1,260

03.24 on sale
2種同時発売
ナイトメアの咲人、ソロ・プロジェクト始動！
The LEGENDARY SIX NINE
Cruel
◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「Cruel」のPVを収録。
◆通常盤 CD 価格¥1,575

SCREW
Cursed Hurricane
限定盤Aタイプ CD+DVD 価格¥1,890
限定盤Bタイプ CD+ブックレット 価格¥1,890
CD 価格¥1,575

3種同時発売
ANCIENT RAIN
限定盤Aタイプ CD+DVD 価格¥1,890
限定盤Bタイプ CD+ブックレット 価格¥1,890
CD 価格¥1,575

04.07 on sale
v (NEU)
LIMIT
◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥3,990

04.07 on sale
ハルシオン
ANGEL_DUST
◆CD 価格¥2,300
GURUGURU特典 イベント参加券 (4/16 19:00 マルチスペースエフ)

03.31 on sale
イロクイ。
おわらないせかいの うたいかた
◆CD 価格¥2,800

04.14 on sale
2種同時発売
rice
Sing you
◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥1,800
◆通常盤 CD 価格¥1,200

2010/03/24 9GOATS BLACK OUT「TANATOS」CD ¥2990
2010/03/24 Acid Black Cherry「Acid Black Cherry 2009 tour "Q.E.D."」DVD ¥6500
2010/03/24 ALiBi「キラめキ未来」CD+DVD ¥2100
2010/03/24 amber gris「少女のクオレ」CD ¥1500
2010/03/24 cocklobin「死と再生」CD ¥2460
2010/03/24 DETROX「DETROX IV」CD ¥3360
2010/03/24 Lycaon「Royal Order」初回限定盤 CD+DVD ¥3300
2010/03/24 Lycaon「Royal Order」通常盤 CD ¥3000
2010/03/24 My heaven's luck sisters「Open the door」CD ¥500
2010/03/24 PIECEsong「Neeeeeeeeeeee!!」CD ¥1050
2010/03/24 R指定「人間失格」初回限定盤 CD+DVD ¥3675
2010/03/24 R指定「人間失格」通常盤 CD ¥3150
2010/03/24 THE KIDDIE「SINGLE COLLECTION」CD ¥2800
2010/03/24 Vit-Sense「タイトル未定」CD+DVD ¥2000
2010/03/24 ニンジャマンジャパン「忍」CD ¥2500
2010/03/24 雅-MIYAVI-「RAN3 BEST」CD ¥3000
2010/03/24 雅-MIYAVI-「WORLD TOUR DOCUMENTARY DVD "NEO TOKYO SAMURAI BLACK WORLD TOUR vol.1"」通常盤 DVD ¥4800
2010/03/24 雅-MIYAVI-「WORLD TOUR DOCUMENTARY DVD "NEO TOKYO SAMURAI BLACK WORLD TOUR vol.1" SPECIAL LIMITED EDITION」完全生産限定BOX仕様 DVD ¥8800
2010/03/24 東京無宿「DJ PLAYER」CD+DVD ¥1890
2010/03/24 妖精帝國「キャンセル」CD ¥3360
2010/03/24→3/10から延期 Gallows「Fest+Grow」CD ¥2100
2010/03/25「正義」無料配布JUSTICE KING「四十九日待ちぼうけ」CD+DVD ¥1000
2010/03/31 MoNoLith「fiction」CD ¥2500
2010/03/31 Ressie.R「-Doper」CD ¥1050
2010/03/31 SCAPEGOAT「パラダイムサァカス」CD ¥2625
2010/03/31 Secilia Luna「False Scene」CD ¥1500
2010/03/31 V.A.「Visual-kei DVD Magazine Vol.4 V-ROCK SPECIAL」DVD ¥3990【収録バンド】アヲイ/BOUNTY/イロクイ。/ニンジャマンジャパン/ベルベット/トゥーンエ場/ペ/GD/【_Vanilla】/アンド/Acu/exist†trace/デラト/heidi./DaizyStripper
2010/03/31 V.A.「タイトル未定」【清春トリビュート】CD ¥2800
2010/03/31 VAJRA「GRUDGE」CD ¥1575
2010/04/05 ミニコミ「rayve 047」BOOK ¥1050 表紙巻頭：DaizyStripper
2010/04/07 BugLug「ASOBIZ」初回盤 CD+DVD ¥1890
2010/04/07 BugLug「ASOBIZ」通常盤 CD ¥1260
2010/04/07 Decco「フレッシュ&ネガティブ」CD ¥2300
2010/04/07 Dali「トリコロールクロール」TYPE A CD+DVD ¥2100
2010/04/07 Dali「トリコロールクロール」TYPE B CD ¥1890
2010/04/07 Mix Speaker's inc.「ANIMAL ZOMBIES」CD ¥2625
2010/04/07 nil delete heads「[nic]」CD ¥1680
2010/04/07 Virgil「-Desert-」A type CD+DVD ¥1575
2010/04/07 Virgil「-Desert-」B type CD ¥1260
2010/04/14 Arc「コントラスト」TYPE A CD+DVD ¥2100
2010/04/14 Arc「コントラスト」TYPE B CD ¥1890
2010/04/14 aunciel「intro of HEART LINK at ASTRO HALL 2009.9.18 aunciel Major 1st ONEMAN LIVE DVD」DVD ¥4200
2010/04/14 EVER+LAST「神様-SAMURAI CORE-」CD+DVD ¥1500
2010/04/14 n'Doel「影-yoh-」CD ¥1575
2010/04/14 the Daring「実思MIRURI-YU」CD ¥1050
2010/04/14 Tu [tsm] トゥイズム「The Retro Digi Rock」CD ¥1500
2010/04/14 シンディケイト「メトロポリス」TYPE A CD ¥1365
2010/04/14 シンディケイト「メトロポリス」TYPE B CD ¥1365
2010/04/21 ClearVeil「White Satin」TYPE A CD ¥1365
2010/04/21 ClearVeil「White Satin」TYPE B CD ¥1365
2010/04/21 DOG in The パラレルワールドオーケストラ「ワンダー×ワンダー」初回盤 CD+DVD ¥1890
2010/04/21 DOG in The パラレルワールドオーケストラ「ワンダー×ワンダー」通常盤 CD ¥1260
2010/04/21 M「蜃瞑」初回盤 CD+DVD ¥3675 GURUGURU特典：DVD「ア予報」
2010/04/21 M「蜃瞑」通常盤 CD ¥3150 GURUGURU特典：コメントDVD
2010/04/21 Zip-er「dream catcher」Aタイプ CD ¥1575
2010/04/21 Zip-er「dream catcher」Bタイプ CD ¥1575
2010/04/21 ベルベット「鴉」CD ¥2100
2010/04/21 東京無宿「One way～君に願いを～ feat.LUXAM」CD+DVD ¥1890
2010/04/21 千成瓢箪「Prism」TYPE A CD+DVD ¥2100
2010/04/21 千成瓢箪「Prism」TYPE B CD+DVD ¥2100
2010/04/21 瑠璃羅「蒼蒼秋冬になりゆ/DEPRESSION」CD ¥1000
2010/04/28 Art Cube「花曜影～Petal～」限定盤TYPE A CD+DVD ¥1890
2010/04/28 Art Cube「花曜影～Petal～」通常盤TYPE B CD ¥1050
2010/04/28 DAMIJAW (ka-yu/Janne Da Arc)「タイトル未定」初回限定盤 CD+DVD ¥3600
2010/04/28 DAMIJAW (ka-yu/Janne Da Arc)「タイトル未定」通常盤 CD ¥3000
2010/04/28 AI逢華&いか痛々団× [PaRADE/8]「Col Tempo」初回盤 CD+DVD ¥3675

GURU GURU
有限会社 グル・グル
〒060-0063
札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00

全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」ON AIR
毎週火曜23:00　FMアップル　76.5MHz
※札幌圏のみの放送になります。

バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio.html

蝴蝶 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp

人格ラヂオ
3年振りに放つニューシングル！
★4/28発売「太陽」M-CDs+DVD¥1,890
※オリジナル予約特典交渉中！

boogieman
-キジョウノ空論-
☆4/28発売 M-CDs¥1,260
オリジナル予約特典など、
詳細はWeb上にて！

heidi.
待望のLIVE CD&DVD、発売決定！！
☆発売中！CD+DVD ¥3,500
「Live Tour 2009『パノラマ』@Shibuya C.C.Lemonホール」
※オリジナル予約特典：コメントDVD＋アーティストカードセット(6枚組)

Lycaon
☆10/3/24発売 CD+DVD
「Royal Order-[初回限定盤]」¥3,300
☆10/3/24発売 CD
「Royal Order-[通常盤]」¥3,150
インストアイベント&オリ特決定！
詳細はweb siteにて！

東京指定
▼3/24発売「DJ PLAYER」
M-CDs¥1,890
◆オリ特やイベント詳細はWebにて！

9GOATS BLACK OUT
▼3/24発売
「TANATOS」CD¥2,990
◆豪華オリジナル予約特典付！

ALiBi
「キラ☆メキ未来」
3/24発売CD¥2,100
★オリジナル特典付
イベント開催決定！

rice
待望のNewM-CDsリリース決定！
★発売中！M-CDs+DVD
「LOVERS」[初回限定盤]¥1,890
★発売中！M-CDs
「LOVERS」[通常盤]¥1,260
オリジナル特典、イベント開催決定！

シンディケイト

Ru:natiC
「毒カレ・・・血腥レタ人体」
期待のNEWバンド！
3/24発売 ¥1,200
オリジナル特典付！

ベルベット
「罠」
4/21発売
CD¥2,100
オリ特付！
インストアイベント開催決定！

KYOKUTOU GIRL FRIEND
【勝手にしやがれ】
~2nd Press盤~
発売中！CD¥3,150
3大オリジナル特典
スペシャルDVD!
直筆サイン色紙＋フォトカード

lam.
「Breakthrough」
▼発売中CD¥1,260
◆オリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
2010年4月16日(金) PM7:00START
・トーク&サイン／握手会！

TOON-FACTORY
-トーン工場-
【Innocent】
★発売中 CD+DVD ¥2,625
オリ特：コメントDVD+α付！
大好評予約受付中！
4月24日(土)
PM7:00~
イベント開催！

EVER+LAST
▼4/14発売 M-CDs¥1,5..
オリ特：コメント映像(Brand X...
インストアイベント開催決定
5月29日(土)PM7:00~

R指定
☆3/24「人間失格／初回盤」¥3,675
☆3/24「人間失格／通常盤」¥3,150
オリ特：各タイプに考案中！
4/2(金)PM7:30~イベント開催決定

SCREW
待望のNEWシングル、【詳細はWeb】
2か月連続連続リリース決定！
☆5/12発売「Cursed Hurricane」[初回限定Aタイプ]¥1,890
☆5/12発売「Cursed Hurricane」[初回限定Bタイプ]¥1,890
☆5/12発売「Cursed Hurricane」[通常盤]¥1,575
★6/9発売「ANCIENT RAIN」[初回限定Aタイプ]¥1,890
★6/9発売「ANCIENT RAIN」[初回限定Bタイプ]¥1,890
★6/9発売「ANCIENT RAIN」[通常盤]¥1,575

Vanilla
「蝋集-通常盤-」
▼発売中 CD¥2,100
※オリ特：交渉中！
イベント開催交渉中！

Megaromania
☆「Oblivious」[豪華盤]
☆「Oblivious」[通常盤]
各タイプオリジナル特典付！
インストアイベント開催決定！
3/27(土)PM7:00~

愛狂います。
インストアイベント 3/27開催

ClearVeil
2か月連続リリース決定！
▼NOW ON SALE
・Black Belvet[TYPE A]M-CD¥1,365
・Black Belvet[TYPE B]M-CD¥1,365
▼10/4/21発売
・White Satin[TYPE A]M-CD¥1,365
・White Satin[TYPE B]M-CD¥1,365
※オリ特、イベント等、詳細はWeb siteにて！

待望のLIVE DVD発売決定！
・LIVE DVD TOUR09
-DIM SCENE-FINAL AT SAITAMA SUPER ARENA
[初回生産限定盤]
DVD ¥6,765
・[通常盤]DVD¥6,090
オリジナル特典：ツアーデータ入りパンフレット！
the GazettE

BrainStein 話題の大型新バンド！
まったく新しい形のヴィジュアル系バンド！
★4/28発売「夢さえにとどまれば～[限定盤]」M-CD¥1,500
★4/28発売「夢さえにとどまれば～[通常盤]」M-CD¥1,200
★4/28発売「Answerfor…[限定盤]」M-CD¥1,500
★4/28発売「Answerfor…[通常盤]」M-CD¥1,200
※オリジナル予約特典など、交渉中！

待望のNewM-CDsリリース決定！
★6/23発売「水無桜 A-type」¥1,575
★6/23発売「水無桜 B-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 C-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 D-type」¥1,575
※オリジナル予約特典考案中！
インストアイベント開催決定！
6月26日(土)PM6:30~

D
▼3/24発売「7th Rose」
★限定盤A CD+DVD ¥3,800
★限定盤B CD+BOOK ¥3,990
★通常盤 CD ¥3,150
オリ特の詳細は
Webにて！
▼インストアイベント開催決定！
・4月17日(土)PM6:00~ @南大塚ホール
・トークライブ&握手会！
(プレゼントDVDあり)
※参加方法は
web siteにて

現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！

BugLug
■待望のNEWシングル発売！
【ASOBI】[初回盤]
▼2010/04/07 ON SALE
★【初回盤】CD/VD¥1,890
★【通常盤】M-CDs¥1,260
★スペシャル特典付！
◆インストアイベント開催決定！
4月10日(土) 夕刻スタート！
詳しい詳細はWeb siteにて！

Brand X

DOG inThePWO
待望のNEWシン...
「ワンダー×ワン...
★4/21「初回盤」
★4/21「通常盤」
各タイプオリジナル予約...

kannivalism
『helios』
★発売中「初回限定A盤」¥3,800
★発売中「初回限定B盤」¥3,999
★発売中「通常盤」¥3,150
※各アイテムにオリ特付！詳細はWEBにて！
2010年5月2日
都内某所於、
スペシャルイベント開催！
※応募による抽選となります。詳細はWEBにて！

THE KIDDIE
【SINGLE COLLECTION】
3/24発売 CD¥2,800
オリ特、イベント有

ダウト
★「CARNIVAL浮世～大～」¥3,675
★「CARNIVAL浮世～吟～」¥3,675
★「CARNIVAL浮世～醒～」¥3,150
各タイトルにオリ特付！
インストアイベント開催決定！
2010年4月10日(日) Pm5:30~

超絶人気！
Irokui
おわらないせかいのうたいかた
▼3/31発売 CD¥2,800
オリ特：アーティストカードセット！
インストアイベント開催決定！
2010年5月28日(金)PM7:00~
トークライブ&握手会！
※トークライブは人数制限有。

SuG
メジャーデビュー後、初のフルアルバム発売！
【TOKYO MUZiCAL HOTEL】
▼発売中！初回限定盤CD+VD¥3,900
▼発売中！通常盤CD¥3,059
★恒例のスペシャル特典付！
インストアイベント開催決定！
2010年3月26日(金)PM7:30~

アンド
待望の新音源発売決定！
☆5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
「覚(キョウ)A-TYPE」
☆5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
「覚(キョウ)B-TYPE」
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
2010年6月6日(日) 夕刻開始！

★5/5発売M-CDs+DVD...
[virdian]
オリジナル予約特典：Special...
インストアイベント開催...
2010年5月22日(土)PM6...
トーク&握手会！

PICK UP ITEM
DELUHI
-REVOLVER BLAST-
3/24 DROP! M-CDs+DVD 1,890
◆オリジナル特典
コメント&サイン入りカードセット
(個人4枚＋集合1枚)
(サインはプリントになります)

通信販売をご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換(着払い)と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルはお断りしております。

①代金引換(着払い)
②先にご送金して頂く方法
入金確認後、1日~2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日~2日でお届け致します。

ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-...
TEL. 03-3980-6780 am11:30-p...
通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ず...

愛杂志
www.aizazhi.com

ARENA37℃ SPECIAL 2009年7月号 vol.58

RUKI (the GazettE)
表紙+巻頭40ページ

ルキの中に潜む "DARKNESS" をとらえた有終の美を飾るにふさわしい鮮烈なグラビア、"近況" "今回の撮影のテーマ" "表現する上で一番大切にしていること" "プロとしてのプレッシャーは?" "ライブとは?" "自分で自分をどういう人間だと思う?" etc.の20000字超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

…星 10ページ "「超新星 Fes. Vol.2」・「超新星 1st Fan Meeting」の感想" "マイブームは?" "今後の目標" etc.をインタビュー。2009.5.6 "超新星 Fes Vol.2 Six Shooting Star ~Dream~" LIVE at 五反田ゆうぽうとホールレポート

…d 10ページ/T-MAX 8ページ/SMASH 8ページ/…ページ/ON/OFF 4ページ/Mnet PRESS Vol.3 …より男子~Boys Over Flowers」記者会見&イベント取材

…ールカラーA4ワイド判 定価980円(税込)+送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年5月号 vol.56

戒 (the GazettE)
表紙+巻頭40ページ

"閉鎖的ではないが、孤独感のあるもの" をモチーフに据え、"ポジティヴで努力家" のイメージを持つ戒が真の "孤独" の意味を表現するグラビア、胸のうちに思う "孤独"・the GazettEのこと・戒自身のことetc.を超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末18ページ

"10分間の逃亡者" を追い・追われるシューティングのグラビア、"Gackt Job" 10年目の真実に迫るインタビュー、"Requiem et Réminiscence II ~再生と邂逅~" ツアーも大詰め、そしてアリーナツアーもスタート間近なGacktの近況インタビュー

河村隆一 10ページ/GiFT/alma/古川雄大
中河内雅貴/リュ・シウォン/Mnet PRESS

オールカラーA4ワイド判 定価980円(税込)+送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年4月号 vol.55

葵 (the GazettE)
表紙+巻頭40ページ

常に "魅せる" ことを意識している葵が9種類の衣装を纏っていろいろな表情を見せるグラビア、"今回の写真" "ファッション" "ライヴパフォーマンス" "ギタリストとして" "ギター" etc.の超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末12ページ

Single「Journey through the Decade」のミュージッククリップ撮影の模様、「仮面ライダーディケイド」で門矢士役を演じる井上正大とのツーショットインタビュー

リュ・シウォン 10ページ/中河内雅貴 8ページ/FTIsland 6ページ
GiFT 4ページ/alma 4ページ/宮野真守 4ページ

オールカラーA4ワイド判 定価980円(税込)+送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合がありますので、御了承下さい。
…近くの書店に在庫がない場合には、その書店へお申し付け下されぱお取り寄せ頂けます。御自宅へ直送希望のお客様は当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、…、現金書留、または郵便振替(口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社)にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。
音楽専科社オフィシャルウェブサイト http://www.ongakusenkasha.co.jp/ アクセスして下されば当社発行の現在在庫のある全アイテムを御覧頂けます。
宛先 ㈱音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL.03-3574-0201 FAX.03-3574-8548

ARENA37℃ back number

㊟この欄に掲載されているアリーナ37℃のバックナンバーにつきましては、付録のポスターが無い場合(在庫切れ)もありますので御了承下さい。

〈2009年 5月号〉
①表紙+巻頭特集＝Gackt…3誌合同企画のラストを飾る大特集・爆笑キーワードインタビュー!
②ナイトメア…PV撮影独占密着+アルバム速報インタビュー+ライブレポートの豪華3本立てインタビュー全10ページ!
③BREAKERZ…シングルインタビュー!
④カセット…幕張メッセレポート!
⑤雅…ARENA37℃初登場当時の記事を振り返って語る!
⑥シド…シングルインタビュー!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2009年 6月号〉
①表紙+巻頭特集＝ナイトメア…パーソナルインタビュー+集合インタビュー&歌詞の魅力に迫る!全20ページ!
②GLAY…メンバープロデュース・ライブ完全レポート全14ページ!
③アリス九號.…クラブチッタ川崎を完全密着レポート&インタビュー!
④雅…日比谷野外大音楽堂レポート!
⑤Kra…「ラブラボ」PV密着レポート…
⑥LM.C…シングルインタビュー!
⑦女雅…カグラの女雅ソロ連載!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2009年 7月号〉
①表紙+巻頭特集＝GLAY…究極のベストアルバムをメンバーに聞く&パーソナル・キーワードインタビュー(全22ページ!)
②GACKT…新曲のカップリング曲に込められた想いとは?涙なしでは読めないロングインタビュー全10ページ。
③麗(カセット)…ニューアルバムレコーディング中の近況を聞く(全6ページ)
④VAMPS…フルアルバムインタビュー!
⑤ナイトメア…ライブ密着取材!
⑥虎×チキン+Naoの大冒険の2本立て!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2009年 8月号〉
①カセット…アルバム&パーソナルインタビュー全20P!
②東方神起…シングル&パーソナルインタビュー!
③GACKT…シングル&企画インタビュー!
④Acid Black Cherry…「優しい嘘」インタビュー!

⑧SuG…4人になった新生SuG!
★特別定価930円(税込)+送料140円

〈2009年 9月号〉
①表紙+巻頭特集＝Acid Black Cherry…衝撃のアルバムを徹底解剖、全20P!
②Coming Century…ファーストミニアルバムを音源インタビューとパーソナルインタビューで取材!8P!
③東方神起…東京ドーム公演完全レポート!8P!
④GACKT…シングルインタビュー!
⑤カセット…市川市文化会館ライブ!
⑥仙台貨物…千葉インタビュー!
⑦THE KIDDIE…東大好き!
★特別定価930円(税込)+送料140円

〈2009年 10月号〉
①表紙+巻頭特集＝V6…「GUILTY」インタビュー&パーソナル+カミセン・ライブレポート!
②ナイトメア…シングル&YOMI×Ni~yaのパーソナル&全員Q&A!
③ジェジュン&ユチョン(東方神起)…2人にインタビュー!
④GLAY…ビッグイベントレポート!
⑤雅…渋谷C.C.Lemonレポート!
⑥カセット…新曲インタビュー!
⑦Alice Nine…国際フォーラム!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2009年 11月号〉
①表紙+巻頭特集＝UVERworld…ニューシングル徹底インタビュー&ホットな撮り下ろし全30P!
②カセット…全員&パーソナルインタビュー+とじ込みピンナップ付き
③仙台貨物…「凸ーデコー」の本誌オリジナルストーリー!
④Alice Nine…原宿スタイルコレクション&有明コロシアムライブ!
⑤Kra…シングルインタビュー
⑥SuG…3カ月連続リリース第1弾!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2009年 12月号〉
①表紙+巻頭特集＝GACKT…神威楽…ト〉…革命、ジパングロックとは?
②堂本光一…横浜アリーナライヴレポート!
③シド…シングルインタビュー&国立代々木第一体育館ライブレポート!
④…(ナイトメア)…パーソナル取材。
⑤Alice Nine…ライブDVDインタビュー!
⑥THE KIDDIE…「ポプラ」インタビュー
⑦S…シングルインタビュー!
★定価880円(税込)+送料140円

登場するロックバンド・LANDSのボーカリスト、赤西仁インタビュー。小林武史×赤西仁対談。
②GACKT…2010年もGACKTは止まらない!
③山下智久…横浜アリーナライブレポート!
④UVERworld…初のベストアルバムリリース!
⑤戒(ガゼット)…パーソナルスタート!
⑥ナイトメア…「ジャイアニズム」リリース!
★特別定価880円(税込)+送料140円

〈2010年 2月号〉
①表紙+巻頭特集＝GACKT…ハードボイルドGACKT。キーワードインタビュー他3本立て大特集!20P
②ナイトメア…YOMI&咲人インタビュー!
③葵(ガゼット)…パーソナル企画第2弾!
④虎(アリスナイン)…虎パーソナル企画第1弾は虎が「陰陽師」に大変身だ!
⑤THE KIDDIE…赤坂ブリッツレポート
⑥SuG…祝・メジャーデビュー!
⑦彩冷える…メジャーファーストアルバムインタビュー!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2010年 3月号〉
①表紙+巻頭特集＝今井翼…待望のソロデビュー、今井翼を大特集!12P
②東方神起…究極のベストアルバムをリリース・東方神起を9ページで大特集!
③KinKi Kids…東京ドーム公演を徹底レポート!
④カセット…東京ビッグサイトレポート!
⑤れいた(ガゼット)…パーソナル企画第4弾!カッコイイれいたが6ページで大特集!
⑥アリスナイン…バレンタイン大特集!
⑦シド…シングルインタビュー!
★定価880円(税込)+送料140円

〈2010年 4月号〉
①表紙+巻頭特集＝T.M.Revolution…ガンダムSEEDとのコラボ集大成アルバムリリース・20P
②東方神起…ニューシングル急きょ発売!
③遊助…Zepp Tokyoを徹底レポート!
④Alice Nine…ニューアルバムインタビュー!
⑤雅・MIYAVI…新曲入りDVDリリース!
⑥SuG…アルバムインタビュー!
⑦Kra…ベストアルバムインタビュー!
★定価880円(税込)+送料140円

お申し込みご希望の方は、最寄りの書店にてお申し付け下さるか、もしくは小社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用または現金書留でお送り下さい。まとめて4冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
宛先▼㈱音楽専科社

…HOXX & ARENA37℃ バックナンバーフェア実施店

…幌〉グルグルアルシュ店(011)251-4480/旭屋書店札幌店(011)209-5181/ジュンク堂書店札幌店(011)223-1911 《仙台》ブックスみやぎ(022)…7-4422 《新潟》紀伊國屋書店新潟店(025)241-5281 《秋葉原》書泉ブックタワー(03)5296-0051 《神保町》書泉ブックマート(03)3294-…11 《新宿》ライカエジソン東京店(03)3369-3119/タワーレコード新宿店(03)5360-7811 《原宿》山下書店ラフォーレ原宿店(03)3475-0447 …谷〉文教堂書店渋谷店(03)5468-2431 《吉祥寺》Booksルーエ(0422)22-5677 《豊橋》精文館書店(0532)54-2345 《名古屋》星野書店…鉄パッセ店(052)581-4796/ライカエジソン名古屋店(052)229-8211/白樺書房西店(052)774-7223 《京都》…(075)25…54 《大阪》ライカエジソン大阪店(06)6252-6262/ヤマハミュージック大阪(06)6831-6776/ジュンク堂書店千…書店バンドスコアハウス店(06)6373-0748 《姫路》楽学書館Begin(0792)33-8888 《東広島》フタバ図書… …福岡〉リーブル天神(092)713-1001/福家書店福岡店(092)721-8267 《大分》明屋書店セントポルタ店(097)5…

愛杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网 hudie.com

ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

シド・マオ 最終回 ステキコラム。

このコラム今回で51回目。
思い返せば長いこと書いてるんだね。

初めてこのコラムのお話を頂いたとき、個人でコラムコーナーを持つのが夢だった僕は、すごく嬉しかったのをおぼえてる。
約4年間という長い間、続けてこれたのもSHOXX編集部さんのおかげだし、誰よりも毎月楽しみに読んでくれてた読者のみなさんのおかげです。

ありがとう。

そう、今回でこのコラム…卒業なんです。

今ではいくつかのコラムを担当させてもらえるようになって、ブログもわりと頻繁に更新してるせいか、文章力も多少はついたと思うんだけど。当初の文…ひどいんだろうな笑。
もともと勉強が大嫌いで、活字が大嫌い。そんな僕が今ではシドの歌詞全般を任されてて。不思議なもんだよね。人って努力次第で成長できるんだなって、改めて強く思ってる。

このステキコラム、その名の通り素敵な思い出ばかりだな。ほぼ毎回がゆるーい感じの内容で書いてたし、趣味をお仕事にさせてもらってた感じで。
もちろん毎月の締切りに追われて辛い時期もあったんだけど。それも込みで今ではいい思い出。

ファンレターとかでさ、「マオさんのコラム面白くて大好きです！」とか「もっとこんな感じのコラムを書いてくれたら嬉しいです！」とか。いろんな意見を頂いて。それに応えていくのも楽しくて仕方なくて、やりがいがあった。

卒業の理由。
単純に「時期なのかな」って。僕がこのコラムをやめたら次に誰かがこのコーナーでコラムをスタートできるわけじゃない？　そうやって若いバンドマンの子へのバトンタッチをする時期がきたのかなって思ったんだ。
4年前に初めてこのコラムをスタートさせたあの気持ちを。そろそろ他の誰かに譲る時期なんだと思うし。

とにかく、長い間ありがとうございました。
そしてお疲れ様でした。
応援してくれた読者のみんな、今後のマオの執筆活動も今まで通り温かく見守ってくれたら嬉しいです。

じゃあ最後も。
恒例のアレで締めようかな。

ステキコラム、沢山の素敵な思い出をありがとう。
そして、次にこのコーナーを受け継いでいく方へ。毎月の締切り大変だとは思いますけど、くじけず、力まず、楽しんでコラムを書いていってください。僕もちょくちょく覗いてみます。で、おなじみのマオでした。

バイバイ。

彩冷える 葵の ヒナタごっこ 第48回

春の訪れが日々生活していく僕らのあちらこちらに少しずつ顔を出してきましたね。春を嫌いな人はあまりいないんじゃないかってくらいこの「春」と呼ばれる短い期間は素敵な時期だと思います。

ここ数年で発症してしまった花粉症による気怠ささえも許してしまうほどゆるやかで温かい気候と香りと、モノトーンだった冬の街を彩り始める花たちのきれいな色。素晴らしいですよね。できることならずっと春であればいいのに。と止まらないくしゃみと鼻水に変えてもこの季節は愛おしく思います。

四月と言えば新生活を迎える方が多い時期。進学や就職で今まで慣れ親しんだ環境に別れを告げて、新しい世界へ足を踏み入れる季節。初めて実家を離れて一人暮らしを始める方も多いのではないでしょうか？

僕は中学を卒業し高校入学と共に実家を離れて一人暮らしを始めました。理由は「実家から通うには遠過ぎる高校に入学したこと」が主立った理由なので、その裏には定番の「親の監視下のもとから離れて独り立ちしたい」と言う気持ちもありました。
「15歳になればもう大人だしなんでも自分でできる」ってそう信じてましたし自信もありました。確証のない自信だったのですが・・

いざ親元を離れ始めた一人暮らし。まずぶつかった壁は「炊事」。一人暮らしの中でまずイメージとして出て来るのが自炊だと思います。「料理なんて誰でもできるでしょ。簡単だし。」そんな曖昧な自信はあっさり打ち砕かれました。だって実家で料理なんてしたことないし、経験としては料理と言うにはほど遠い「中学の家庭科の授業で作った料理」程度の経験値。
そりゃ料理できるはずがない。

記念すべき最初の自炊のことは今でもはっきり覚えています。なんとなくフライパンを強火で加熱して、スーパーで買って来た良さげなお肉をそのままフライパンに投入。次第に勢いを増して発生する天井にのびていく黒煙…。

まず油をひく行程を忘れ、お肉もなぜか鳥のもも肉で分厚い肉の塊（分厚い肉の方がいい肉だと言うなんともな考えによるもの）を薄く切り分けることもせず強火で焼いたから「外は真っ黒焦げ焦げ、中は生」というなんとも芸術的な料理が仕上がりました。お米もなかなかうまく炊けなかったし、お味噌汁も味噌の分量めちゃめちゃで凄まじくまずかったし。実家では当たり前に毎日出てきた料理。料理だけでなく洗濯だって掃除だってそうです。何1つうまくいかない。泣く泣く実家に何度も電話して教えてもらいながら1つずつ覚え今に至ります。

生活費もバイトをして稼いだお金で暮らしていたのですが、なかなかお金もたくさん稼げない。生活するので精一杯。周りの友達と金銭感覚違うし、何度も挫けそうになったけれど、でも持ち前の負けず嫌いのおかげで頑張れました。

当時は「自分は不幸だ」なんて自分で選んだ道なのに選択した道を何度も後悔したけれど、今振り返るととてもいい経験を早い段階でできたと思います。

僕達の生活の中で当たり前にあるもの。実はそれってとてもありがたいもので大切なものだっていつ気が付けるかによって、人生って大きく変わると思うんです。それは他人に言われて気が付くのではきっとダメで自分自身で気が付くことで一歩前に進める気がするんです。

今の自分が大まかに形成されたのはきっと高校時代だと思います。それくらい衝撃的な新生活でした。

この春新生活を迎える皆さん。慣れ親しんだ環境から飛び出して新しい世界で生活を始めることはとっても大変なことだと思います。だけど大変な分だけきっと自分に返ってくるものってたくさんあると思います。どうか新生活楽しんで素敵な春をお過ごしください。

僕はなかなか環境が変わることのない業種についてしまったのであまり季節は感じな[illegible]ですが、この春はちょっとお花見行った[illegible]て春を満喫したいなって思います。

あおい

爱杂志 www.aizazhi.com

THE KIDDIE 佑聖

第10回

絶頂モンスターハイゲイン

一春ですね（-。-）

も僕です。

近また地下でモグラさんになってます。

がふるとなんだか頭が痛くなりますな！

うそう春といえば毎年ものすごく悩まされ
ものみんなもあるんじゃないかい？

ん花粉ね！　なんと俺はものすっごい花粉
んです。

なみにうちのメンバーも高確率で花粉症で、
ウダイくんなんてティッシュは財産という
言まで生み出しました。

けど最近はかーなーりいい薬があるのよ！

なんか携帯タブレット型の水いらずでポリポリ食べるタイプの錠剤！

これは革命的っすよ！　しかもめちゃくちゃ効く！　花粉症の薬って結構いっぱいあるけど効かねーっていうのが多いんだよね。

マジおすすめなので花粉症に悩まされてるみなさん是非一度は試してみてほしい★

ただ効くぶんめちゃくちゃ喉乾くから寝る前に飲むときはベッドの隣に水を用意しておいたほうがいいぜ（-。-）

さて先月の問題鬼太郎がピンチのときに鬼太郎の口から飛び出してくるあるものは何!?

答えは「蛇」です。

鬼太郎は実はピンチのときに口から蛇が飛び出すのですよ。

じゃあせっかくだから今月も鬼太郎で！

鬼太郎の頭にはある秘密があります、どういう秘密がかくされてるでしょう？

うぬ。

じゃらば。

夢のぐるぐね大回転

第24回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆

玲央(lynch.)『ペット』➡コースケ(heidi.)

みなさん、こんにちは。この度、spiv statesのJUNくんよりご紹介いただきましたlynch.の玲央です。今回のお題は「ペット」ということですが、さすがJUNくん、いいところをついてくれました（笑）。僕は今、「トワ」と「クオン」というミニチュアダックス2頭と暮らしているんですが、彼らが家に来てからめっきり出不精になってしまったくらい寵愛しています。先に我が家に来たのはトワの方なんですが、彼とは何気なく立ち寄ったペットショップで出会いました。ペットショップって言うのは生後間もない子犬（子猫）がもてはやされ、引き取られる縁がなく、数ヶ月と成長してしまうとショーケースではなく、他の犬たちと一緒にゲージへ入れられてしまうんですよね。うちのトワはまさしくそれです（苦笑）しかも値札には赤線が引いてあり「値引きしました!!」と書かれているくらいで。「なんかそれはあんまりだろう」と思い、抱っこしたら最後。そのつぶらな目で訴えかけてきたんです。「僕を引き取って!!　ここから出して!!」って。90%以上僕の思い込みですが、その日のうちに引き取りました（笑）。で、それからしばらくはトワだけだったんですが、多頭で飼ったほうが遊び相手もいて寂しくないと聞き「もう一頭飼おうかな…」なんて思っていた矢先、出会ったのがクオンです。初めて会ったときのクオンは人間嫌いというかやさぐれてて、印象は最悪でした。で、それから数日後、また同じペットショップに行ったらやっぱりまだ居て（苦笑）。ただ僕のことを覚えていたかのように擦り寄ってきて、抱っこしたら訴えかけてきたんです。「こんな僕でよかったら引き取って!!」って。そこからすぐに家族になったのはいうまでもありません（笑）。そんな出会いがありつつ、早1年半。二人にはこれからもずっと一緒にいてほしい、長生きしてほしいっていう意味で「永久（トワ）」「久遠（クオン）」って名前をつけたんですが、これからも仲良く暮らしていきたいと思います。そんなわけで、今回は僕の親バカぶりが全開でしたが、次回は先日までイベントツアーで一緒だったheidi.のコースケくんが「家電」について語ってくれます。僕も家電が大好きなので楽しみにしていますよ!!

heidi.

第11回：コースケ

『ハイジのアルプス日記』

うやく花粉症も一段落かな、今年は花粉少
い気がしたね～よかったよかった！

は変わるけどさ～最近あまり時間がなくて
好きなゲームが全然やれてないんだよ～！

りたいゲームは山ほどあるのに

々と出てるのに

でやろうリストに追加されてく一方です。

のせいか今まさにゲームがしたくてしょう
ない病の症状が…

ームってやらない人は本当やらないから何
楽しいのって思うでしょ!?

の場合はね

ストレス発散という名の現実逃避できっからなんだろうなきっと！（笑）

ってアーティストがこんな事言っていいのか（笑）

まぁいいや～（笑）

分かってると思うけどゲームの中の世界には現実では有り得ない世界が広がってます！

そう大抵のものが非現実!!
大ブレイクしたモンスターハンターもそうさ！

実際にあんなモンスターと戦う機会なんてないし、戦えてもせいぜいワニやライオンがいい所でしょ!?

武器だってそうだ剣だの槍だの弓だの実際持った事もないでしょ!?

それが出来ちゃうからみんな夢中になってるんだろうね！

今この世界がモンスターと自由に戦える世界だったら誰もそんなゲームやらないでしょ!?

結局はみんな現実逃避したいのさ～！

最近じゃオンラインで顔も知らないゲーム好きの人とコミュニケーションとれちゃうってんだからすごいよね！

そりゃ部屋から出なくもなるよね（笑）

ちなみに俺が今ハマってるのはFPSという一般的にあまり聞いたことないようなジャンルのゲームです！

簡単に言うと銃を片手に仲間と戦場に行こうぜ的な感じのゲームかな！

バトルフィールド1943

燃えるよ～！（笑）

バンドマンに大人気の龍が如くとかもめっちゃ面白いから良かったらやってみたらいいさ！

あっ、別に俺ゲーム業界の回し者じゃないからね（笑）

いや～ゲームって本当に素晴らしいものですね！

いい加減FF13早くやりたいなぁ～

でわ戦場でお会いしましょう
ばいば～い!!

hudie.com

爱杂志
www.aizazhi.com

トゥーン工場 Kiss☆My☆Choice

第11回目
ひかる

SHOXXをご覧の皆様、お久しぶりです。

コレが皆さんの手元に渡っている頃にはもう『Innocent』も発売しているのでしょう。僕はこれを書いている時点で何回聞いたのかな？ 今までの自分達の作品の中でこの『Innocent』が一番のお気に入りです★ 皆さんも聞き込んで、4月25日、5月9日は僕らのワンマンライヴに足を運んでください！

さてさて、先月号のゆーぃちさんからのお題は・・・

『今のやってみたい事』

うーん難しい（笑）。ワンマンライヴやりたいとかじゃ面白みも無さそうだし・・・。

バンド絡みじゃないとしたら海外旅行とかしてみたいですね。随分と国内に籠ってるので、久々に海外旅行行ってみたいです。昔は家族旅行とかあんまり好きじゃなくて、家に帰りたいなーとか思っちゃう派だったんですけど、今なら昔以上に楽しめるんだろーなーって思ったり！ 家族で行っても楽しそうだし、メンバーと行っても楽しそう！ 心細いけど一人で行ってもまた違う楽しさがありそうです。

僕は海外ドラマを見たりするんだけど、日本とは全然違いますよね。もちろん日本は大好きですよ！ 住みやすいし、ご飯は美味しいし女の子は可愛いし（笑）。

でも海外はやっぱり海外ならではの素晴らしさがありますよねー 観光地とかじゃなくて普段の雰囲気とかその国の文化に触れてみたいですねー 日本人は外国の方が来るとすぐお寿司と天ぷらとすき焼きを食べさせて京都に連れて行くイメージがあるのですが（笑）、普段そんな生活しないでしょうに（笑）。

・・・と、まぁ話がどんどん逸れてしまいそうなのでこの辺りで（笑）。やってみたい事ってたくさんありますけどね！ 敢えて一つに絞るなら

『海外旅行』

近々行ってみたいと思います★

さてさて、雫さんにお題ですね。。。次の雫さんへのお題は

『自分の好きな場所』

でお願いします！

ひかるでした。 でわまた！

少女-ロリヰタ-23区 "KING" of the world!!

第二十五回 BAN

『～移り変わる00年代と10年代～』

今回のコラムは私ですね。
時代の流れよりも3歩先を行くのが私の歩み方であり、そして理解されない日々を過ごしている訳ですが。
そんな中、昨年から注目しているテーマ00年代と10年代、これは2010年で一つ日本が変わると言う理論であり、そしてそれはとても大きな物だと実感している。
年の節目は何かしらの変化が起こるものだが今回は違う。
10年と言う歳月がどれだけ多くの事を変えるのか…。
そして人々の生活、コミニュケーション、ツール。いろいろな物が変化する。
今を生きると言う昨今の人々のテーマがあるがそれはその変化を受け入れて生きていく言う事でもある。
流れてくる時代を絶えず消化していく事は大きな負担になるのかもしれない。
だけどその流れを楽しむ事も出来る。
もちろんこんな事は考えなくてもいいし必要の無い事なのかもしれない。だけどその風景と流れを見つめて過ごすのも私はとても楽しく思えている。
だけどそんな中変わらない物もある。
それは信頼であり人である。
ライヴにおいて信頼感と言うものはとても大事な物だと思う。
いくらいろんな物が変わっていっても『ココ』は変わらない人と人が結ぶ物。積み重ねる感情と思い。
そこに行き着く為には一つずつ薄く薄く小さなシートを重ねていかなければならない。
だがそれは時間と共にとても大きな物になりそして一部になる。
安心してライヴが出来る為に必要な物は今も昔も変わらない。
前にいる貴方と、そして後ろに居るお前もう隙間は無い。あとは広げるだけか…
さて今日も一枚の薄いシートを被せる作業が始まりますね。
1秒前の自分に先を越されるな

ば

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第73回
「Sai」の巻

どうもまことです。
すっかりあたたかくなってきましたね！
毎年この時期に書いてますが今年もやってまいりましたっ、そう、花粉症シーズン！

♪そつぎょうして～から～もう～3度目の春～♪

じゃなかった、上京してから3度目の春。
どうやら今年は去年よりも酷い気がします…。

毎年春先はレコーディングをしてるのですが、よくファンの皆様から

「花粉症だとレコーディング大変そうですね」

的なことを言われるのですが、これが不思議とレコーディングの時はピタっと症状でないんですよね～！ ライヴの時もそう。

そんな感じで、最近はレコーディングをしておりましたが、メンバーチェンジ後初Recということもあり今まで以上に気合が入ってました。

今までリリースしてきた作品全てに思い入れがあるのですが、今回の曲も非常に大切な作品になりました。お楽しみに。

今年に入り、曲創り等比較的地下活動気味の1月、2月でしたが、準備万端！ 春からはたくさんみんなに会えたらなと思っています☆

今月から、レギュラー番組が始まったり、個人的には先日、舞台に出させてもらったりしていますが、やっぱりライヴやね！

舞台も今まで何度か出させていただいてますが、歌とはまたちがう楽しさがあるし、今回、ミュージシャンの仲間も多くて、良い刺激をいただいてます☆

…が、

とにかくライヴ！ ライヴなんだよ‼

3月31日渋谷クラブクアトロ。

桜、満開やといいな。

ほな！

愛杂志
www.aizazhi.com

DéspairsRay マニアの覗き穴

第91ブレイク
TSUKASA 編

空と私。

今月もだいぶ覗かれてるねぃ!

こんばんは。司です。

今日はスカイカーについて語りたいと思います。

昨日TVでなにやら個人や事業で一人乗り用の飛行機や空飛ぶ車、バイクなどを作ってる人達がいるらしく、ロマン人達だなぁと思いながら自分も思えば空に魅せられ、夢をみてきた。

未だに時たま、空飛んでる夢をみる。

それを現実に叶えようとしてる人がいて、なんでもバイクにプロペラがついてたり、水上で水の排出力を利用して飛んだり、車のタイヤがジェットエンジンになってたり、本当に僕らが小さい頃想像、妄想してきたことが少しずつ叶ってきそうだ。

ライト兄弟だって当時は無謀な挑戦だったと思う。しかし今はあたりまえのように毎日何千何万機もの飛行機が空を飛んでいる。

これは僕たちがこの時代に生きてるうちに一人で飛べそうじゃないですか?? という期待感を抱かずにはいられない。

しかしそれにともなって問題も出てくることも確かだ。

空にはまだ道路交通法のような一般的な規制がない。

車が走り出した時もそうだったけど、信号機が建つまでどれだけの事故があったというのか。

だいたい言えるのは、人は、なってみないとわからない生き物だ。

事故が起きる前に空の規制を十二分にしたうえで、一般の人達も飛べるようにして頂きたいですねぇ。

なんか何を語ってるのかわからなくなってきました。

とにかくはやく飛びたい。飛ばして。俺を彼方まで飛ばして!!

実は最近誕生日プレゼントでメンバーからWiiスポーツリゾートをもらって、スカイレジャー、飛行機での遊覧にハマりました。

Miiの俺が飛行機操縦してるんだ!!

ロマンだねぇ。

それでは今回このへんで。

空に魅せられたロッカー司でした。

Thank you.

ヴィドールの 美×doll? 微

第七十八体目 ギルの巻

どもどもギルだぜ〜ぃ∩・ω・)ゞ

毎度同じ入り方がマンネリなのか、俺っぽいのか？

まぁそんなコトはおいといて
この連載を書いてるのはまさに雛祭りの3月3日！
一体何のお祭りなんだよ!?

俺が男だからか、そんな話しになったコトないから、気になっちまったぜぃ(｣゜□゜)｣

しっかしもうじき春がくるねぇ〜ヾ(´ー)
いいよ〜春マジいいよ〜
春のにおいって良いと思うでしょ!?
俺的には金木犀の次にいい香りなんだよなぁ
〜待ち遠しいなぁヾ(≧▽≦)ﾉ

みんなもそうだろう？
だって春にはヴィドールTourあるもんね!!!!!
今回のツアーは北海道にてファンクラブ旅行もあるしねぇ〜

RealMonadism(°∀°)

スペル合ってる謎だけど、リアルモナディズムって読むんだぜぃ！
今回のツアータイトルですな。
直訳すると【単細胞生物の現実】？でいいんかな!?(゜∀゜)ﾉ

なんのこっちゃって思った人!! 思ってしまった以上Liveに来るんだ!!

そしたら、ギルって男の単純な脳みそで出来たギタリストがリアルを魅せたる!!

まぁそんな感じで春ツアーかなりの気合いを入れてはっちゃけるんだ！
みんなライヴハウスで会おうぜぃ！

バイバイ(｡-_-｡)

うしろの正

—ただしづら—

第129回

by 長

皆様こんちくわ! さて3月…えっ？ もう2010年も四分の一が終わりなの?といった感じですね（笑）。ツアー「Re:Chord」の方は先月無事に終える事が出来ました! ご来場頂いた皆さん、本当にありがとう! 今回のツアーも一つ一つのライヴに大きな手応えを感じる事が出来たのが嬉しかったな…すでに次のツアーも発表されていますが、この感触を忘れないようにやれたらいいなぁ、と思っております。さてそのツアー、「Strange Fruits」と題されております。われわれにとって初のアルバム（ミニですが…）となる「Strange Fruits」がリリースされて今年で15年を迎えます…それにあたって「この作品の世界観を今一度振り返ってみよう」というのがこのツアーのテーマなのです。「Strange Fruits」について語るべき事はそれこそ山のようにあるのですが、個人的にはこの作品で「プラスティック トゥリー」というバンドが今も持ち続けているアイデンティティをある程度提示する事が出来たような気がするのです。この当時思い浮かべていた音楽的なヴィジョンそのものはかなり漠然としていたのでてみたかった要素は少ない曲数ながら網羅出来たようにも思います。改めて聴き返すと曲作りの発想であるとか、ベースプレイのアプローチであるとか、荒削りながらも今の自分にとって新鮮に感じる部分も少なくありません（笑）。ベースの音色でいえば、このレコーディングでいろいろ試行錯誤して作った音色が今でも基本になっている事を考えると、とても大きな存在の作品であるのは確かです。果たして15年を経た今、この作品をどのように表現する事になるのか自分でも興味が尽きないところですが…そういった部分も楽しみながら取り組めたらなぁ、と思います。さて今月はMASSIVE ATTACKの「HELIGOLAND」というアルバムをご紹介します。彼らの新作としては7年ぶりとなるこのアルバム、相変わらず深遠な音世界でありながらも、若干生々しい空気感も感じる事が出来てすごく浸れる作品です。来たるべき春の夜によく似合いそうな一枚なので、かなりおすすめです（笑）。という事で、今月も春の気配を感じるマリモーランドからお届けしました…それではさよーなり!!

爱杂志 www.aizazhi.com

Miss Speakers, Inc. 蝴蝶网
hudie.com

seekの凡人水族園

第九十六回

あまり威張れた話ではないが僕は学歴上「ビジュアルアーツ専門学校中退」である。中退以後もう十数年バンドマンてして人生を送っている。中卒だろうが大学院卒業だろうが、貧乏だろうが裕福だろうが中流家庭だろうが、バンドマンにとってはその肩書きはあまり意味を持たない。育ってきた環境や経験は自分を表現するにあたって非常に要にはなるかもしらんが、それも過去の話。過去のネタを背負って今の自分が如何におもろい事が出来るのか。バンドマンとはそれのみの話しなのである。おそらくバンドをやっている以上「安定」などという言葉とは一億光年離れた世界に住んでいる訳だし「安定」にするも「不安定」するも自分自身なのだ。とは言うものの「卒業」という言葉にはやはり重みがある。楽しいも苦しいも含めて成し遂げるという事が重要なのだ。「三十にもなると緑頭の顔面凶器もええ事言うな。中学生時代の自分に聞かせてやりたいものだ」と思う。

中学卒業の春。体育館に集められた卒業生二百数十名は厳かなセレモニーの中で明るい未来に心躍らせたり、将来の不安に足をガタガタいわせたり、中学生活からの解放感でキョロキョロしたり、「仰げば尊し」を口パクしたりしていた。校長先生より頂く「卒業証書以下同文」にも声を張ること無く両手で受け取っていた。勿論僕もその一人だった。大半の中学生がそうであるように送る方も送られる方も「気恥ずかしい」のだ。数十分かけて配り終わった以下同文の卒業証書。二百数十名は早くも「第二ボタン」の事で頭がいっぱいだった。その時だった。司会の学年主任より或る人物の名前が読み上げられた。「PTA会長の贈る言葉。シラミズヤスツグ様宜しくお願い致します」。文字通り僕はゴクッと息を飲んだ。我が父「ヤスツグ」さんは右手を天に向かい高々と掲げ「ハイッ!!!!!!」と咆哮した。静まり返る場内。そして割れんばかりの喝采。では無く爆笑。卒業生の誰よりも大きかった父の声は「気恥ずかしさ」など微塵も無かった。

今になってあの時の父はカッコ良かったなと思う。父は父で「PTA会長」を成し遂げたのだ。「卒業」したのだ。がしかし、思春期の僕にとっては死ぬ程「恥ずかしい」以外の何ものでもなかった。肩を落とし教室に帰った後、片思いの田中沙耶花ちゃんが友人マー君に告白している現場を目撃する等とにかく踏んだり蹴ったりの「卒業」だった。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

Moran Hitomiの「瞳孔反射」

第24回　『innocence』

もうかなり前の話になるのだが、ある日、古くからの友人であるQから電話がかかってきた。普段からそんなに頻繁に連絡を取り合っているわけではなかったのだが、タイミングが合う時にたまに会ったりこうやって電話をしたりしては、お互いの近況等を報告し合う良き友人であった。Qは都内でも有数の進学校に進学し、某有名大学にストレートで合格、卒業とともに大手のお堅い一流企業に就職した所謂エリートだ。元々デキル奴なのだろうが、それよりもQの持つ真面目で頑張り屋な気質があったからこそだと思う。その更に半年前頃、電話したときには、1年付き合った彼女と別れてしまったばかりで少し落ち込んでいたようだったが、相変わらず仕事もバリバリこなしていてQらしく毎日を送っている…はずだった。

この日の電話でQは珍しく興奮した様子だった。「実はさ、元カノから空メールがきたんだよね。すぐに『どうしたの?』って返信したんだけど何も応答がないんだよ。電話もしてみたんだけど出なくてさ。あの子に限ってそんな無責任な事するはずないし、不思議で仕方なくてさ。それで俺思ったんだよね。あの空メールはたぶん元カノが送ってきたんじゃなくて、元カノに新しく彼氏ができて、そいつが俺に威嚇のつもりでメールしてきたんじゃねぇかなって。元カノが風呂とか入ってる隙見て携帯勝手にいじったんだと思うんだよ。そいつは送受信メールも着信履歴も消してるはずだから、元カノはたぶん何も知らないままなんじゃないかなぁ。すげぇ気持ち悪いよな。あいつも変な男に引っかかったよなぁ」一気にまくしたてたQは、完全に只の推測でしかないその持論に確信すら抱いているようだった。まぁ、男はプライドが高い生き物だ。Qを傷つけないよう話を合わせた。「あ〜そうかもね。だったらいい迷惑だよなぁ Qも。そんなことに気を取られるのも馬鹿らしいし、事実は闇の中だし、気にしないのが一番だよ」しかしここで、想像だにしなかった強烈な答が返ってきた。「そうそう。だからさ〜俺最近ずっと、元カノの家の前で張ってるんだよね。でも男の気配ないし、元カノは毎日ちゃんと会社終わったらまっすぐ直帰してるし、洗濯物も元カノのものしか干してないし、パジャマや下着も男物は見当たらない。駐車場にも男の車がある様子ないんだよなぁ。余計頭こんがらがってきたよ」俺は思わず絶句してしまった。そ、それはストーカーというのではないだろうか。声を振り絞って聞いてみる。「え、それどのくらい続けてるの?　そこで元カノに声はかけないの?」「まだ三週間くらいかなぁ。うんかけないよ。見てるだけ。ストーカーとか思われても嫌だしね」…それこそがストーカーって言うんじゃないのかな。でも言えない。こんなことを言えばQをひどく傷つけるだろう。友達にストーカーだと言われるなんてこの上ない屈辱である。しかしこのまま放っておいてQの元カノにQのしている事がバレて、咎められでもしたら、Qはそれ以上に傷つくのではないか。もう立ち上がれない程に。Qのことだから元カノに危害が及ぶなんてことは100%ないとは思うが、事態が明るみに出た場合、彼女に不快な思いをさせてしまうリスクは極めて高い。俺は葛藤した。言うべきか言わないべきか。どうすればQを傷つけずに元の道に促すことができるだろうか。

半年以上も前に別れた一年程度付き合った彼女。たった一通の空メールがきたくらいで、普通そこまで気にも留めないだろう。しかしQは良くも悪くも純粋すぎたのだ。同年代の男子が遊び呆けている時も勉強一筋だったQにとっては生涯初めてできたたった一人の彼女であった。付き合っている当時も、彼女のひとつひとつの些細な言動で一喜一憂し、イベントや記念日の度にどうやって彼女を喜ばせようか頭を悩ませていた。そんなQだからこそ、多くの恋愛パターンを知らなかっただけなのだ。知らなければ、想像・予想するしかない。それが不正解であったとしても、彼の恋が真っ直ぐであることに違いはない。

俺は結局、「気にしないことが一番だよ。そんな労力使うのも勿体ないだろ」としか言えなかった。

それ以降、俺はどうもその話に触れるのが恐ろしくて、電話などしてもなるべく俺のバンドの事や、彼の仕事の話だけをするようにしていた。それから数年が経って去年の暮れ頃、Qから結婚したとの嬉しい報告をもらった。正月には年賀状が届き、写真の中でお嫁さんの隣で微笑むQはとても幸せそうで、俺まで幸せな気分になった。危ない道に走らなくて本当に良かったね。

Qの様な一途で真面目で深い愛情を持った人は、恋愛するにおいて最高のパートナーだと俺は思う。ただし、両想いの場合に限るけれど。

愛杂志
www.aizazhi.com

麺は固め!!

第142回　by 竹入隆行

今年はいつもより寒く長い冬な気がします
年が明けて、ずっと旅にいったり来たり、忙しくさせても
らってます。
先日、タイヤのバーストで事故がおこり、若いバンドマン
が亡くなったと聞きました。
昔、同じ年の友達、G.D.FUCKESのベーシストを全く同じ
事故で亡くしました。
こちらのほうはタイヤの疲労具合をチェックしていたら防
げた事故やったかもしれなく、とても悔やみました。
…彼らはどうやったんやろう？

バンドマンは夢はあるけど金はなく、車もボロボロ、下道
移動、車寝泊まりなど、ほんまに一般的で、リアルに命懸
けな旅をしています。
タイヤを換えて保険に入って…なんて頭ではわかっていて
もなかなかそこまでってのが現状かもしれない。

ただ、すぐに出来る事が。
車の管理を誰かにまかせっきりにしない事。

全て把握しておく事。

それだけでもだいぶ違います。

タイヤを買えなくても前後換えるとか、把握していたら運
転も違ってくるし。

全員把握をしていたらタイヤを買う計画も出るかもしれな
い…。

これを彼らがやっていたのかいないのかはわからない。細
心の注意をしていたかもしれない。

ただ、同じような事故で仲間を失った経験のある俺達が、
何も出来ず、何も伝えれてなかったのかもしれないと心が
痛みます。

残されたメンバー、ファンの方なんかの気持ちを思うと…

ここでこんな事を言うて何かが変わるとは思えないですが、
言わずにはいられない…
どうかみなさん、気をつけて下さい。夢に命を削る、命を
懸ける。その命を守る事も夢を追いかける事。

お互い細心の用意と
注意で移動して、細
心の用意と練習で最
高のステージに上が
りましょう。

押忍！

Kain一朗のコライチ

第90回

春になったなぁ、と感じて、思いっきり薄着で外出したら、その日に限って寒気、むしろ僕が[illegible]…笑ってしまいました。

[illegible]生まれている人ですね。最近やっとわかってきた気がします。どうも、一朗です。「春の中の人」です。ご機嫌いかがでしょうか。

Kainの[illegible]ライヴの02／14、来てくれた人はありがとうね。僕的には、久々の[illegible]だし、久々のワンマンライヴだし、テンションがあがりーな感じでした。ライヴ後にはチョコも沢山頂きました！　みんなありがとうね!!　まぁ、中には明らかに「義理チョコ」もありましたけどね。笑

でも、正直ライヴ前までは不安もあったんだよね。Kainは現メンバーでの活動が5月2日川崎クラブチッタまでとすでに発表されているから、みんなそのことで悲しい気持ちでライヴに来ていたらどうしよう…って。実際不安そうな表情の人もいたよね。

「もう終わりが見えているから、悲しい気持ちになる」みんなの気持ちはわかります。でも本来バンドなんていつ終わってしまうかわからない儚いものだし、こういう気持ちはいつも持ってなきゃいけないものなんだよね。僕らはJ-Iもその最後でそれを学んだ。あの時もとても悲しかったしそのことは充分わかったつもりだったけど、人は忘れてしまいがちな生き物だからね。まぁ、そんなことを毎日ちゃんと考えられる人って少ないと思うし、僕もできてないけどさ。それでも、いまは頑張ってちゃんと笑っていこうよ、って思ってます。

最後まで一緒にね、でも、もうちょっといわせて、

すべてを忘れないなんてことは無理かもしれないけど、忘れないくらい自分にクリティカルヒットさせるには、よりイノセントに、よりピュアなところに、自分の心、精神状態をおいておく必要があると思う。だから、[illegible]「素直でいる」っていうことが重要なんじゃないかな。僕も自分の[illegible]を思い起こしてみて、そういうことが一番自分にとっていい、[illegible]。今はとにかくステージを楽しむことに集中しています。

だから、最後まで[illegible]言わないけど、みんなも残されたこの一回一回のライヴで、その瞬間の時間しかない「今」を楽しんでくれたらいいなと思います。

さて、02／14は久々のワンマンライヴだというのに、[illegible]シャメ撮るの忘れてしまいました！　ちょっと[illegible]よね。メイクし終わったら[illegible]、なのが僕なのに、どうしちゃったんだろうね。やはりこの僕も実は[illegible]心を[illegible]て、出番前にライヴの内容のことに集中しすぎて、忘れてしまったのかな。笑　アハハー

というわけなので、ここで使っている写真は、実は02／22のライヴの時のヒトコマです。

マニア度が高いんじゃないの～？　笑

え？　なんのライヴかって？

02／22は[illegible]DOMEで、ニャンニャンニャンの日記念ライヴでした！　このライヴは、mun-munという[illegible]サイケデリックなバンドのイカスVo.[illegible]さんの主催イベント。イベントとして対バンがカッコ良過ぎてしびれましたね！　about-tessと[illegible]人間、そしてmun-munと「客として観に行っても楽しめるじゃん！」みたいな顔ブレの中で、プレイできて興奮しました。[illegible]「お客さんとして観に行ってました」笑

ハコの雰囲気も、いい人だよね。本当にって、「The ライヴハウス！」みたいな感じでクール！　その[illegible]イベントに、カインのリーダー幸也さんがソロとして出演するという情報を聞き、「これは、なんとか参加するしかない！」と、まずは情報を集めるところからスタートしましたよ。僕、笑

その日サポートするのがオルボートダイアリーのメンバーたちだということを知って、[illegible]連絡をとり、リハーサルがいつどこで行われるかを聞き出した。すでにキーボードもベースもドラムも決まってたので、キーボードで参加するかツインギターにしてもらうしかない！と幸也さんが来ない日にバックだけで入っているスタジオに楽器を持って潜入。ごく自然な感じで当たり前のように「この曲はツインギターのアレンジの方が良いですよね…」などと言いながら、参加してきましたよ。僕、意外とやるなぁ。フフフ…笑

オルボートダイアリーは残念ながら1月末で解散してしまったけど、僕はこのバンドのメンバーのことを本当にリスペクトしてたので、以前から一緒に演奏してみたいと思ってました。その念願も叶い、僕にとっては本当に最高の機会でしたね！

リハーサルの時に思ったことだけど、[illegible]の3人はアレンジの仕方とか独特な感じで進めるんだよね。僕にはないセンスをみんな持ってるので、勉強してます。前以上に仲良くもなりましたね。プライベートでも飲みにいったり、僕らの友人のライヴを一緒に観にいったり、すげえかっこいいバンドを引き出しって、刺激になってます！

02／22は、ギターのみでライヴするのってかなり久々だったわけだけど、ベースより軽いなぁ、って思いました。当たり前だけど。笑　で、その軽さをちょっと物足りなく感じたりもして、いつのまにかこんな僕も、ベースという楽器に馴染んできてるのかな。まだまだベースは[illegible]勉強中だけど。でも、また機会があったらギタリストとしてステージにあがるのもいいかなと思いました。「ガーン！」って弾いて、両手が空くのがいいよね。あれ？　僕はベースでも[illegible]両手が空いてるような…笑

とにかく、02／22はそんな感じで楽しめました。自分が一緒に演奏するメンバーも違うし、演奏する楽器も違うし、本当に新鮮でした。今回のライヴは、中の人が昔から[illegible]曲を再アレンジして始めたんですね。それ故に、新鮮味とノスタルジックなムードを[illegible]って、興奮したね。っていうか、みんなも興奮したでしょ？　笑

曲って、アレンジ次第でこんなに印象が変わるんだよ、っていうのが伝わってたら嬉しいな。今までとは違う角度から曲のことが見れて、この日のライヴに参加できた人は、新鮮だったんじゃないかな。音楽ってホログラムみたいに、色んな角度から見れば、色んな表情が見れるんだよ、ってこと。もっとみんなにも伝えていきたいと思いました。

え？　ライヴでまた伝わってなかったって？　そもそもライヴに参加できてない？　すぐソールドしちゃったしね。もっと広いハコでやれって？

そういう[illegible]は、Kranzeまで★笑

http://www.kranze.net/

このショウケースが出る頃には03／14[illegible]ロフトでの主催イベントも無事終わって、次はオカマの日イベントかな？

2010年4月24日、新宿レッドクロス！
『マサオカイチ子』
と題された、1theJEANのスペシャルワンマンライヴです！
開場17：30／開演18：00
前売¥4，000／当日未定
チケット一般発売日：2010年3月7日（日）
ローソンチケット（Lコード：73950）
のみでの発売！
問い合わせ：新宿レッドクロス　☎03-3202-5320

ハッキリ言って[illegible]アイツと[illegible]が楽しみだわ！

よーし、やってやる！
過激に、センセーショナルにやってやる～！
あー最後にこれだけは言っておいて！
「一朗はMですが、イチ子はSなのよ～」

じゃあまた来月。

ボヤボヤしてると、レッドクロスもすぐソールドしちゃうわよ！

シーユー！

SHOCK WAVE アポロ Vol.36

2010年4月18日（日）高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★

**デンジャー☆ギャング／シネマストリップ／
Cla vi us（クラヴィアス）／ オトガデッド／Tu[ism]／
TOON-FACTORY／LOST ASH**

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　4月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは絶賛発売中♪詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.co

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

次号Vol.208予告
(ぼっくんの主張：安全な株を買うな!!の巻)

4月21日全国一斉発売！

■明後日朝から伊豆高原にいってきます。ただし仕事で。毎春恒例になっている竜太朗の誕生日フォトセッションが、今年は伊豆のロケになりました。ここはバシッと慰安の意味も込めて、前ノリ（前日から現場に入ること）して、伊豆の美味しい魚料理を堪能して、竜太朗、スタッフと温泉に入って、日々のストレスで弱った心と体をリフレッシュするぞっ!! 仙台貨物も倒産するこの不況の折。そんなステキな話は無く、当日朝早起きしていってきます。しかもロケ車の運転はぼっくん。いつの日か、湯水のように予算を投入して、竜太朗と、ドイツの古城で撮影できるように、SHOXXを盛り上げます。なので、今回は竜太朗さん、自力で現場まで来てください。昼のおにぎりはこっちで準備します。

撮影で過酷なのが、真冬のロケ。数時間空っ風に吹かれる中で、ヘアメイク、スタリングをキープするのは超大変。長い間、外で撮影していると体も冷えて、スタッフのテンションも下がったりもする。ただ、予想不可能な状況の中で、こっちが意図しないような、ステキなマジック・カットが撮れたりする事もあるのです。どうやら、竜太朗はこの魔法を信じているようで、SHOXXのロケ撮影にはすごく積極的だし、Plastic Treeのロケ写真での傑作は数多いのです（手前味噌ですいません）。写真には異常なぐらいシビアに拘る竜太朗。なのに安全で確実なフォトセッションが約束されたスタジオ撮影だけに甘んずるのではなく、常に、刺激を求めてリスクのある撮影に臨む有村先輩。ステキです。来月のSHOXX誌面上で、そんな竜太朗の魔法のフォトセッションを堪能してください。

来月の表紙＆巻頭特集は
SHOXX Vol.208

西川貴教×YOMI(ナイトメア)

SHOXX創刊20周年記念企画第一弾。奇跡のコラボ実現。
絶対にすごい事になります。 お楽しみに!!

右記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、切手代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理部「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターが付いてない場合もあります。ご了承ください）。
また、近くの書店でVol.208（4月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

Vol.200
09年10月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■虎(Alice Nine)■有村竜太朗(Plastic Tree)■アンティック-珈琲店-■D'espairsRay■Mix Speaker's,Inc.■仙台貨物■舞(Kra)■彩冷える■摩天楼オペラ■キリト(Angelo)■KISAKI■PENICILLIN■Aoi

Vol.195
09年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■ヴィドール■Kagrra,■Mix Speaker's,Inc.■ノン(アンティック-珈琲店-)■アリス...■Angelo■Kr...■ミ...■少女-...~23区■SC...■SuG■ギルガ...■メガマソ

Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良(Kra)■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女-ロリヰタ-23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

Vol.196
09年6月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■ヒロト(ア...)パーソナル...■有村竜太朗(Plastic Tree)■ナイ...■ムック■シド...■アンティック-珈琲...■LM.C■彩冷え...■-miyavi-■Ar...■heidi.■ギ...■シュ■宇宙戦...■ゾロ■BOU...

Vol.202
09年12月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.197
09年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭...18ページ大...■YOMI & 柩(ナイトメア)メンバー...■Nao(アリス...)パーソナル企...■アンティック...■Plastic T...■-miyavi-■シ...■C■一志(Kag...)■Kra■ヴィド...■Mix Speake...■heidi.■ギ...■シュ

Vol.203
10年1月号 ¥980

■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■un SCAR NERVE 夢のセッションバンド撮り下ろし特集■柩×Ni~ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

Vol.198
09年8月号 ¥980

■シド巻頭&...ページ大特集■...(Alice Nine)■...Tree■X JA...■ナイトメア■ア...ク-珈琲店-■...ル■ムッ...■D'espairs...■Versailles■...■heidi.■D...■boogieman■...メッシュ

Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■L M . C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

Vol.205
10年3月号 ¥980

■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ(ムック)■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.204
10年2月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマ...■...オ■宇宙...■KISAKI...

Vol.199
09年9月号 ¥980

■the Gaze...&表紙20ペー...集■Alice N...葉(仙台貨物...)■...ティック・珈...■Psycho le C...■Plastic Tree■...メア■ム...■Kagrra,■ヴ...■Kra■D■S...■...ガメッシュ...

愛杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶 ハツ・ナーハ
hudie.com

ission in ぽっくん
ッション イン

は決して後悔しないこと(シーガル)。愛とは現在にしかないものだ(瀬戸内
僕が僕であり、君が君である様に、愛は愛なんだ(雅)。ちんちんの間には小さ
イイ薔薇が咲く(ぽっくん)。
西、星の数ほどの言葉で“愛”は語られてきました。逆に言うとその言葉のど
、完全なものではないということ。そこで今回のミッションは史上最大の難
なたにとっての愛を表現してください」です。さて始まり、始まり。

咲人(ナイトメア) / 柩(ナイトメア) / YOMI(ナイトメア)

ナカヤマアキラ(Plastic Tree) / 佐藤ケンケン(Plastic Tree) / 長谷川正(Plastic Tree) / 有村竜太朗(Plastic Tree) / RUKA(ナイトメア) / Ni~ya(ナイトメア)

一志(Kagrra,) / HIROKI(D) / Tsunehito(D) / HIDE-ZOU(D) / Ruiza(D) / ASAGI(D)

インザーギ(メガマソ) / 白水(Kagrra,) / 女雅(Kagrra,) / 真(Kagrra,)

爱杂志
www.aizazhi.com

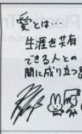
ユウ
(ドレミ團)

龍
(ドレミ團)

KEN
(ドレミ團)

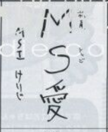
マコト
(ドレミ團)

Gou
(メガマソ)



涼平
(メガマソ)

seek
(Mix Speaker's, Inc.)


keiji
(Mix Speaker's, Inc.)

AYA
(Mix Speaker's, Inc.)

MIKI
(Mix Speaker's, Inc.)

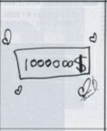
YUKI
(Mix Speaker's, Inc.)

零華
(ドレミ團)

夢叶
(TOON-FACTORY)

雫
(TOON-FACTORY)

ひかる
(TOON-FACTORY)


YURAサマ
(Dacco)

Lida
(Dacco)

S
(Mix Speaker's Inc

ゼクス
(Virgil)

白
(Virgil)

大地
(Virgil)

ロア
(Virgil)

ゆーいち
(TOON-FACTORY)

レガ
(TOON-FACTORY

23
(「東京指定」)

Ren
(「東京指定」)

爛丸
(「東京指定」)

渋谷
(「東京指定」)

タクミ
(-Virgil-)

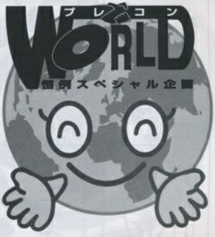
★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいまーす。欲しい人は149ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あ…

〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F 音楽専科社「ぽっくんくれっ！」係まで応募してくださ…

ぽっくんくれっ！
SHOXX vol.207応募券

爱杂志 www.aizazhi.com



☆隣でピロ江おばちゃん(36歳・独身・彼氏募集中・好きなタイプ/坂口憲二)が頭を抱えて唸っている昼下がり。どうも、べろちゃんです。最近、1日中眠くて眠くてたまりません…。春が近いからでしょうか? さてさて、今月の画伯さんは…、先日フラっと編集部に遊びに来たTOON-FACTORYのレガを捕まえてササっとお絵かきして貰いました♪ …てか、この絵、誰かに似ている…(笑)。レガが張り倒されない事を願います(笑)。

Plastic Tree

ライヴ・グッズ"幸せのレモンハンカチーフ"を1名様に

D

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

Kra

a.サイン入りバッグを1名様
b.舞の使用済みピックを1名様に

1 ナイトメア

サイン入りフォトを6名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

2 The LEGENDARY SIX NINE

サイン入りフォトを3名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

3 "EXTRA-TERRITORIAL"対談

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります

4 カノン(アンティック-珈琲店-)

サイン入りフォトを3名様に
※現物にはサインが入ります。

蝴蝶 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

hudie.com

11 TOON-FACTORY

コメント入り色紙を5名さまに

12 魂琥李斗（コンクリート）

ヴィジュアル系の気合アイテム、カラスマスクを2名様に

10 イヴ×Ko-ki（ViViD）

サイン入りフォトを6名さまに
※現物にはサインが入ります。

8 メガマソ

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

9「東京指定」

サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

イラスト：レガ（TOON-FACTORY）

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.207

住所	〒	TEL（ ）			
氏名	フリガナ		年齢		男・女

★A. よかった記事の番号を良かった順に３つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（　　　　）（　　　　）（　　　　）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（　　　　）（　　　　）（　　　　）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P150〜151）　　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可。
●宛先は〒104-8228　銀座6－2－3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
音楽専科社　SHOXX 編集部　プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2010年4月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①ナイトメア ②The LEGENDARY SIX NINE ③"EXTRA-TERRITORIAL"対談 ④カノン…ンティック-珈琲店-） ⑤Plastic Tree ⑥ムック ⑦D ⑧D'espairsRay ⑨Versail… ⑩Kagrra, ⑪Kra ⑫Mix Speaker's,Inc. ⑬ドレミ團 ⑭メガマソ ⑮DELUHI ⑯T… KIDDIE ⑰BugLug ⑱DOG inTheパラレルワールドオーケストラ ⑲9GOATS BLACK O… ⑳Dacco ㉑Around30 ㉒イロク… ㉖VirgiL ㉗SHOCK WAVE ア… ㉜R指定 ㉝Arc ㉞ClearVeil … ×Ko-ki（ViViD） ㊴TOON-FACTORY … ㊶ロックンロール日記

愛杂志
www.aizazhi.com

SHOXX2010年3月号増刊

SHOXX INDEXX 2010

SHOXXが2009年に掲載した記事で構成されたアーカイブス

LM.C 23ページ

SHOXXのvol.192·194·195·196·197·201·202に掲載された"2008.11.24 高崎 club FLEEZ インタビュー""2009.1.17~18 渋谷 C.C.Lemon ホール レポート""ワールド·ツアー報告""Single『PUNKY♥HEART』インタビュー""2009.5.2 日比谷野外大音楽堂レポート""2009.8.30 新木場 CLUB COAST レポート""Single『GHOST†HEART』インタビュー"の各記事を再録

ナイトメア 50ページ/Plastic Tree 31ページ
ムック 28ページ/彩冷える 24ページ

オールカラー A4ワイド判 定価1,890円(税込)+送料340円

ARENA37℃ SPECIAL 2010年2月号(vol.66)

Alice Nine 巻末14ページ

2009.12.16 "WHITE PERIOD II (Part.2)" LIVE at 新木場 STUDIO COAST レポート、アフター·ライヴ·インタビュー、"冬休み"をテーマにインタビュー、ポラ日記

SuG 10ページ

パーソナル·ボディチェック·アンケート、メンバーどうしで他のメンバーの事を紹介する"他己紹介"インタビュー、クラッカーとケーキでプチお祝いショット

関ジャニ∞ 表紙+巻頭12ページ ON/OFF 8ページ
VANNESS 8ページ FTIsland 8ページ 超新星 6ページ
BUCK-TICK 6ページ Mnet PRESS vol.11

オールカラーA4ワイド判 定価980円(税込)+送料290円

SHOXX2009年11月号増刊

SHOXX glitter Pop No.1

アンティック-珈琲店- 表紙+巻頭12ページ

今想っている"様々な事"をA to Zアンケート

LM.C 6ページ

彼らのココロを改めて知るために、100問のアンケート

イロクイ。/ViViD/THE KIDDIE
SuG/ゾロ/トゥーン工場

特別付録・特大ポスター10枚付
みく/takuya/カノン/ゆうき/輝喜
LM.C/THE KIDDIE/SuG/ゾロ/トゥーン工場

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円(税込)+送料290円

SHOXX2010年1月号増刊

SHOXX glitter Pop No.2

SuG 表紙+巻頭12ページ

個々のキャラクターを紐解くA to Zアンケート

アンティック-珈[illegible]店- 6ページ

"もし~なら"をテーマにし[illegible]の質問イン[illegible]

彩冷える/THE [illegible]DIE/[illegible]ンセ[illegible]
トゥーン工場/「[illegible]」/[illegible](NE[illegible])

特別付録・特大ポスター[illegible]枚付
武瑠/masato/yu[illegible]/Chiyu/Shinpei
アンティック-珈[illegible]店-/彩冷える/THE KIDDIE/キャンゼル/トゥーン工場

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円(税込)+送料290円

SHOXX 2009年8月号増刊 創刊200号 記念特集号

ARTIST'S BOX SELECTION '09

(アーティストボックス·セレクション'09)

"ミュージシャンが作るページ"として、SHOXXでの人気コーナーを丸々この1冊に集約!!連載が終了している幻の連載や、現在連載中の人気コーナーが第1回から全てまとめて読めちゃう。更に過去に掲載された「Mission in ぼっくん」も、まとめてお届け

- ●ナイトメア「ZOZZY」
- ●柩(ナイトメア)「猫ふんじゃった」
- ●アンティック-珈琲店-「ピーポー君は役立たず」
- ●葵(彩冷える)「ヒナタごっこ」
- ●D'espairsRay「マニアの覗き穴」
- ●ヴィドール「ヴィドールの異端doll?」
- ●マコト(ドレミ團)「月刊少年マコトピア」

A4ワイド判132ページ 定価1,350円(税込)+送料340円

SHOXX 2009年6月号増刊

COLLABOXX Vol.1

(コラボックス)

SHOXXから飛び出したビックリ企画!! バンドの枠をこえてアーティストたちがコラボする夢の企画!!

- ●有村竜太朗(Plastic Tree)×逹瑯(ムック)×みく(アンティック-珈琲店-)
- ●YUKKE(ムック)×seek(Mix Speaker's,Inc.)
- ●逹瑯(ムック)×柩(ナイトメア)
- ●ギガフレア(仙台貨物)×キュー(アンジェリックカフィー)
- ●ナカヤマアキラ(Plastic Tree)×潤(ALvino)
- ●人格ラヂオ×heidi.
- ●他、企画満載!!

A4ワイド判164ページ 定価1,890円(税込)+送料340円

SHOXX2009年5月号増刊

SHOCK WAVE SELECTION 2009

2008年にSHOCK WAVEに掲載された記事からオイシイところをピックアップしたアーカイブ

the GazettE 巻頭36ページ

SHOCK WAVEのNo.8から「紅蓮」リリースインタビュー&フォトセッションを、No.11からルキ·パーソナル特集「穏やかな日常、狂気の感情とのハイコントラスト」を、No.14から「LEECH」と富士急コニファーフォレストで行われた野外ライヴのインタビューを再録

アンティック-珈琲店- 24ページ

SHOCK WAVEのNo.8から 2008.1.5 "NYAPPY GO AROUND FEVER" LIVE at C.C.Lemonホールのレポートを、No.13から「夏の思い出」インタビューをNo.15から「小悪魔USAGIの恋文とマシンガンe.p.」と横浜赤レンガ倉庫特設ステージで行われた野外ライヴのインタビューを再録

ムック 24ページ/LM.C 24ページ/D 15ページ
Mix Speaker's, Inc. 15ページ/彩冷える 15ページ

オールカラー A4ワイド判 定価1,890円(税込)+送料340円

Over The Edge

2008 Edition.1

Plastic Tree/ムック/メリー/LM.C/D'espairsRey
Mix Speaker's, Inc./ヴィドール/12012/heidi.
ギルガメッシュ/Sadie/Kαin/少女-ロリヰタ-23区/the studs

2008年12月31日に渋谷C.C.レモンホールで行われた一大イベント"Over The Edge 2008"を丸々この一冊に完全収録! 全14バンドが12時間に渡って繰り広げた白熱のライヴをパーフェクトリポート! バックステージでの超レア写真やスペシャル·フォト·セッションなど800点以上掲載! インタビューと面白企画も盛り沢山!!

A4ワイド判 116頁 ピンナップ付 定価1,980円(税込)+送料340円

HIDE 無言激

HIDEを愛したあなたに
HIDEと出会ったあなたへ
今、ここにHIDE永遠の閃光を贈る。
1992年に発表された伝説の写真集。

A4判142ページ 定価2,850円(税込)+送料450円
[仕様]A4版 全142ページ
[書籍コード]ISBN978-4-900343-32-0

hide BIBLE (OFFICIAL BOOK)

今だから語れるhideのすべて!

YOSHIKI·TOSHI·PATA·HEATHソロインタビュー全32ページを始め、hideと関係の深いアーティストや仕事仲間たち[George(LADIESROOM)·J(LUNA SEA)·Kiyoshi(hide with Spread Beaver)·SUGIZO(LUNA SEA)·I.N.A.(hide with Spread Beaver)·木村世治·t.o.L(LEMONedデザインチーム)·杉本圭司(バックステージプロジェクト)·山本広子(ヘッドワックス)]によるロングインタビューで今明かされる「hideの真実」全72ページ、さらにミュージシャン·関係者など60名以上の方々からアンケートに答えてもらった「hideリスペクトコメント」、hideの用語満載の「hide辞典」、カラー32ページの「hideフォトアルバム」、貴重なARENA37℃の過去の記事を全45ページに集大成した「hideアーカイブス」、hideの生涯をまとめた「ミニヒストリー」など、見ごたえ&読みごたえ充実のhide本決定版!

A5判260ページ 定価2,500円(税込)+送料290円

ARENA37℃ 2009年2月号増刊

PS COMPANY 10周年記念公演

Peace&Smile Carnival

at 日本武道館

2009年1月3日に日本武道館にて行われた、PS COMPANY 10周年記念公演「Peace&Smile Carnival」をあますところなく徹底取材! PS COMPANY所属の全バンドが出演した、1日だけの華麗なる競演をまるごと完全収録!
全アーティスト(雅-miyavi-·Kagrra,·Kra·the GazettE·アリス九號.·SuG·SCREW)の最新撮りおろしフォト、バックステージ密着レポートパーフェクトライブレポート、アフターインタビュー、オリジナル直筆メッセージ

オールカラー A4ワイド判 定価1,260円(税込)+送料290円

ARENA37℃ 2008年6月号増刊 ライヴ·ドキュメンタリーブック

the GazettE in YOYOGI

2008.4.19&20 国立代々木競技場第一体育館 "REPEATED COUNTLESS ERROR"をバックステージからライヴまでパーフェクトレポート!
2008.4.13 大阪城ホールのライヴもレポートして収録
さらに、撮り下ろしフォトや、ツアーアフターインタビューと盛り沢山な内容
9ヵ月に及ぶロングツアーの集大成がこの一冊に!!

オールカラー A4ワイド判 定価1,260円(税込)+送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合があります(在庫切れ)ので、御了承下さい。

お近くの書店にない場合は書店にご注文いただくか、または直接当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用、[illegible]
[illegible]たは郵便振替(口座番号00190-6-407846·加入者名㈱音楽専科社)にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を45[illegible]
[illegible]に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン·ローソン·ファミリーマートの各店[illegible]

宛先 ㈱音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL.03-3574-0201 FAX.03-3[illegible]

爱杂志 www.aizazhi.com

大島暁美の ロックンロール日記

×月×日

午前11時から、SuGの取材。全員がメイク完了で、撮影スタンバイOK！　この時間に、こんな完璧に準備できてるということは、いったい何時から準備を始めてたのかしら。なのに写真なしのインタビューで、ちょっと申し訳ない。

この日、武瑠くんはブルーのコンタクトを入れていた。インタビューに答える時、その碧い目でじっとこちらを見つめながらしゃべるので、ちょっとドキドキ。思わず取材が終わった途端、「そのコンタクトの色、すごいね」といったら、「えーっ、でも、普通に×××で売ってるやつですよ～」と、さらっといわれた。一緒にいた編集嬢が帰り道で、「あのコンタクト、わたしも気になりました。武瑠くん、すごい目力ですね」といっていた。なるほど、目力でふつーのコンタクトもあんなに威力を発揮するんだと、納得。

×月×日

THE KIDDIEの取材。毎回、ユニークな発言連発で、大いに笑わさせてくれる彼ら。この日も音源取材は真面目に、もう1本のネタものはワイワイと大騒ぎだった。いっつも思うんだけど、彼らにどんな質問をしても、必ずお酒の話になっちゃうんだよね。「バレンタインに何が欲しいか？」という質問には、全員揃って「つまみ」と答えるし、「失敗談」を訪ねると「悪酔い」「記憶をなくした」「二日酔い」と酒にまつわる話続出。「自分の国を作って、法律を決めるとしたら？」という奇想天外な質問にも、「ウーロン茶とかいわせない」「終電で帰るとかいわせない」とか、KIDDIEというバンド名からはかけ離れた答え続出で、それがまたとても面白い。

この日も大笑いのうちに取材を終えた後、そらおくんに「先月の原稿、メチャクチャ面白かったです。普通に電車の中で読んでて、思わず吹き出しちゃいました」と、いわれる。実は、わたしもKIDDIEのおかげで、夜中に原稿書きながら一人で笑ってるあやしい人になってるんだよ～。

×月×日

午前中から六本木で、SuGのmasatoくんの取材。その前に、六本木ヒルズの隣にあるH学校で撮影していたmasatoくんは、待ち合わせ場所にメイクしたままで登場した。そのままカフェで、パーソナル・ヒストリー・インタビューをスタート。そのあと、驚愕の事実が次々と発覚することは、この時には予想もしてなかったのだが……（笑）。

masatoくんがhideちゃんをすごく好きなのは知ってたけど、じっくりと彼の今までの軌跡を聞いて、ビックリ。だって、masatoくん、hideちゃんを敬愛するあまり、hideちゃんと同じ学校に通ってたんだって～！　それが、撮影が行われてたH学校。「うっそー！、ホントなの？」とビックリしてるわたしに、「本当ですよ～。早くこの話を、聞いてもらいたかったんです」といつものほんわかな笑顔でニコニコ。真面目に学校に通っていた優等生だったから、卒業した後も先生たちと仲良くて、撮影にも協力してくれるんだって。すごい、筋金入りだね。ホント、ビックリした。約2時間の取材時間中、何回「えーっ、全然知らなかった。ビックリ！」を連発したことだろう。

インタビューが終わって、「インタビュアーが大島さんじゃなかったら、ここまで話せませんでした。hideさんの話は全部わかってくれると思ったから、今日はチャーターしたんです」といわれた。そっか～、わたしはチャーター便だったのね（笑）。それから、「苺ポッキー無銭飲食事件」の話などされちゃって、ちょい焦る。すっかり記憶のかなたに埋もれかけていた数々の珍事件も、この日記に書いた以上、読者のみなさんの記憶の中には、ちゃーんと残ってるということなんだね……と、あらためてペンの力を痛感した。（苺ポッキー無銭飲食事件の顛末を知りたい人は、ロックンロール日記第一巻を読んでね）

hideちゃんの遺伝子がこんな風に育っているんだと思ったら嬉しかったし、masatoくんがそこから自分の道を見つけて歩み始めているのも素敵だなぁと思った。楽しい取材だったよ、ありがとう～！

×月×日

La'cryma ChristiのFINALライヴ。いただいた席が、なんと一階のPAの横。一階席でライヴを見るのは、すごく久しぶりな気がする。わたしの横には、Kraの景夕くんがいた。アンコールのとき、「こっちからステージを見ることって、少ないんじゃない？」と尋ねたら、「初めてです。いっつも向こう側から、見てるから。（ステージが）こういう風に見えるんだってわかって、新鮮です」と話してた。

ライヴが終わって席を立ったら、ササブチヒロシくんにばったり遭遇。「楽屋って、どこから行くんですか？」と聞かれたので、「こっちだと思うよ」と答えたら、「CCレモンに来たことは何十回もあるけど、（楽屋に）こっち側から行くことってないので、行き方がわからない」といってる。たしかに、出演者だったら楽屋口から入って楽屋口から帰るから、客席側の様子はよくわからないよね。

奇跡の復活劇を終えたLa'cryma Christiのメンバーはみんな、バックステージでホッと一息という表情をしていた。楽屋に挨拶に行ったら、TAKAがMCにこめた想いを熱っぽく語ってくれた。とっても真剣で、なんだか取材みたい雰囲気だったよ～（笑）。帰り際、「バレンタインのチョコレートは？」と聞くので、「あ、ごめーん」と笑ってごまかしたら、テーブルの上にあったケータリング用の一口チョコを「じゃ、逆チョコ」といって、一つくれた。TAKAさま、ホントにお茶目だな。

×月×日

AliceNineに、シングル集「Complete Collection」のインタビューをしたら、どんどん話がそれて5人の単なる思い出話みたいになってしまった。「あのぉ、これ、取材なんですけど」「そろそろシングルの話に戻りたいんですけど」と何回か軌道修正しようとするものの、すぐ友達が集まっての懐かしトークに戻ってしまう。彼らには、テーブルの上にドン！と置かれたいまどき珍しくアナログなテレコが目に入らないのだろうか……（涙）。

×月×日

The LEGENDARY SIX NINEの撮影と取材。インタビューしているうちに、二人の大好物がウニだということが発覚！　どちらも相当好きらしく、ウニ談議に花を咲かせている。HAKUEIくんは、本当に美味しいウニを味わいたかったら、軍艦巻きよりも普通の握りのほうがいいと力説してた。軍艦巻きにすると周りの海苔が、せっかくのウニの味を殺してしまうんだって。たしかに、それは一理あるかも。今度、お寿
司屋さんに行ったら、ウニの握りを握ってもらおう。

nudie.com

×月×日

とーっても寒い日。都内某所で、Visual-kei DVD
Magazine Vol.4のトーク・シーンの撮影を行った
今回のBijuの相手は、番外編にも登場してた猫パペッ
トのりだことめたこ。声と操りを誰がやっているのか
というと、名前から簡単に想像がつく通り、ニンジャ
マンジャパンのLidaとメタルくん。二人ともすごく器
用で、パペッターとしても仕事ができるくらいだった
よ。

でも、撮影環境が劣悪で、3人で並んで机の下にも
ぐりこみ、腹筋の力で半分起きてるという非常に無理
な姿勢で、収録を行った。しかも、その部屋のエアコ
ンがあまり効かなくて、超寒いの！　メタルくんが
「なんだか眠くなってきた」といったら、Lidaくんが
「冬山で凍死する時って、こんな感じなんでしょうか
ね？」って答えるくらい、寒かったよ～！　でも、頑
張ったおかげで、楽しいトークシーンが撮影できたの
で、是非、たくさんの人に見てもらいたいな。

☆Visual-kei DVD Magazine Vol.4
-V-ROCK SPECIAL-（DRS-008、3900
円）3月31日発売

V-ROCK FESTIVALのきっかけとなった海外向
けDVDシリーズが、国内でも販売開始。SHOXXに
載ってるバンドばかり（笑）14組収録。各バンド2曲
ずつ、全90分で見応え十分！

収録バンド/・DaizyStripper・アヲイ・
BOUNTY・イロクイ。・アンド・ニンジャマンジャ
パン・heidi.・ベルベット・トゥーン工場・OZ・
【_Vani;lla】・Aoi・exist†trace・ダウト

各バンドへのインタビュー、会場の様子、サイン会
やフォト・セッション、ファッションショーも収録。

愛杂志
www.aizazhi.com

―アルバム全体のコンセプトは何か考えましたか。
みつ：フルアルバムなんで何の出し惜しみもせず、完全なもの、出来る最高のものを出そうと。一個も妥協しないものにしようっていうことだけを考えました。
―そこで、『LIMIT』というタイトルは、意外な言葉じゃないです？
みつ：いろんな意味があるんですけど、ひとつ言いたいのは、限界って、誰も知らないと思うんですよ。それって何だろうって追い求めて行けば、何かが見えるのかなって。今の自分達ができる最大のものが知れたらなってことで、タイトルにしました。
―他の皆さんは、どの様な作品にしようと意識して、プレイに臨みましたか。
華遊：13曲なんで、ギターは各々に色を出したいと思って。エフェクターをいろいろ使ったりして、やっちゃいました（笑）。
みつ：暴れたよね。
華遊：（照笑）ちょっと背伸びして頑張りました。プラス勉強にもなったんで、すごい成長できたなと思います。
みつ：ギター隊は、デジタルにノる感じだったんですけど、今回のアルバムでは、ノっかるだけじゃなくて、先導するようになって、成長したなって感じましたね。
―それはタクミ君も？
タクミ：僕は、機械から人間になったと思います。ピッキングのニュアンスが徐々に人間に近づいて行ってるんですよ。それが成果かなって。喜怒哀楽を意識して弾いたつもりです。
―各々の楽器の音が出て、バンドっぽくなった感じですよね。
ヒィロ：もともと同期を主体にするっていうコンセプトはあったんですけど、どこまでその同期に人間っぽさを近づけるかっていうぐらい、逆転した感はありますね。ギター隊のキャラクターがはっきり分かれて来たんで、同期のノせ方も変わりましたね。各自美味しいところがわかるようになって来たんです。同期と生楽器の駆け引きがすごい出来てると思います。
―ベースはいかがです？
ヒィロ：僕が曲を作ってるんで、どこにベースを入れればいいかわかるし、皆の中では僕が一番控えめですね。
―ドラムもかなり主張してますもんね。
Яe-：本当ですか？　全く主張してないと思うんですけど。
みつ：いやいやいや（笑）。
Яe-：シンプルに、シンプルに。
みつ：いやいや、1曲目からいきなり主張しまくってるじゃん。
Яe-：あれはヤバイ（苦笑）。音で主張しまくってます。
―1曲目の「壊れた夜、並べた嘘」は、特に意外な印象でしたね。
みつ：アルバムを聴いて、あれ、ニュー？って思われたかったんです。見事にそれをドラムが出してくれたと思いますね。皆満場一致で、これを一曲目にってなったんで。
タクミ：これはとにかくテンポが速かったんです。キメもいっぱいあって、ギター泣かせの曲だなって。
華遊：ツインギターっていうのを意識して作りました。タクちゃんのギターがいい接着剤みたいな感じなんですよ。僕がヴォーカルと一緒に歌って。ちょっとしゃしゃってるんですけど（照笑）。
―各々の主張が上手く出たと。
みつ：それでいいものが出来たんだと思います。半年間で一番変わった部分じゃないですかね。
ヒィロ：特にこの曲は一番最後にレコーディングしたので。
みつ：今までの中で一番最高出来です。
Яe-：特にイントロのギターが本当にヤバくて。そこは注目して聴いていただきたいですね。あと、ヴォーカルも、俺が待ってた感じなんですよね。みつ君と言えば、僕のイメージだとこんな感じなんですよね。だから、やっと期待していた感じが現れたなって。
みつ：[illegible]機械から人間になれました。
―タイトル曲の『LIMIT』も、キャッチーなメロディーと疾走感が印象的ですよね。
みつ：[illegible]この曲をA面曲、シングルとして出せそうだなって。それは作る上での絶対[illegible]。でも、Bメロのギターは最強だよね。歌も聴いてほしいけど、そのギター[illegible]も聴いてほしいし。
―[illegible]ギターですよね。
華遊：[illegible]の曲は凄いシンプルなんですよね。なので、やっぱり「壊れた夜、並べた嘘」のギター[illegible]しますね。
―[illegible]
みつ：[illegible]って[illegible]ときは、これが最高で、もうこれ以上できないって思うんですけど、次の曲を録るたびにこれ最高って思うんで。
ヒィロ：「LIMIT」は4ケ月ぐらい前に録ったんで、今録ったらまた変わると思うし。
―アルバム1枚の中にも、進化してる過程が入ってるような。
みつ：シングル曲もいじってますからね。音のバランスも同期も全部変えてるんです。ぶっちゃけ俺からしたら、全部が新曲なんですよ。
―その中でも、バラードの「想」は新しい色が出せたんじゃないですか。
みつ：これは大変でしたよ。この5人になってバラードは初めてなんで。
ヒィロ：泣きそうでした。みつ君に電話して、ダメだぁって。
みつ：スケジュールもきつかったんで、バラード入れるのやめようかって言ってたぐらいだったんです。
―すごく重厚なバラードに仕上がってますけど、ニューの考えるバラードのイメージというのはこういう感じ？
ヒィロ：これはヴォーカル主体のバラードですね。Яe-ぽんと俺が最初にみつ君を観に行ったときのライヴで、バラードを聴いた印象が強かったんですね。
Яe-：そのとき、バラードが超よかったんです。熱い感じが合うんで、この曲も、みつ君のためのバラードですね。
みつ：俺が一番美味しいですね（笑）。自分の中では、幸せでよかったねっていうバラードは聴きたくないし、自分の弱い部分を歌ったんで、綺麗な感じじゃないんですね。でもそれが一番伝わるかなって。これは完全に皆が俺の引き立て役の曲です。
ヒィロ：みつ君以外、歌えない曲ですね。それぐらいみつ君のこと考えて作ったんで。そのわりにドラムも出てるけど。
Яe-：（苦笑）
―ここでしっかり聴かせる流れから、次の「Real xxx」でまた明るい展開になって。
ヒィロ：明るく見せかけてる展開ですね。
みつ：「Real xxx」では、すごいドロドロしてる感情を書き綴ったんですね。初めてこれだけ集中した期間で歌詞を書いたんで、最後のほうは、自分の中にあるものしか出て来なかったんですよ。すごい綺麗に書いてるんですけど、本当の意味を汲み取ってくれたらなって思います。
―曲調は明るくて開放的[illegible]すけど、実は…みたいな。
ヒィロ：エグイ曲が作[illegible]ニューっていうバンドのカオス[illegible]出せればいいなって思って。
華遊：この曲はヒィロさん[illegible]ムの中で一番同期を使って[illegible]ですね。メロディーとかリズム[illegible]んで、そこは崩さないで遊[illegible]
Яe-：このサビのヒィロ[illegible]小室さんかって言うぐらいで[illegible]
一同：（笑）。
ヒィロ：僕が一番好きなエイ[illegible]系のね。僕の好きなところが丸出しです。でもドラムはすごい目立ってるなって。
Яe-：（苦笑）。
―今回のドラムは、音自体が目立つようになってるんですか。
Яe-：叩き方とか全てを変えたんで、今までの僕だったら絶対出ない音が入ってるんです。
みつ：別人みたいになってるもんね。
―そしてアルバム最後は、「START」で明るく前向きに終わります。
みつ：自分達のこれから先のヴィジョンって言うか、ここからうちらの先の道をっていうイメージでしたね。これも録ったのは前なんですけど、そのときには最後の曲って決まってました。
ヒィロ：「LIMIT」と「START」は同じ時期に録ったんですけど、アルバム制作のためのレコーディングはその頃からだったんで、軸はその2曲なんですよ。「LIMIT」っていう代表曲と、「START」っていう俺らの未来を暗示する曲を持って来て、それに他の曲が交わって行った感じですね。
みつ：その2曲で軸はぶれないっていう自信があったんで、あとは好き勝手やろうって。だから、ドラムもギターもベースも歌も、曲作りも、いろいろ出来ましたね。4ケ月連続でシングルにして出せるぐらい。本当にいいものが作れました。
―発売後には、東名阪でワンマンライヴがありますが。
みつ：ライヴに関しても自信があるんで。
―O-WESTも自信を持って臨めそう？
華遊：「ピンクマーブル」で弾けます。
みつ：ギター置いて（笑）。
ヒィロ：全く不安はないですね。むしろ楽しみしかないです。

完全に皆が俺の引き立て役!!

4月7日に、フルアルバム『LIMIT』をリリースするν。同期を取り入れつつ、バンドサウンドと上手く絡め、νとしてのサウンドをより進化させた充実の内容に、メンバーも自信たっぷりの様子。満足そうな表情が印象的なインタビューとなった。発売後には、東名阪でワンマンツアーも決定、ツアーファイナルを4月27日に渋谷O-WESTで迎える。進化し続ける彼らから目を離すな。

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

νNEU

蝴蝶网
hudie.com

2010年春。今みんなで限界点を超えて行こう!
最新アルバム『LIMIT』ドロップアウト!!

Interview:MIYUKI MURAYAMA

爱杂志
www.aizazhi.com

ViVi

イヴ×Ko-ki

ViViD

TWINS

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Illustrator:NORIAKI ISHIMATSU(Keisyo Office)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:KAYO INOUE

蝶园 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

強個性の融合

3月30日にLIQUIDROOM ebisuにて行われる、自身2度目となるワンマンライヴ『SIGNET TO THE FUTURE』がソールド・アウトするなど、今や、飛ぶ鳥を落とす勢いで、メキメキとその頭角を現してきているViViD。今回は、そんな今ノリに乗っているViViDの、Ba.イヴ&Dr.Ko-kiのリズム隊コンビにスポットをあて、彼等らしいフォトセッション&バンド内対談を行いました！ 普段のインタビューでは伝えきれなかった2人の魅力が満載です！

蝴蝶 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

――最初に会ったときの印象、お互いに憶えていますか？

Ko－ki：めちゃくちゃ憶えてますね。ライヴハウスだったでしょ？

イヴ：俺は、前のバンドでドラムを探してたんですよ。2、3年前って、華のあるドラマーがなかなかいなかったんですけど、髪の毛真っピンクなKo－kiを見つけて、"この人いい！"って思って。そうしたら、そのときKo－kiと俺のバンドが、たまたまライヴで一緒になって。そこで話そうかなと思ってたんですけど、その日がKo－kiのバンドの初ライヴで（笑）。

――さすがに話しにくいですね。

イヴ：そうなんですよね。でも、そのとき話しはしなかったんですけど、いつの日かのために連絡を交換したんですよ。

――未来への道筋をきっちり作っておこうと。なかなかの周到さです（笑）。

Ko－ki：はは。あの日だっけ、アドレス交換したの。

イヴ：そうそう。俺は基本的に、同年代のバンドと仲良くしようっていうスタンスではなかったけど、珍しく話しかけて。

――Ko－kiさんは、あまり人見知[illegible]そうですね。

Ko－ki：しないですね。俺は。そ[illegible]ヴと俺は真逆だと思います[illegible]。俺は当時、イヴのことは見[illegible]るなっていう感じの認識だっ[illegible]た。でも、対バンしたライヴ[illegible]ヴィ！"って。すごくカッコ良[illegible]ったんですよ。歳も近いって訊いて[illegible]れはツブさないとダメだなと[illegible]

――[illegible]パートじゃなくてもですか？

Ko－ki：いや、同じバンドのメン[illegible]なければ、俺にとってはライバ[illegible]んですよ。だから、将来自分の組[illegible]になりうる存在は、若いうちに芽を[illegible]ておかないと（笑）。そのころは10代のバンドマンが活動フィールドに全然いなかったから、歳が近いっていうだけでメラメラ燃えてましたからね。

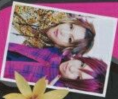
――じゃあ、アドレス訊かれたときは警戒したんじゃないですか？

Ko－ki：突然訊いてきたから、思いっ切り警戒してましたね（笑）。でも、敵に回したら怖いけど、味方につけたら強いなって。だから、そのときやってたバンドがもし解散したら、一緒に組みたいなとは、漠然と思ってましたね。

――かなり鋭い先読み具合。2人とも似た者同士のようですが…それ以降、どう距離を縮めていったんですか？

Ko－ki：最初はまったく連絡し合わなかったよね。

イヴ：たまにKo－kiが電話かけてくるけど、"今度主催イベントに出てくれない？"とか、話すことっていったら業務的なことだったよね。で、俺が前のバンドを脱退するのとKo－kiのバンドが解散するのが、たまたま同じタイミングで。そこから、"じゃあセッションでも一緒にやろうか"っていう話になって、どんどん仲良くなっていきましたね。



Ko－ki：初めて一緒に遊んだのが、新宿のミ○タードーナツだったよね。"曲聴いてよ"って聴かせてもらったら超良い曲で。好きなドラマとか一緒で、"プリズン・ブレイク"の話で超盛り上がってね。あれはもう、デートだった（笑）。趣味が同じだし、感覚とか趣向が似てるから、そこから一気に仲良くなって。

――カッコイイとか面白いと感じるツボが一緒なんですね。

Ko－ki：そうなんですよ。で、どっちもこう見えてガッツリした肉食系なんで（笑）。動物同士だったら相当いがみ合うのかもしれないけど、仲間になったら団結するんですよね。

――で、実際一緒に音を出してみれば、どう感じました？

イヴ：[illegible]その頃は、そういうことは考えてなかったかも（笑）。

Ko－ki：うん、そうだよね。

――でも、プレイヤー的に相性が悪ければ絶対に違和感は感じているでしょうけど、それがなかったわけですよね。

Ko－ki：確かに、相性悪いとは思わなかったよね。

イヴ：うん。お互いまだ10代だったけど、同年代のドラマーとセッションすると…結構ヤバイんですよ（笑）。でも、Ko－kiは年の割にすごく叩けるなって思ったし。

――それは、逆もまたしかり？

Ko－ki：そうですね。近い歳のベースがそうそういないし、いたとしてもフラフラしているというか…本気で売れようと思っている人しかいなくて。でも、イヴに話を訊くとスゴイなって思えたし、彼は当時から人気もありましたからね。

――そういう原点から今に至るまで、関係性はどう変わってきました？

Ko－ki：最近は、一緒に頑張ろうぜっていう気持ちがすごく強いですね。前までは見栄えとかヴィジュアル面での団結が強かったけど、そこはもう大丈夫だから、音でもっと絡んでいこうってね。

イヴ：曲に関しても、自分のフレーズを作るのにKo－kiのスネアとかキックとの絡みを1個1個気にしていく度合いが、昔より断然に増してて。フレーズが絡まってると気持ちいいなって思うし。

――良い形で、リズム隊としての関係性を深めることができていると。一方で、お互いに意外な表情を見つけることも？

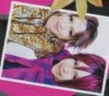
Ko－ki：一番ビックリしたのは、力が強いことかな。お互いにカワイイ系のハズなのに、思いの外力が強くて（笑）。

――イヴさんはもともとボクシングをやっていただけに、力が強いんでしょうね。

イヴ：そうだと思います。

Ko－ki：腕相撲したんですけど、こんな細いのにすごい力があるな、カッカッとなって（笑）。俺、いろんなヴィジュアル系のバンドと腕相撲して、1回も負けたことないのに。初めて引き分けましたからね。イヴも同じらしいんですけど。そこでさらに団結してね。

イヴ：うん。俺が驚いたのは、Ko－kiが意外とマメってことかな。ViViDになる前に、2人でユニットを組んでたんですけど…



DVDを使ったりしてね。他が率先してやってはいたけど、"あれやった？"とかマメに言ってきてくれましたから。今も、ブログもマメに更新してるし、他のバンドのこともよく調べてるんですよ。

Ko－ki：同じ系統のバンドの動きは、全部チェックしてますからね（笑）。

イヴ：大体のバンド情報は、Ko－kiに訊けばわかります（笑）。

――そんな2人的には、ViViDを今後どんなバンドにしていきたいですか？

イヴ：音楽的には、何でもアリじゃないですか。だから、それをもっと何でもアリにしたいなって思います。

Ko－ki：で、カッコイイバンドにしたいよね。1を5つ足して5になるんじゃなくて、10にしたい。1人1人で見たらバラバラに映るかもしれないけど、それがウマくまとまれば強いと思うんで。そういう統一性は、いつも意識してます。

――5人いるからこその[illegible]でしょうけど、だからこそ[illegible]絶対にあるでしょうしね。

Ko－ki：ホントそうで[illegible]バラバラなんで難しい面[illegible]（笑）。考え方を変えれば[illegible]るし。

――その中で、リズム隊[illegible]ている理想はありますか？

イヴ：リズム隊に見え[illegible]ヴォーカルみたいなリズ[illegible]いてですね。最初にバン[illegible]ヴォーカルよりも目を引[illegible]いなって（笑）。

Ko－ki：地味にはなりたくないよね。

――そこは…この2人ならどうやってもならなさそうではありますけど（笑）。

Ko－ki：でも、やっていくうちに落ち着いていくんですよ。考え方とか見た目とか、昔は派手でもだんだん落ち着いていくパターンって多いですけど。最近、なるほどって思って（笑）。見た目が落ち着くっていうのは、バンドが音に対して全身全霊を注ぎ込んでいくからこその変化なのかなって。俺も、もっとドラムがウマくなりたいとか、演奏に集中しようと思うのに比例して、見た目が落ち着きつつあるんで。でも、それをどこかで保てたらいいんじゃないかとも思うし。

――見た目もプレイも隙なくカッコ良ければ、確かに最強です。

Ko－ki：簡単には辿り着けない領域なんですけど、そこを目指したいなって。

――という理想がある上で、お互いに望むのはどんなことですか。

イヴ：演奏も大事だけど、今までみたいな派手さ[illegible]そういうとこ[illegible]カッコイイ[illegible]思います。

Ko－ki：[illegible]とは。[illegible]す。一緒に[illegible]目も常に新し[illegible]て。それは、[illegible]ホント、どの[illegible]カッコよくあ[illegible]

(株)PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福3-41-9-2F

爱杂志
www.aizazhi.com

カノン
（アンティック-珈琲店

D

アンティック-珈琲店-活動休止後、ついに…したカノン。そして、フル・アルバム『7th Ro…リリースするDが登場です!!
他では観ることができないSHOXXの撮影の…をムービーで大公開!!

■SHOXX撮影メイキング『撮影秘話』の他に…待ち受け画像など、オリジナルコンテンツを配信…

メガマソ／ゾロ／愛狂います。／アン… DELUHI／TOON-FACTORY／et…

音楽専科社公認公式携帯サイト

http://mobile.ongakusenka.…

音楽せんか♪

ARENA37℃ SHOXX ARENA37℃ SPECIAL

月額315円の会員になれば、待受け取り放題!! ムービー見放題!! さらに、発売前の音源の試聴、ライヴスケジュールやイベント情報も…ほか…コンテンツを配信しています! 詳しくは携帯からアクセスしてね★

ARENA37℃、SHOXX、ARENA37℃ SPECIALと連動した撮影メイキングムービー『撮影…は必見! 普段見ることの出来ない雑誌撮影の裏側をムービーにて配信中!! 次々と更新され…ムービーを見逃すな!!

蝴蝶网 hudie.com

SHOXX×びじゅけい ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪ http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾! ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね!→→→→

びじゅけいpresents 東名阪イベント 第7弾開催!
「Revolutions」- 四面楚歌 TOUR 2010 -

★5.9(日)高田馬場AREA

★4.3(土)名古屋ハートランド ★4.4(日)大阪ミューズ ★4.28(水)高田馬場AREA

ALiBi/ダウナー/カル・ヴァリ/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】/ Arc/DragonWAPPPPPPER/えんそく/ClearVeil/Dali

チケット好評発売中！

TMR電子書籍1月より配信決定!!

詳しい配信スケジュールの詳細は音楽専科社の WEB ページまで

ARENA 37℃ SPECIALにて撮り下ろしたグラビアのアナザーカットを配信!

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック「SHOXX FILE ナイトメア Edition1」がケイタイ書籍になったよ！

～グラビア登場店 P… モバブ…

QR コードからアクセス!

爱杂志 aizazhi.com

Innocent

僕らの想いを歌にして…

昨年は、連続リリースを試みるなど、積極的にTOON-FACTORYの音を世に送り出してきた彼ら。そんな彼らが、2010年初となる音源をリリースする。待望の音源はなんと、ミニアルバム。そのタイトルは『innocent』だ。前号のインタビューでは、"今回はちょっと暗めなアルバムになるかも"と語っていた5人。彼らから届けられる『innocent』を、いち早く紐解いていくとしよう———。

Photography:MASAKAZU KOBAYASH(SHOXX)
Interview:NAOKO TAKEICHI

——今回のタイトル「innocent」に込められた意味は?

ひかる：今回、少しイメージを変えてみようと思い、衣装とかも、いままでのキャッチーでポップなモノから、ちょっと暗めなモノにしてみたんですが、そことの繋がりもあるんです。イメージを変えるということは、0になるという意味もあると思い、純粋とか無垢という意味を持つ「innocent」を思いついたんです。

夢叶：ちょっと暗めなアルバムにしようっていう話し合いを持った後で曲作りに移ったんで、リフを暗めにしたり、テンポをいつもよりも遅くしたり、いろいろと工夫しましたね。今までの自分にはなかったチャレンジをしたこともあって、産みの苦しみを味わいました。

雫：暗めとは言っても、そっちばっかになっちゃったんじゃ面白くないし。バランスを考えながら作ったかな。個人的に「Re:write」が気に入ってるんですよ。

——「Re:write」は、むしろ、アルバムの中で、1番いままでのTOON-FACTORYのイメージに近いんじゃない?

雫：そうかも。暗い曲を作りたくなかった訳じゃなくて、同期の入った曲じゃない、ピアノとか、生音を大事にした曲を作りたかったんすよ。だから、そのへんをこだわって時間かけて作ってった感じ。

——なるほど。「イノセント」も雫曲だけど、ラップが入っていたり、コーラスが印象的だったから、こういう曲を押出していきたかったのかと思ったから意外。

雫：人はね、真っ白な自由帳に絵を描き始める訳ですよ。曲作りもそれと同じ。

レガ：なんだ!? いきなり授業か!?

雫：何もないところから、何かを生み出していく方が好きなんす、俺。形あるモノや、何かヒントがあるところを土台にモノを作っていくことに、あんまり興味持てなくて。同期を入れるとどうしても同じような印象になるから、あんまり好きじゃない。それに、今回の5曲は、僕の考えとしては、喜怒哀楽になってると思ってるんです。まず、喜怒哀楽の最初の【き】って、気合いじゃないですか。

——違うけどね。

一同：喜怒哀楽の【き】は【喜ぶ】だよ。

雫：いや。俺ん中の【き】は【気合い】の【気】なの(キッパリ)。喜怒哀楽の最初だよ! 最初は気合い入れてかないと。だから、気合いの気。そんなこんなで「イノセント」は気合い曲なんです。

ひかる：今回のミニアルバム、最初のインスト曲除いても5曲あるから、喜怒哀楽じゃ収まんないんだけど……(苦笑)。

雫：収まる収まる。夢叶くんの作った2曲めの「DEVIL'S INVITATION」と3曲目の「Sarcastic story」は、ダークでヘヴィなイメージなんで、怒り。で、4曲目の「キミを探して」は哀愁帯びた曲だから、まんま哀。で、ラストの「Re:write」は、ほら、ごらん。前向き曲なんで、楽なんですよ。ほらね。

ゆーいち：最初の【気】以外の怒哀楽は正しかったね(笑)。

雫：人は万物、喜怒哀楽ですから。以上す。

レガ：説得力あるんだかないんだか…。

爱杂志 www.aizazhi.com

hudie.com

TOON-FACTORY

でも、暗めなアルバムにしようっていう話し合いをしてから、まず最初に夢叶くんが曲を作りはじめて、コンセプト通りに暗めの曲を作ってきてくれたので、アルバムにしたときのバランスを考えて、雫くんが曲を書いてきてくれたって感じでもあったんで、バランスはすごくいいと思いますね。【気怒哀楽】になってたとは、僕も今、初めて知りましたけど（笑）。

ゆーいち：僕も上がってきた曲を見て、"なるほどなぁ。"って思いましたね。コンセプトを立ててたから、新しい方向にはいってるんだけど、夢叶くんの曲は夢叶くんっぽいし、雫くんの曲は雫くんっぽいし、すごくいいバランスだなと思いましたね。僕も1曲、夢叶くんの家まで行って、一緒に頑張って作ったんですよ。夢叶くん、すっごい頑張って30曲くらい作ってきてましたからね。すごい頑張ったと思いますよ。今回。雫くんも頑張ってたし、心打たれましたね。

夢叶：はい。頑張りました！我武者らに作りましたからね。でも、コンセプトがあったからすごく煮詰めやすかったですけどね。ちなみに、ゆーいちくんと一緒に作った曲はボツになっちゃいました。

ひかる：「Sarcastic story」は早い段階で決まりましたね。みんな絶賛してて。

――雫が【怒】で括っていた「DEVIL'S～」と「Sarcastic～」のアウトロとイントロの流れの良さは、すごくいいと思ったよ。「DEVIL'S～」はとことんディープに押し切られる楽曲だけど、「Sarcastic～」は、イントロはディープだけど、唄が入るとメロディアスな展開になっていくっていう、その構成も、すごく良かったよ。

夢叶：そう言ってもらえると嬉しいです。とにかくディープにディープにって、ずっと頭ん中で唱えながら作ったんで。

レガ：素直だなぁ夢叶くんは。かわいい。

――（笑）。「DEVIL'S～」の、2回目のAメロのドラムアピールもよかった。

ゆーいち：へぇ、あんなとこ好きなんすか？　マニアックですね（笑）。

夢叶：「DEVIL'S～」はマニアックに聴ける曲でもあると思います！　ギターは、ディープなロックが好きな人たちに、ストレートに響くように、解りやすくハードにしてみたりもしたんで、きっと好きになってもらえるんじゃないかなと。

ひかる：歌詞は、意味を重視したというより、曲の勢いに乗ったときに、すんなりと耳に入っていくように心がけました。ちょっと現実的じゃない世界にも思える歌詞世界を意識しましたね。

――今回、構成面もすごく考えて作られてるけど、音色へのこだわりもすごく感じるよね。「DEVIL'S～」のイントロのギターフレーズと音色は、個人的にかなり好みだったし、「キミを探して」とかのギターのワウとか、トメ感のあるドラムとか、すごく良かったし。

雫：うん。ワウを作った時のバッキングのタイミングにすごく苦労したんすよ。

――クリアなギターは夢叶が？

夢叶：そうです。クリアな音色とワウの融合をすごく考えた曲でしたね。

――レガのベースの心地良い動きも絶妙だったしね、「キミを探して」。

レガ：やったぁ（喜）！　ベースフレーズもすごい考えたんですよ。雫くんが流れるような曲にしたいって言ってたんで、とにかくサビに盛り上がりを持っていけるように頑張って弾きましたね。

――サビ前のドラムも好き。

ゆーいち：やっぱ聴き方シブいっすね（笑）。相当マニアックっすよ（笑）。

ひかる：いいじゃん、こうやってインタビューに書かれてたら、みんなきっと気をつけて聴いてくれるよ（笑）。アジアっぽいテイストなんですけど、最初、初函がテーマな曲でもあったからだっていう（笑）、そんな裏話も面白いかなと。

――話の順番が逆になっちゃったけ　「a=Fake+√「1414_25&word－」」幕を開ける感じもすごいいいよね。工　をイメージする効果音の使い方もいい。

雫：でしょ！　そこだわった部分な　んすよ。昔からその音が欲しくて、や　とみつけて、今回音に加えられた　めちゃめちゃ頭使って曲作りました　70個以上のトラックを作って、ギター　とかも切ったり貼ったりして、デジ　ルロックをイメージした音作りをし　した。

ひかる：ちなみに、タイトルは読めません。特に意味もないんで（笑）。も意味ありげなとこがいいかなと思って。Tシャツのロゴになってもカッコイイんじゃないかっていう見た目のバランスも考えて付けたタイトルでしたね。

――「イノセント」の曲中にも破壊音が入っているところとの繋がりを感じるし。

雫：いいとこ気づいたね。

一同：超上からだ（笑）。

雫：まさに「イノセント」の長めのイントロというイメージで作った曲ですからね。気づいてもらえたのは嬉しいっす。

ひかる：歌詞は、好きな人と二人っきりで何処かに行って幸せな時間を過ごそうよっていう、僕が音楽を聴きたい理想の風景じゃないけど、落ち込んだときに、落ち込んだ原因を忘れられるような、そんな歌詞が書きたいなと思って書いた歌詞です。ラップはレガくんです！

レガ：頑張りました！　もともとラップを入れたいって雫くんから聞いてたんですよ。だから、覚悟は出来てましたね。まだまだちょっと照れがあるんですけど、ライヴでは、みんなが鮮になるように歌えたらいいなと。Bメロがラップになってるんですけど、ひかるくんの歌詞を受けて、リリック部分は、その歌詞をよりリアルに感じさせるような、台詞的な役割りになってるんです。個人的には、「Re:write」のメロディラップ的な方も気に入ってるんで、そこも注目してほしいですね。早くライヴでやりたいです。

ひかる：みんなもいっぱい聴き込んで、ライヴに備えてくれたら嬉しいなと思いますね。「Re:write」の歌詞が、ライヴでみんなにストレートに伝わっていくのを、早くみたいです！

●4/18高田馬場AREA（SHOCK WAVE アポロ）
（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102
http://www.toonfactory.jp/

愛杂志
www.aizazhi.com

的傷跡” を刻め・・・。

・静・名・三大都市 Short tour 決定!!

.16(金) 目黒鹿鳴館『TOUR-Deep sea a angel-【TOKYO】』

/START】16:00 / 16:30【ADV/DAY】¥2,800 /¥3,300(D 無)

ト】3/15より鹿鳴館店頭にて発売開始。3/16より電話予約開始。バンド予約有り。【問】鹿鳴館:03-3494-1801

.17(土) 浜松 FORCE『TOUR-Deep sea a angel-【HAMAMATSU】』

/START】16:00 / 16:30【ADV/DAY】¥2,800 /¥3,300(D 別)

ト】3/15 11:00よりAsh-LD50にて電話予約開始(お一人様二枚)。3/16よりチケット引換え、店頭販売開始。バンド予約有り。【問】Ash-LD50:053-451-3227

.18(日) HOLIDAY NAGOYA『TOUR-Deep sea a angel-【NAGOYA】』

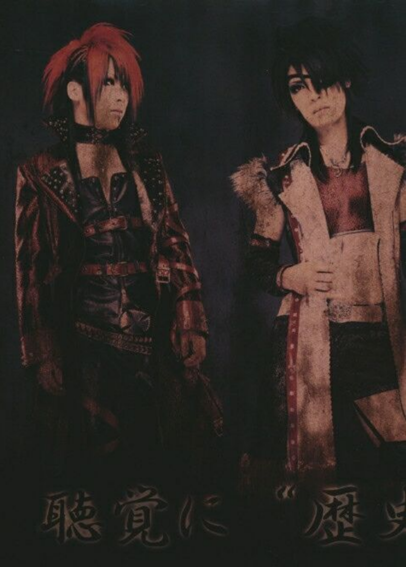
/START】16:00 / 16:30【ADV/DAY】¥2,800 /¥3,300(D 別)

ト】3/15よりCD HOLIDAY NAGOYA店、チケットぴあにて発売開始。バンド予約有り。【問】HOLIDAY NAGOYA:052-2

http://dizsoli

爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com



Live schedule

03 月 26 日（金）浦和 NARCISS
『桜咲く』
【OPEN/START】1600 / 1630【ADV/DAY】¥2,500 / ¥3,000(D 別)

03 月 29 日（月）高田馬場 AREA
URBAN MUSIC CREATE PRESENTS『TOKYO RIOT 2010』
supported by CROW MUSIC
【OPEN/START】1600 / 1630【ADV/DAY】¥2,800 / ¥3,300(D 別)

03 月 31 日（水）高田馬場 AREA
『HYSTERIC MEDIA ZONE』
【OPEN/START】1630 / 1700【ADV/DAY】¥2,500 / ¥3,000(D 別)

04 月 05 日（月）新宿 RUIDO K4
エゴ is 与徒主催『エゴイスティックカーニバル Vo.1』
【OPEN/START】1600 / 1630【ADV/DAY】¥2,800 / ¥3,300(D 別)

04 月 07 日（水）渋谷 CHELSEA HOTEL
PLATINUM NOISIC presents『absolute scream vol.1』
【OPEN/START】1500 / 1530【ADV/DAY】¥3,000 / ¥3,500(D 別)

1st maxi single「historical scars」先行発売!!
04 月 28 日（水）新宿 FUTURE NATURE VALVE
『CATEGORIZE type.19』
【OPEN/START】1600 / 1630【ADV/DAY】¥2,500 / ¥3,000(D 別)

1st maxi single 2010.05.01 Release!!

historical scars

完全生産 500 枚 / 4Tracks / DSCD-001 / ¥1,260(tax in)

【収録曲】
1.prayer(Instrumental) / 2.historical scars / 3.Children's Metamorphosis / 4. 輪廻

【取扱店】
・closet child 新宿店 (TEL：03-3365-6316)
・closet child 池袋店 (TEL：03-5985-5777)
・closet child 原宿店 (TEL：03-3403-4108)
・closet child 横浜店 (TEL：045-316-2181)
・closet child 相模大野店 (TEL：0427-47-1840)

【購入特典】
●会場物販：メンバーコメント CD & A2 ポスター
●closet child 全店：Live photo 仕様ポストカード ※予約者にはメンバーサイン入り

爱杂志
www.aizazhi.com

little HEARTS. ON LINE STORE OPEN!!
little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。
◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

蝴蝶网
hudie.com

little HEARTS.

インストアイベント

3（水）18時より
トーク&握手会
『SINGLE COLLECTION』
little HEARTS. にて
…の方対象。
チケット発券中

インストアイベント

3/27（土）18時より
握手会
『Cruel』を、little HEART.
にてお買上の方にイベント
チケットを差し上げます。

little HEARTS. SPECIAL 企画

第1、第3【日曜日】
スタンプ倍 Day

¥1,000→1 スタンプのところ
¥1,000→2 スタンプ！

little HEARTS.

---

little HEARTS.主催LIVEやっちゃいます！

MY little HEARTS.Vol3

2010.06.04(fri)HooK SENDAI

今年もやって参りました!!
昨年9月22日
Zepp SENDAIでのライブから9ヶ月。
ここまで沈黙を守ってきましたが、
遂に始動開始!!
選りすぐりのバンドに出演交渉中!!
仙台の2010年は熱いですよ。
little HEARTS.が皆様にお魅せ
いたしましょう。

次号では、もっともっと詳しく情報を。
乞うご期待!!

little HEARTS.

仙台貨物
トゥアー2009腐況の風

グッヅ販売中！！

仙台貨物『トゥアー2009腐況の風』グッヅ

★ラグランTシャツ	¥3,000	★マフラータオル（白）	¥1,500
★Tシャツ	¥3,000	★マフラータオル（赤）	¥1,500
★パーカー	¥4,500	★トレーディングカード	¥500
★ジップパーカー	¥3,800	★ヘアゴム	¥500

INSTORE EVENT REPORT

Sadie

…7 15時よりトーク&握手&サイン会を開催
…ました！今回も沢山のお客様にお越しいただ
…ました!12月30日にリリースされた「Gain」につい
…お話を伺うと、一曲でも欠けたらGainではない
…うお言葉が印象的でメンバーさん全員の思い
…ひしひしと感じました!!お客様からの質問コーナ
…では「どこからが浮気だと思いますか？」
…う質問に対して剣さんが一番熱く語って
…らっしゃいました☆沢山の質問に答えてくださり、
…しく盛り上がるイベントとなりました!!
…手会も終始和やかな雰囲気の中で行われ、
…事に終了しました！
…後も目が離せない!!Sadieの皆さんでした！

INSTORE EVENT REPORT

MoNoLith

2月22日15時より、MoNoLithのイベント
「1時店員イベント」が開催されました！
MoNoLithさんと言えば、little HEARTS.での
イベントに沢山いらっしゃってくれております
ので、もうベテランです（笑）。
お客様と終始和やかな雰囲気で、
1時間と言わずに大サービスタイムで
イベントを行っていただきました♪
メンバーの皆さんの接客、
そしてHAYATOさんの素早いレジさばき!!
お客様も大喜びのご様子でした！
MoNoLithの皆さん、
3/31にMINI ALBUM「fiction」リリース
です!予約受付中!!

INSTORE EVENT REPORT

平成維新

…月22日18時より、平成維新のイベント、
…ーク&握手&サイン会+ジャンケン大会が
…催されました！
…台初上陸の平成維新さんとだけあって、
…ベントには沢山のお客様にお越しいただきまし
…ジャンケン大会では、メンバーさんから素敵な
…レゼントもありました。
…してなんとイベント中にサプライズが…！
…イさんと善さんの誕生日が近いとのことで、
…客様からお二人にケーキのプレゼントです♪
…んな平成維新の皆さん、
…21には「Prism」がリリースされます!絶賛予約受
…中！

INSTORE EVENT REPORT

己龍

2月25日、18時より己龍のインストアイベント、「酒井参輝生誕祭企画　参輝プロデュース～笑ってはいけないインストア～」&握手会が、行われました!!沢山のお客様にご参加いただきました。メンバーが笑ってしまうと、酒井さんがすかさずジャッチ…が●使の効果音と共に容赦ない罰ゲームが次々とメンバーさんを襲いました♪
九条さん、二回もパイ投げを体験しておりました!little HEARTS.イベント史上初の出来事で、お客様も大喜び(?)でした♪

己龍
SINGLE 発売
水無桜

Aタイプ /¥3,675
Bタイプ /¥1,890
Cタイプ /¥1,890
通常盤 /¥1,575

little HEARTS.にて
インストアイベント開催決定!!

インストアイベント情報

(火)18:00	【THE KIDDIE】トーク&握手会
(土)18:00	【The LEGENDARY SIX NINE】握手会
(日)13:00	【ジュリィー】アコースティックライブ&トーク&握手会
(土)14:00	【DaizyStripper】握手&プレミアム抽選会
(日)	【MoNoLith】未定
(日)15:00	【イロクイ。】トーク&カメラタイム&握手
(月)18:00	【ダウト】トーク&握手&サイン会
(日)15:00	【Dacco】トーク&握手会
(火)18:00	【お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】】トーク&握手会
(日)13:00	【Mix Speaker's, Inc.】トーク&握手&サイン会
(日)18:00	【PIECE】未定
(日)14:00	【rice】ミニアコースティックライブ&トーク&握手会
(火)18:00	【己龍】トーク&握手&サイン会

little HEARTS.

little HEARTS.携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFFブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅よ…

爱杂志
www.aizazhi.com

蝴蝶网 hudie.com
爱杂志 www.aizazhi.com

銀座よろず屋本舗 仮想店舗『怖ノ元』

蝴蝶网 hudie.com

今月の目玉

■UNDER CODE PRODUCTION 7周年記念福袋
¥3,500【UCP-4】

【内容】
・所属バンドの音源、無料配布物、
グッズ等 25,000～30,000 円相当の商品を封入。
・オリジナル地下線袋付
・トレーディング DVD 一枚をランダム封入 (全七種)
(下記バンドのレアなリハーサル映像を収録。1曲+メッセージ)
1.Phantasmagoria 2.chariots 3.平成維新 4.ネガ
5.Dali 6.Megaromania 7.Arc

■地下線Tシャツ (M)
¥3,000【UCP-2】
■地下線Tシャツ (L)
¥3,000【UCP-3】

表 裏

■地下線御守り
¥1,000【UCP-4】

chariots

chariots 全国 TOUR「carnage opera」OFFICIAL BOOTLEG LIVE DVDR
■2010.2.14(日) OSAKA MUSE ¥2.000【UCA-54】
■2010.2.16(火) 博多 BEAT STATION ¥2.000【UCA-55】
■2010.2.17(水) 広島 NAMIKI JUNCTION ¥2.000【UCA-56】
■2010.2.18(木) 松山 SALON KITTY ¥2.000【UCA-57】
■2010.2.20(土) 名古屋 HEART LAND ¥2.000【UCA-58】
■2010.2.23(火) 仙台 HOOK SENDAI ¥2.000【UCA-59】
■2010.2.24(水) 新潟 JUNK BOX ¥2.000【UCA-60】
■2010.2.27(土) 高田馬場 CLUB PHASE ¥2.000【UCA-61】

chariots 現メンバーラスト東名阪ワンマン公演 OFFICIAL BOOTLEG LIVE DVDR
■2010.2.13(土) OSAKA MUSE ¥3.500【UCA-62】
「Final showdown OSAKA」
■2010.2.21(日) 名古屋 HEART LAND ¥3.500【UCA-63】
「Final showdown NAGOYA」
■2010.2.28(日) 高田馬場 CLUB PHASE ¥3.500【UCA-64】
「Final showdown TOKYO」

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック!! http://www.under-code.jp/

FRONT BACK

ネックレス・ストラップ・ヘアゴム etc…アレンジ多様
■アクリルスターチャーム
¥1,000【LAL-19】

neu

■シュシュ
¥1,000【LNE-2】

チェキ(メンバー選択可)
/タクミ/華遊/ヒィロ/Rel)
000【LNE-3】

ALiBi

■直筆サイン入り「キラ☆メキ未来」B2ポスター
¥1,000
【LAL-22】

■新ミ…
¥1,00…

MATION】〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-7 日栄ビル3階
LOOP ASH ホームページ→ http://www.loopash.com/

爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com

手ぬぐい ¥1,000【SNI-3】

写真 9-A ¥1,000【SNI-9】

写真 11-A ¥1,000【SNI-10】

ダウト

タオル
¥1,500
【SDO-22】

ストラップ（白）
¥1,200【SDO-24】
ストラップ（黒）
¥1,200【SDO-25】

Administrator

ライター
2個セット（白・黒）
¥800【SAD-2】

集合チェキ
¥500
【SAD-6】

写真 1-A ¥1,000【SAD-5】

Ap(r)il

メンバー全員入り
チェキ（4人）
¥1,600【SAP-13】

写真 2-A
¥800【SAP-11】

写真 2-B
¥800【SAP-12】

Speed-disk

※注意事項
＊バックナンバーの受け付けは
終了となりました。
＊今月号のグッズの締めきりは
4/21 到着分までとさせていただきます。

● SPEEDDISK のイベント

★ SPEED DISK PRESENTS
「桜華乱舞 TOUR'10」
・3/28 博多 DRUM Be-1
OPEN 17:00/START 17:30
前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：UnsraW/R 指定 / アヲイ /xTRiPx/Virgil

・3/30 名古屋 ell.FITS ALL
OPEN 17:00/START 17:30
前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：UnsraW/R 指定 / アヲイ /xTRiPx/
BugLug/Virgil

・3/31 大阪 FANJ twice
OPEN 17:00/START 17:30
前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：UnsraW/R 指 定 /spiv states/xTRiPx/BugLug/
Virgil/Lycaon

★ SPEED DISK PRESENTS「桜華乱舞」
4/20 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00
前売り \3,000/\3,500
Cast：Ap(r)il/SLOD/ 東京ミカエル。/Virgil/Vanish/
V-last 他

★ SPEED DISK PRESENTS～
「森羅万象 tour'10#2」
4月8日（木）名古屋 E.L.L
4月9日（金）大阪 BIGCAT
4月10日（土）岡山 IMAGE
4月12日（月）鹿児島 SR HALL
4月13日（火）博多 DRUM Be-1
4月15日（木）金沢 AZ
4月16日（金）長野 CLUB JUNK BOX
4月17日（土）新潟 CLUB JUNK BOX
4月19日（月）郡山 CLUB#9
4月20日（火）仙台 darwin
4月22日（木）札幌 KRAPSHALL
4月27日（火）渋谷 O-EAST
Cast：ダウト /UnsraW/R 指定 /Administrator
Guest：アンド /ViViD/vistlip/SCREW/ ゾロ /Dolly/
HERO/【_Vanilla】 ※各会場によって出演者がことなりますのでご注意ください。
Open/Start：4/8、9、13、20 → 16:30/17:00
4/10、12、15、16、17、19、22 → 17:00/17:30
4/27 → 16:00/16:30
チケット代 All standing
前売り ¥3,800 当日 /¥4,300（税込）
発売日
● 2/27（土）一各ショップ、各プレイガイド

SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい。http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

R 指定

写真 3-A
¥1,500【SRS-6】

写真 3-B
¥1,500【SRS-7】

爱杂志
www.aizazhi.com

摩天楼オペラ

■GILIA パンフレット
¥2,000 [SAS-OP-PH01]

■ANOMIE パンフレット
¥2,500 [SAS-OP-PH02]

■PHOTO SET A ¥1,000 [SASPIX-121]

■PHOTO SET B ¥1,000 [SASPIX-122]

■PHOTO SET C ¥1,000 [SASPIX-123]

Hi-BRiD

■タンバリン
¥1,000 [FHI-6]

■ミラー
¥1,000 [FHI-3]

■タオル ¥1,500 [FHI-4]

■携帯ストラップ ¥1,500 [FHI-5]

D'ESPAIRSRAY

■10周年記念パンフレット
¥4,200 [DR-1]

ページ・10周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、
バー個人対談あり。
場限定のポストカードはついておりません。※ 通販は数に限りがございます。

愛狂います。

■ヒト型 A セット ¥1,000 [NAI-1]

■目玉キャップくん
¥2,000 [NAI-3]

■毒リンゴ T シャツ
¥2,000 [NAI-4]

■ヒト型 B セット ¥1,000 [NAI-2]

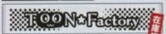
■チェキ［えみる ルピ きらん 玲According］（メンバー選択可）¥1,000 [NAI-6]

■狂猫ミニストラップ
¥1,000 [NAI-5]

愛狂います。東名阪クアトロ単独公演「浪漫。」
3/23 心斎橋 CLUB QUATTRO
3/25 名古屋 CLUB QUATTRO
4/2 渋谷 CLUB QUATTRO
(問) チッタワークス 044-276-8841

TOON-FACTORY

■柿ノ元限定サイン入り写真セット
（計6枚 実物にはサインが入ります）
¥1,000 [WSG-5]



■マフラータオル［ブラック］
¥1,600 [WSG-1]

■マフラータオル［ピンク］
¥1,600 [WSG-2]

申し込み方法
品をお申し込みの方は郵便局に備え付けの払込用紙にて、定価＋送料 700 円を下
記口座にお振り込みください。払込用紙には下記事項をお間違いないようご記入くだ
さい。
振替口座番号 00180-9-603494
定価に送料を加えた金額をご記入ください。複数種お申し込みの方は定価の
合計金額＋送料 700 円をご記入ください。
加入者名 株式会社 音楽専科社

通信欄 柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
払込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社 音楽専科社［柿ノ元］
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203 FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

Malibu
おしゃれ専門通販の「カラ★パラ」とウィッグのコラボレーション企画!!
たった3分!
やっぱり憧れはモデルの小顔!
派手ナチュ恋ヘア!
Wig
小顔変身
ツヤツヤゆるロングは恋する女の子の無敵アイテム!
自分で伸ばすには大変な憧れスーパーロングに!ナチュラルでゆるめなカールが守ってあげたくなるモテスタイル♥
ライトアプリコット
明るい黒色にゴールドメッシュ
ブラウン
ディープブラック
ロイヤルカール
商品番号 NL05
各¥9,975(税込)
ウィッグの長さ/トップ～毛先約73cm、素材/日本製耐熱ファイバー ※ドライヤー・コテ120度～160度使用可能、人工ヒフ付、アジャスター付、カラー:ディープブラック、ブラウン、明るい黒色にゴールドメッシュ、ライトアプリコット
今スグGet!
小顔効果バツグン!
旬なエアリーボブに変身♥
Before
モデル使用カラー ライトブラウンオレンジMIX
モデル使用カラー ココアブラウン
Side
Back
お姫様みたい♥ピュアなロマンティックカール!
ふわふわな大きめカールがまるでプリンセス!髪から春を先取りしよう♥
しなやかカール
商品番号 NL04
各¥9,975(税込)
ウィッグの長さ/トップ～毛先約60cm、素材/日本製耐熱ファイバー ※ドライヤー・コテ120度～160度使用可能、人工ヒフ付、アジャスター付
カラー:ライトブラウンオレンジMIX、ハニーブラウン
今スグGet!
ライトブラウンオレンジMIX
ハニーブラウン
完ぺきなふんわりボブはウィッグだからデキる!!
旬なボブスタイルは毛先に空気感を出すのがポイント☆春服に合うのはコレ!!
レトロモダンカール
商品番号 NL22
各¥9,975(税込)
ウィッグの長さ/トップ～毛先約40cm、素材/日本製耐熱ファイバー ※ドライヤー・コテ120度～160度使用可能、人工ヒフ付、アジャスター付
カラー:ココアブラウン、チェリーブラウン、ライトアッシュ
今スグGet!
ココアブラウン
ライトアッシュ
人工皮膚付きでバレない!
ワザ有
▲フルタイプウィッグのつむじには全て「人工皮膚」を使用しています。てっぺんから見ても、近くで見てもとっても自然です。
カールアイロンで巻ける!
ワザ有
耐熱素材だからドライヤー、カール&ストレートアイロンも対応可能!
モデル使用カラー 明るい黒色にゴールドメッシュ
アクセスはコチラから!
ao@007s.jp
空メール✉を送信!
★スペシャル特典★
200円OFF
ご注文の際に必ずクーポン番号を入力してね♥
クーポン番号 7059
有効期限 2010/5/31まで
空メールは ao@007s.jp
携帯サイトは http://www.007s.jp/
お電話は 0120-544-80
お客さま相談室 0120-800-4
受付時間/年中無休 9:00～21:00
ご注文方法
代金引換(手数料300円)でお届け致します。
14,000円以上で送料無料
hudie.com 蝴蝶网
爱杂志 www.aizazhi.com

蝴蝶网
hudie.com
爱杂志
www.aizazhi.com

2010.05.20(木)目黒鹿鳴館
ヴァルナ一周年記念ワンマン公演
Welcome to Distopia
open 18:30 / start 19:00 ADV.¥2800 / DAY.¥3300
会場限定 CD「聖者の妄信」販売有り!!
ヴァルナ
Voice : yo-ka Guitar : Kei Guitar : SAKURA Bass : Kirimaru Drums : KANADE
New Release
2010年4月28日(水) 1st Mini Album Release!!
「Distopia」
carnation(SE) / 2.螺旋迷宮 / 3.アイシア / 4.Distopia / 5.ロストヘヴン
シア(PV)
定生産500枚 / デジトール仕様 / CD+DVD (2枚組) / ¥3,150(TAX IN)
特典「ライブDVD」
「Distopia」を購入された方のみ2月22日(月)渋谷CLUB CRAWL
被虐[マゾヒスティック]にて開催されたライブ映像を配布!!
特典:「アーティスト写真(種類別)」
を購入し、1月15日(金)「Neo Infernal」に付いている半券を
返信用の切手(200円)を同封の上、郵送して頂きますと
UB CRAWLにて開催された 渋谷禁裁城 第二夜加虐[サディスティック]のライブ映像を差し上げます。
町田Cloveにて先行発売!!
◆4月20日より通信販売開始!!(20枚のみ直筆サイン入り)
ジャックinザ・ハンター
～関東四神ノ葬!!
2010.04.15(木) 町田 Clove
2010.04.18(日) 池袋 Black Hole
2010.04.24(土) 浦和ナルシス
2010.04.27(火) 渋谷 CLUB CRAWL
Tour FINAL
2010.05.06(木) 新宿 RUIDO K4
2010.05.08(土) HOLIDAY SHINJUKU(後夜祭)
Another Live Schedule
2010.03.25(木) 渋谷 CLUB asia
2010.03.29(月) 渋谷 O-WEST
2010.04.02(金) 池袋 Black Hole (GUEST)
Now On Sale
Neo Infernal
2nd Single
「Neo Infernal」
1. アイシア / 2. 神葬
Including 2Songs
完全限定生産 444 枚
FGVCD-001 / ¥1,500(TAX IN)
発売元・販売元 GALAXY
【「Neo Infernal」取扱店舗】※各店舗枚数に限りがございます。
ライカエジソン東京店 / ライカエジソン名古屋店 / ライカエジソン大阪店 / ラフォーレ原宿店
池袋 Brand X / 自主盤倶楽部 / DEAD ONE / little HEARTS. / ZEAL LINK / GURUGURU
http://valluna.jp/
TOTAL INFORMATION Galaxy
www.aizazhi.com

Printed in Japan
雑誌04537-05
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社

爱杂志
www.aizazhi.com